

東京成徳短期大学・東京成徳大学
学修調査(行動・成果調査)報告書

東京成徳短期大学・東京成徳大学
教育研究改善委員会

2020 年 12 月 16 日

はじめに

大学にとっては 5 回目、短期大学にとって 2 回目の全学生対象の学修調査（行動・成果調査）の報告書です。この調査は、言うまでもなく私どもの教育や学生支援の質保証のための自己点検・評価の一環として行われています。私どもの教育や学生支援がどのような成果を得ているのか、その実態を把握するためのものでもあります。

平成 30 年（2018 年）度の「私立大学等改革総合支援事業タイプ 1」の「⑭学修成果等の活用」においては、アンケート等により把握した学生の学修時間や学修行動及び学修成果について、学生の学修指導やキャリア相談等に活用することが求められました。調査を「やりっぱなし」にすることなく、一定の基準値を設けて、それ以下の学生については、個別的または集団的な学修指導あるいは各種相談等を行うことが必要。私どもも、このガイドラインに沿って、一定の基準値を設けて、それ以下（以上）の学生を教育組織である学部学科に連絡する仕組みを翌年度（2019 年度）に作りました。

また令和元年（2019 年）度の「教育の質に係る客観的指標」では、本調査結果を経年比較可能な形で公表が求められるとともに（④－1 情報の公開）、学生本人の学修成果の把握や学修の動機づけのために学生自身へのフィードバックが求められました（⑬学修成果の把握）。前者については、すでに実施済みですが、後者については「教学・学生情報システム」の改善を待って取り組みたいと考えています。

さらに令和 2 年（2020 年）度の「改革総合支援事業タイプ 1」の「①IR 情報を活用した教育課程の検証」で「学修時間・学修実態、学修成果などの情報を教育課程の適切性等の検証」に使用することが、同年度の「教育の質に係る客観的指標」の「③IR 機能の整備」では「IR 情報を教育や学生支援の点検・評価へ活用すること」が求められています。

毎年 7 月ごろに本学の全学生に対して定期的に行われる本調査の結果を全学の委員会のもとより各教育組織ならびに支援組織が吟味して、今後の教育や学生支援の活動に役立てることを衷心より願っております。

「謝辞」

本調査にあたり、次の方々にご尽力いただきました。感謝します。

長谷部孝司（主査：企画・IR 室長）、池田善英、石黒万理子、石崎一紀、岩瀬弘和、内田善浩（企画・IR 室員）、岡本和彦、篠誠、福山裕宣（企画・IR 室員）、馬場康宏、古山尚（敬称略、アイウエオ順）

2020 年 12 月 16 日

東京成徳大学

学長 新井邦二郎

東京成徳短期大学

学長 木内 秀樹

目 次

はじめに	i
I 調査の目的と概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の概要	1
3 分析方法	2
4 分析基準	2
II 調査の結果と考察	3
1 短期大学	3
(1) 調査結果の概要と課題	3
1) - 1 2020 年度在学生の調査結果	3
1) - 2 2019 年度入学生の調査結果	6
(2) 集計結果 (図表)	7
2) - 1 2020 年度在学生の集計結果	7
2) - 2 2019 年度入学生の集計結果	14
2 大 学	18
(1) 大学全体	18
1) - 1 調査結果の概要と課題・対策	18
A. 2020 年度在学生の調査結果	18
B. 参考 : 2017 年度入学生の調査結果	20
C. 課題と対策	22
1) - 2 集計結果 (図表)	25
A. 2020 年度在学生の集計結果	25
B. (参考) 2017 年度入学生の集計結果	35
(2) 2020 年度在学生の集計結果	40
2) - 1 日本伝統文化学科	40
2) - 2 国際言語文化学科	48
2) - 3 国際学科	56
2) - 4 福祉心理学科	64
2) - 5 臨床心理学科	69
2) - 6 健康・スポーツ心理学科	79
2) - 7 子ども学科	88
2) - 8 経営学科	97
(3) 2017 年度入学者の集計結果	107
3) - 1 人文学部	107
3) - 2 応用心理学部	111
3) - 3 子ども学部	115
3) - 4 経営学部	119
(4) 資格取得の状況	123
3 自由記述	124
(1) 短期大学	
(2) 大学 (学科別)	
III 資 料	125
1 アンケート票	124
2 回答用紙	134
3 回収状況	135

I 調査の目的と概要

1 調査の目的

本調査は、全学生を対象に、一人ひとりの学修行動・成果について毎年調査することで、4年間を通じた教育の成果がどの程度上がっているのかを調べるものである。これによって、今後の教育プログラムのあり方やFD・SDの進め方、さらには学生指導のあり方等の見直しのために役立つ情報を得ようとするものである。IRの主要課題は、学修成果の達成度の検証とそれを踏まえたDPの達成度の検証にあるといえる。その意味から本調査は、IR活動の重要課題に応えようとするものである。

2 調査の概要

- (1)実施期間 2020年7月10日(金)～8月1日(土)
- (2)調査対象者 東京成徳大学、東京成徳短期大学の全学生
- (3)調査方法 Webによる記名式アンケート(選択および一部記述)配布と回収
- (4)調査内容
 - ・学修行動 学修環境、通学時間、アルバイト、部活、登校・出席状況、授業興味度・難易度、授業への取組姿勢、予修・復修・関連学修、授業以外の学修活動など
 - ・学修成果 教育理念、外国語能力、ICTリテラシー、教養・基礎的スキル、専門知識・専門的スキル、社会で活躍する力、総合力、大学満足度
- (5)実施主体
 - ・監修 大学学長、短期大学学長
 - ・主催 東京成徳大学教育研究改善委員会、東京成徳短期大学教育研究改善委員会
 - ・企画・運営 学修調査(行動・成果調査)ワーキンググループ
企画・IR室(主査:長谷部孝司、内田義浩、福山裕宣)
池田善英、石黒万里子、石崎一紀、岩瀬弘和、岡本和彦、篠 誠、馬場康宏、
古山 尚(敬称略、アイウエオ順)
- (6)回収状況

表 I-1 短期大学・大学の回収状況

学部・科	回収数	対象者数	回収率(%)
短期大学 幼児教育科	299	372	80.4%
大学計	1339	2122	67.2%
日本伝統文化学科	39	58	67.2%
国際言語文化学科	52	80	65.0%
国際学科	121	126	96.0%
福祉心理学科	12	21	57.1%
臨床心理学科	219	437	50.1%
健康・スポーツ心理学科	134	234	57.3%
子ども学科	488	593	82.3%
経営学科	361	573	63.0%

(注)詳細は「Ⅲ 資料」の「3 回収状況」を参照せよ。

3 分析方法

本調査は、大学と短期大学の学生の学修行動と学修成果について毎年調査することで、4年間ないし2年間を通した学修行動の変化と、それに基づく学修成果がどの程度上がっているのか否かを検証しようとするものである。

本調査の開始は、大学では2016年度から、短期大学では2019年度からとなる。これを踏まえて、集計および分析方法は以下の通りとした。

第1に、短期大学、大学とも、まず2020年度の在学生（短大：1～2年生、大学：1～4年生）の学修行動・成果を集計し、比較分析を行った。なお、国際学部は2019年度開設であるため、調査対象者は1～2年生となる。

第2に、短期大学では、今年度が調査の完成年度となるので、2019年度入学者の2年間の学修行動・学修成果の変化を集計し分析した。

第3に、大学では昨年度で調査は完成年度を迎えたので、今年度からは質問内容や選択肢の表現方法を見直した。その結果、2016年度からの調査内容との連続性が十分に維持できない部分がでてきたため、2017年度入学者の4年間の学修行動・成果の変化については、可能な項目、可能な期間（4年間の比較が困難な場合は3年間の比較を行う）に絞って集計し分析した。なお、国際学部は現在1、2年生のみの在学であるため、ここでの集計には含まれない。

4 分析基準

2019年度入学者（短大）、2017年度入学者（大学）の2年間、4年間を通しての学修行動・成果の変化や到達点を見るために、以下の分析基準を設けた。

（1）「及第基準」の設定

アンケートの質問に対する回答は、例えば、「①まったくできない、②ほとんどできない、③多少はできる、④ある程度できる、⑤ほぼできる、⑥よくできる」などの形で、5～6段階で選択肢が用意されている。そこでこの例では、後半の④、⑤、⑥を選んだ回答者を、成績評価の「優」「良」「可」に当てはめれば「可」以上に相当するとして、「及第者」として分析した。

質問項目は多義に渡り回答の選択肢も一律ではないため、個々の質問と回答においてどの段階からを及第者と見なすかを、以下に具体的に整理した。

（2）「2or4年間で及第者の割合の増減」（後掲の表Ⅱ-1-1、表Ⅱ-2-5）

1年次から2年次までの2年間（短大）、1年次から4年次までの4年間（大学）で、及第者の割合がどの程度増減したのかという観点から、各質問項目の順位表・図を作成した。

（3）「2or4年次の及第者の割合」（後掲の表Ⅱ-1-2、表Ⅱ-2-6）

2年次（短大）、4年次（大学）に及第者の割合がどの程度の水準に到達しているのかという観点から、各質問項目の順位表・図を作成した。

Ⅱ 調査の結果と考察

1 短期大学

(1) 調査結果の概要と課題

1) - 1 2020 年度在学生の調査結果

A 調査結果の概要

後掲の「Ⅱ-1-(2)- 2) - 1 2020 年度在学生の集計結果」によると、調査結果は以下のようになる。

【学修行動】

① 1 週間（平均的な）における学修行動について

授業への出席率：80%以上の出席をしている学生が1年生で約9割5分、2年生で約9割であり、高い出席率といえる。しかし、2年生のうち約1割は80%未満の出席率であった。

授業への興味と難易度：60%以上の授業に興味があると回答した者は、全体で約7割であった。授業の難易度に対しては、9割以上が「普通」「やや難しい」と回答している。

授業への積極的取り組みとパソコン等の使用時間：積極的な取り組みが「よくできている」「ほどできている」学生は1年生で約7割5分、2年生で7割弱であり、オンライン授業でのパソコン等の使用時間も2年生よりは1年生の方が長い学生が多いといえる。

② 1 週間（平均的な）における授業時間外での学修行動について

教員に指示された準備、課題等：授業時間外にも、2年生では約4割が「6時間以上」、約3割が「4時間30分～6時間未満」学修している。また「6時間以上」と回答した学生は、1年生より2年生に多い。

授業の予習復習：予習については、1、2年生ともに約5割が「90分未満」と回答している。また、1年生では約3割が、2年生では約1割が「90分～3時間未満」と回答している。「6時間以上」予習をしている学生も1、2年生に約1割いる。

③ 外出自粛の中での生活

新聞・雑誌：新聞については「読まない」が1、2年生とも8割前後である。定期的に読んでいる雑誌、週刊誌も「読まない」が約8割であり、週刊誌、漫画雑誌、専門誌等を読む学生は各々2割である。

本：「読まない」学生が1年生で約6割、2年生で約7割である。

【学修成果】

① 建学の精神

本学の建学の精神：1年生の約8割が「ある程度・ほぼ・よく知っている」のに対して、2年生では約5割5分であった。

② 外国語能力について

外国語科目の選択と能力：科目選択については全体で約9割が「英語」を履修しており、他は中国語を選択している。読む力では、「ある程度・ほぼある」と回答した学生は全体で3割弱である。会話力では1、2年生共に約5割が「多少はある」と回答している。

③ICTリテラシー（＝情報機器やインターネットを使う能力）について

文章作成、表計算、プレゼンテーション：文章作成では1、2年生ともに「ある程度・ほぼ・よくできる」と回答した学生が7割以上であった。表計算ソフトを使った図表の作成が「まったく・ほとんどできない」は約4割、プレゼンテーションソフトを使つての資料作成で「まったく・ほとんどできない」が全体で約3割である。

④ 教養・基礎的スキルについて

幅広い知識や教養・情報収集スキル：幅広い知識や教養について「ある程度ある」以上を選択した者は、1年生で3割弱、2年生で4割強であった。

⑤ 専門知識・専門的スキルについて

専門知識の理解、使用、専門的スキル：専門知識を「ある程度・ほぼ・よく理解している」は、1年生で6割強、2年生で約8割弱であることから、1年生より2年生に理解できている学生が多い。専門知識の使用では「多少は使える」が各学年で最も多く、1年生で約7割、2年生で約8割であった。専門的スキルについては、「ある程度・ほぼ・よく身につけている」と回答した1年生は約3割、2年生は約6割であった。

⑥ 社会で活躍するための力（キャリア教育、社会人基礎力）について

「働く」ことのイメージ：全体で最も多くは約4割の「ある程度できている」、次いで「多少はできている」の約3割であった。

将来の進路、就職活動を最後まで頑張る自信：進路が決まっているかどうかについて、全体では「ある程度・ほぼ・すでに決まっている」1年生は約7割、2年生は約6割である。就職活動を最後まで頑張る自信が「かなり・大いにある」と回答した1年生は約8割、2年生は約5割であった。

⑦ 総合力、大学満足度について

総合力：社会人として仕事や活動を行う力については「ある程度・ほぼ・よく身につけている」と回答した1年生が約4割に対して、2年生では約6割であった。本学に入学してよかったと「ほぼ・大いに思っている」学生は、1年生で約7割、2年生で約6割であることからおおむね満足度は高いといえる。

B 課題

【学修行動】

① 1週間（平均的な）における学修行動について

昨年度調査結果からは、学年進行に伴う登校日数の減少が認められ、カリキュラムによる科目の開設年次および時間割上の選択科目の履修方法によるものとして、また、授業への出席率の低下は、2年次を行う施設実習との関連が推測された。今年度前期は基本的には全科目遠隔授業で実施され、2年次の幼稚園実習Ⅱおよび施設実習も後期に延期されたため、その点が昨年とは大きく異なる。全体的に高い出席率が認められた反面、80%未満の出席率であった2年生が約1割おり、その背景を捉えることが必要である。

また、各科目①オンデマンド型、②オンライン等による教材・資料配付型、③リアルタイム・双方向型等の形態により行われた遠隔授業であったが、その難易度について9割以上が「普通」か「やや難しい」範囲の回答であったことから、各科目で妥当な難易度の設定による授業展開が行われていたと考えられる。

② 1週間（平均的な）における授業時間外での学修行動について

授業時間外にも教員に指示された準備や課題等に対して、おおむねよく取り組んでいることが認められる。また、2年生の方が1年生より授業時間以外での学修時間が多い。授業時間以外の学修についてはシラバスにも記されており、その意義の説明や具体的な指示、学修成果の自覚を促す等の動機づけをしていく必要もある。

③ 外出自粛での生活

外出自粛や遠隔授業のために在宅時間が通常時より長いと考えられる中でも、新聞、雑誌などを読まない学生が約 8 割と多く、本を読まない学生も 1 年生で多い。学修・研究面での図書の利用について、具体的指導が必要である。

【学修成果】

① 建学の精神

1 年生は、本学への受験準備や卒業必修科目「幼児教育基礎演習」の学長講話（今年度はオンデマンド形式によって行われた）で学ぶため、記憶に新しい学生も多いと考えられる。2 年生については忘れてしまっていると考えられるためこの点を今後の課題として捉える必要がある。

② 外国語能力について

外国語については「外国語コミュニケーション」が卒業選択必修・幼稚園教諭二種免許状必修・保育士教養科目と位置付けられており、「英語」か「中国語」を選択する。約 9 割が英語を選択している現状である。幼児教育科の学生の大部分は幼稚園・保育所・認定こども園に就職するが、文部科学省が外国人の子どもの就園機会の確保を促しており、日常生活上の基礎的なコミュニケーションを日本語以外の言語で行えることも、今後ますます大切な力になると考えられる。

③ ICT リテラシー

ICT を活用する力については、「情報機器の操作」やゼミ形式の「課題研究 A・B」の中で演習や実践を通して学んでいる。特に平成 29 年の幼稚園教育要領の改訂および平成 30 年度の教職課程再課程認定に伴い、指導法における ICT 活用能力がさらに求められていることから、保育の場でより有用な具体的実践的な力を身に付けることが必要である。

③ 教養・基礎的スキル

レポートや論文作成に必要な情報収集スキルや書くスキルに対して、「ある程度ある・かなりある」と回答した学生は 1 年生で約 2 割，2 年生で約 3 割であった。カリキュラム上、1 年生前期の「幼児教育基礎演習」で図書館の活用方法や情報検索の方法、レポートの書き方を学び、1 年生後期からの「課題研究 A・B」や様々な授業で課されるレポート作成を通して、スキルの習得が促されていると考えられる。また、基礎的な学士力でもあるため今後の課題といえる。

⑤ 専門知識・専門的スキル

1 年生より 2 年生の方が、専門知識の理解、実際場面での使用、スキルが身についていると答えている学生の比率は高い。

⑥ 社会で活躍するための力

社会で働くイメージ、進路を決めているか、就職活動を頑張る自信のいずれも「ある程度」以上と回答した学生は、1 年生より 2 年生の方が少ない。調査時期が 7 月であることを考えると、1 年生は入学後まもなくという時期で実習も未経験であるのに対して、2 年生は幼稚園教育実習と保育実習を経験したり、就職オリエンテーションに参加したりしながら、就職活動をより現実的なものとして捉えている表れと考えられる。

⑦ 総合力

本学に入学してよかったと「多少は思っている」以下の学生が 1，2 年生ともに約 1 割ずついることから、その背景や実態を把握することが今後の課題といえる。

1) - 2 2019 年度入学生の調査結果（及第者の 2 年間の変化）

後掲の「Ⅱ-1-(2)- 2) - 2 2019 年度入学生の集計結果」によると、調査結果は以下のようになる。

授業時間外での学修行動と外出自粛での生活：教員に指示された課題や宿題について「3～4 時間 30 分未満」「4 時間 30 分～6 時間未満」「6 時間以上」と回答した学生は、昨年度 1 年生時 41.4%だったものが、今年度 2 年生前期では 82.1%と昨年と比較して及第者が 41.1%増えた。また同様に、復習時間の及第者も 42.9%増えている。今年度 2 年生は、昨年度 1 年間は通常の対面授業を受け、今年の前期は基本的に全科目を遠隔授業により受講した学生である。このため、この差は年次による変化の影響ではなく、授業形態の変化によるところが大きいと考えられる。

定期的に読んでいる雑誌・週刊誌については、及第者が 11.6%減少しているが、指示された課題や復習時間が大きく増加していることと関連しているように考えられる。

専門知識・専門的スキル：専門知識の理解や専門的スキルも、及第者が各々 46.4%、40.2%増加している。その反面、専門知識の実際場面での使用については、及第者が 1 年生時に比較して 8.0%減少している。専門的知識を理解し、専門的スキルを習得している自覚はありながら、特に今年度前期に関してはそれを検証、応用する場がなかったことによる結果ではないだろうか。

(2)集計結果

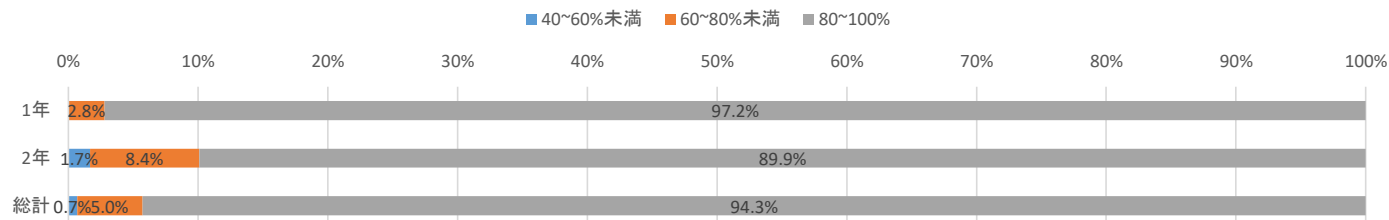
1)-2 2020年度在学生の集計結果

【学修行動】

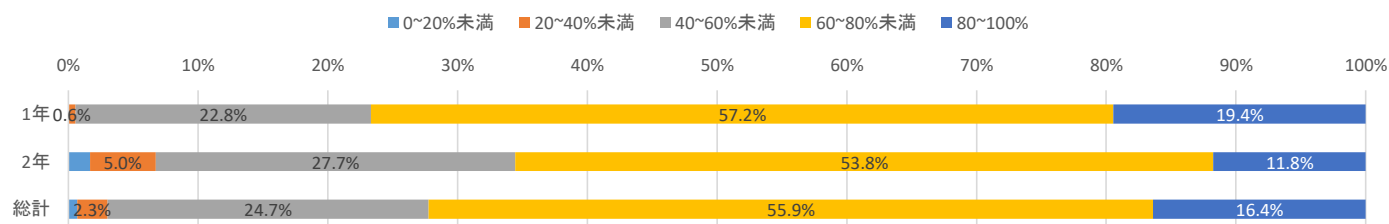
1. 1 週間（平均的な）における学修行動について

(1)授業への出席割合（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は、課題などの提出回数などで回答）

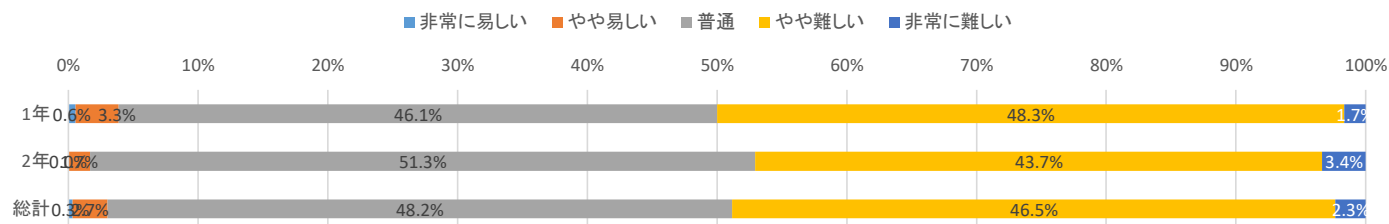
（無効回答 1年：1）



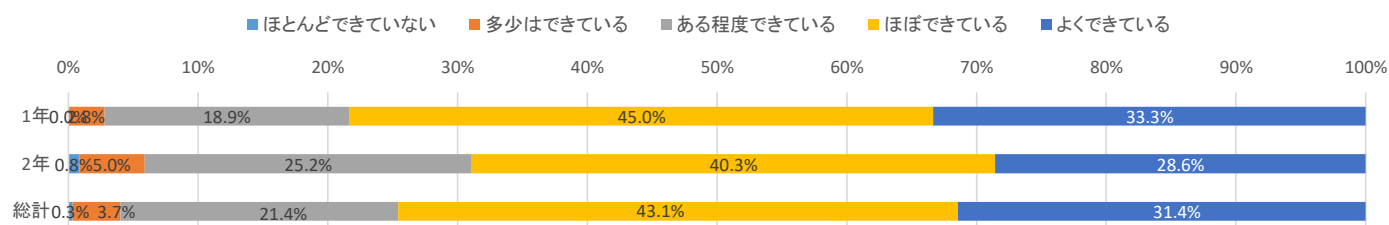
(2)興味のある授業の割合



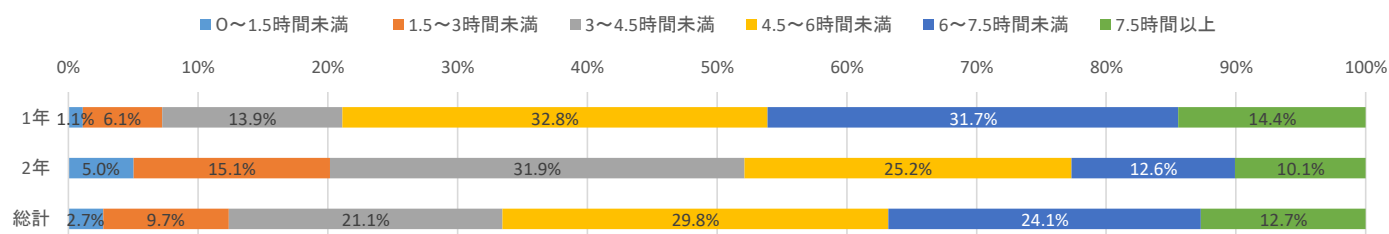
(3)授業全体の難易度



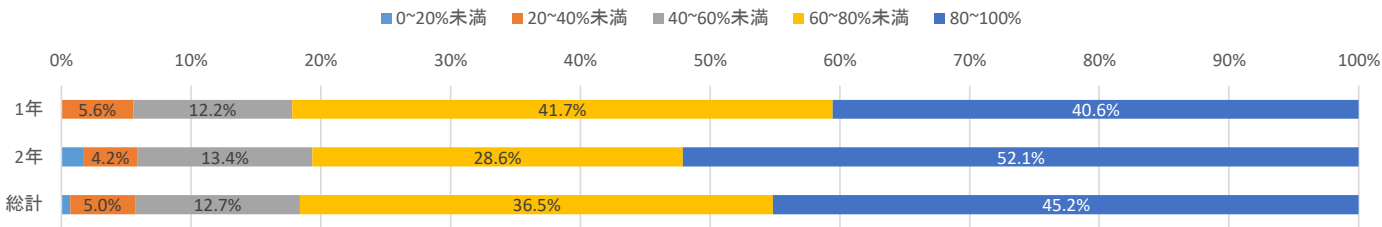
(4)授業（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は課題など）への積極的取り組み



(5)オンライン授業でのパソコン（スマホ・タブレット）等の使用時間（平均一日）

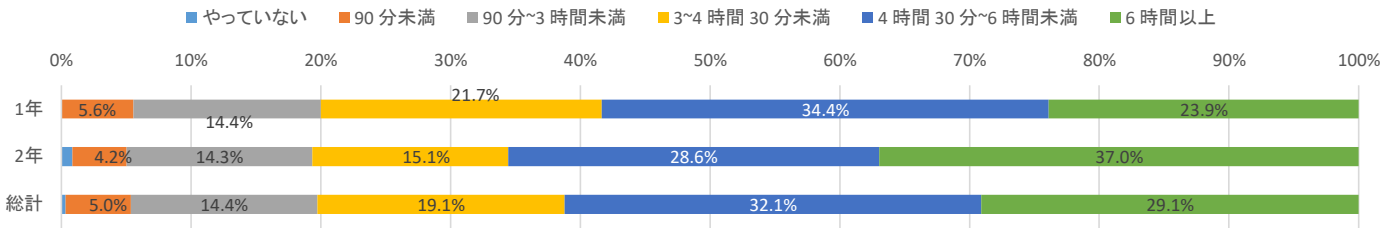


(6)2年間で卒業できる自信



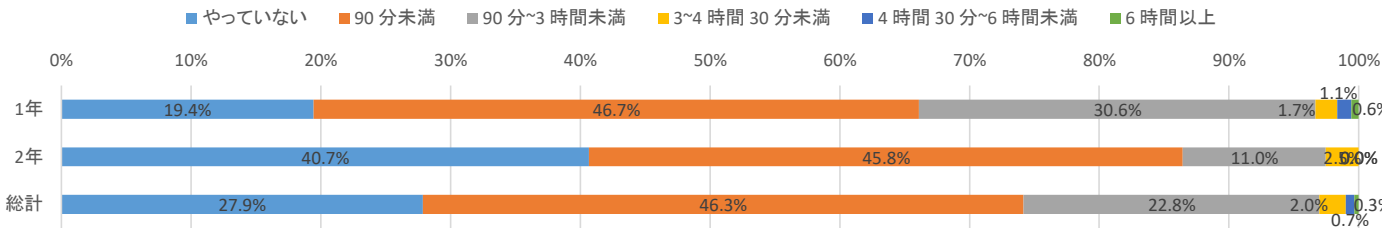
2. 1週間（平均的な）における授業時間外での学修行動について

(7) 先生に指示された授業での発表の準備、課題やレポート、宿題などをのくらいやりましたか

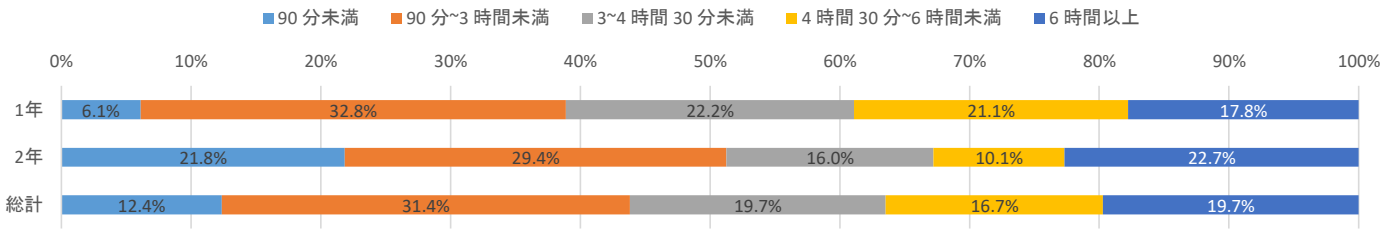


(8) 授業の予習をどのくらいしていますか

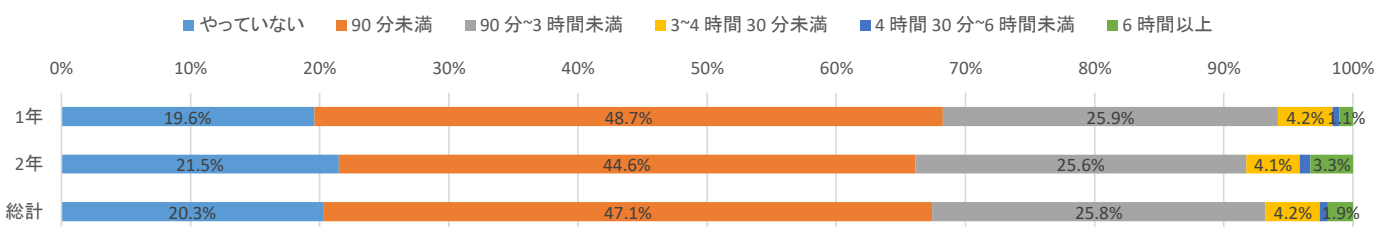
(無効回答 2年：1)



(9) 授業の課題やノートの整理、復習、ピアノ練習などをどのくらいしていますか

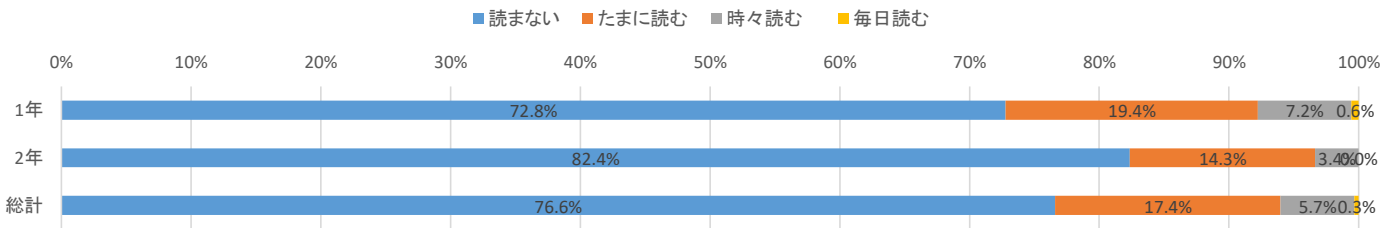


(10) 授業に関連する資料や本を探したり、調べたりすることをどのくらいやりますか

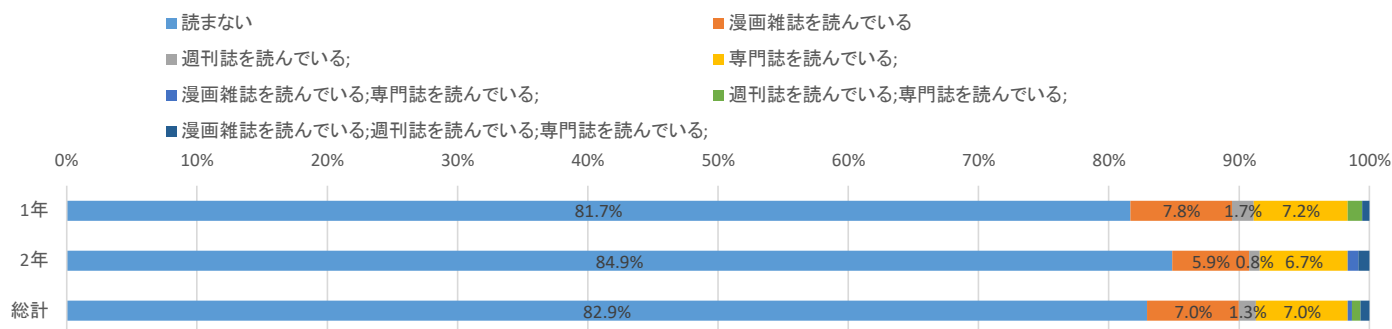


3. 外出自粛の中での生活について

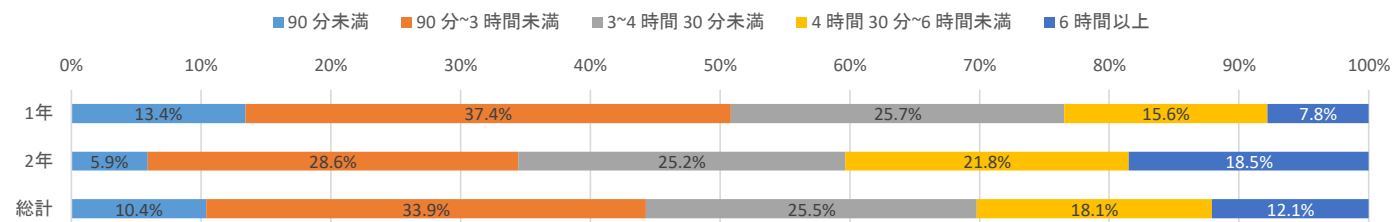
(11) 新聞を読みますか



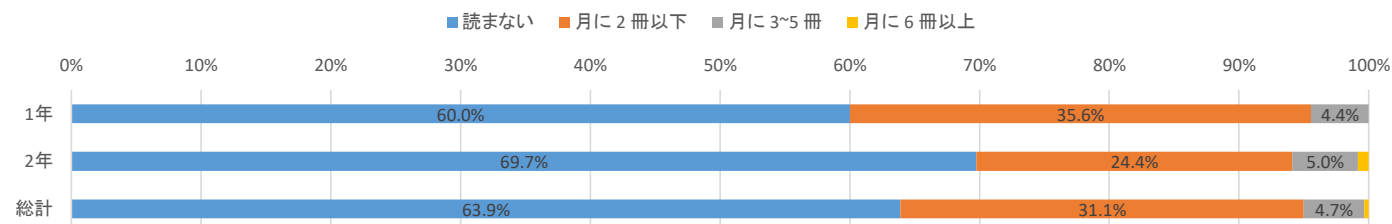
(12) 定期的に読んでいる雑誌、週刊誌はありますか



(13) 授業以外のインターネット（LINEやその他SNS・オンラインゲームを含む）は1日にどのくらい使っていますか (1年：1)



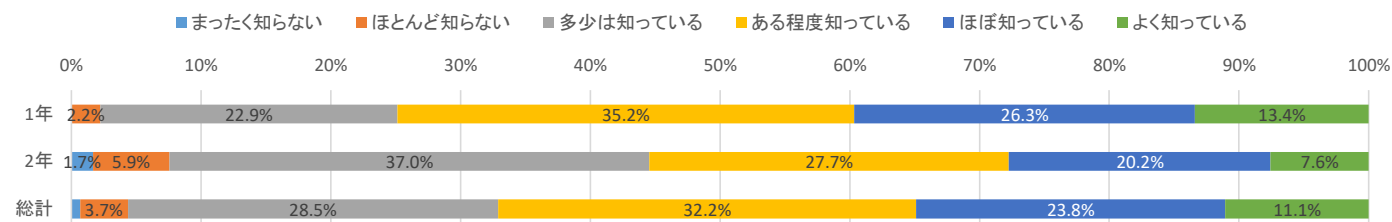
(14) 本をどのくらい読みますか



【学修成果】

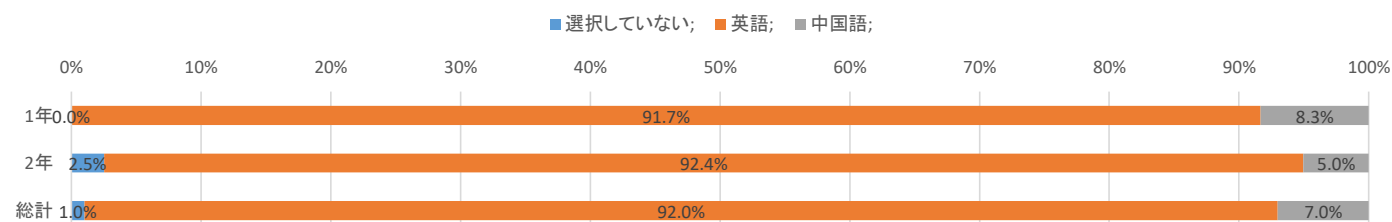
1. 建学の精神について

(1) 本学の建学の精神『「成徳」すなわち徳を成す人間の育成』を知っていますか (無効回答 1年：1)

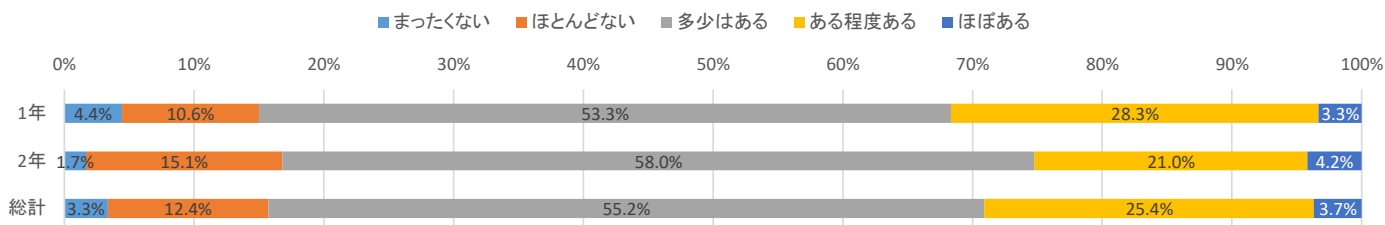


2. 外国語能力について

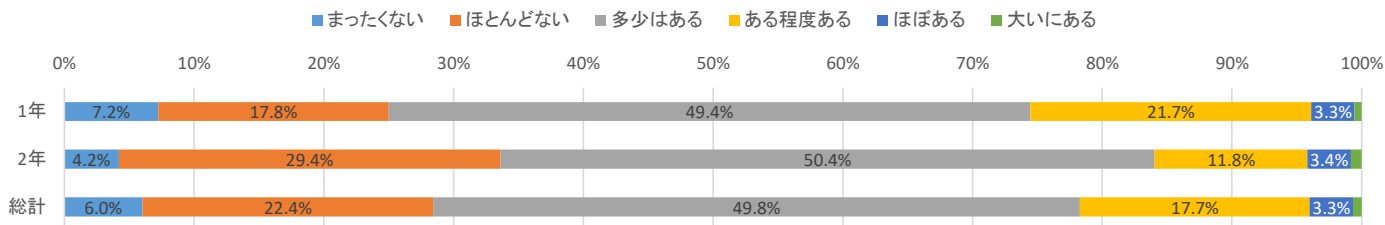
(2) 外国語の授業では、何を選択しましたか



(3) 読む力がある

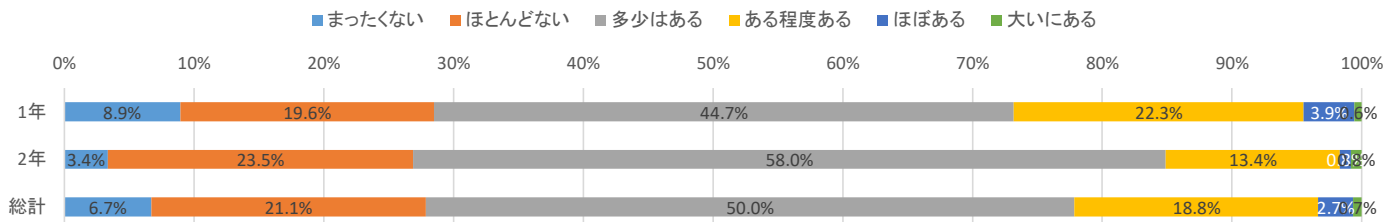


(4) 会話力（話す、聞く）がある



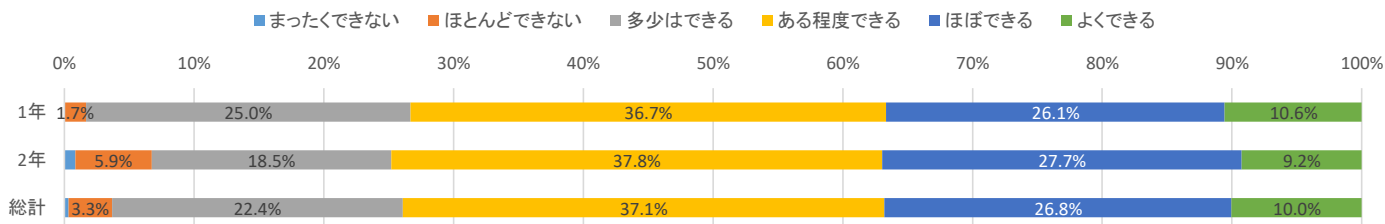
(5) 書く力がある

(無効回答 1年：1)



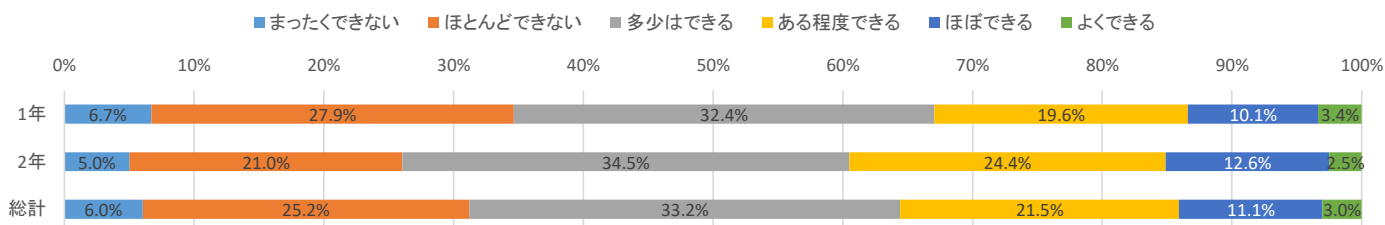
3. ICTリテラシー（＝情報機器やインターネットを使う能力）について

(6) 文章作成ソフト（Wordなど）を使って文章を作成することができる

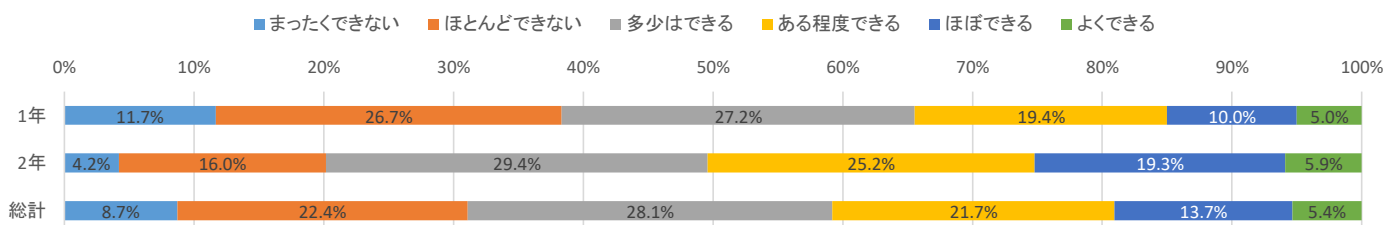


(7) 表計算ソフト（Excelなど）を使って図表を作成することができる

(無効回答 1年：1)

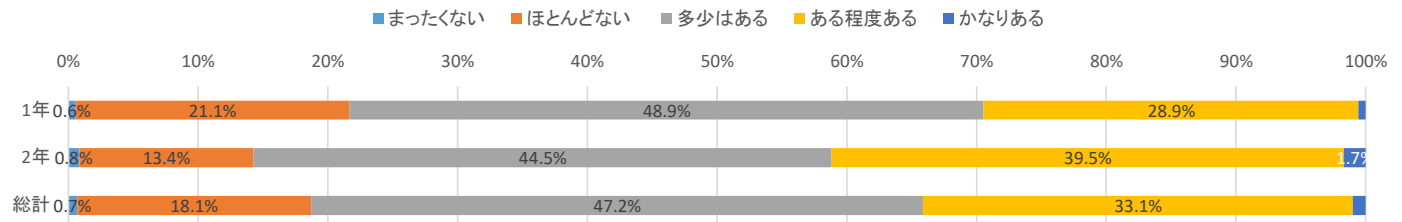


(8) プレゼンテーションソフト（Power Pointなど）を使ってプレゼンテーション用の資料を作成することができる

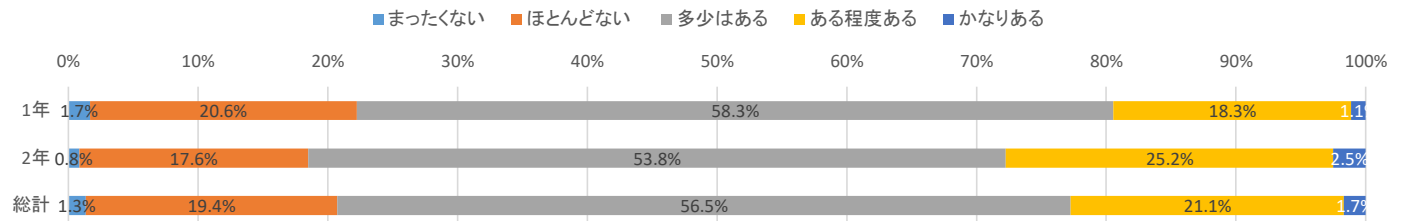


4. 教養・基礎的スキルについて

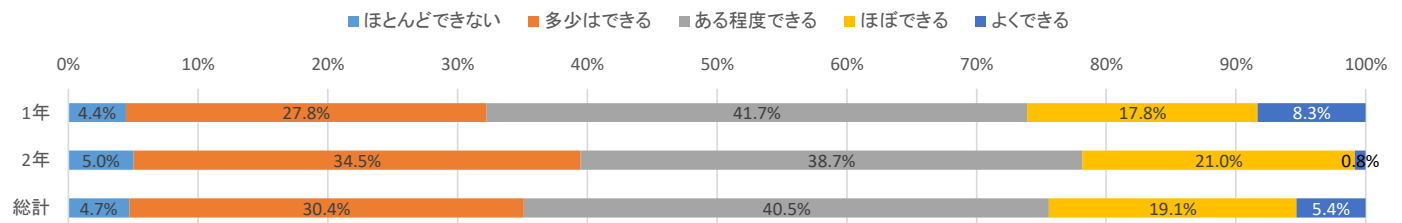
(9) 専門分野の知識とは別に幅広い知識や教養がある



(10) レポートや論文作成に必要な情報収集のスキル（論文、文献、統計などの検索方法など）がある

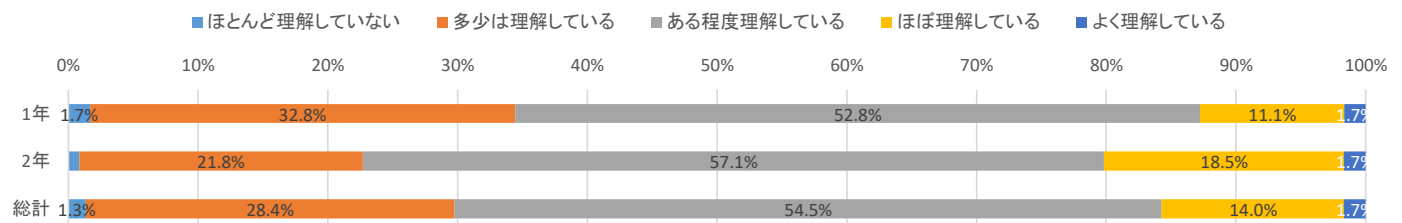


(11) ディスカッションの中で他者の意見をきちんと聞きながら自分の意見を述べることができる



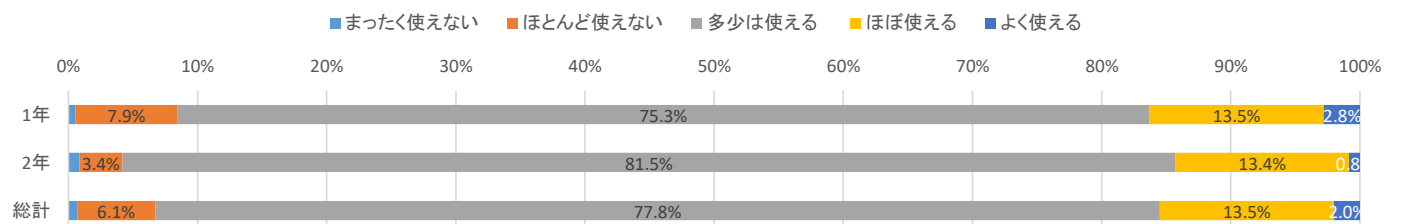
5. 専門知識・専門的スキルについて

(12) 専門知識を理解している

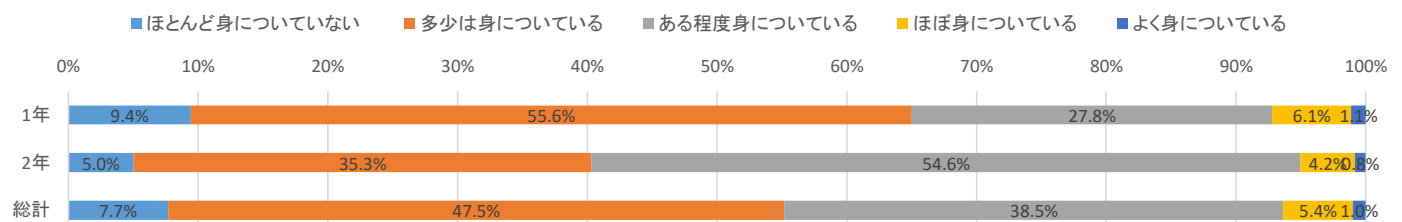


(13) 専門知識を実際の場面で使うことができる

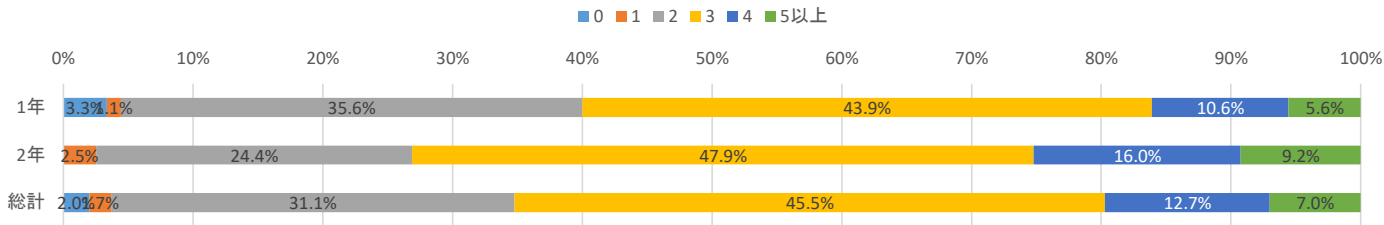
(無効回答 1年：2)



(14) 専門的スキルが身についている

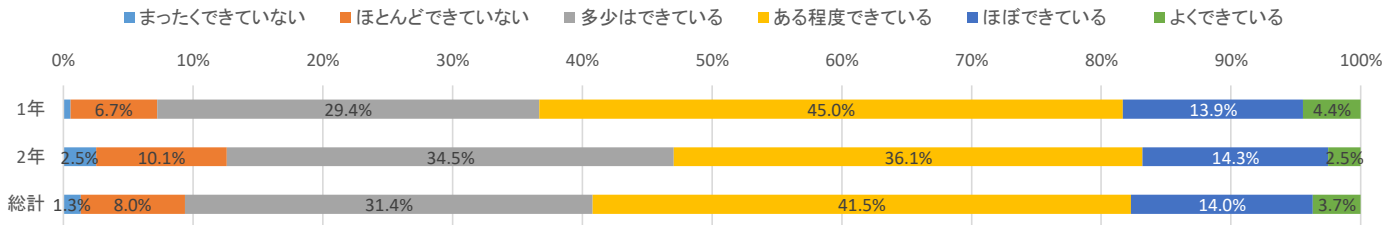


(15) 大学入学後に取得を目指している（取得した）免許・資格等はいくつありますか

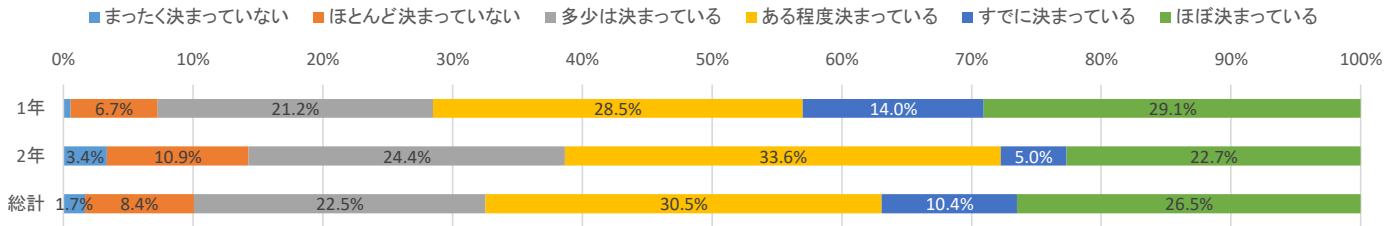


6. 社会で活躍するための力（キャリア教育、社会人基礎力）について

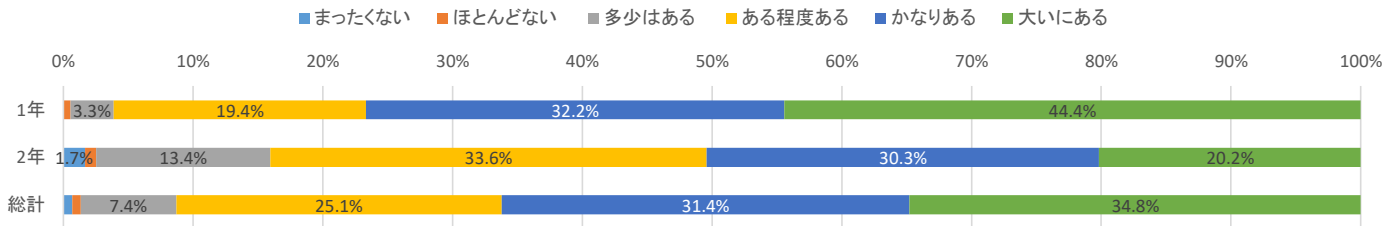
(16) 「社会で働く」とはどのようなことか、どの程度イメージできていますか



(17) 将来の進路（職業、進学など）はどの程度決まっていますか （無効回答 1年：1）

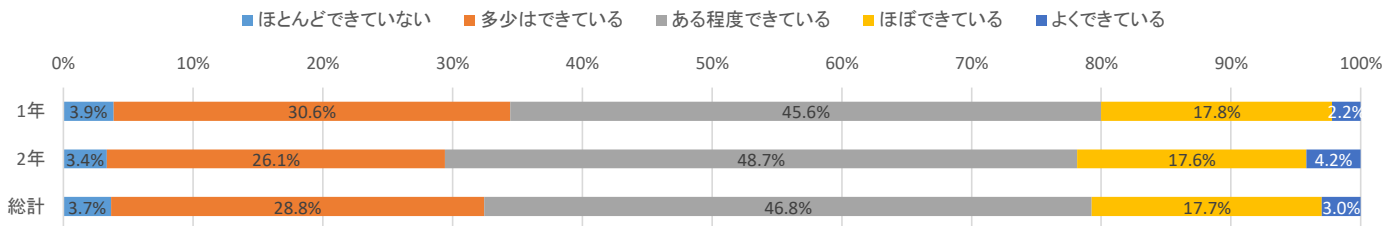


(18) 就職活動を最後まで頑張る自信はどの程度ありますか

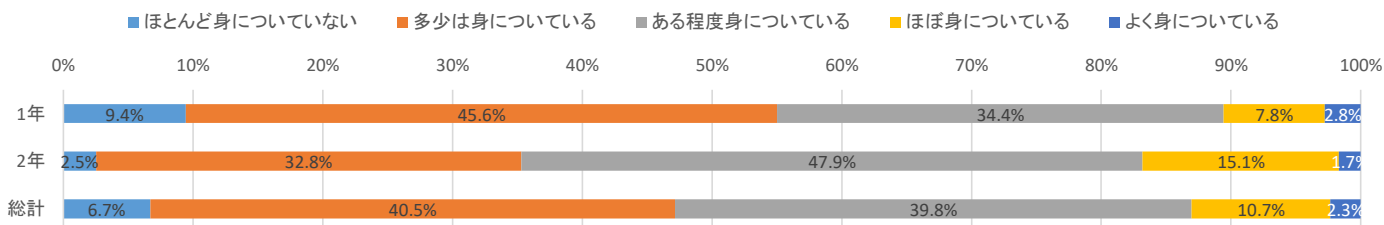


7. 総合力についてー 短期大学での学びを通して、以下の力がどの程度身についていると思いますか。

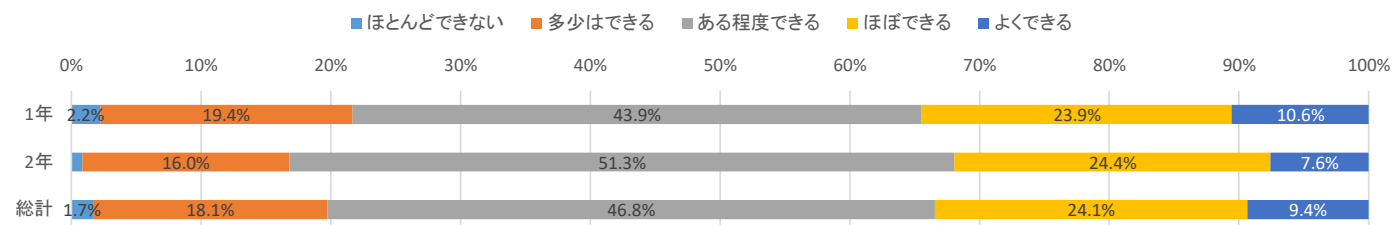
(19) 自分の考えを文章や口頭で他者にきちんと説明することが、どの程度できるようになりましたか



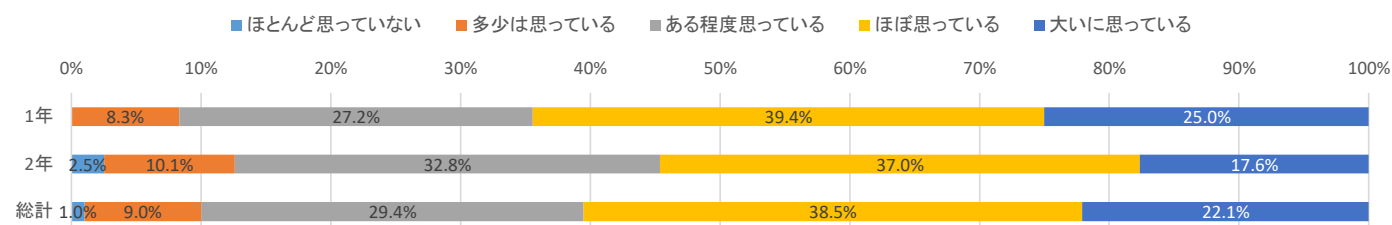
(20) 社会人として仕事や活動を行うために必要な力はどの程度身につきましたか



(21)他者とコミュニケーションを図りながら相互理解を深めていくことは、どの程度できますか



(22) 東京成徳短期大学に入学してどの程度よかったと思いますか



2) - 2 2019年度入学生の集計結果

【分析基準】

表Ⅱ-1-1 分析基準（学修行動）

	調査項目 (2019・2020年度共通項目)	及第基準
授業時間内	出席	「60～80%・80～100%」の合計
	興味ある授業	「60～80%・80～100%」の合計
	授業が難しい	「非常に難しい・やや難しい」の合計
	授業への積極的取組	「ある程度・ほぼ・よくできている」の合計
	卒業の自信	「60～80%・80～100%」の合計
授業時間外	指示された課題	「3～4時間・4時間30分～6時間・6時間以上」の合計
	授業の予習（1週間）	「3～4時間・4時間30分～6時間・6時間以上」の合計
	授業の復修（1週間）	「3～4時間・4時間30分～6時間・6時間以上」の合計
	関連学修（1週間）	「3～4時間・4時間30分～6時間・6時間以上」の合計
授業以外	新聞を読む	「時々・よく読む」の合計
	雑誌・週刊誌を読む(定期的)	「週刊誌・専門誌・漫画雑誌」の割合
	読書	「月に2冊以下・月に3～5冊・月に6冊以上」の合計

表Ⅱ-1-2 分析基準（学修成果）

	調査項目 (2019・2020年度共通項目)	及第基準
精 神	建学の精神	「ある程度・ほぼ・よく知っている」の合計
外国語	外国語の選択	「英語、中国語」の合計
	外国語を読む力	「ある程度・ほぼ・大いにある」の合計
	外国語の会話力	「ある程度・ほぼ・大いにある」の合計
	外国語を書く力	「ある程度・ほぼ・大いにある」の合計
ICTリテラシー	文章作成ソフト	「ある程度・ほぼ・よくできる」の合計
	表計算ソフト	「ある程度・ほぼ・よくできる」の合計
	プレゼンテーションソフト	「ある程度・ほぼ・よくできる」の合計
教養・ 基礎的スキル	幅広い知識と教養	「ある程度・ほぼ・大いにある」の合計
	レポート・論文	「ある程度・ほぼ・大いにある」の合計
	ディスカッション	「ある程度・ほぼ・よくできる」の合計
専門知識・ スキル	専門知識の理解	「ある程度・ほぼ・よく理解している」の合計
	専門知識の使用	「ある程度・ほぼ・よく使える」の合計
	専門的スキル	「ある程度・ほぼ・よく身につけている」の合計
キャリア	働くイメージ	「ある程度・ほぼ・よくできている」の合計
	就活を頑張る	「ある程度・ほぼ・大いにある」の合計
総合力	考えを他者に説明	「ある程度・ほぼ・よくできている」の合計
	社会人基礎力	「ある程度・ほぼ・よく身につけている」の合計
	他者との相互理解	「ある程度・ほぼ・よくできる」の合計
満足度	入学満足度	「ある程度・ほぼ・大いに思っている」の合計

【集計結果】

表Ⅱ-1-3 2年間での及第者の割合の増減(学修行動)

授業時間内	出席	4.5%
	興味ある授業	16.1%
	授業の難易度（難しい）	0.9%
	授業への積極的取組	11.6%
	卒業の自信	-4.5%
授業時間外	指示された課題	41.1%
	予習	2.7%
	復習	42.9%
	関連学修	7.1%
授業以外	新聞	0.0%
	雑誌・週刊誌	-11.6%
	読書	0.0%

表Ⅱ-1-5 2年次の及第者の割合(学修行動)

授業時間内	出席	98.2%
	興味ある授業	65.2%
	授業の難易度（難しい）	46.4%
	授業への積極的取組	93.8%
	卒業の自信	82.1%
授業時間外	指示された課題	82.1%
	予習	2.7%
	復習	49.1%
	関連学修	8.0%
授業以外	新聞	3.6%
	雑誌・週刊誌	14.3%
	読書	27.7%

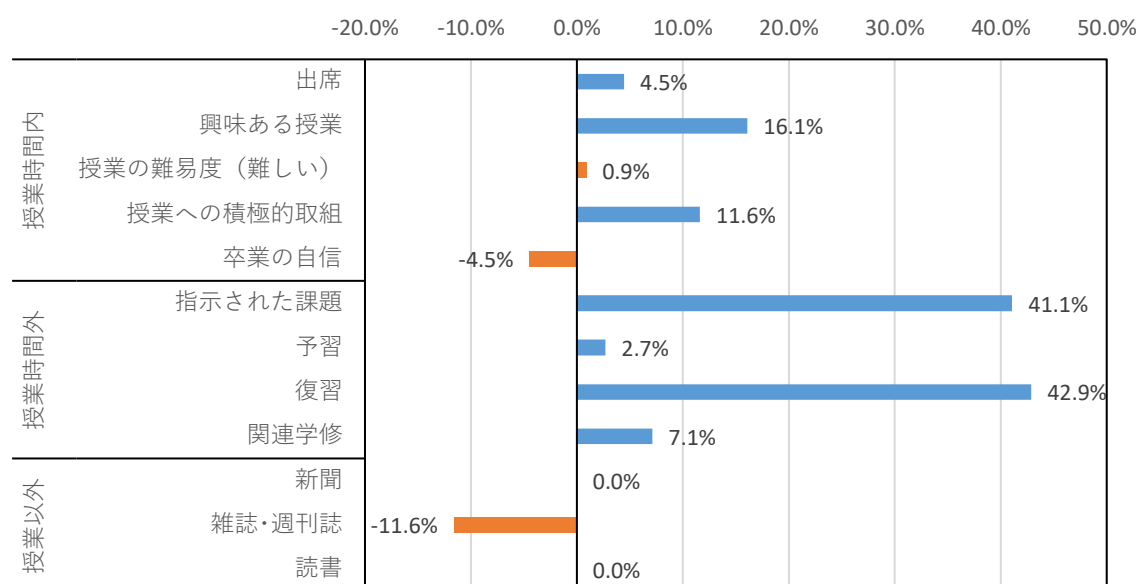
表Ⅱ-1-4 2年間での及第者の割合の増減(学修成果)

精神	建学の精神「成徳」	-4.5%
外国語	外国語の選択あり	-0.9%
	読む力	5.4%
	会話力	-0.9%
	書く力	0.0%
ITリテラシー	文章ソフト	17.0%
	表計算ソフト	13.4%
	プレゼンテーションソフト	15.2%
教養	幅広い知識と教養	33.9%
	レポート・論文情報収集力	16.1%
	ディスカッション	17.0%
専門	専門知識の理解	46.4%
	専門知識の使用	-8.0%
	専門的スキル	40.2%
キャリア	社会で働くイメージ	12.5%
	就活を最後まで頑張る	0.0%
総合力	自分の考えを他者に説明	23.2%
	社会人基礎力	19.6%
	他者との相互理解	18.8%
満足	入学してよかった	0.9%

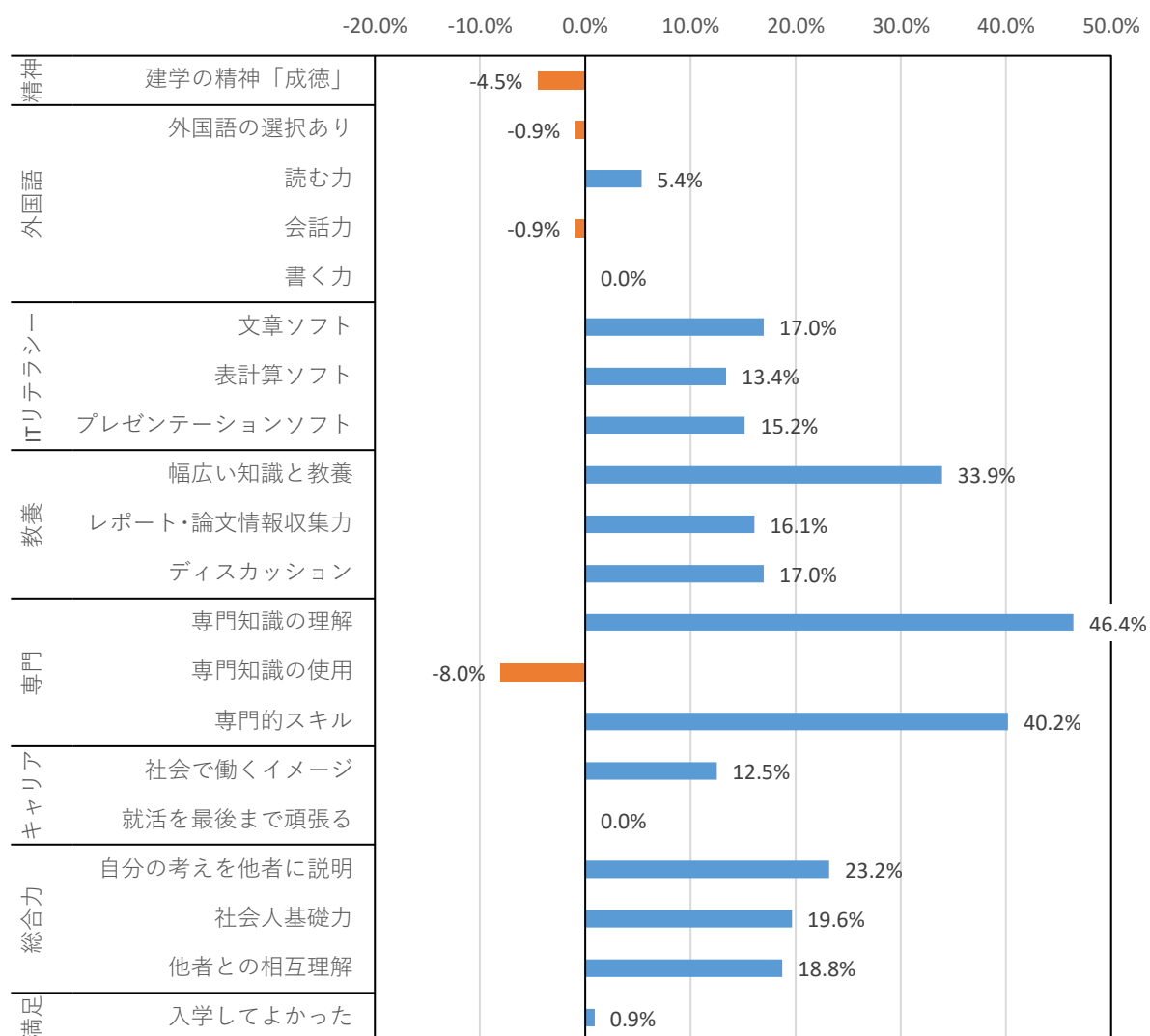
表Ⅱ-1-6 2年次の及第者の割合(学修成果)

精神	建学の精神「成徳」	55.4%
外国語	外国語の選択あり	98.2%
	読む力	25.0%
	会話力	14.3%
	書く力	15.2%
ITリテラシー	文章ソフト	74.1%
	表計算ソフト	39.3%
	プレゼンテーションソフト	50.0%
教養	幅広い知識と教養	42.9%
	レポート・論文情報収集力	28.6%
	ディスカッション	60.7%
専門	専門知識の理解	78.6%
	専門知識の使用	13.4%
	専門的スキル	60.7%
キャリア	社会で働くイメージ	53.6%
	就活を最後まで頑張る	84.8%
総合力	自分の考えを他者に説明	70.5%
	社会人基礎力	63.4%
	他者との相互理解	83.9%
満足	入学してよかった	90.2%

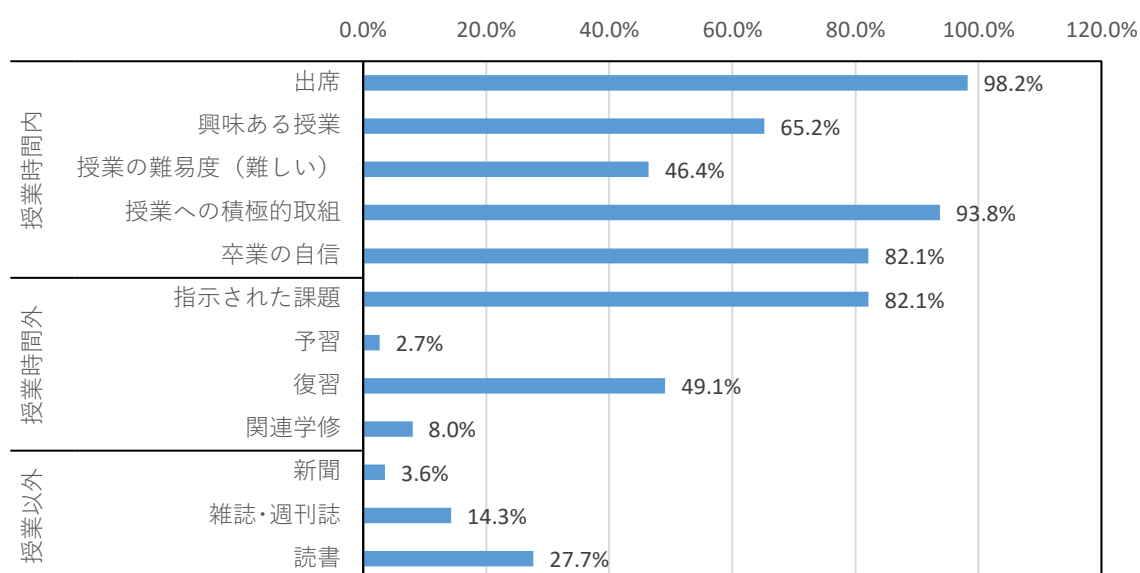
図Ⅱ-1-1 2年間での及第者の割合の増減（学修行動）



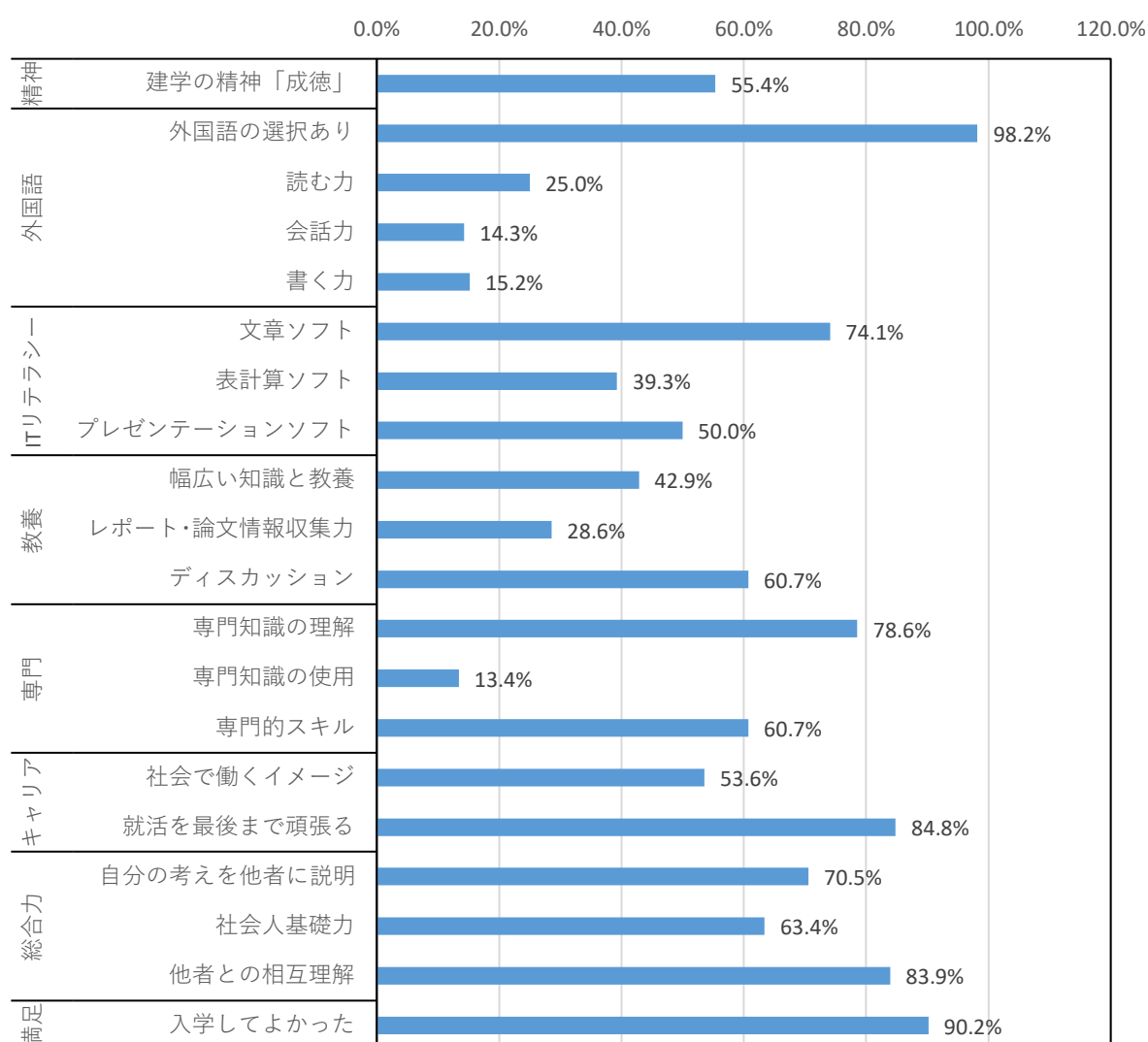
図Ⅱ-1-2 2年間での及第者の割合の増減（学修成果）



図Ⅱ-1-3 2年次の及第者の割合（学修行動）



図Ⅱ-1-4 2年次の及第者の割合（学修成果）



2. 大 学

(1) 大学全体

1) - 1 調査結果の概要と課題

A. 2020 年度在学生の調査結果

後掲の「Ⅱ-2-(1)- 1) - 2-A. 2020 年度在学生の集計結果」により 2020 年度在学生（1 年生～4 年生、国際学科は 1 年生～2 年生）の学修行動・成果の状況を整理すると、以下のようになる。

表中の「①及第者の割合」は、各質問項目について、上位の選択肢を選んだ学生を「及第者」としてその割合がどの程度あるかを整理したものである。「②4 年間の変化の傾向」は、及第者の割合が学年進行に伴って上昇傾向にあるのか低下傾向にあるかを整理したものである。

表Ⅱ-2-1 学修行動の概要 (赤：70%以上) (赤：20%以上)

		①及第者の割合(括弧内は 4 年生)		②4 年間の変化 の傾向 (在学生の学年間較)
		㉑60%以上、6 段階中上位 3 段階	㉑80%以上、6 段階中上位 2 段階	
授業時間内	出 席	97.9%	90.6%	↓
	興味ある授業	57.0%	18.0% (26.8%)	↓ 4 年↑
	授業が難しい	58.0%	*15.6% (12.6%)	↓
	授業への積極的取組	96.9%	81.1%	↓
	卒業の自信	90.9%	66.1% (78.5%)	↑
授業時間外	指示された課題	45.4%	26.7%	↑ 4 年↓
	予 習	3.5%	1.3%	↓
	復 習	7.0%	3.0%	↓
授業以外	アルバイト	54.8%	34.6% (45.1%)	↑
	部活・サークル	7.1%	1.7%	
	社会を知る努力	8.4%	3.3%	
	読 書	44.6%	8.4%	1 冊以上 やや↑

(注)アルバイトは「10 時間以上」と「15 時間以上」、部活・サークルは「1 日以上」と「3 日以上」、読書は「1 冊以上」と「3 冊以上」

表Ⅱ-2-2 学修行動の概要 (赤：70%以上) (赤：20%以上)

		①及第者の割合(括弧内は 4 年生)		②4 年間の変化 の傾向 (在学生の学年間較)
		㉑6 段階中 上位 3 段階	㉑6 段階中 上位 2 段階	
精 神	建学の精神	50.0%	23.3%	↓
外国語	選択者	79.0%		
	読む力	47.4%	10.1%	↓
	会話力	39.8%	9.8%	↓
	書く力	37.5%	7.3%	↓
ICT リテラシー	文章作成	89.1%	50.0% (57.4%)	↑

ICT リテラシー	表計算	62.5%	20.6% (25.8%)	↑
	プレゼン	76.3%	34.2% (45.7%)	↑
教養・ 基礎的スキル	幅広い知識と教養	54.4%	10.1% (14.1%)	↑
	レポート・論文	56.6%	10.5% (14.5%)	↑
	ディスカッション	73.4%	24.8% (28.6%)	↑
専門知識・ スキル	専門知識の理解	77.7%	17.8% (27.9%)	↑
	専門知識の使用	57.5%	12.4% (17.2%)	↑
	専門的スキル	68.7%	13.7% (20.6%)	↑
	専門分野の資格	48.2%	8.6% (17.5%)	ある↑
キャリア・ 社会人基礎力	働くイメージ	57.4%	23.8% (31.6%)	4年↑
	将来の進路	56.2%	26.1% (49.7%)	4年↑
	就活を頑張る	85.5%	59.4%	↓
	社会人基礎力	66.0%	18.4% (28.9%)	↑
総合力	考えを他者に説明	72.7%	24.8% (30.4%)	↑
	課題発見と解決	75.2%	20.1% (24.5%)	↑
	他者との相互理解	88.6%	45.3% (48.0%)	↑
	ものの見方・考え方	80.3%	29.1% (33.5%)	↑
AP との適合性	AP との適合度	86.1%	42.2% (57.4%)	↓ 4年↑

【学修行動】

①授業時間内について

総じて、「出席」「授業への積極的取組」「卒業の自信」では及第者の割合がかなり高い。「興味ある授業」では、④の基準（40%以上の授業に興味がある）では6割弱であるが、⑥の基準（60%以上の授業に興味がある）では2割弱となる。「授業が難しい」では、④の基準（「どちらかといえば難しい・難しい・非常に難しい」）では6割弱であるが、⑥の基準（「難しい・非常に難しい」）で16%弱である。

②授業時間外について

「指示された課題」はある程度行っているが、「予習」「復習」など自発的な努力を必要とする学修はほとんど行われていない。

③授業以外について

多くの時間を「アルバイト」に費やしており、「部活・サークル」「社会を知る努力」はほとんど行われていない。「読書」は、月に1冊以上であれば45%程度の学生が行っている。

④総括

「出席」「授業への積極的取組」など「授業時間内」の学修にはかなりの割合の学生がきちんと取り組んでいるが、「授業時間外」「授業以外」の学修に取り組む学生は少ない。授業時間外では、多くの時間をアルバイトに使っている。

【学修成果】

①建学の精神

④の基準（「どちらかといえば知っている・知っている・よく知っている」）では及第者は50%とな

るが、⑥の基準（「知っている・よく知っている」）では23%となっている。

②外国語

何らかの外国語を選択する学生は8割弱とかなり多いが、その成果は、④の基準（「どちらかといえばある・ある・大いにある」）では4割前後、⑥の基準（「ある・大いにある」）では1割前後となり、芳しいものではない。

③ICT リテラシー

④の基準（「どちらかといえばできる・できる・よくできる」）では及第者は6～9割弱、⑥の基準（「できる・よくできる」）では2～5割である。文章作成が最も高く、表計算が最も低い。

④教養・基礎的スキル

④の基準（「どちらかといえばある・ある・大いにある」）では5割強～7割強、⑥の基準（「ある・大いにある」）では1割～2割5分弱である。相対的には「ディスカッション」の割合が高い。

⑤専門知識・スキル

④の基準（「どちらかといえばある・ある・大いにある」）では5割弱～8割弱、⑥の基準（「ある・大いにある」）では2割弱～6割弱である。相対的には「就活を頑張る」の割合がもっとも高く、「専門分野の資格」が最も低い。

⑥キャリア・社会人基礎力

④の基準（「どちらかといえばある・ある・大いにある」）では6割弱～8割5分、⑥の基準（「ある・大いにある」）では1割～2割5分弱である。相対的には「就活を頑張る」の割合が④、⑥どちらの基準でも最も高く、一定以上の水準となっている。それ以外は、⑥の基準では2割弱～2割5部強程度となっている。ただし、4年生では「将来の進路」は5割弱となっている。

⑦総合力

④の基準（「どちらかといえばできている・できている・よくできている」）では7割強～9割弱、⑥の基準（「できている・よくできている」）では2割～4割5分である。相対的には「他者との相互理解」の割合が④、⑥どちらの基準でも最も高く、一定以上の水準となっている。それ以外は、⑥の基準では2割～3割弱となっている。

⑧AP との適合性

④の基準（「どちらかといえば合っている・合っている・大いに合っている」）では86%、⑥の基準（「合っている・大いに合っている」）では42%となっている。4年生では57%となっている。

⑨総 括

相対的に見て、学修成果が最も上がっているのは「ICT リテラシー」「キャリア・社会人基礎力」「総合力」であり、次いで「教養・基礎的スキル」「専門知識・スキル」、最後が「外国語」である。

「建学の精神」の認知度は、必ずしも高くない。「AP との適合性」は、4年次の割合まで含めてみると、まずまずの水準にあるといえる。

B. 参考：2017 年度入学生の調査結果（4 年間で及第者の割合の増減、4 年次の及第者の割合）

「I-3 分析方法」で述べたように、今年度から調査内容を見直したため2016年度からの調査との連続性に不十分な箇所が出てきた。そこで、2017 年度入学生の4年間の学修行動・成果の変化については、可能な項目と期間に絞って集計することとした。「学修行動」については一部（図表中の★印の項目）を除いて4年次および4年間の比較が可能であった、「学修成果」では「外国語の選択」以外は3年次および3年間の比較となった。以上から、ここでの集計・分析は参考情報として掲載する。

なお、ここでの集計は 4 年間の調査にすべてに回答した学生を対象とせざるをえず対象者数が限られることになった。そのため、集計は学科単位ではなく学部単位とした。また、国際学部は 2019 年度開設の学部であるためここでの集計には含まれない。

【学修行動】

「Ⅱ-2-(1)-1)-2-B. (参考) 2019 年度入学生の集計結果」によると、調査結果は以下のようになる。

①「4 年間（3 年間）での及第者の割合の増減」について

まず、2017 年度入学生の学修行動で一定程度の改善が見られたのは、「興味ある授業」「授業の難易度（＝難しいが減少）」「卒業の自信」であり、後退したのは「授業への積極的取組」「部活・サークル」「授業の復習」などである。また、「アルバイト」も増えている。

次に、2017 年度入学生の学修行動を 2016 年度入学生のそれと比較してみると、前者の数値が後者を上回っているのは「興味ある授業」「読書」であり、「アルバイト」の増え方も少ない。他方、「授業の難易度」「卒業の自信」「指示された課題」「授業の予習」では、2016 年度入学生の数値を下回っている。

2017 年度入学生において「興味ある授業」が大きく改善している点は、大変興味深い。遠隔授業が予想以上の効果を持っていた可能性が考えられる。「読書」「アルバイト」で改善が見られ、「部活・サークル」で後退したのは、上記「①」と同様の理由によると思われる。「指示された課題」「授業の復習」で 2016 年度入学生を下回る数値となっている点は、予想と異なる結果であった。

②「4 年次（3 年次）の及第者の割合」について

まず、2017 年度入学生の学修行動で相対的に良好なグループは、「出席」「授業への積極的取組」など「授業時間内」の学修行動であり、その結果として「卒業の自信」も高くなっている。他方、学修行動が芳しくないグループは、「授業時間外」「授業以外」であり、授業時間外では学生は多くの時間をアルバイトに費やしている。

次に、2017 年度入学生の学修行動を 2016 年度入学生のそれと比較してみると、大きな違いとまではいえないが、いくつかの点で差異が見られる。前者の数値が後者を一定程度上回るものは、「出席」「興味ある授業」「読書」などである。他方、逆は「授業への積極的取組」「予習」「復習」「アルバイト」「部活・サークル」などである。

2017 年度入学生で「出席」「読書」の割合が高いのは、コロナウイルス拡大により遠隔授業となり出席がし易くなったこと、自宅で過ごす時間が増えたことなどが関係していると思われる。他方、「アルバイト」「部活・サークル」が減ったことも、コロナウイルス拡大の影響によるものと思われる。

なお、「指示された課題」「予習」「復習」については、遠隔授業の方が課題提出の分量が増えていると思われたので、予想と異なる結果となった。

【学修成果】

①「4 年間（3 年間）での及第者の割合の増減」について

まず、2017 年度入学生の学修行動で一定程度の改善が見られたグループは、「ICT リテラシー」「教養・基礎」「専門分野」「総合力」であり、後退したのは「外国語」「キャリア」である。

次に、2017 年度入学生の学修行動を 2016 年度入学生のそれと比較してみると、前者の数値が後者を上回っているのは「ICT リテラシー」「教養・基礎」であり、「外国語」も後退の程度が若干少なくなっている。他方、グループ単位では「専門分野」「総合力」が、項目単位では「将来の進路」が、2016 年度入学生の数値を下回っている。「総合力」「将来の進路」ではその差もかなり開いている。なお、この

差について、コロナウイルス感染症拡大の影響はないと思われる。上述の通り、両者の「学修成果」の比較は、3年次および3年間で行っているためである。

②「4年次（3年次）の及第者の割合」について

まず、2017年度入学者の学修成果が相対的に高いグループは、「ICTリテラシー」「総合力」であり、次いで「教養・基礎」「専門分野」「キャリア」である。最も低いのが「外国語」で、ほとんどの学生が選択しているがほとんど成果が上がっていない。

次に、2017年度入学者の学修行動を2016年度入学者のそれと比較してみると、大きな違いとまではいえないが、いくつかの点で差異が見られる。前者の数値が後者を一定程度上回った項目は、「表計算ソフト」「専門知識の理解」「専門知識の利用」「専門的スキル」「専門分野の資格」などである。他方、逆は「プレゼンテーションソフト」「幅広い知識と教養」「将来の進路」「課題の発見と解決」「ものの見方・考え方」などである。2017年度入学者は「専門分野」で若干の優位、2016年度入学者は「キャリア」「総合力」で若干の優位にあるといえる。

このような違いは、統計上の誤差の範囲か、具体的要因に基づくものであるのかは、今回の調査の範囲内では必ずしも明らかではない。今後の推移を観察していく必要がある。

C 課題と対策

【学修行動】

①授業時間外での学修をいかに増やすか

全体として、授業時間内の学修にはよく取り組むが、授業時間外、授業以外の学修行動は不十分で、アルバイトに多くの時間を費やす。ただし、授業時間外でも指示された課題にはある程度取り組む。授業時間外の学修を促すためには、教員が課題を課していくことが必要である。

②学修行動の改善のために

学修行動の改善のためには、根本的には「そもそも大学は勉強するところである」との雰囲気や校風を強める・広めることが重要ではないか。

従来日本では、企業の新卒採用はジョブ型ではなくメンバーシップ型であったことから、大学で何を学んできたかはあまり問われなかった。また、大学は入学することは難しいが（近年これも変わりつつある）卒業することは簡単といわれていた。これらの結果、大学生の学びに対するモチベーションは全体的に希薄になっているといえる。

「馬を水辺に連れていけても水を飲ませることはできない」。学生のモチベーションが不十分なままでは、さまざまな制度改革も十分な効果は得られない。制度改革にあわせて学生の意識改革を進めることが、大変に重要である。「急がば回れ」である。

では、具体的には何を行うか。特別な施策というよりも、すべての教職員が日々学校である限りは当たり前の学修行動を学生たちに求め続けていくことが重要であろう。具体的には、以下が考えられる。

第1に、出席、授業態度、予習・復習、課題提出、成績評価などについて、学部・学科単位で共通の基準や対応方法を具体的に定め学生に対応する。個々の授業担当者の具体的判断は尊重されるべきだが、一定範囲で共通基準を明らかにし、安易に温情的な対応などは取らないようにする。

第2に、このような対応の仕方を、専任教員だけでなく非常勤の教員にも説明し協力を求めている。専任教員が担当する科目は、全授業科目の半数程度であるので、非常勤講師の協力は不可欠である。そのためには、4月当初に非常勤講師を対象に懇親会兼説明会を開催するなども一案である。

第3に、以上の対応を、とりわけ入学後のオリエンテーションから始めて4月、5月までの2ヶ月

間は、集中的かつ徹底的に行う。卒業時の成績の善し悪しを決める要因を調べると、入試の成績よりもむしろ1年前期の成績との間に強い相関関係があることが知られている。また、中退学に関する調査では、1年次に中退学数が多いことが知られているが、さらに詳しく見ると、2、3年次に中退学となる学生についても、多くは1年前期の段階でその兆候が現れている。これらから、入学後の数ヶ月間の学修行動のあり方が、その後の学修行動・成果を大きく左右するといえる。入学後の数ヶ月間に、「大学は勉強するところである」との認識をきちんと持たせることが、決定的に重要といえる。

③オンライン授業活用の可能性

出席（昨年 92.6%→本年 97.9）、興味ある授業（33.2%→57.0%）、授業への積極的取組、卒業の自信（83.1%→90.9%）、指示された課題（24.8%→45.4%）、予習（2.6%→3.5%）、復習（4.1%→9.3%）などで、及第者の割合が昨年度を上回っている。授業形態が遠隔授業中心となったことによる可能性が考えられる。授業形態の一つとして、コロナ対応とは別に、遠隔授業の活用を検討する余地があると思われる（例えば、「大人数の講義科目」「定型化が進んだ知識やスキルを教える授業」など）。

【学修成果】

①今後ますます重要性が増していく専門教育・高度スキル教育

全体として、大学教育のコア分野である外国語、教養・基礎的スキル、専門知識・スキルの成果が相対的に低く、ICT、キャリア・社会人基礎力、総合力の成果が相対的に高い。前者の教育成果をいかに高めるかが依然として課題である。

専門知識や高度スキル（語学、ICT、その他）を高める必要性は、一般論としても大学にとって重要であるが、昨今その重要性はますます増しているといえる。資本主義経済の歴史を振り返ると、新しい技術が登場する度に古い産業における失業が懸念されたが、これまでの経験では、新技術の登場は旧来産業の衰退を上回る新しい産業の創出・増大により、全体として深刻な失業問題を引き起こすことはなかった。しかし、昨今の情報化を中心とする新技術の発展は、この常識を不確かなものとしつつある。AI、ロボットなどの情報技術は、新しい仕事を生み出す面も持つが、そもそもは省力化を進めるための技術という性格を強く持っている。その結果、今後はますます多くの職種がAI、ロボットに取って代わられる可能性が高まっている。

このような中では、単に大学を卒業したというだけでは職業選択の幅はますます狭められていくことになる。専門知識や高度スキルをいかに身につけているか、そのような意味での「教育格差」が、職業選択や経済格差にますます直結するようになっていくであろう。以上から、大学教育における専門性や高度スキルの重要性は、ますます高まっているといえよう。

②外国語教育でいかに成果を出すか

外国語教育でいかに成果をあげるかは、大学の長年の難問である。この点で、本学の国際学部の試みは注目に値する。同学部では、1年次の後半から半年間、全員が海外留学（アメリカ、韓国）を行っている。その結果を今回の調査から確認すると、留学後（2年次）には下表のように明確な効果が確認される。

表Ⅱ-2-3

国際学科の外国語能力の変化

	どちらかといえばある・ある・大いにある	ある・大いにある
読む力	1年：68%→2年：88%	1年：16%→2年：34%
会話力	1年：58%→2年：84%	1年：7%→2年：22%
書く力	1年：48%→2年：80%	1年：4%→2年：22%

長期留学は、本学では国際系学科では全員必修となっているが、それ以外の学科では極めて少ない。外国語教育、留学支援、留学生支援の組織として「グローバル教育センター」がを活用して、全学的に留学促進を検討してみてもどうか。

なお、以上のように長期留学の有効性は明らかであるが、すべての学生が留学可能というわけではない。これに対しては、例えば、従来、外国語教育は当該外国語を得意とする教員が担当するケースが多かったが、それらの場合、担当教員が必ずしも外国語教育の専門家ということではなかった。今後は、単に外国語が得意というだけではなく、「外国語教育の専門家」が中心となって授業運営を進めて行くことなどを検討してみてもどうか。

③ICT 教育の今後のあり方

ICT リテラシーについては、全学共通調査であるため Word、Excel、PowerPoint など初歩的能力を問うものとなっているが、さらに高いリテラシーを持つ学生が一定数いると思われる。また、上記の「①」でも述べたように、今後は社会で活躍するためには高度なスキルがますます必要になる。

以上から、高い ICT リテラシーを持つと同時にさらにそれを磨いていく意志を持つ学生向けに、例えば「情報センター（学部横断的組織、仮称）」などを設けて、ビッグデータ、AI、ブロックチェーンなどに対応可能な専門能力を育てるプログラムを検討してみてもどうか。

④上記の課題に対応する教育組織のあり方

大学の大衆化などを背景に、1990 年代以降、学教育の守備範囲は従来の語学、教養、専門という枠を越えて大きく広がった。初年次教育、キャリア教育、入学前教育、リメディアル、リカレント教育などである。これらの教育は、現在は学部・学科を単位として運営されているが、守備範囲がここまで広がると、学部・学科が単独でこれらすべてを十分にマネジメントしていくことはもはや困難であろう。

以上から、上記の「①、②、③」などを効果的に運営していくためには、これまでの学部・学科単位を中心とする大学組織を以下のように見直してみてもどうか。これにより、専門教育、初年次教育、キャリア教育、外国語、ICT リテラシーのそれぞれについて、専門的見地に基づく運営の責任体制がより明確になるものといえよう。

図Ⅱ-2-1 大学の組織再編の試案

専門分野 初年次教育 キャリア教育	各 学 部
教養教育	教養教育センター（全学的）
ICT 教育	情報教育センター（全学的）
外国語教育 留学指導 留学生教育	グローバルセンター（全学的）

1) - 2 集計結果 (図表)

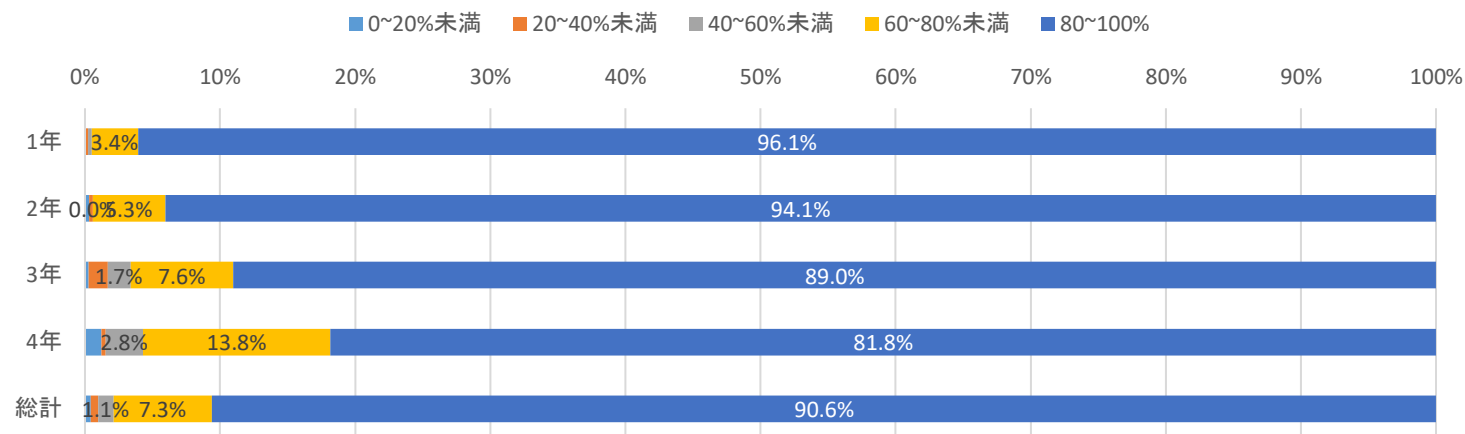
A. 2020年度在学生の集計結果

【学修行動調査】 大学全体

1. 1週間（平均的な）における授業時間内（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は課題などに 取り組む時間内）での学修行動について

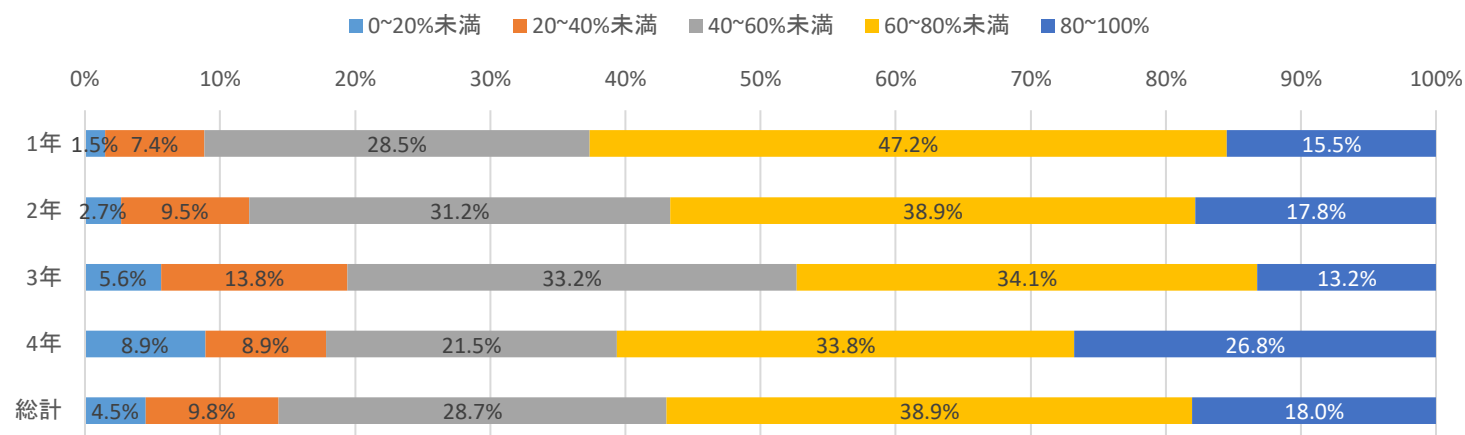
(1) 授業への出席割合（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は、課題などの提出回数などで回答）

回答 2年：1、4年：1)



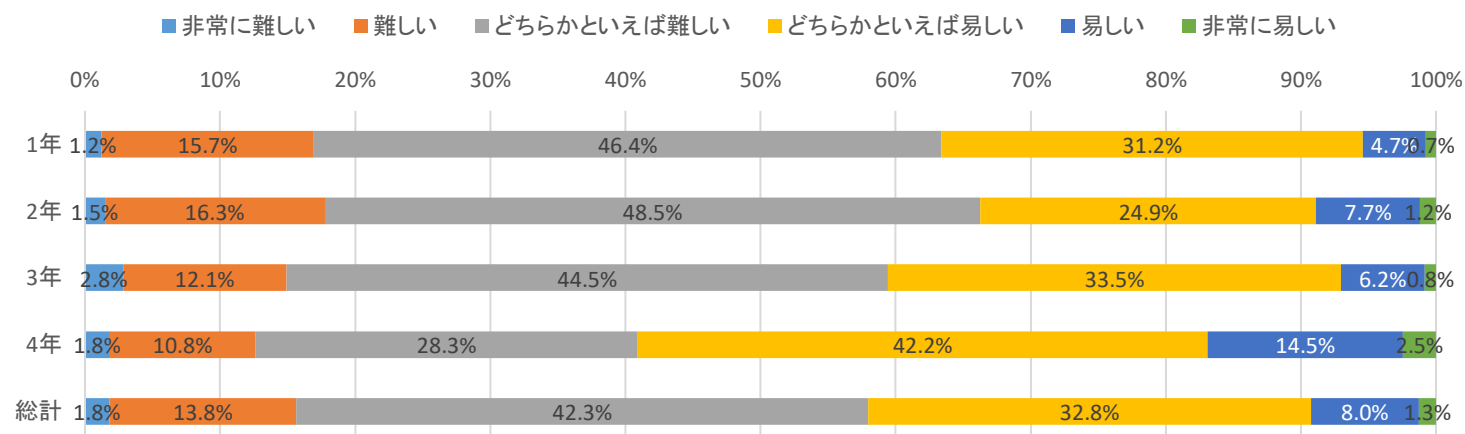
(2) 興味のある授業の割合

(無効回答 2年：1、4年：1)

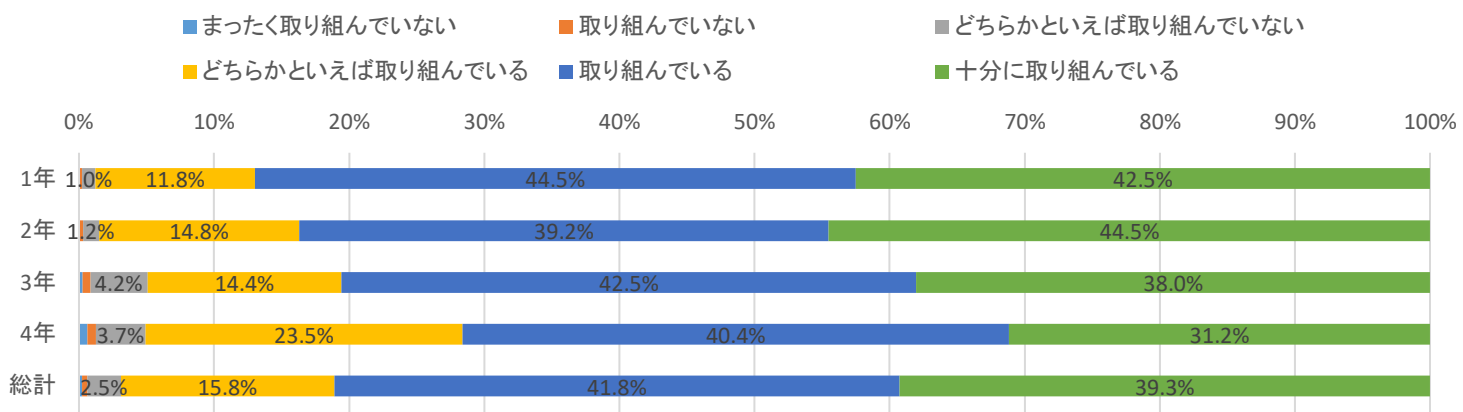


(3) 授業全体の難易度

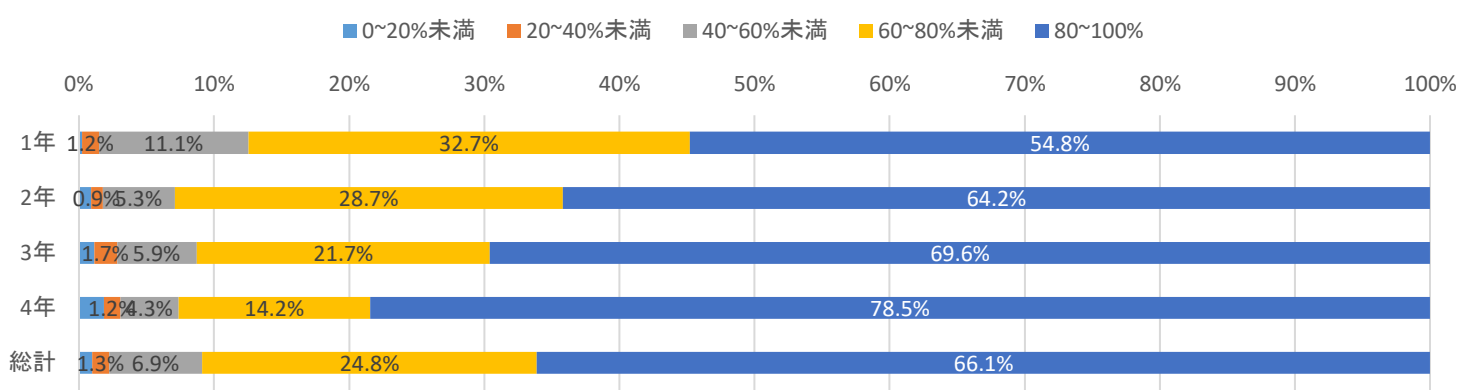
(無効回答 4年：1)



(4) 授業（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は課題など）への積極的耳（無効回答 2年：1、4年：2）

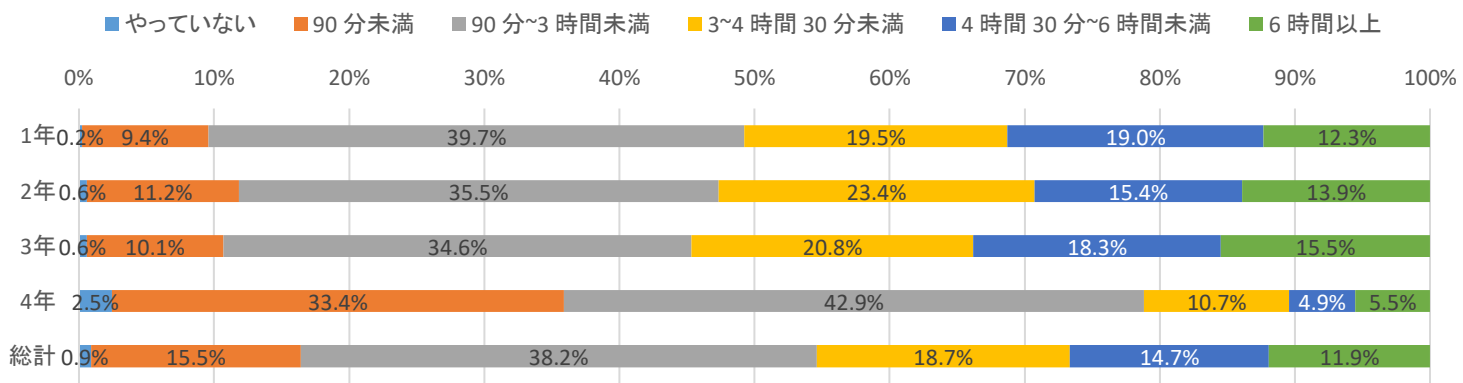


(5) 4年間で卒業できる自信（無効回答 4年：1）

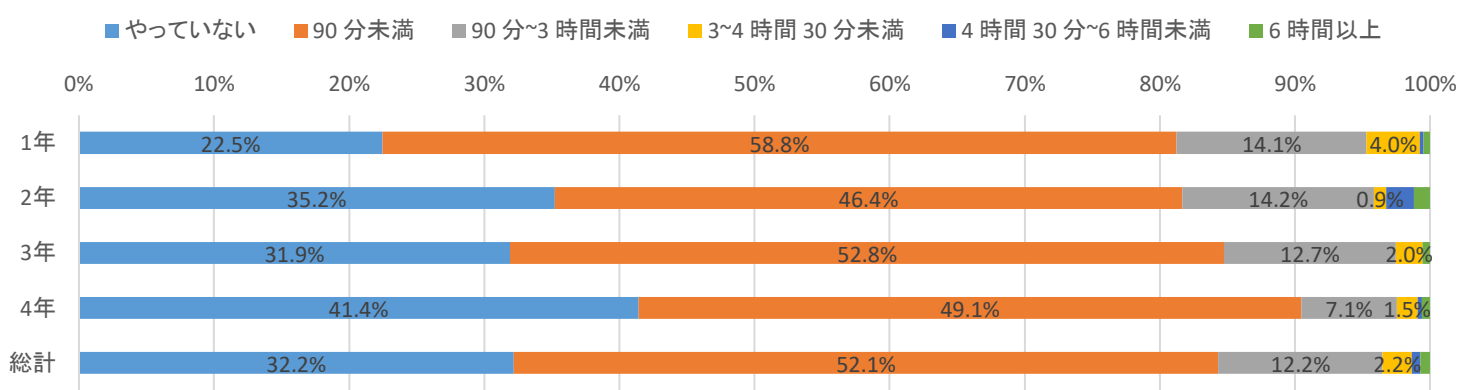


2. 1週間（平均的な）における授業時間外での学修行動について

(6) 先生に指示された授業での発表の準備、課題やレポート、宿題などをのくらいやりました（無効回答 1年：1）

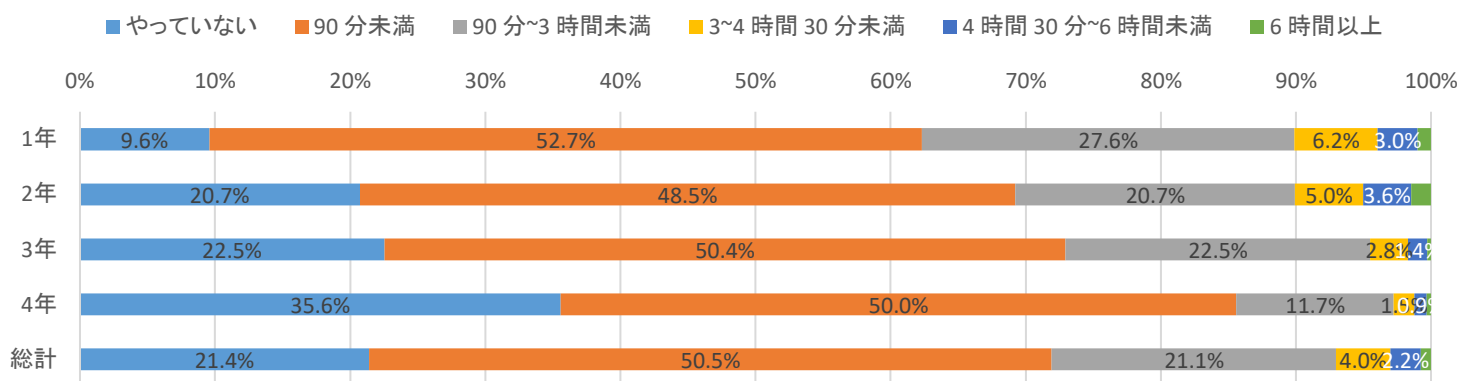


(7) 授業の予習をどのくらいしていますか（無効回答 1年：2、3年：1）



(8) 授業の復習をどのくらいしていますか

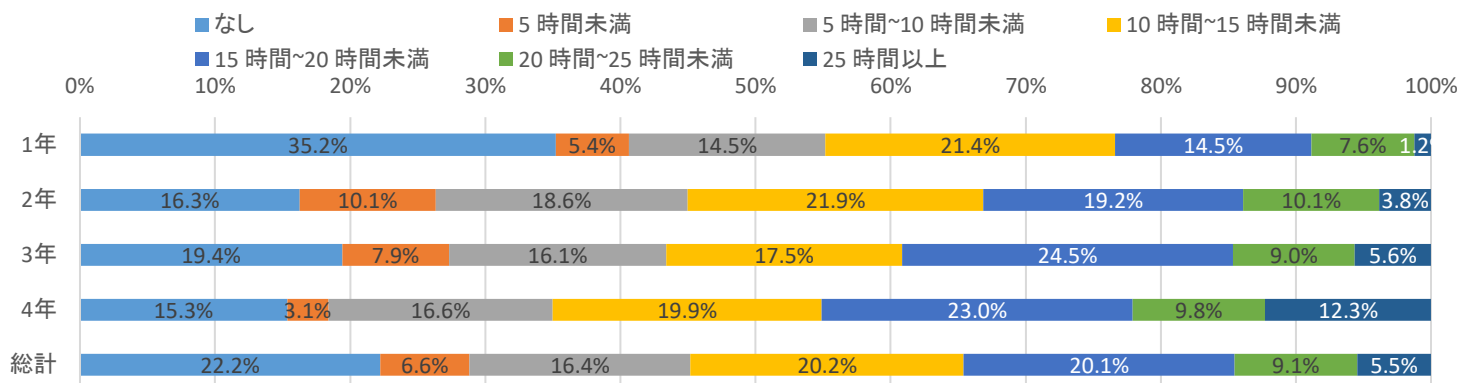
(無効回答 1年：1)



3. 1週間（平均的な）における授業以外の学修活動や行動についてか

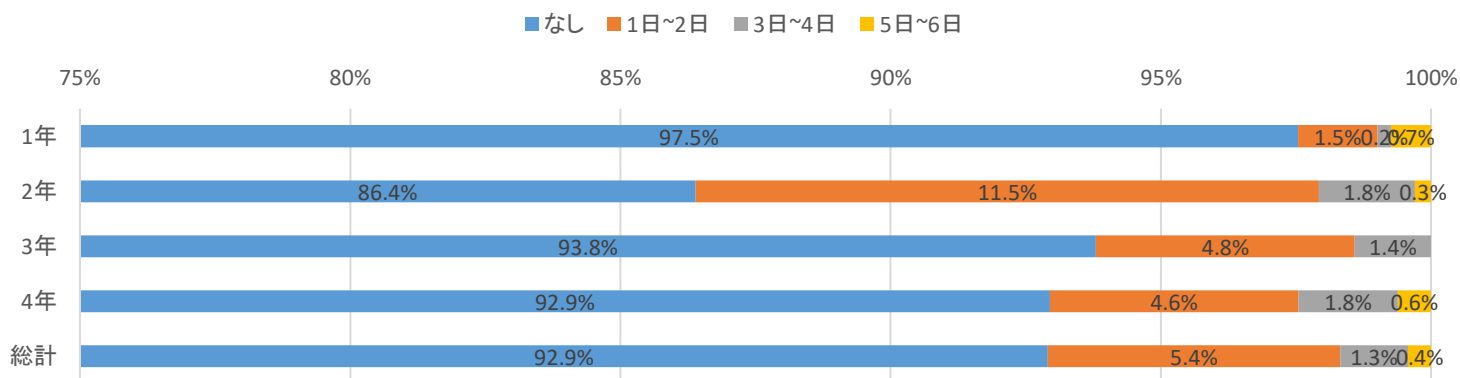
(9) アルバイトをどのくらいしていますか

(無効回答 1年：1)



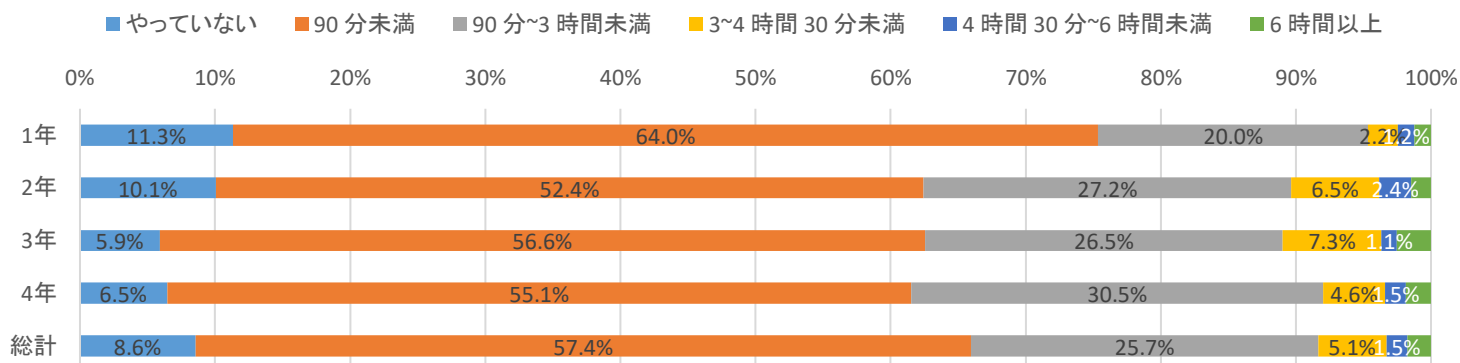
(10) 部活・サークル活動をどのくらいしていますか

(無効回答 1年：1)



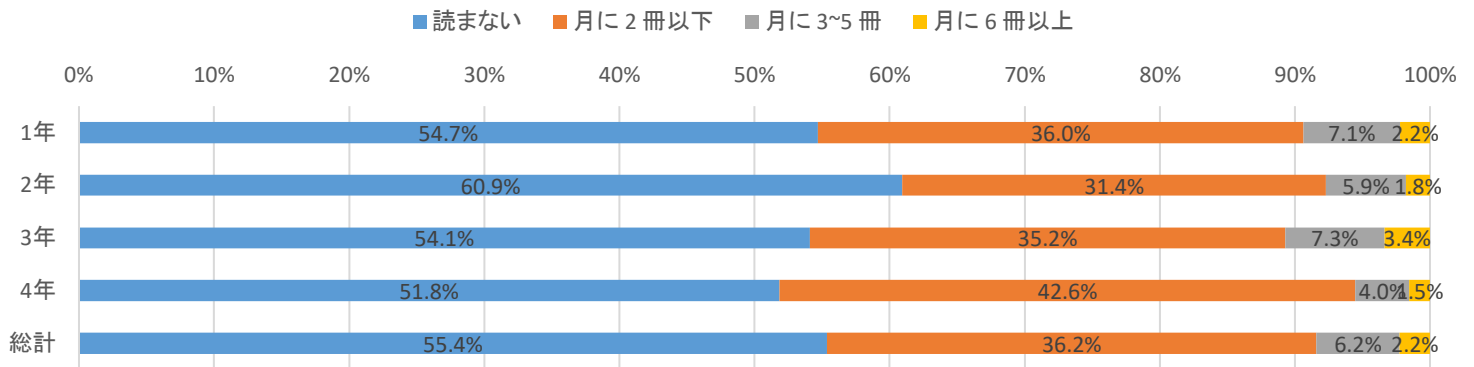
(11) ネットやテレビ、新聞、雑誌などのニュースや記事を見て社会の動きを知

(無効回答 1年：1、4年：1)



(12) 本をどのくらい読んでいますか

(無効回答 1年：1)

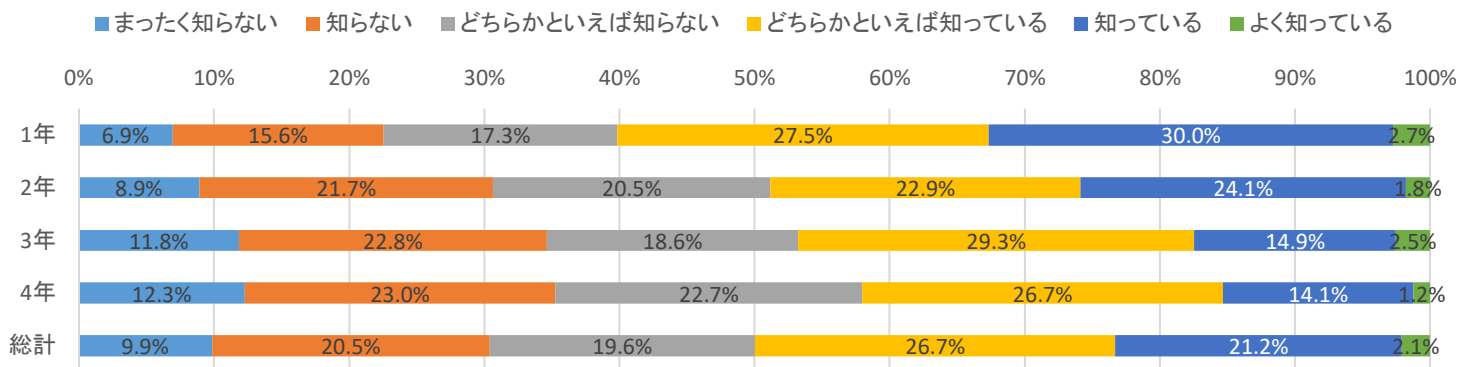


【学修成果調査】 大学全体

1. 教育理念について

(1) 本学の建学の精神「徳を成す人間の育成」を知っていますか

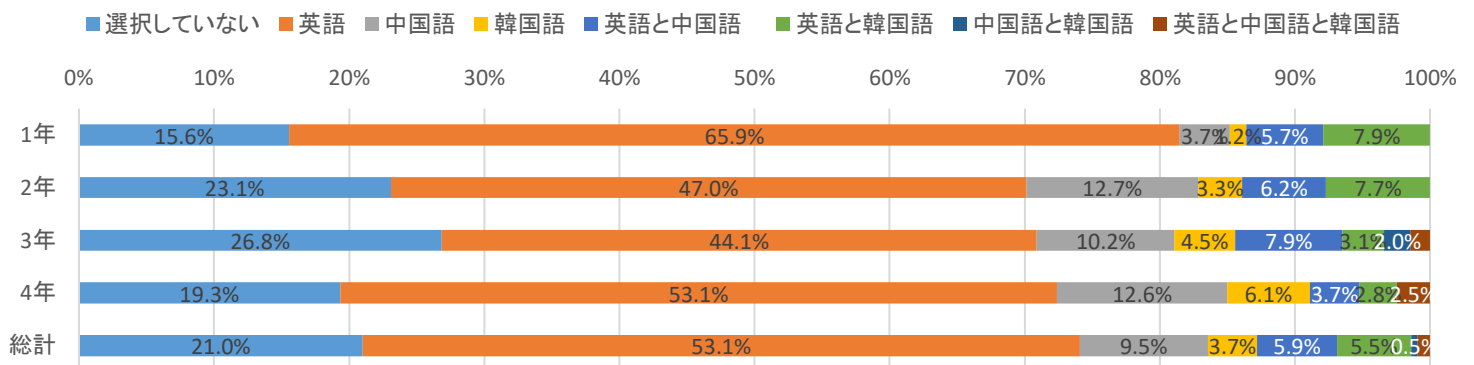
(無効回答 1年：3、2年：2)



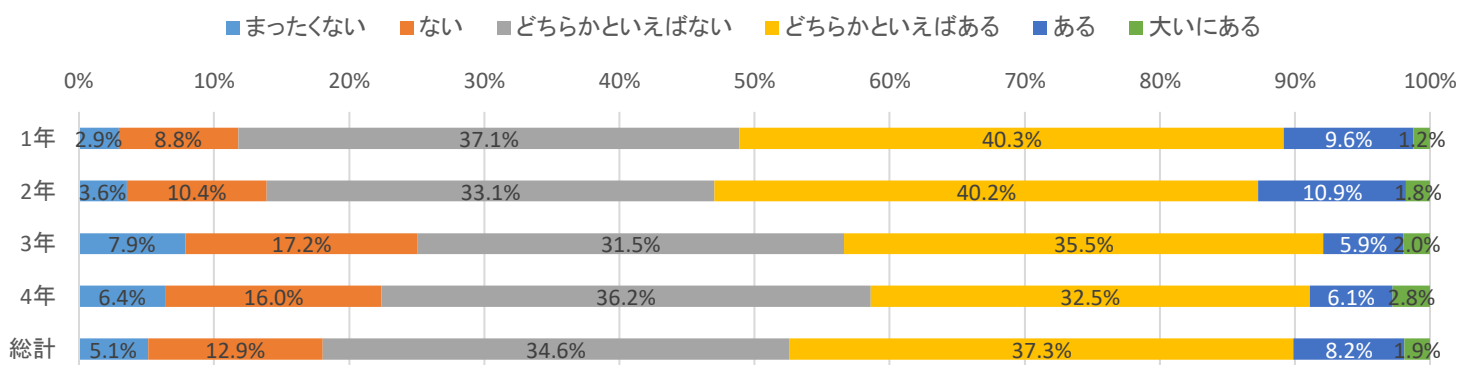
2. 外国語能力について

(2) 外国語の授業を選択していますか・いましたか

(無効回答 1年：2、3年：1)

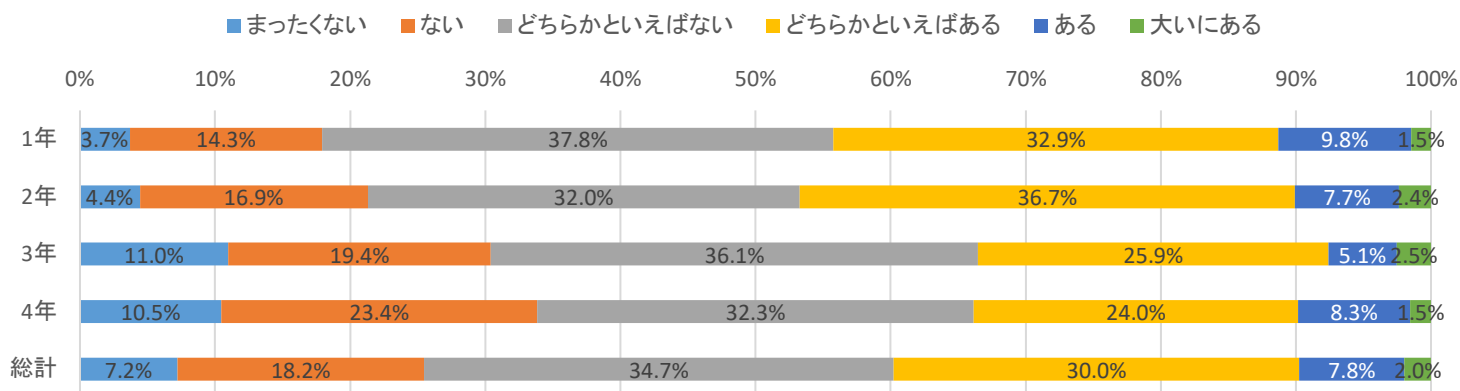


(3) 読む力はどの程度ありますか

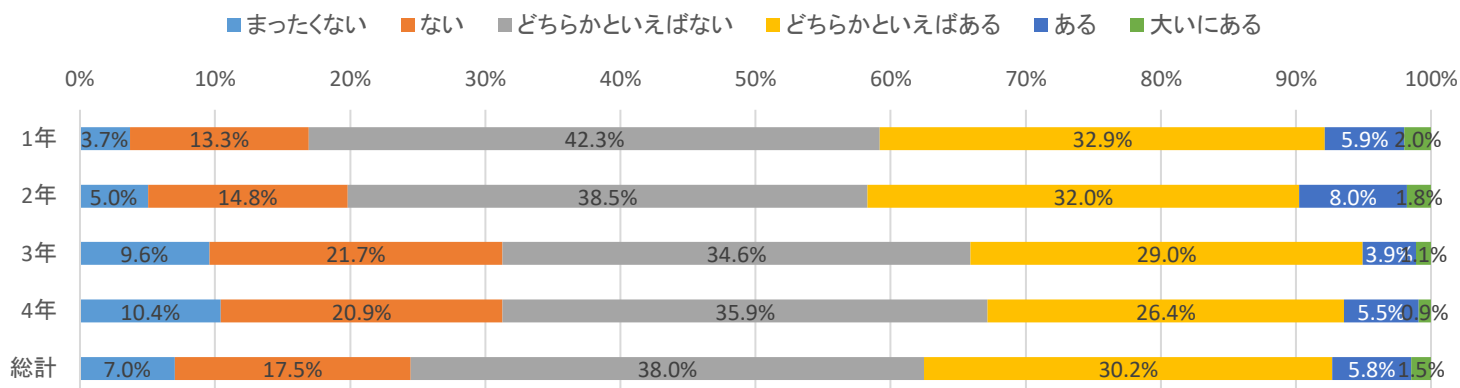


(4) 会話力（話す、聞く）はどの程度ありますか

（無効回答 4年：1）



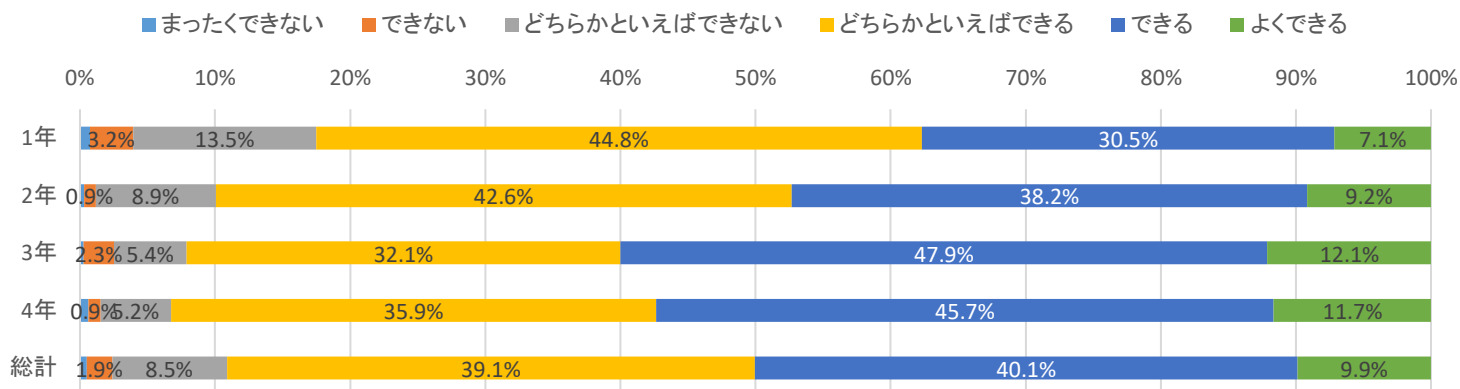
(5) 書く力はどの程度ありますか



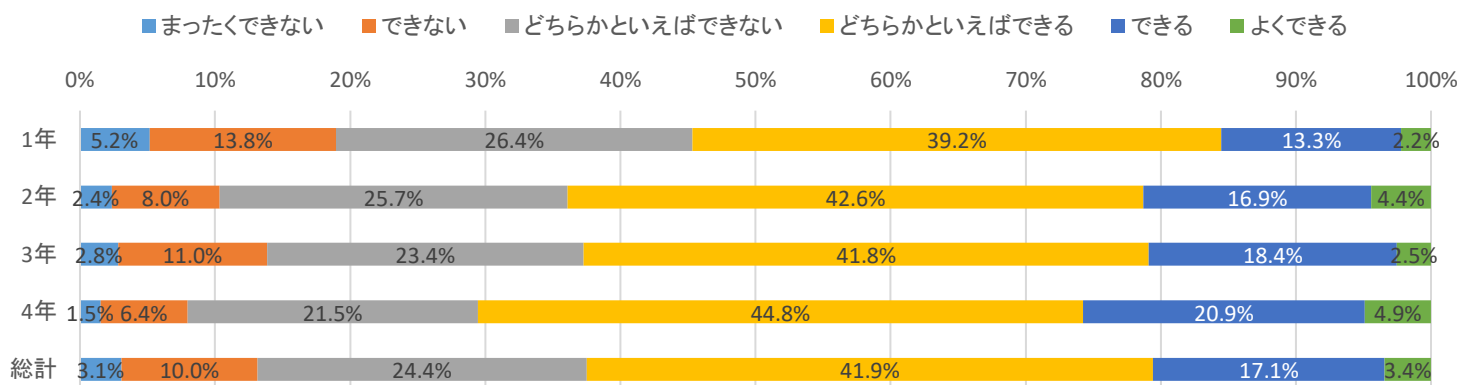
3. ICTリテラシー（＝情報機器やインターネットを使う能力）について

(6) 文章作成ソフト（Wordなど）を使って文章を作成することがどの程度できます

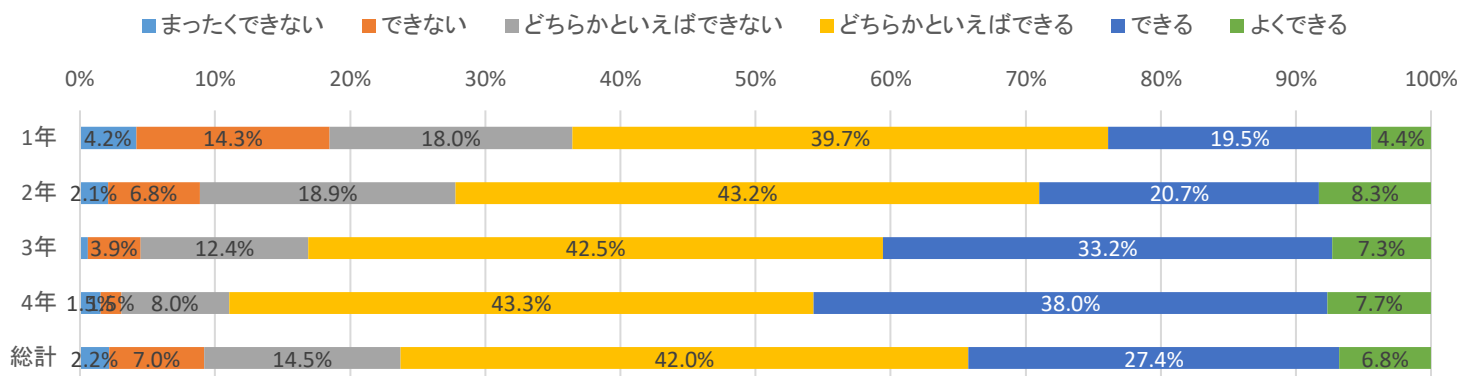
（無効回答 1年：1）



(7) 表計算ソフト（Excelなど）を使って図表を作成することがどの程度できます（無効回答 1年：1、3年：1）

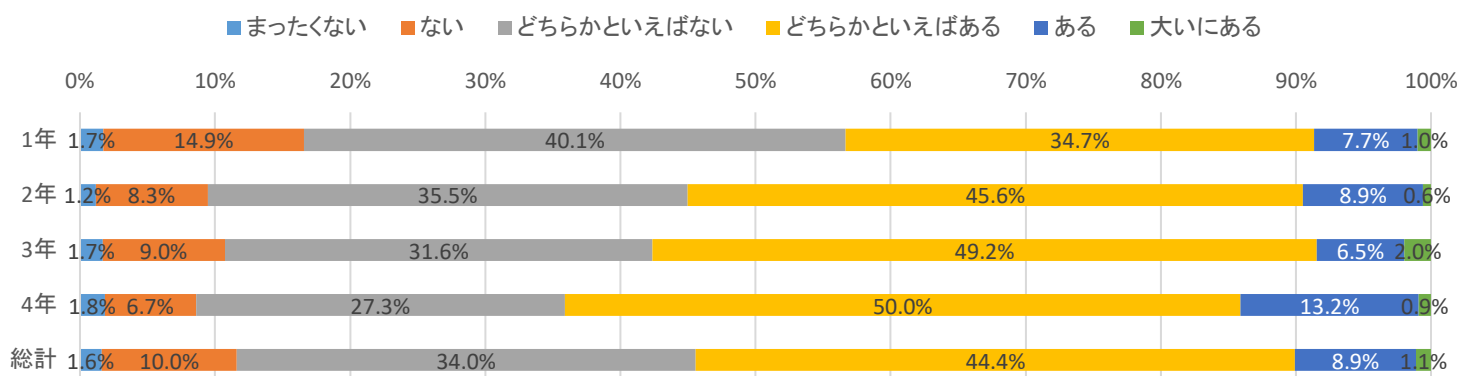


(8) プレゼンテーションソフト（Power Pointなど）による資料作成がどの程度できます；（無効回答 1年：1）

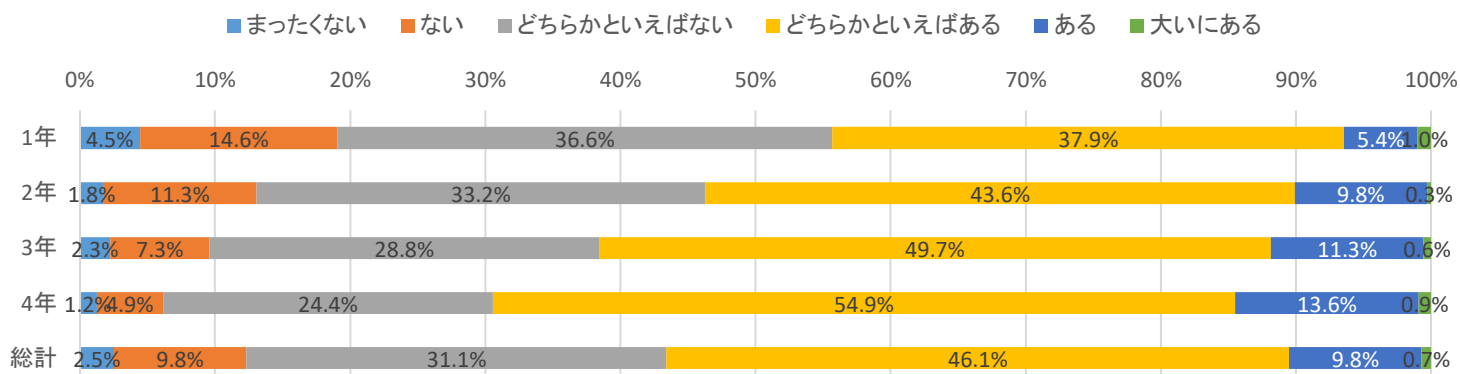


4. 教養・基礎的スキルについて

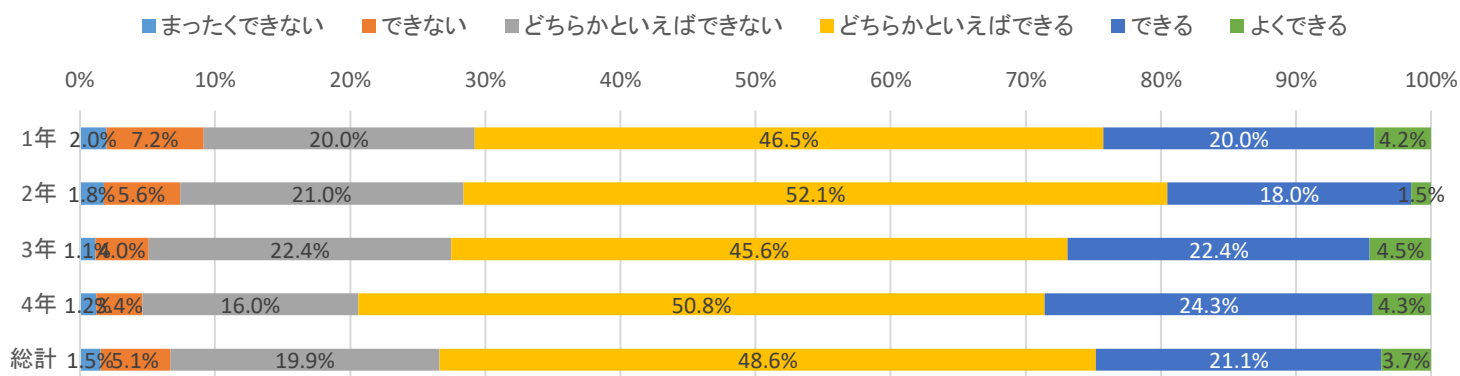
(9) 専門分野の知識とは別に幅広い知識や教養がどの程度ありますか（無効回答 1年：3、3年：1）



(10) レポートや論文作成に必要なスキル（文献検索、書式・作法、論理構成、：1、2年：1、3年：1、4年：2）



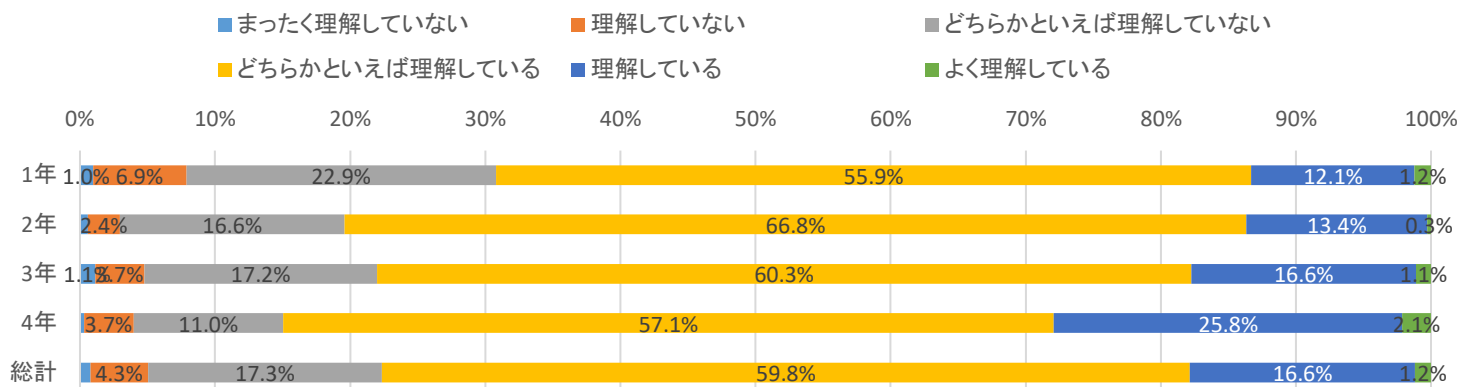
(11) ディスカッションの中で他者の意見をきちんと聞きながら自分の意（無効回答 1年：3、3年：2、4年：1）



5. 専門知識・専門的スキルについて

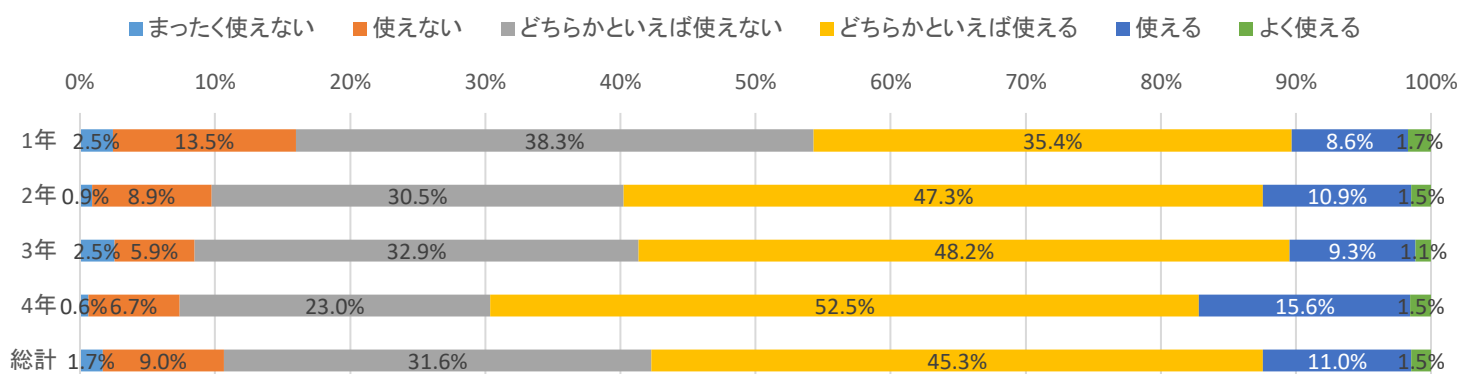
(12) 専門知識をどの程度、理解していますか

(無効回答 1年：1、2年：1)



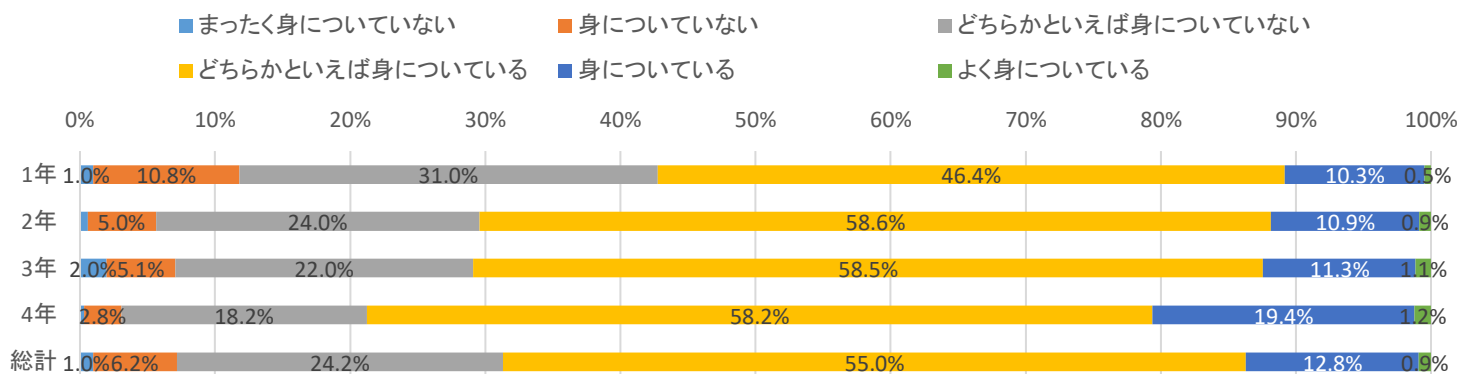
(13) 専門知識を実際の場面で使うことがどの程度できますか

(無効回答 3年：2)

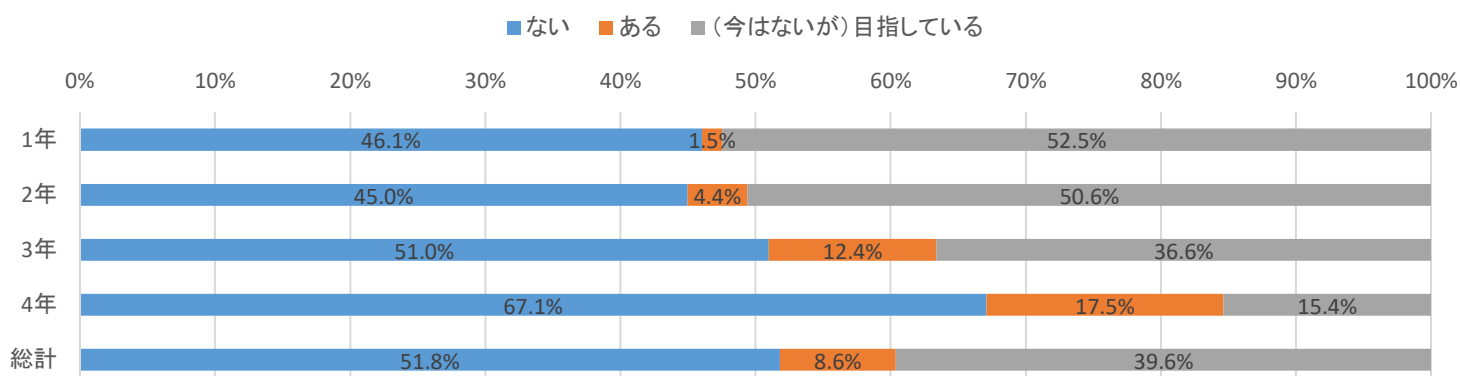


(14) 専門的スキルがどの程度身についていますか

(無効回答 3年：1、4年：1)

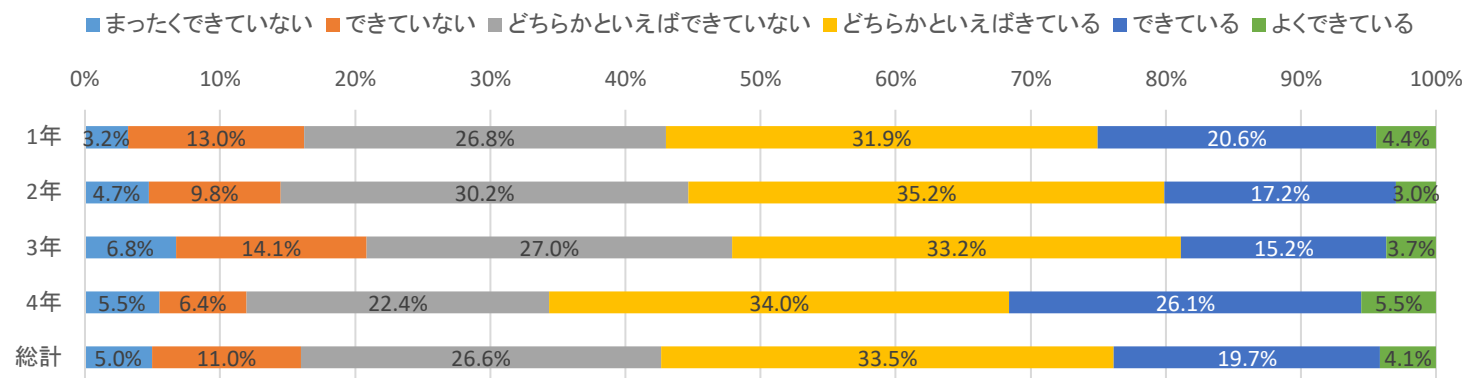


(15) 大学入学後の専門分野に関連する資格の取得、検定試験での一定の点数取得 (無効回答 1年：1、4年：1)



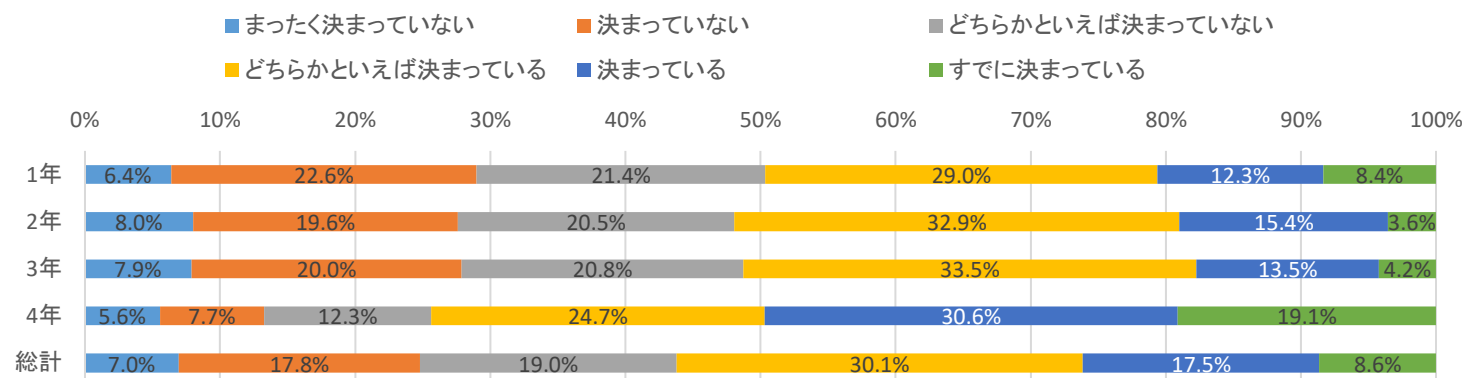
6. 社会で活躍するための力（キャリア教育、社会人基礎力）について

(16) 「自分が働く」とはどのようなことかを、どの程度イメージできていますか



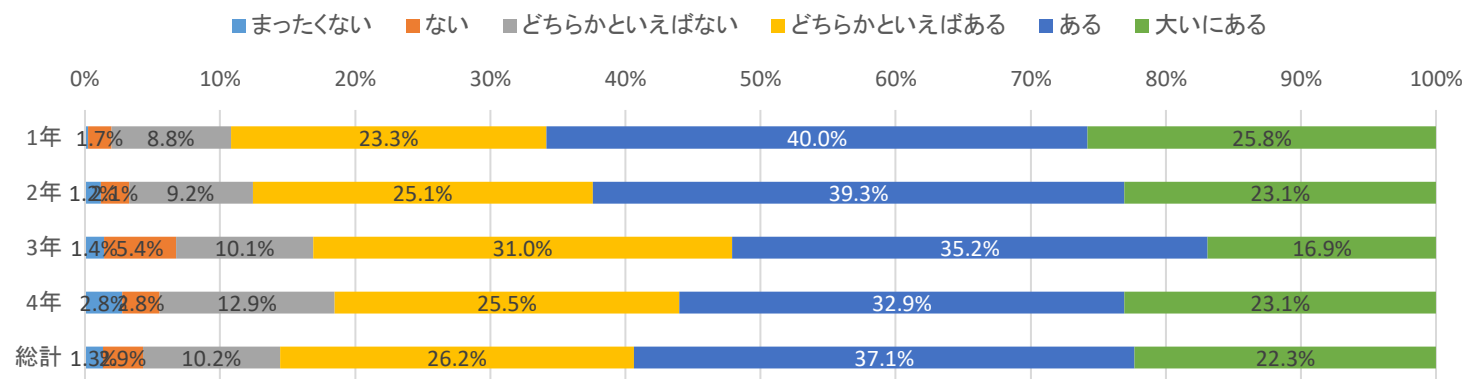
(17) 将来の進路（職業、進学など）がどの程度決まっていますか

(無効回答 2年：1、4年：2)

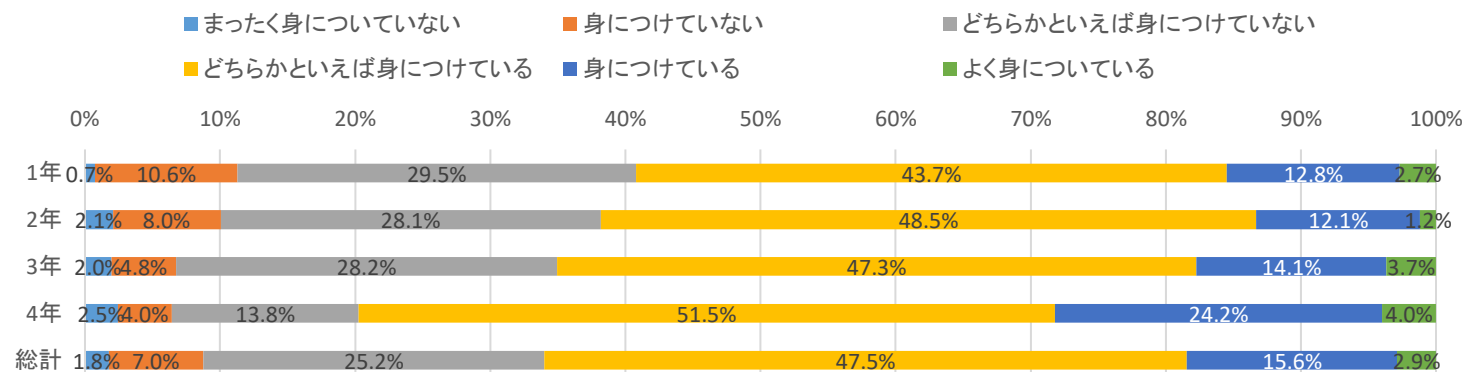


(18) 就職活動を最後まで頑張る自信がどの程度ありますか

(無効回答 4年：1)



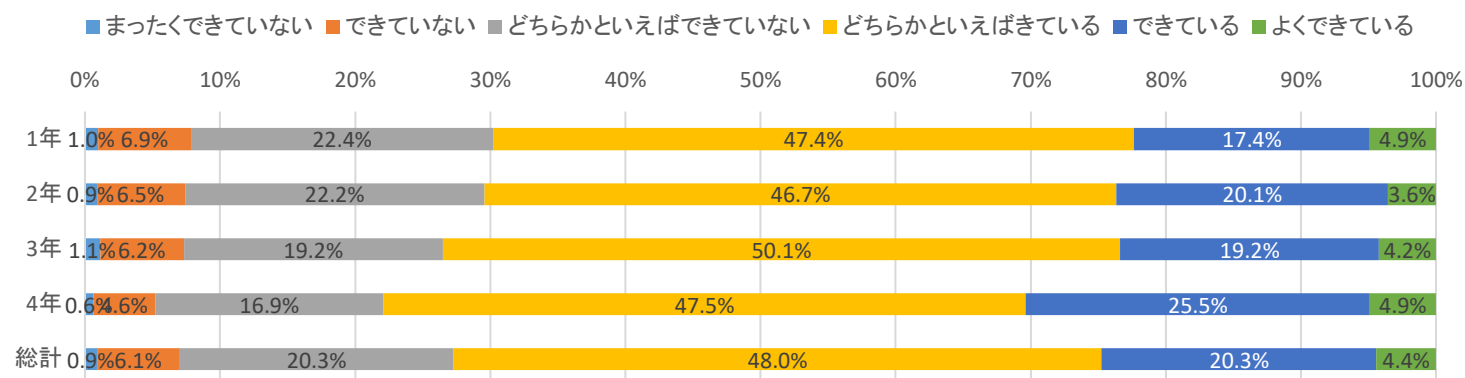
(19) 社会に出て仕事や社会的活動を行うために必要な力を、どの程度身につけていますか



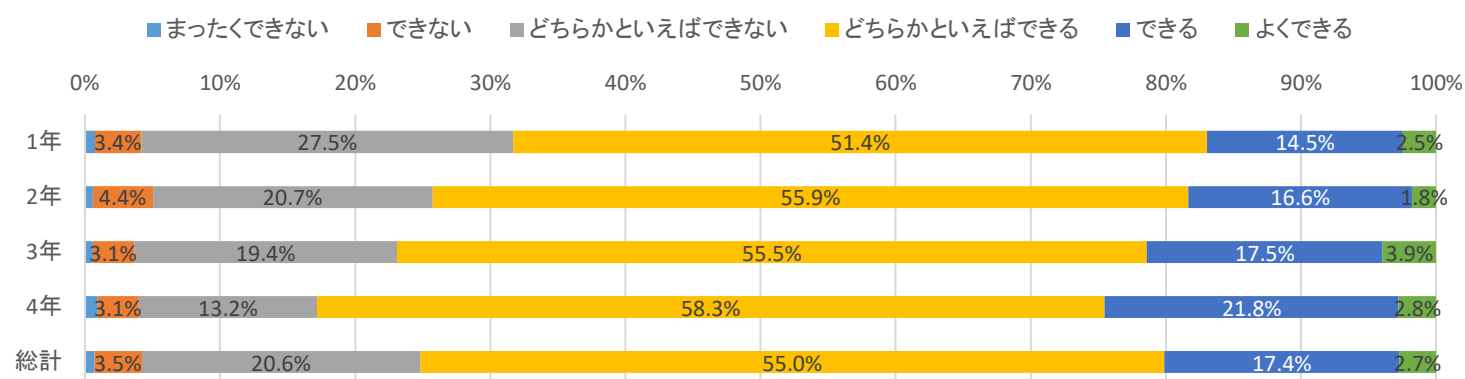
7. 総合力について

・上記の「2」～「6」の学びを通して、以下の力がどの程度、身についていると思うかお答えください。

(20) 自分の考えを文章や口頭で他者にきちんと説明する

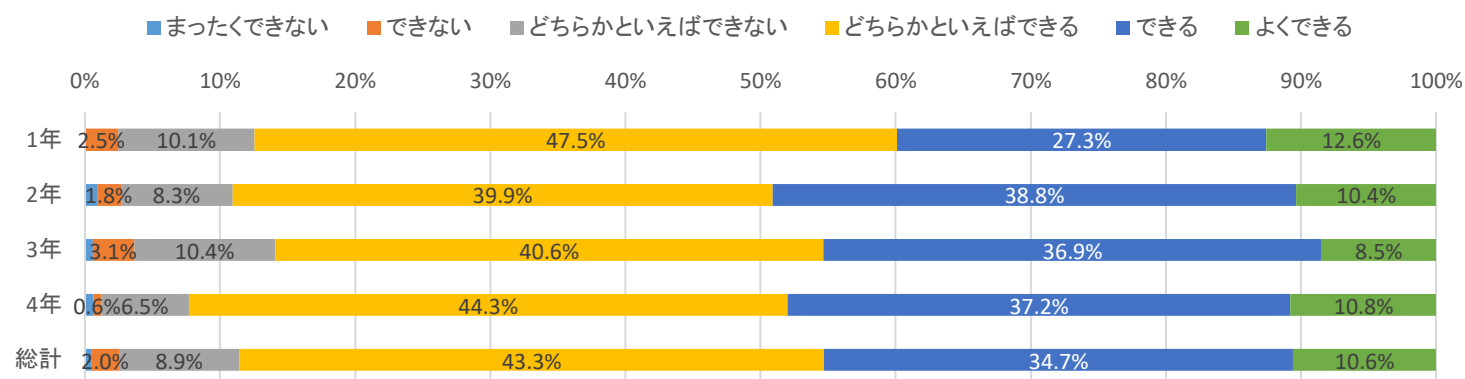


(21) 課題を見つけ出しそれに対する最善の解決方法を考える



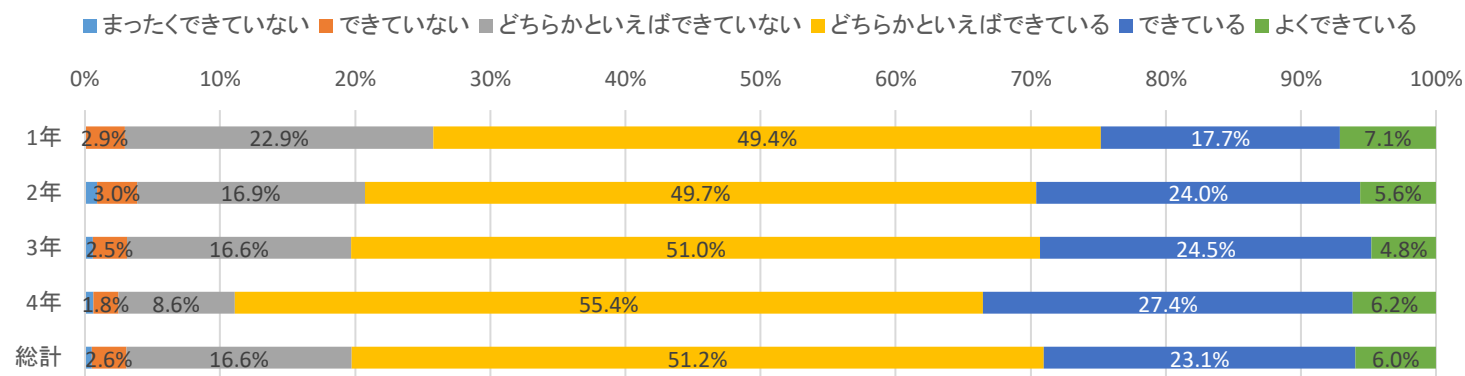
(22) 他者とコミュニケーションを図りながら相互理解を深めていく

(無効回答 1年：1、4年：1)

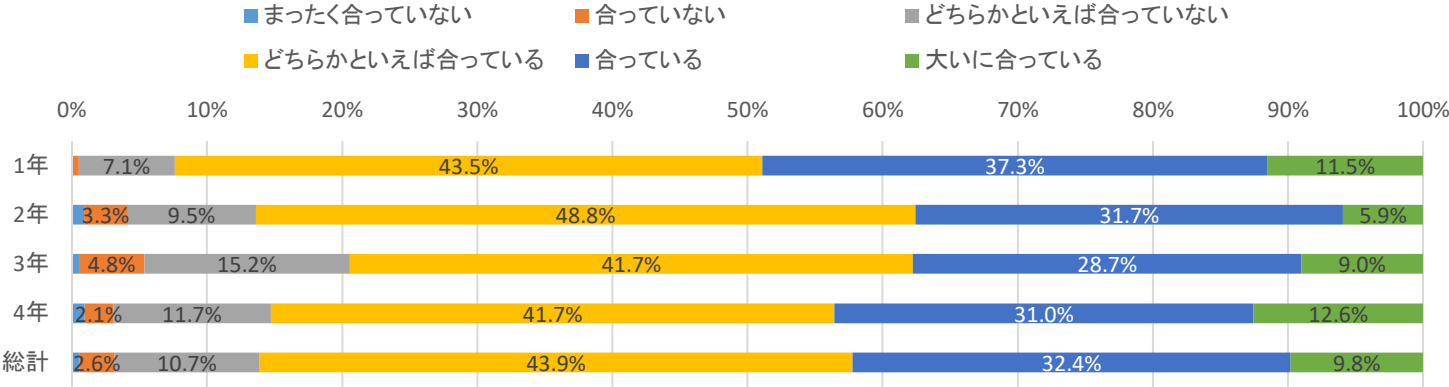


(23) 自分自身の「ものの見方・考え方」をつくり上げる

(無効回答 4年：1)



(24)興味関心や資質・適性からみて学部学びは自分にどの程度合っているか



B (参考) 2017年度入学生の集計結果

【分析基準】

表Ⅱ-2-5 分析基準（学修行動）

	調査項目 (2017～2019or2020年度共通項目)	及第基準
授業時間内	出席	「60～80%・80～100%」の合計
	興味ある授業	「60～80%・80～100%」の合計
	授業が難しい	「やや難しい・非常に難しい」の合計
	授業への積極的取組	「ある程度・ほぼ・よくできている」の合計
	卒業の自信	「60～80%・80～100%」の合計
授業時間外	指示された課題（1週間）	「3～4時間・4時間30分～6時間・6時間以上」の合計
	授業の予習（1週間）	「3～4時間・4時間30分～6時間・6時間以上」の合計
	授業の復修（1週間）	「3～4時間・4時間30分～6時間・6時間以上」の合計
授業以外	アルバイト（1週間）	「15時間以上」の合計
	部活・サークル（1週間）	「3日以上」の合計
	読書（1ヵ月）	「月に2冊以下・月に3～5冊・月に6冊以上」の合計

表Ⅱ-2-6 分析基準（学修成果）

	調査項目 (2017～2019or2020年度共通項目)	及第基準
外国語	外国語の選択	「英語、中国語、韓国語、複数の外国語」の合計
	外国語を読む力	「ある程度・ほぼ・大いにある」の合計
	外国語の会話力	「ある程度・ほぼ・大いにある」の合計
	外国語を書く力	「ある程度・ほぼ・大いにある」の合計
ICTリテラシー	文章作成ソフト	「ある程度・ほぼ・よくできる」の合計
	表計算ソフト	「ある程度・ほぼ・よくできる」の合計
	プレゼンテーションソフト	「ある程度・ほぼ・よくできる」の合計
教養・ 基礎的スキル	幅広い知識と教養	「ある程度・かなり・大いにある」の合計
	論文執筆スキル	「ある程度・かなり・大いにある」の合計
	ディスカッション	「ある程度・ほぼ・よくできる」の合計
専門知識・ スキル	専門知識の理解	「ある程度・ほぼ・よく理解している」の合計
	専門知識の使用	「ある程度・ほぼ・よく使える」の合計
	専門的スキル	「ある程度・ほぼ・よく身につけている」の合計
	専門分野の資格	「ある・目指している」の合計
キャリア	自分が働くイメージ	「ある程度・ほぼ・よくできている」の合計
	将来の進路	「ある程度・ほぼ・すでに決まっている」の合計
総合力	自分の考えを他者に説明	「ある程度・ほぼ・よくできている」の合計
	課題の発見と解決	「ある程度・ほぼ・よくできている」の合計
	コミュニケーションによる相互理解	「ある程度・ほぼ・よくできている」の合計
	ものの見方・考え方	「ある程度・ほぼ・よくできている」の合計

【集計結果】

表Ⅱ-2-7 4年間での及第者の割合の増減（学修行動）

		2017年度入学者	2016年度入学者
授業時間内	出席	-0.4%	-4.4%
	興味ある授業	27.0%	0.4%
	★授業の難易度（難しい）	-12.9%	-22.9%
	★授業への積極的取組	-4.8%	-4.0%
	卒業の自信	9.7%	12.8%
授業時間外	指示された課題（1週間）	-0.9%	2.2%
	授業の予習（1週間）	0.8%	3.1%
	授業の復修（1週間）	-3.3%	-3.1%
授業以外	アルバイト（1週間）	18.0%	20.3%
	部活・サークル（1週間）	-11.7%	-7.0%
	読書（1か月）	4.4%	-7.5%

（注）★印は3年次の値。

表Ⅱ-2-8 4年間での及第者の割合の増減（学修成果）

		2017年度入学者	2016年度入学者
外国語	外国語の選択	-11.3%	-3.1%
	★外国語を読む力	-5.2%	-7.0%
	★外国語の会話力	1.2%	-2.2%
	★外国語を書く力	-2.4%	-1.3%
ITリテラシー	★文章作成ソフト	14.9%	7.9%
	★表計算ソフト	7.7%	3.1%
	★プレゼンテーションソフト	19.2%	12.3%
教養・基礎	★幅広い知識と教養	11.4%	8.8%
	★論文執筆スキル	14.9%	13.2%
	★ディスカッション	18.5%	18.9%
専門分野	★専門知識の理解	21.9%	24.9%
	★専門知識の利用	15.8%	26.4%
	★専門的スキル	18.2%	20.6%
	専門分野の資格	5.3%	-2.6%
キャリア	★自分が働くイメージ	-0.5%	-4.4%
	★将来の進路	-6.6%	19.8%
総合力	★自分の考えを他者に説明する	16.8%	30.5%
	★課題の発見と解決	3.1%	26.4%
	★コミュニケーションによる相互理解	16.0%	27.3%
	★ものの見方・考え方	10.0%	29.1%

（注）★印は3年次の値。

表Ⅱ-2-9 4年次の及第者の割合（学修行動）

		2017年度入学者	2016年度入学者
授業時間内	出席	96.0%	92.5%
	興味ある授業	62.5%	44.1%
	★授業の難易度（難しい）	18.7%	16.3%
	★授業への積極的取組	62.9%	72.7%
	卒業の自信	93.1%	94.7%
授業時間外	指示された課題（1週間）	21.0%	21.6%
	授業の予習（1週間）	2.0%	4.8%
	授業の復修（1週間）	2.4%	4.4%
授業以外	アルバイト（1週間）	45.2%	48.0%
	部活・サークル（1週間）	2.4%	5.3%
	読書（1か月）	50.0%	41.0%

（注）★印は3年次の値。

表Ⅱ-2-10 4年次の及第者の割合（学修成果）

		2017年度入学者	2016年度入学者
外国語	外国語の選択	82.7%	82.4%
	★外国語を読む力	18.5%	15.9%
	★外国語の会話力	14.1%	13.7%
	★外国語を書く力	10.9%	11.0%
ICTリテラシー	★文章作成ソフト	75.8%	73.6%
	★表計算ソフト	45.6%	36.6%
	★プレゼンテーションソフト	64.8%	67.4%
教養・基礎	★幅広い知識と教養	16.6%	18.5%
	★論文執筆スキル	28.6%	30.0%
	★ディスカッション	37.9%	38.8%
専門分野	★専門知識の理解	40.1%	30.0%
	★専門知識の利用	26.7%	22.5%
	★専門的スキル	25.1%	21.6%
	専門分野の資格	32.8%	28.6%
キャリア	★自分が働くイメージ	30.2%	31.7%
	★将来の進路	35.1%	39.2%
総合力	★自分の考えを他者に説明する	42.7%	44.1%
	★課題の発見と解決	43.1%	50.2%
	★コミュニケーションによる相互理解	56.0%	55.9%
	★ものの見方・考え方	37.1%	40.1%

（注）★印は3年次の値。

図 II-2-2 4年間でその及第者の割合の増減（学修行動）

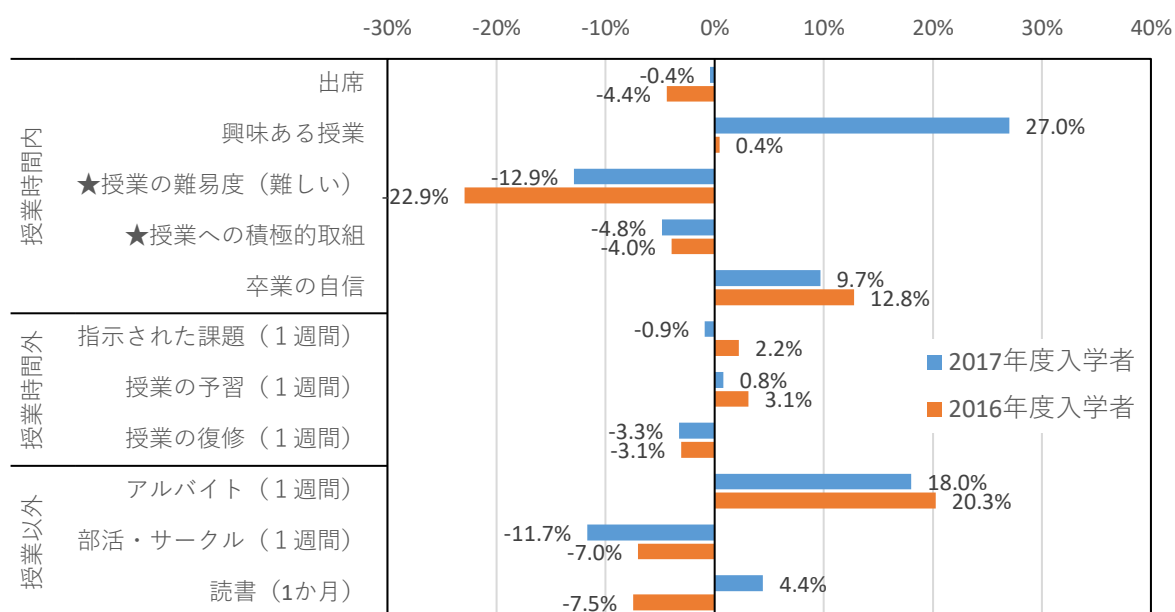


図 II-2-3 4年間でその及第者の割合の増減（学修成果）

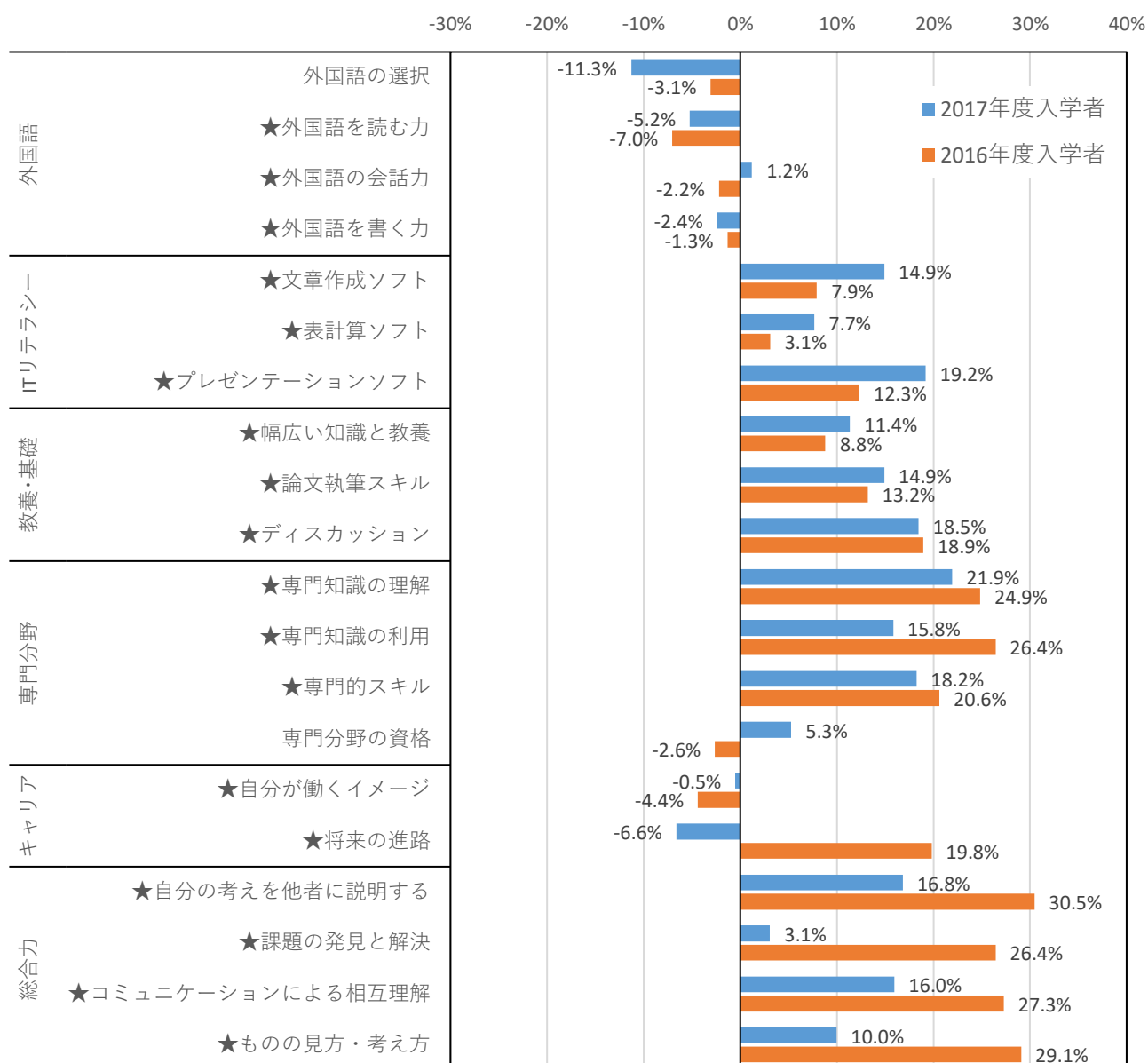


図 II -2-4 4年次の及第者の割合（学修行動）

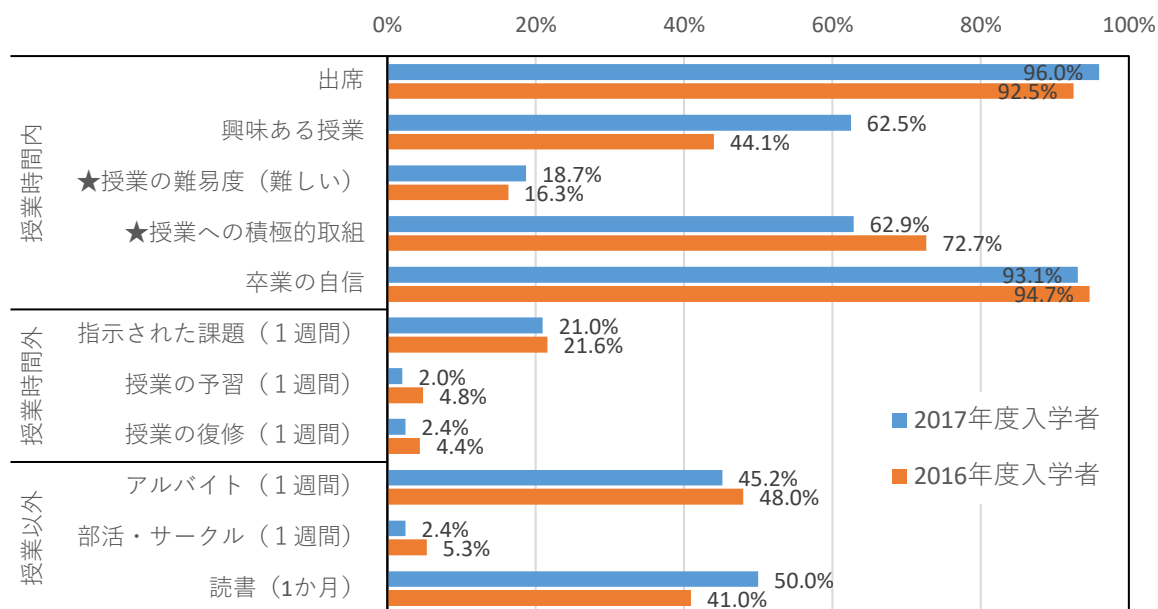
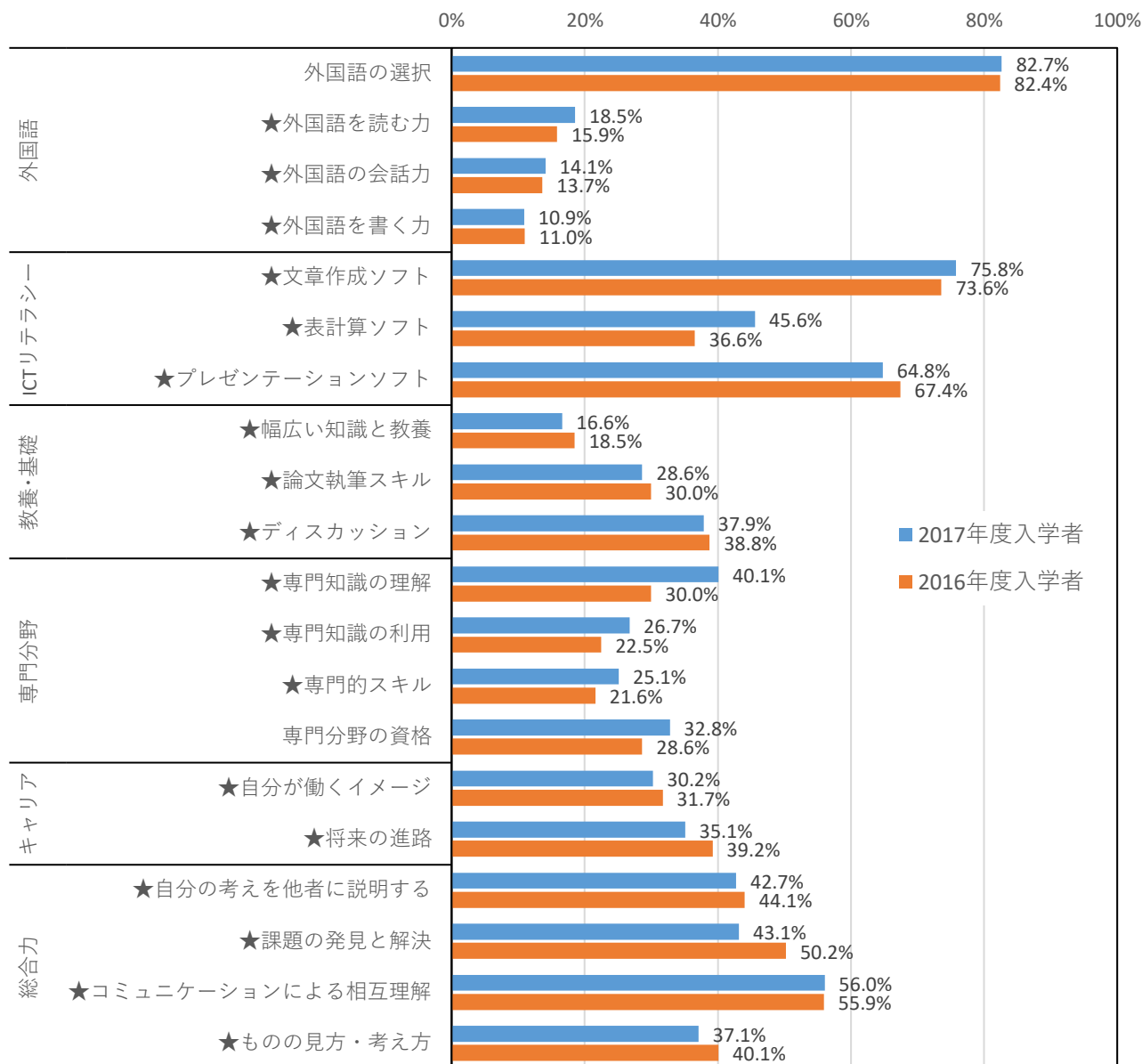


図 II -2-5 4年次の及第者の割合（学修成果）



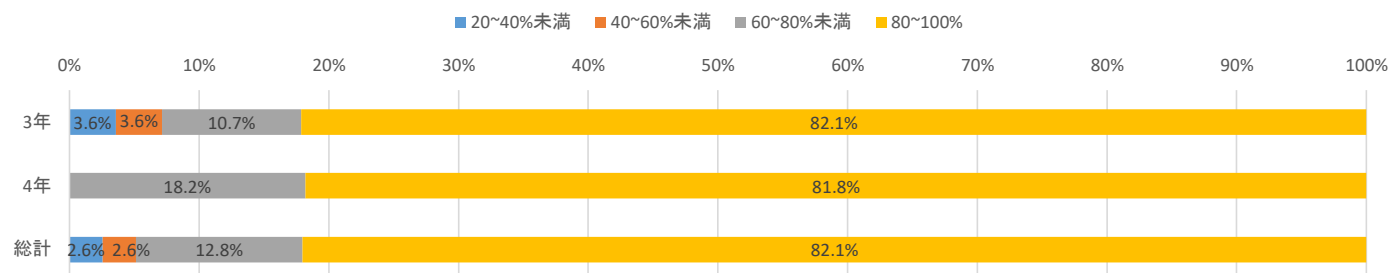
(2) 2020年度在学生の集計結果

2) - 1 日本伝統文化学科

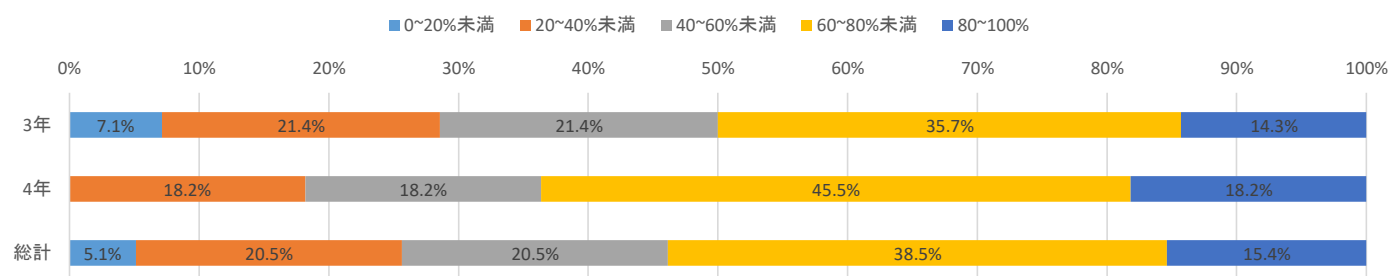
【学修行動】

1. 1週間（平均的な）における学修行動について

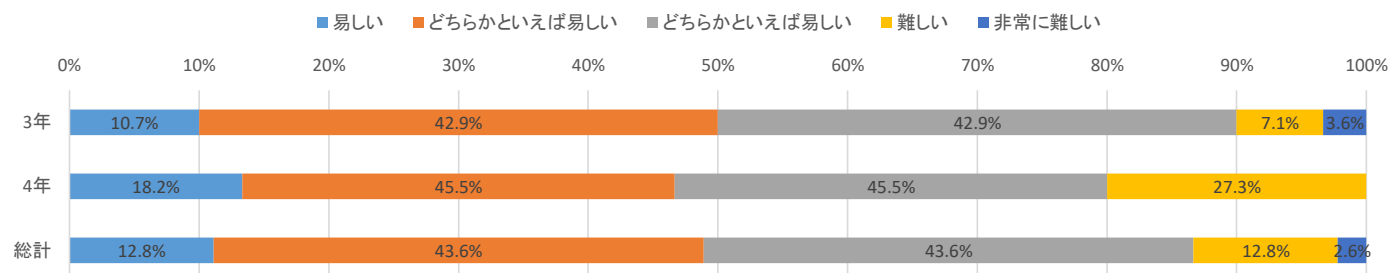
(1) 授業への出席割合（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は、課題などの提出回数などで回答）



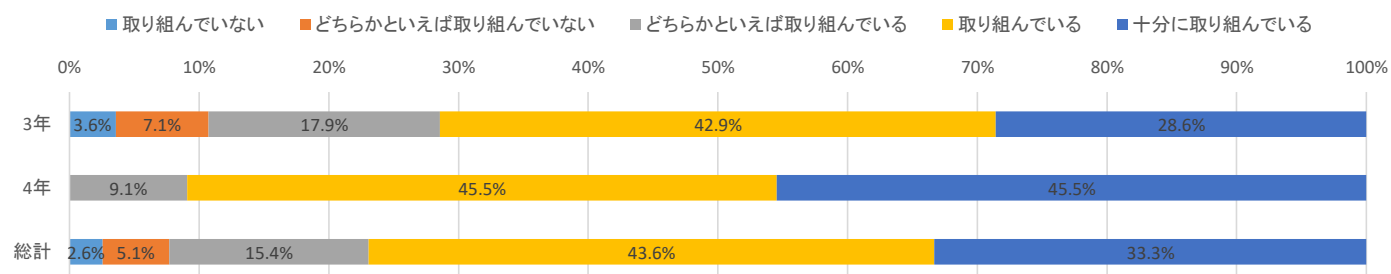
(2) 興味のある授業の割合



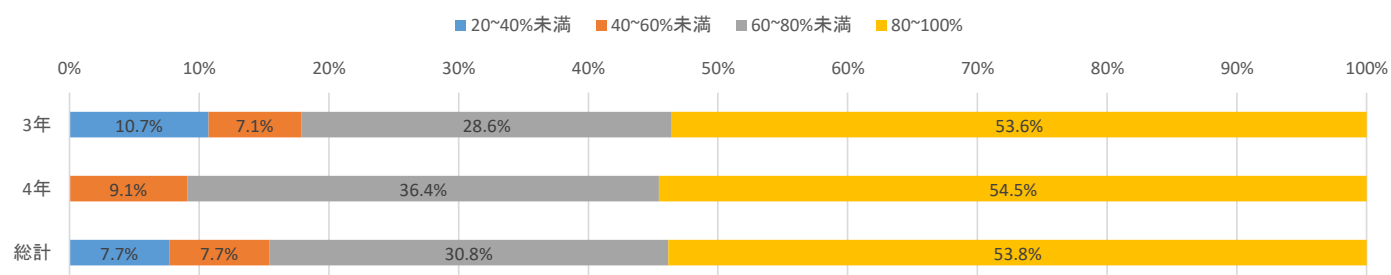
(3) 授業全体の難易度



(4) 授業（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は課題など）への積極的取り組み

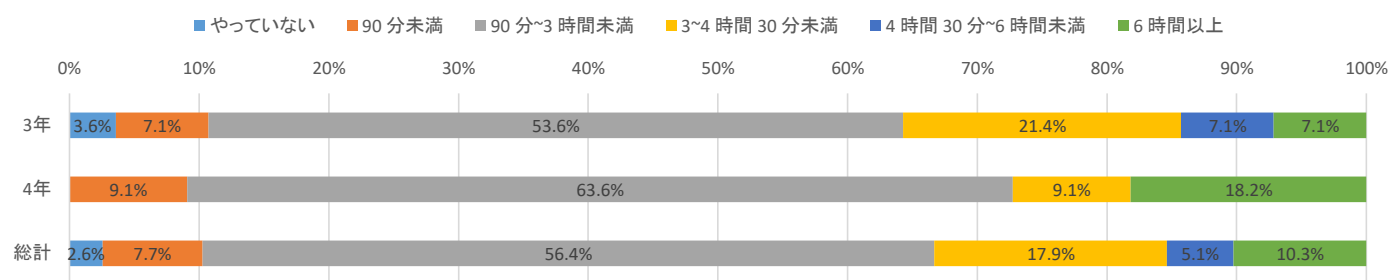


(5) 4年間で卒業できる自信

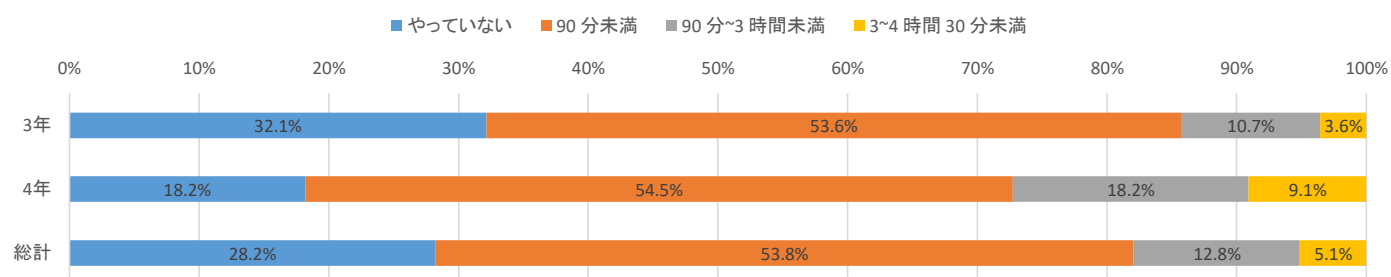


2. 1週間（平均的な）における授業時間外での学修行動について

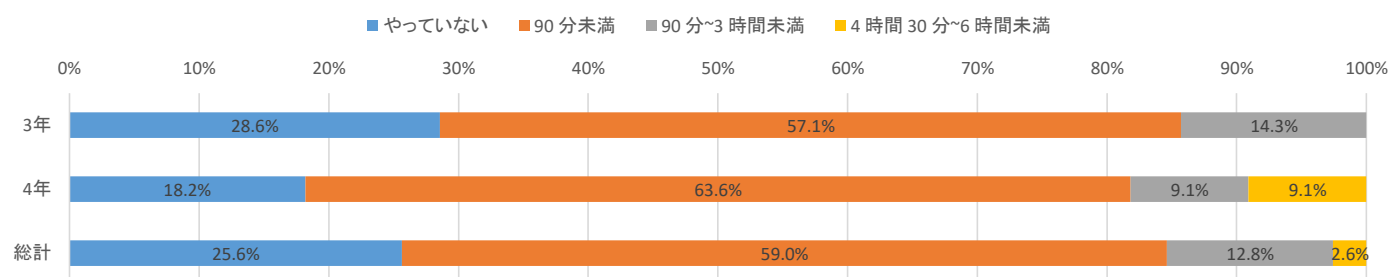
(6) 先生に指示された授業での発表の準備、課題やレポート、宿題などをのくらいやりましたか



(7) 授業の予習をどのくらいしていますか

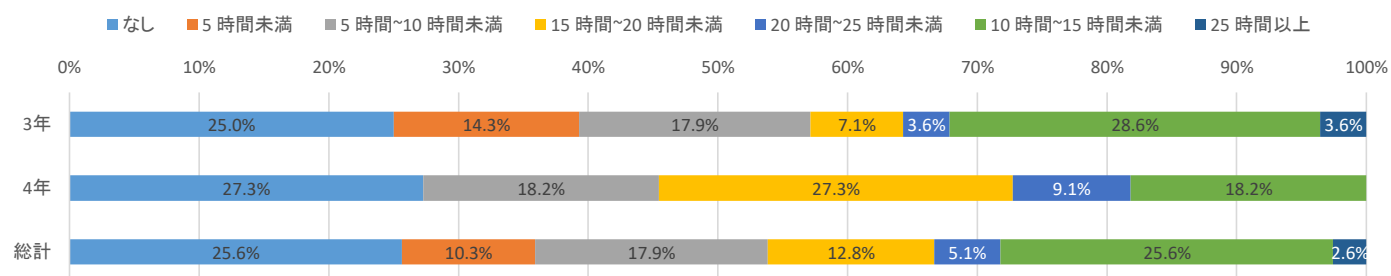


(8) 授業の復習をどのくらいしていますか

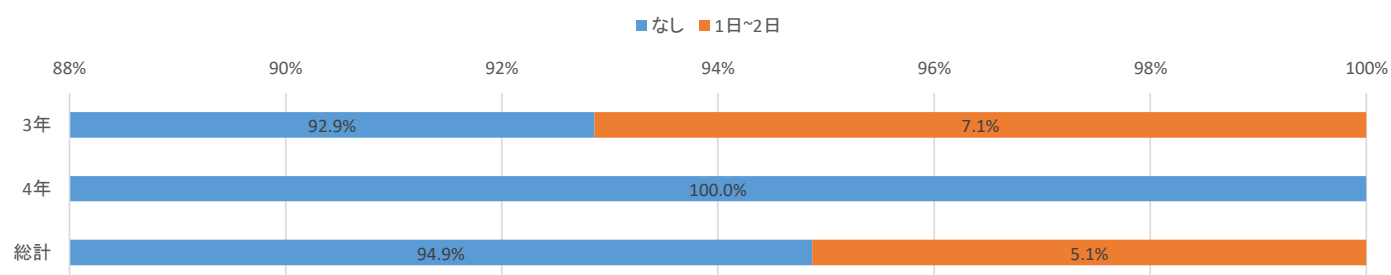


3. 1週間（平均的な）における授業以外の学修活動や行動についてか

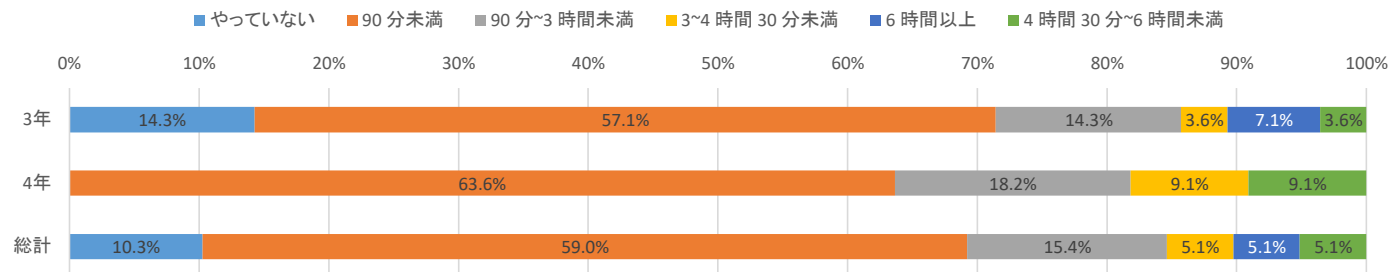
(9) アルバイトをどのくらいしていますか



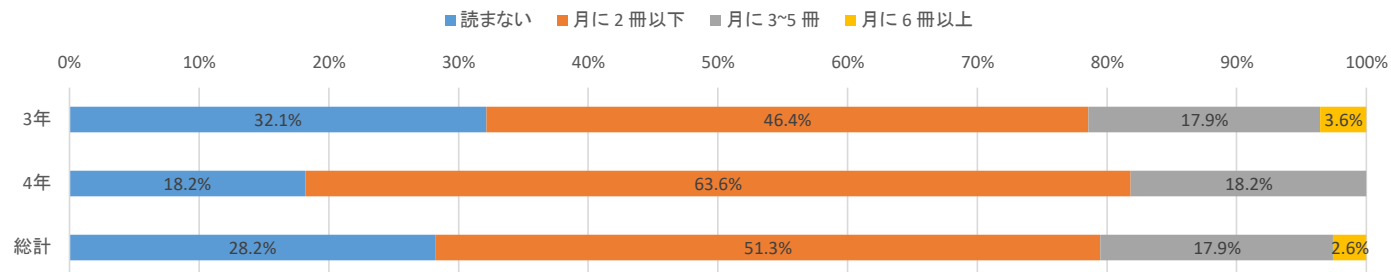
(10) 部活・サークル活動をどのくらいしていますか



(11) ネットやテレビ、新聞、雑誌などのニュースや記事を見て社会の動きを知る努力



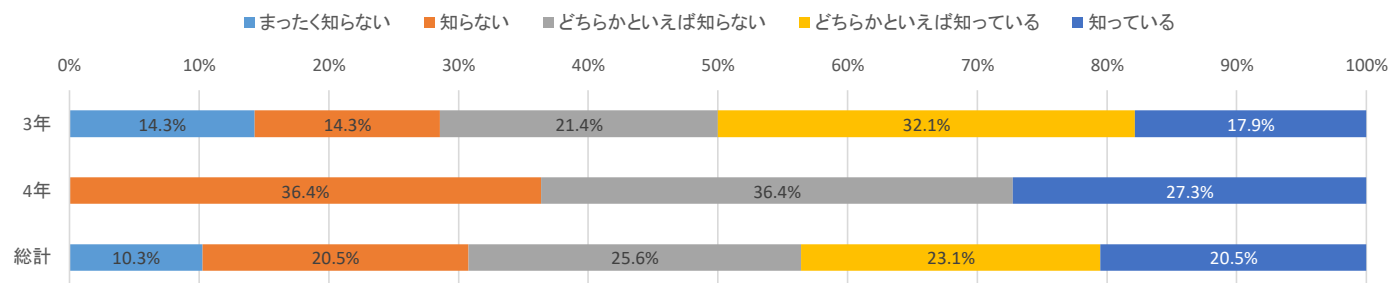
(12) 本をどのくらい読んでいますか



【学修成果調査】

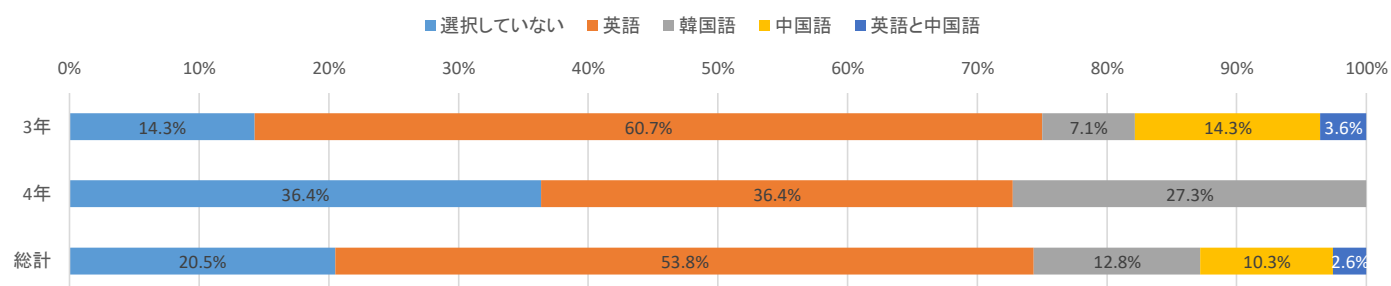
1. 教育理念について

(1) 本学の建学の精神「徳を成す人間の育成」を知っていますか

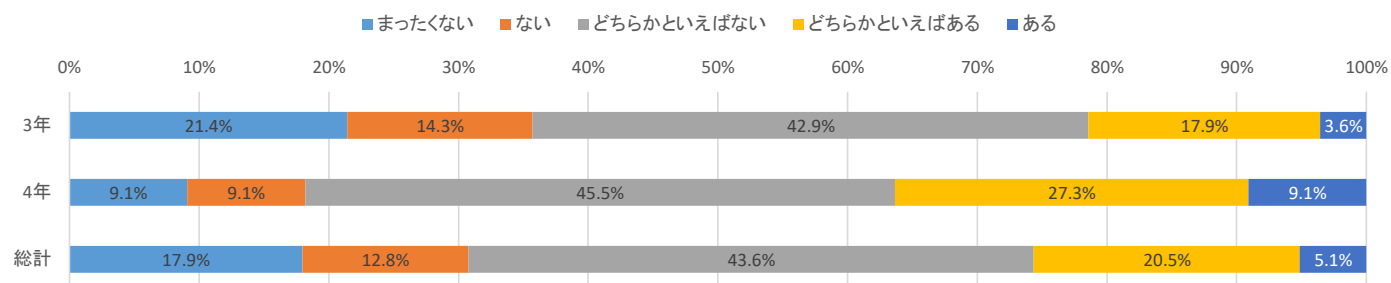


2. 外国語能力について

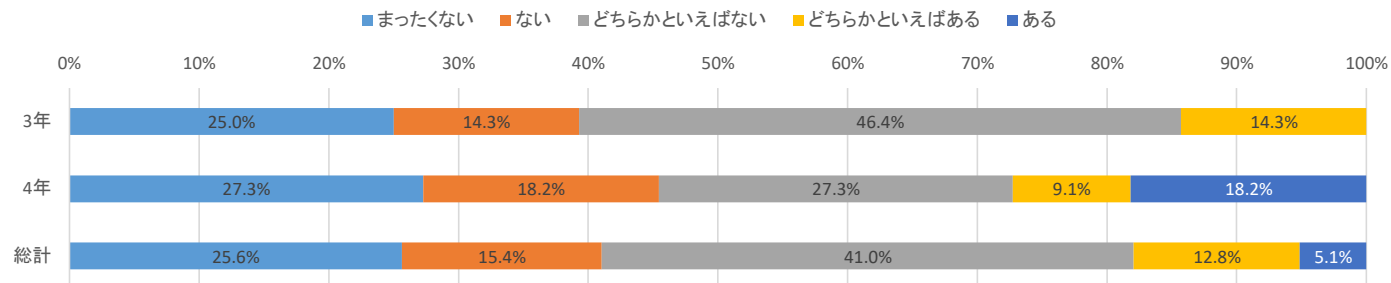
(2) 外国語の授業を選択していますか・いましたか



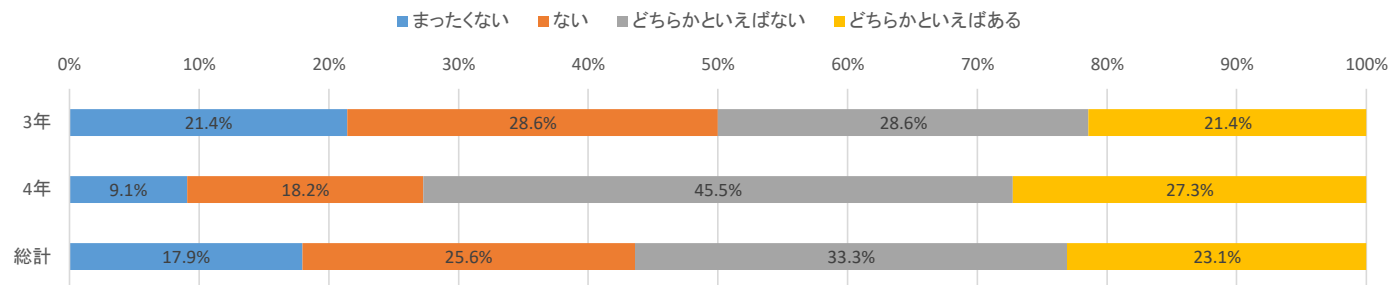
(3) 読む力はどの程度ありますか



(4) 会話力（話す、聞く）はどの程度ありますか

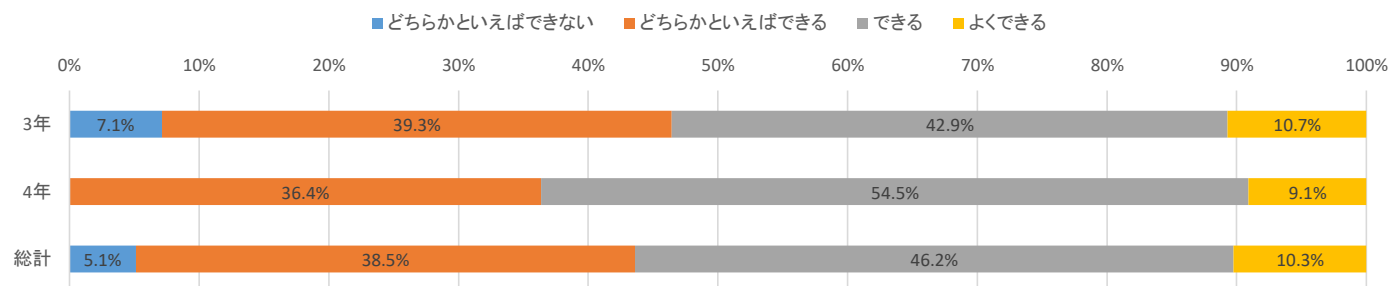


(5) 書く力はどの程度ありますか

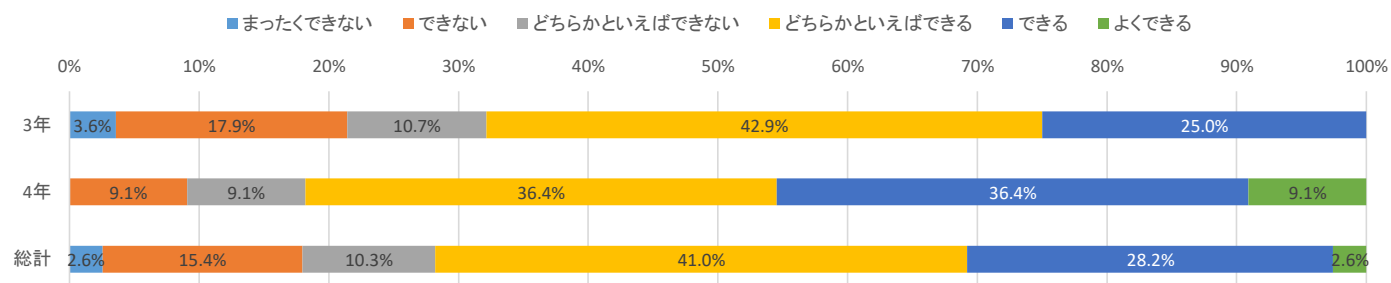


3. ICTリテラシー（＝情報機器やインターネットを使う能力）について

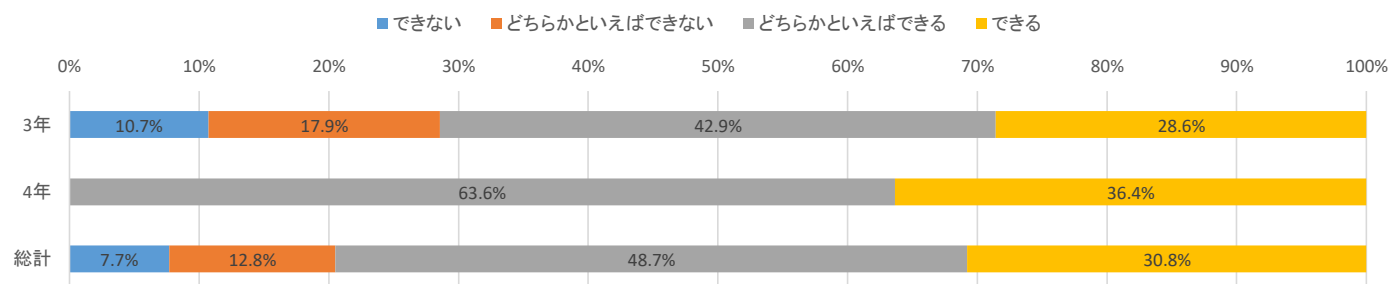
(6) 文章作成ソフト（Wordなど）を使って文章を作成することがどの程度できますか



(7) 表計算ソフト（Excelなど）を使って図表を作成することがどの程度できますか

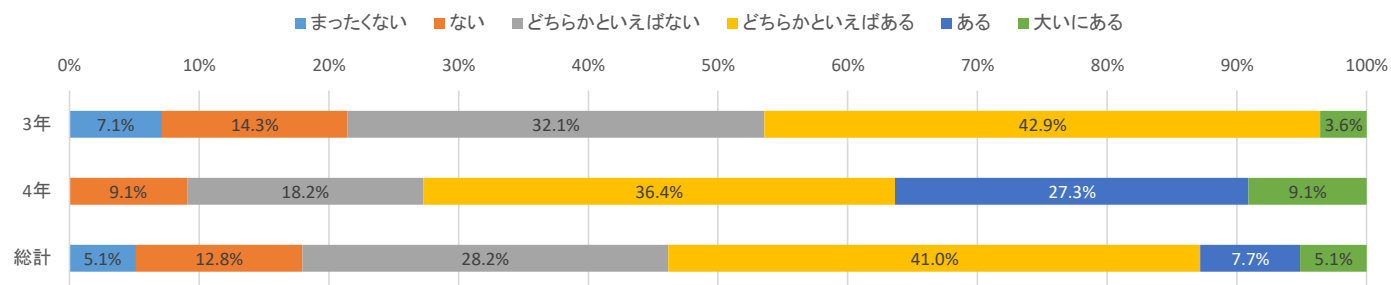


(8) プレゼンテーションソフト（Power Pointなど）による資料作成がどの程度できますか

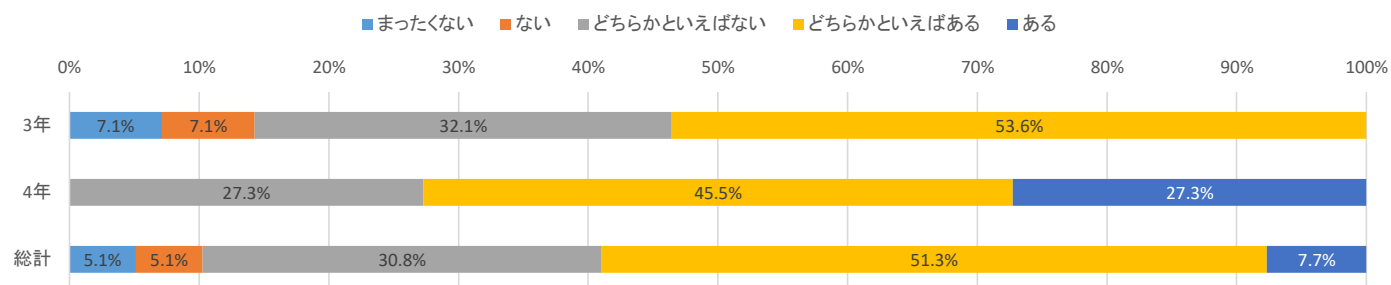


4. 教養・基礎的スキルについて

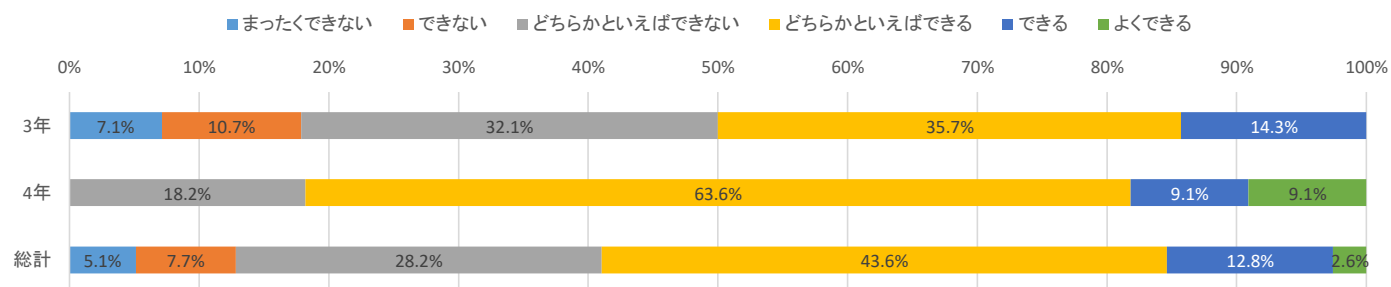
(9) 専門分野の知識とは別に幅広い知識や教養がどの程度ありますか



(10) レポートや論文作成に必要なスキル（文献検索、書式・作法、論理構成、文章作成など）

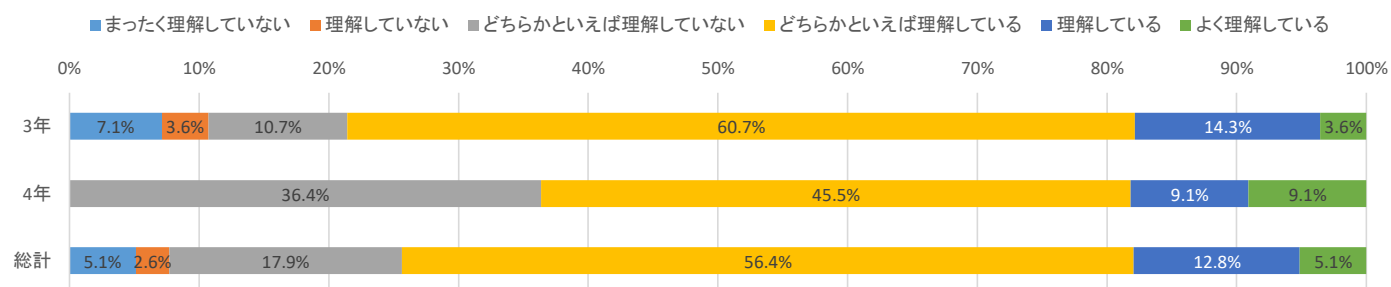


(11) ディスカッションの中で他者の意見をきちんと聞きながら自分の意見を述べる

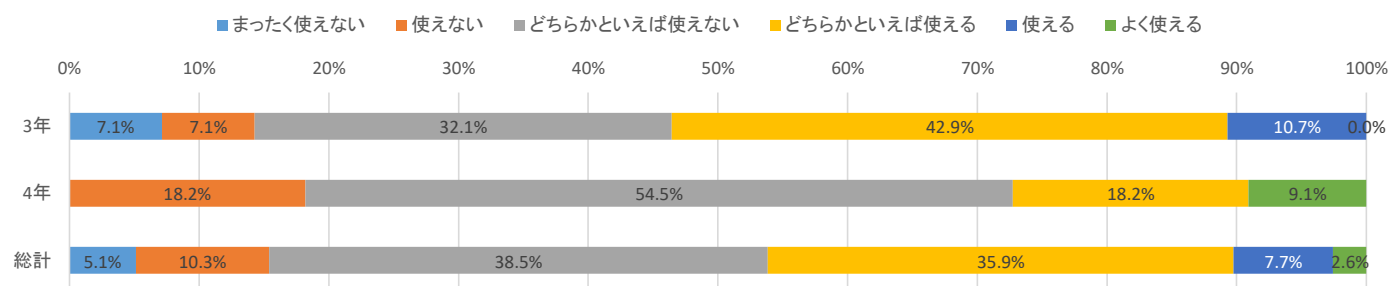


5. 専門知識・専門的スキルについて

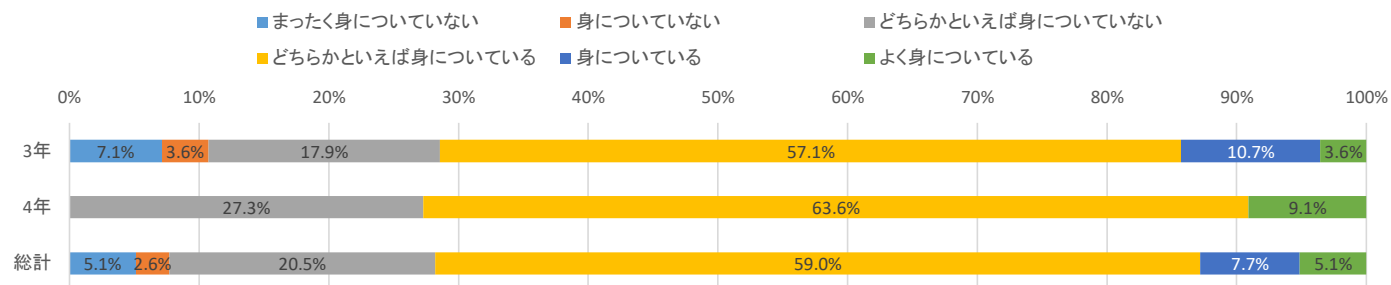
(12) 専門知識をどの程度、理解していますか



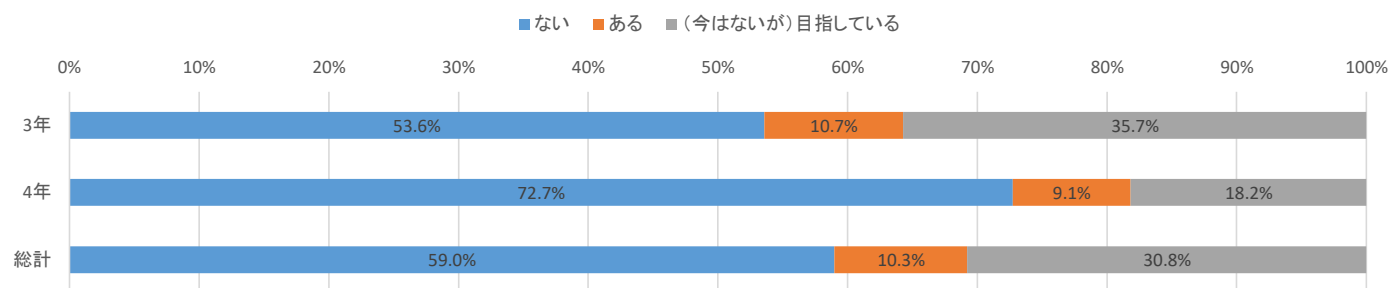
(13) 専門知識を実際の場面で使うことがどの程度できますか



(14) 専門的スキルが身についている

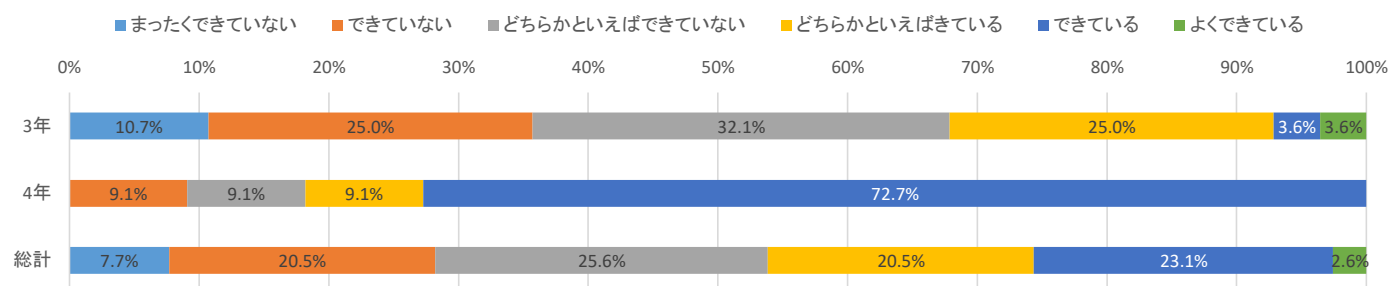


(15) 大学入学後の専門分野に関連する資格の取得、検定試験での一定の点数取得

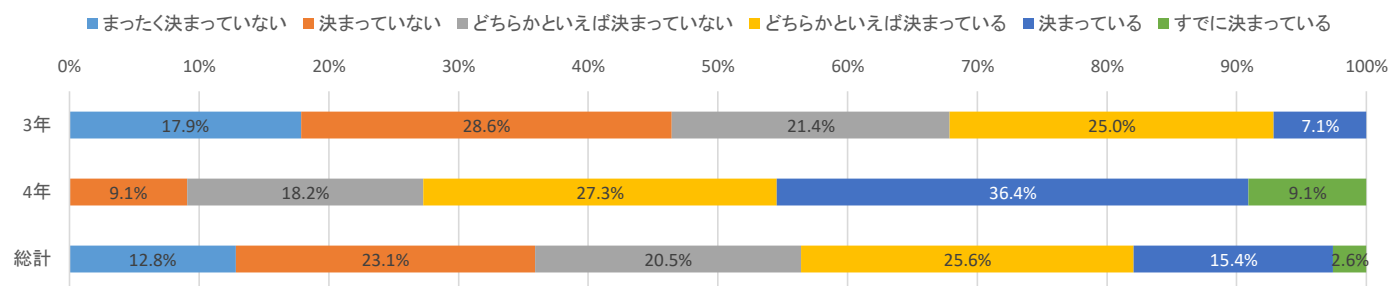


6. 社会で活躍するための力（キャリア教育、社会人基礎力）について

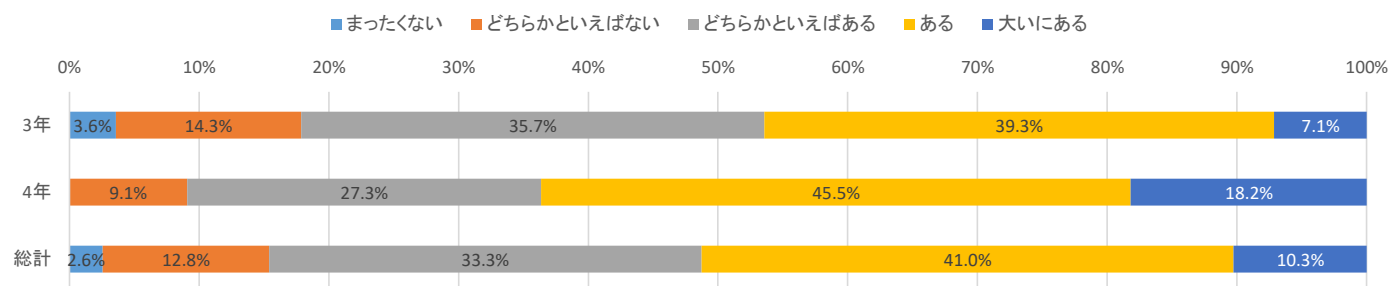
(16) 「自分が働く」とはどのようなことかを、どの程度イメージできていますか



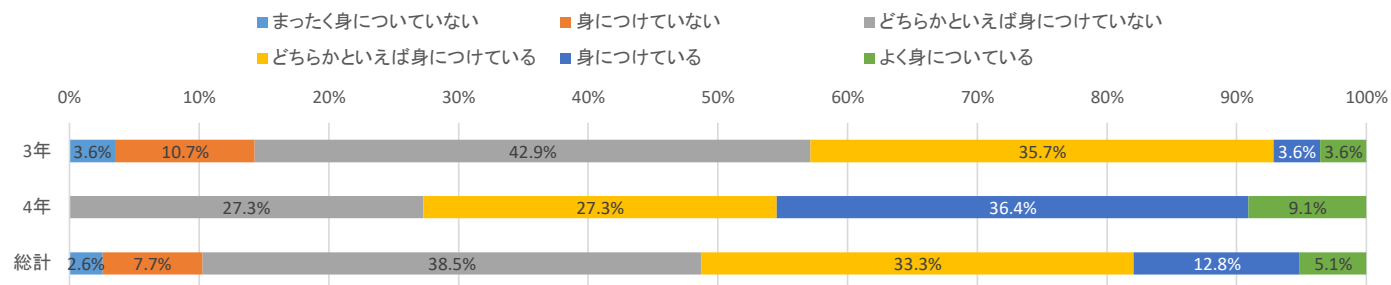
(17) 将来の進路（職業、進学など）はどの程度決まっていますか



(18) 就職活動を最後まで頑張る自信はどの程度ありますか

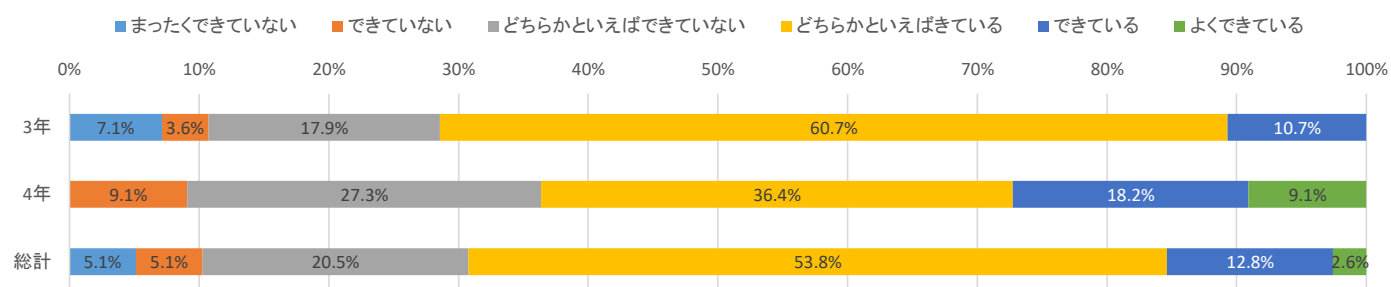


(19) 社会に出て仕事や社会的活動を行うために必要な力を、どの程度身につけていますか

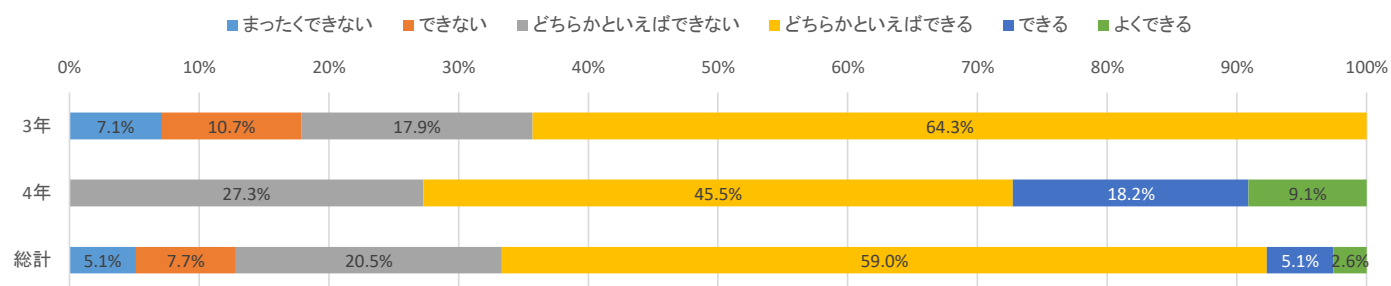


7. 総合力について

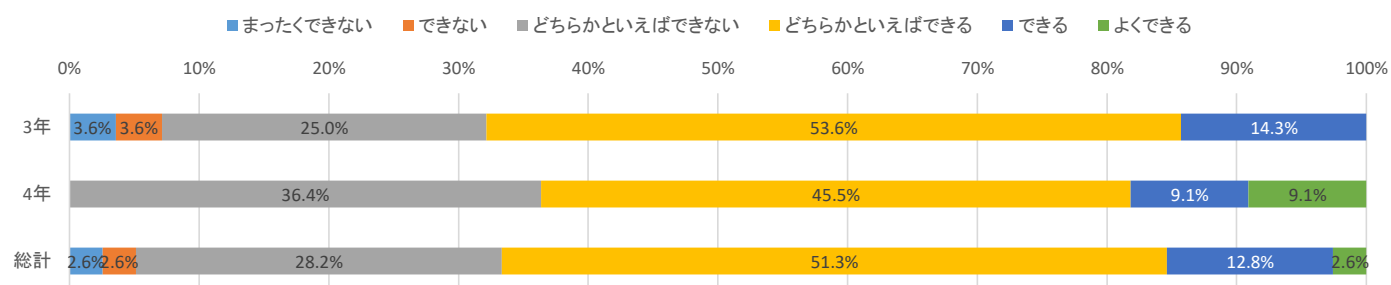
(20) 自分の考えを文章や口頭で他者にきちんと説明する



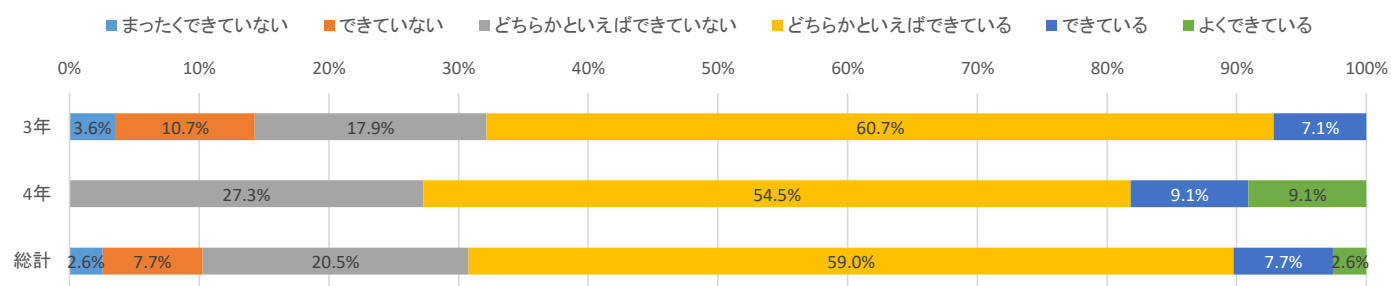
(21) 課題を見つけ出しそれに対する最善の解決方法を考える



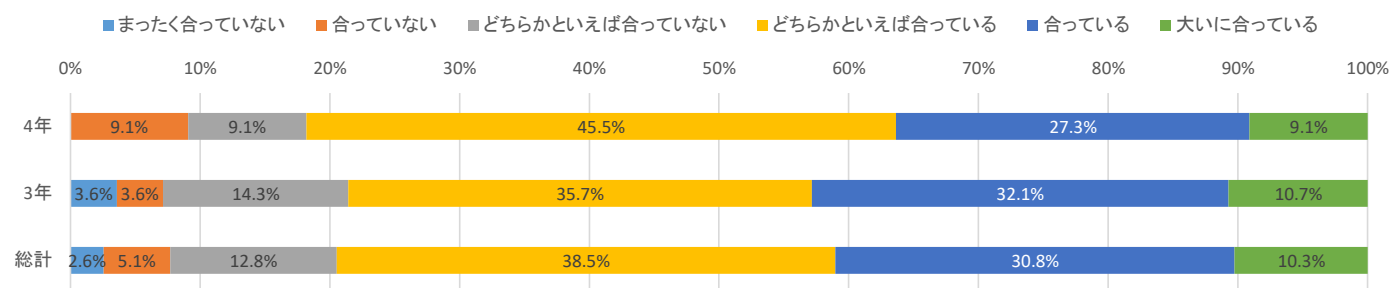
(22) 他者とコミュニケーションを図りながら相互理解を深めていく



(23) 自分自身の「ものの見方・考え方」をつくり上げる



(24) 興味関心や資質・適性からみて学部 of 学びは自分にどの程度合っているか

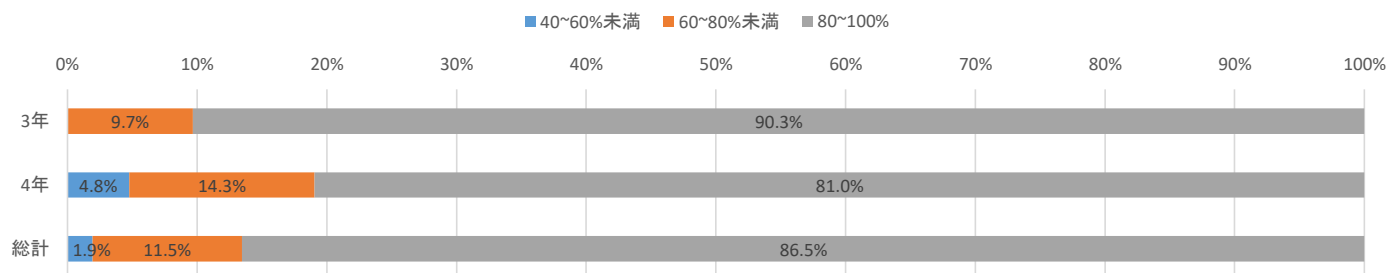


2) - 2 国際言語文化学科

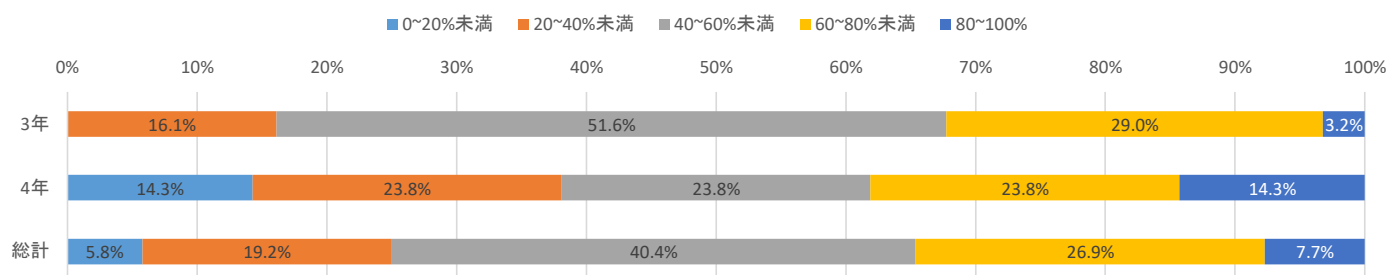
【学修行動調査】

1. 1週間（平均的な）における学修行動について

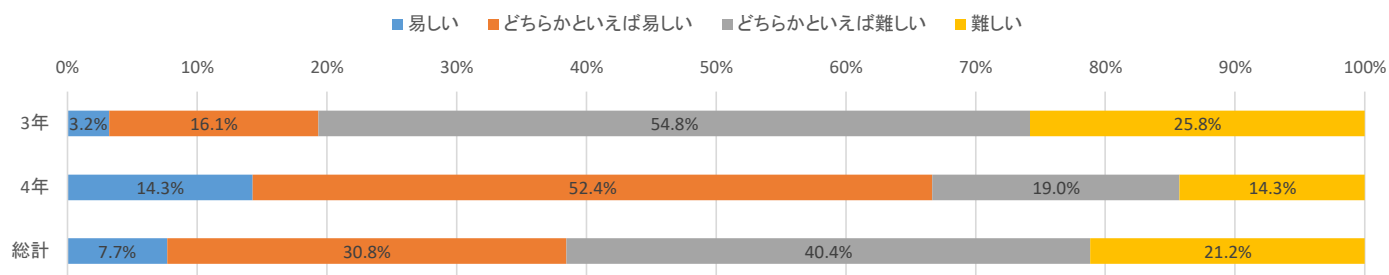
(1) 授業への出席割合（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は、課題などの提出回数などで回答）



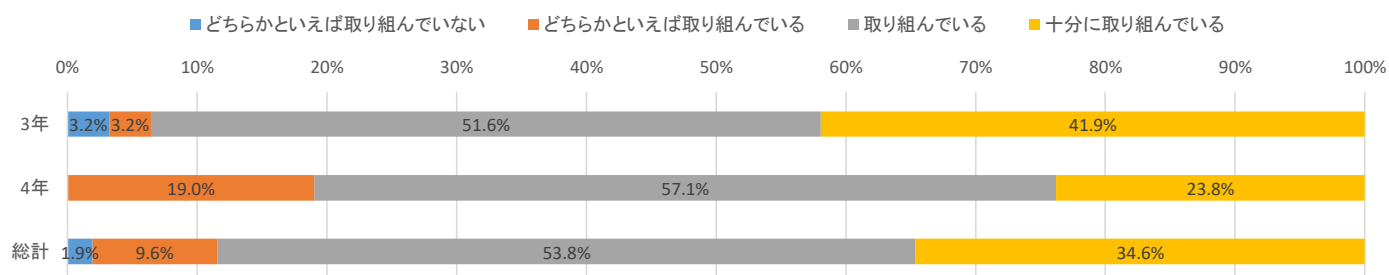
(2) 興味のある授業の割合



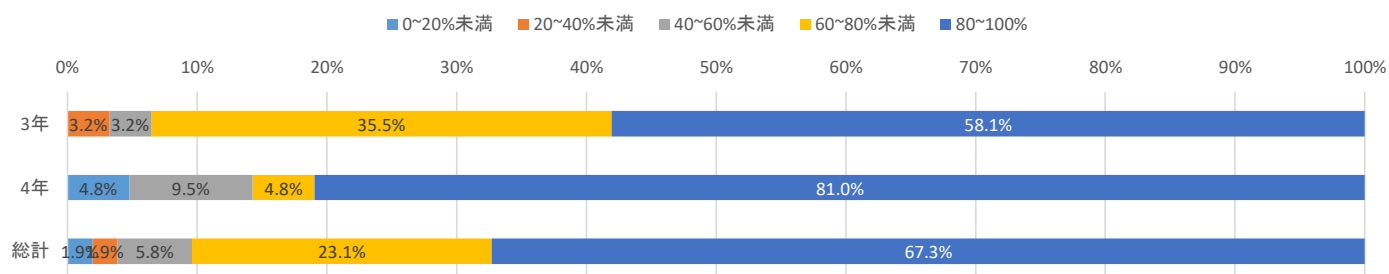
(3) 授業全体の難易度



(4) 授業（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は課題など）への積極的取り組み

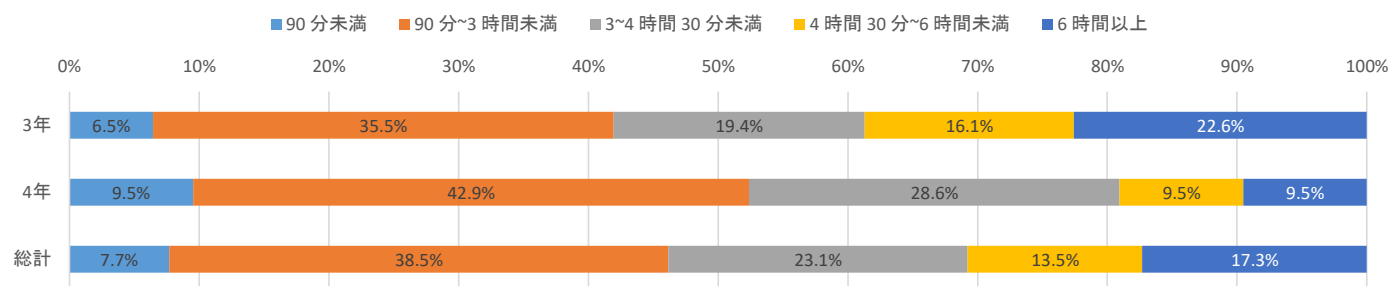


(5) 4年間で卒業できる自信

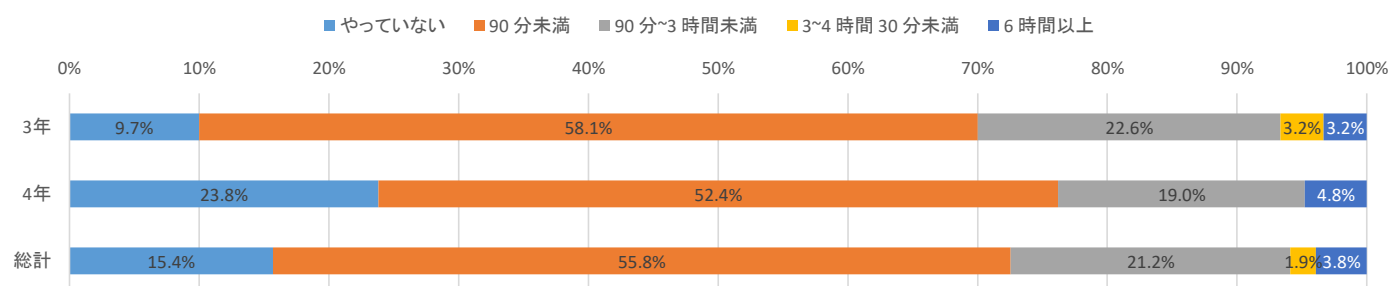


2. 1週間（平均的な）における授業時間外での学修行動について

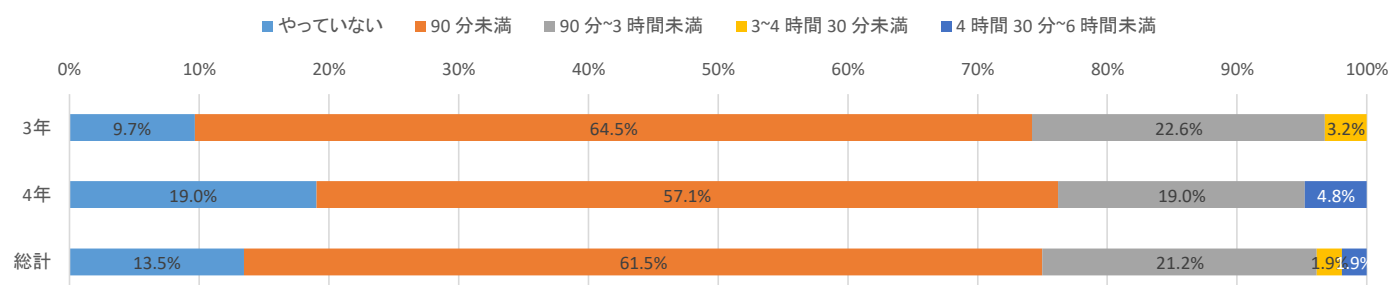
(6) 先生に指示された授業での発表の準備、課題やレポート、宿題などをのくらいやりましたか



(7) 授業の予習をどのくらいしていますか

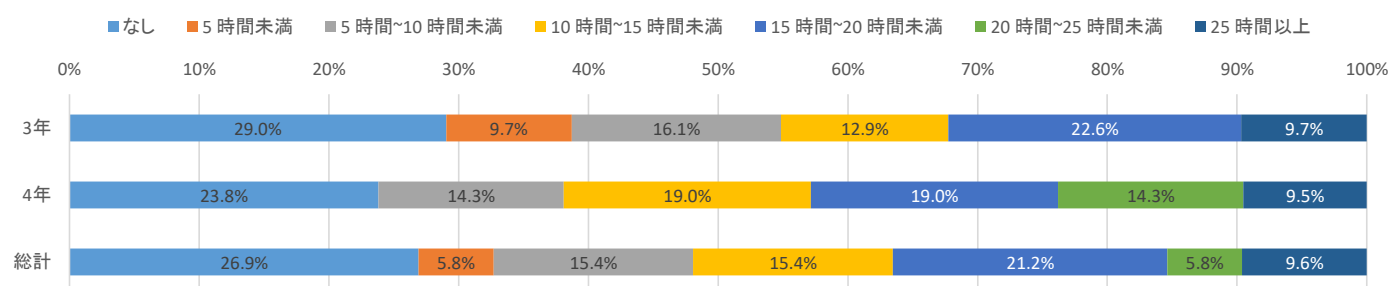


(8) 授業の復習をどのくらいしていますか

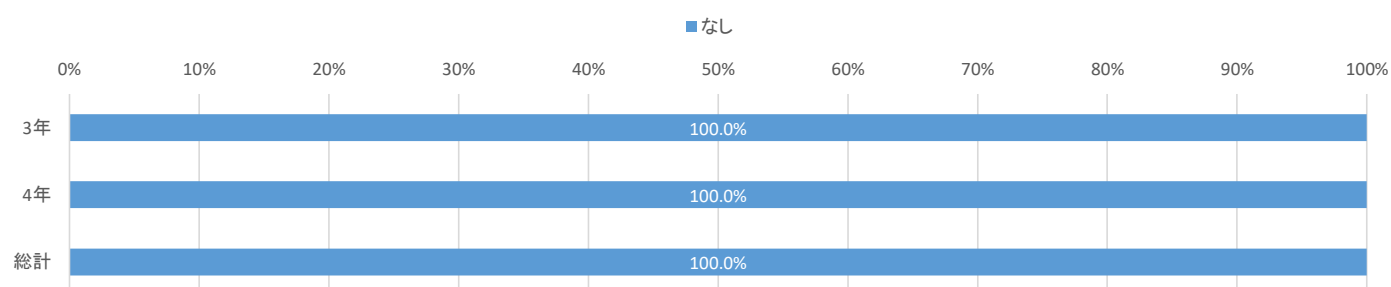


3. 1週間（平均的な）における授業以外の学修活動や行動について

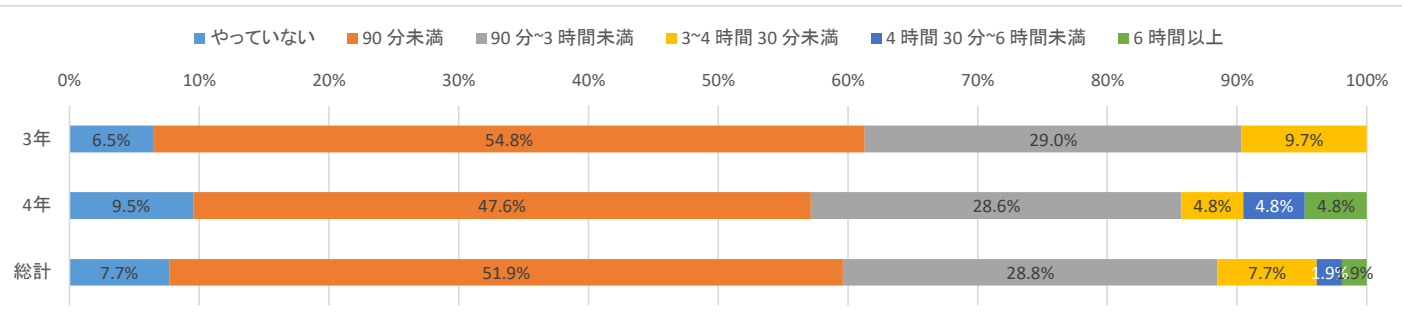
(9) アルバイトをどのくらいしていますか



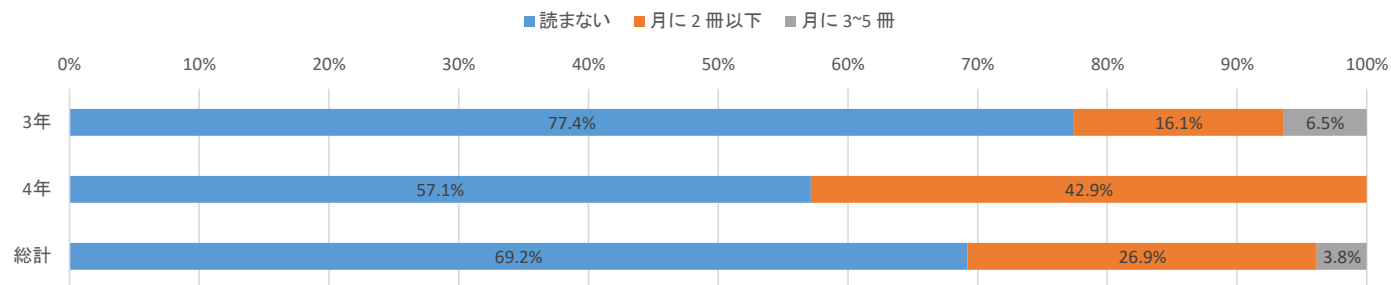
(10) 部活・サークル活動をどのくらいしていますか



(11) ネットやテレビ、新聞、雑誌などのニュースや記事を見て社会の動きを知る努力



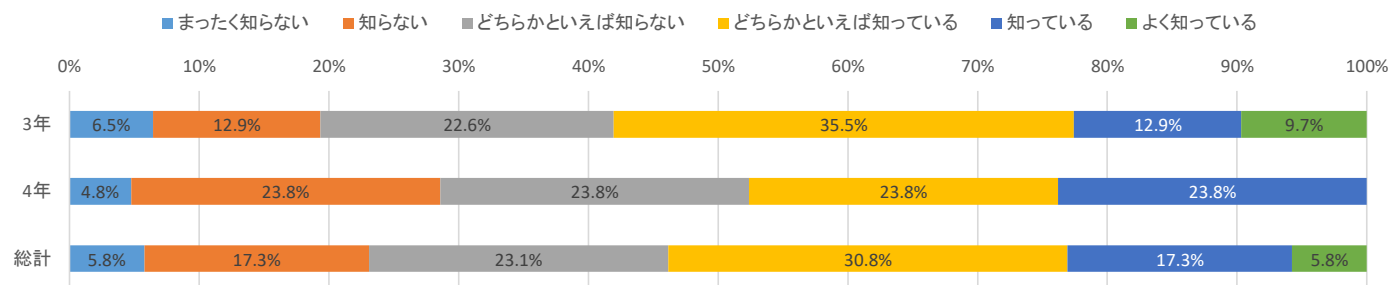
(12) 本をどのくらい読んでいますか



【学修成果調査】

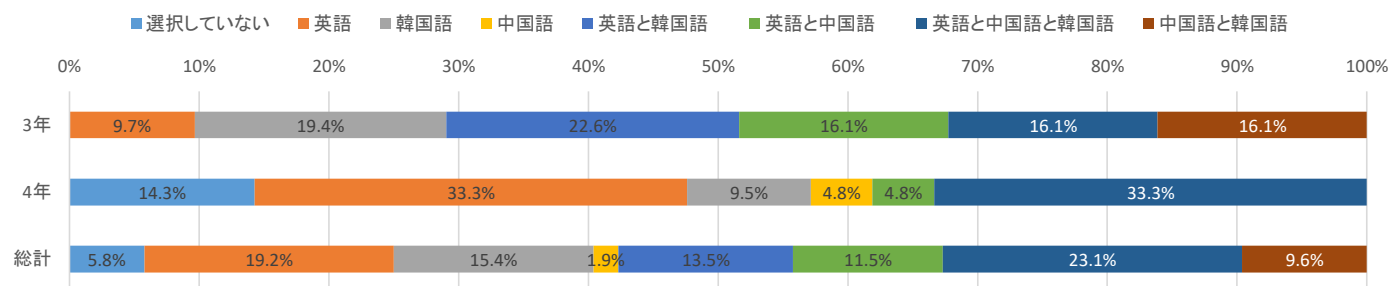
1. 教育理念について

(1) 本学の建学の精神「徳を成す人間の育成」を知っていますか

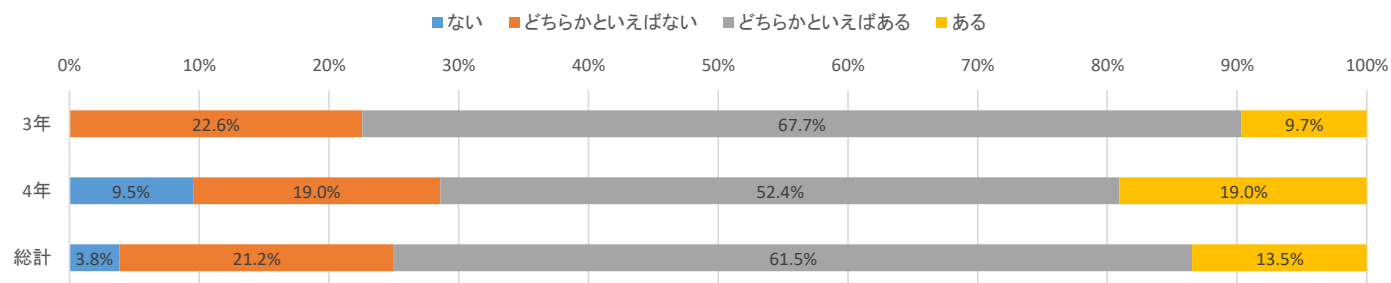


2. 外国語能力について

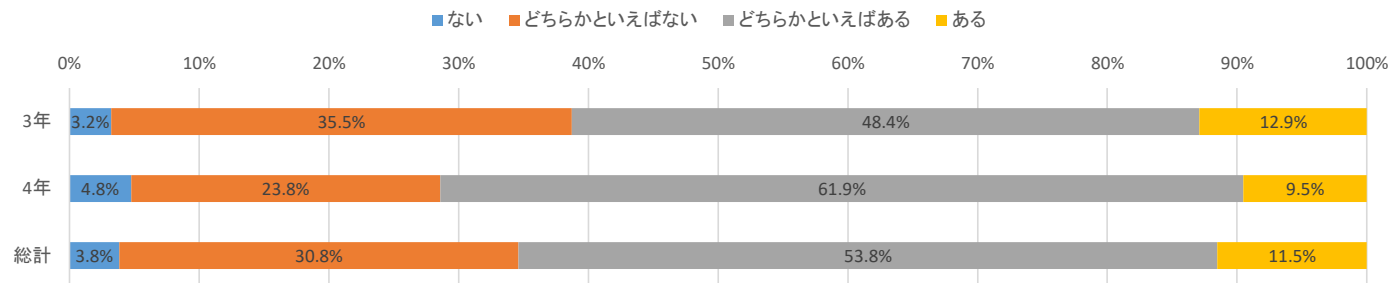
(2) 外国語の授業を選択していますか・いましたか



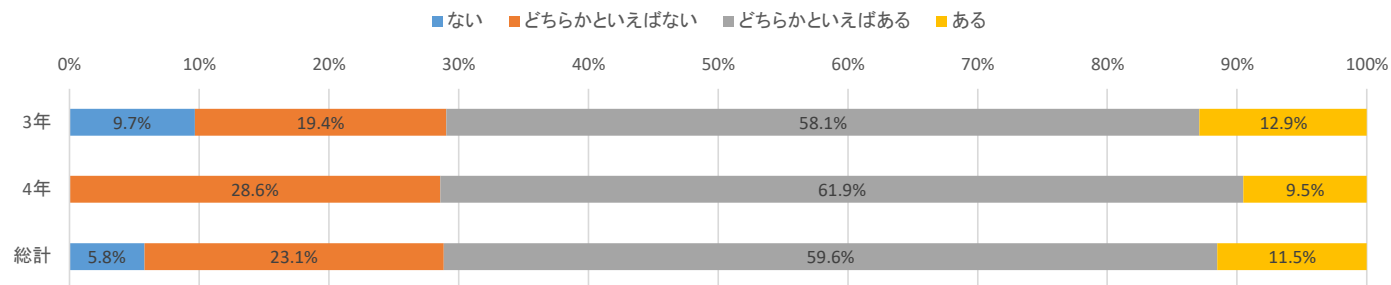
(3) 読む力はどの程度ありますか



(4) 会話力（話す、聞く）はどの程度ありますか

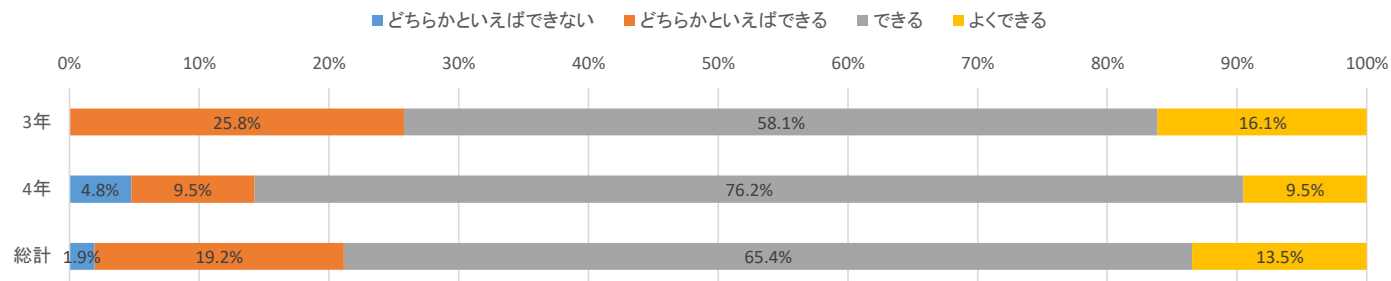


(5) 書く力はどの程度ありますか

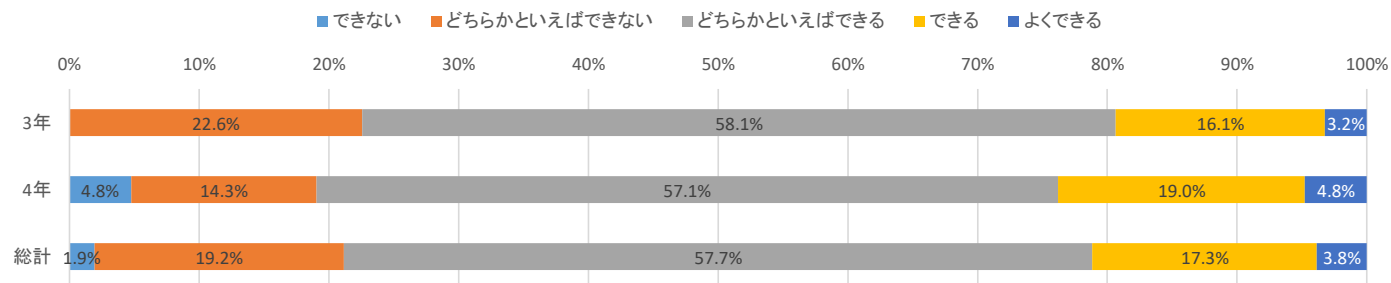


3. ICTリテラシー（＝情報機器やインターネットを使う能力）について

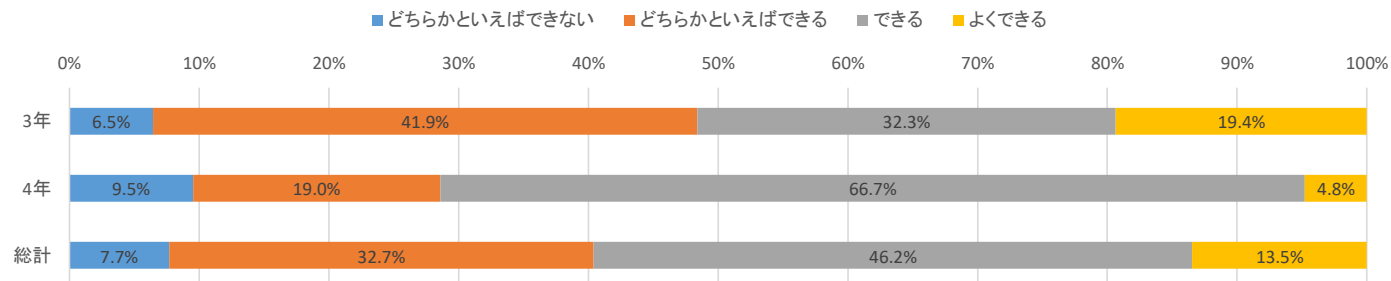
(6) 文章作成ソフト（Wordなど）を使って文章を作成することがどの程度できますか



(7) 表計算ソフト（Excelなど）を使って図表を作成することがどの程度できますか

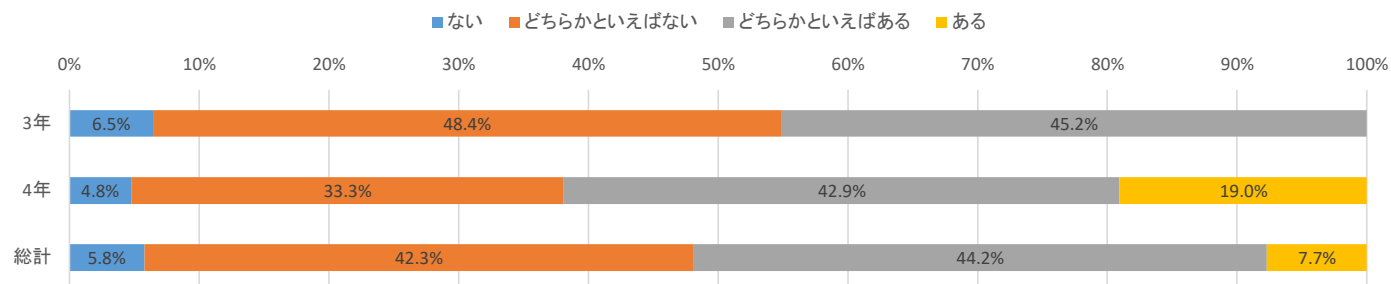


(8) プレゼンテーションソフト（Power Pointなど）による資料作成がどの程度できますか



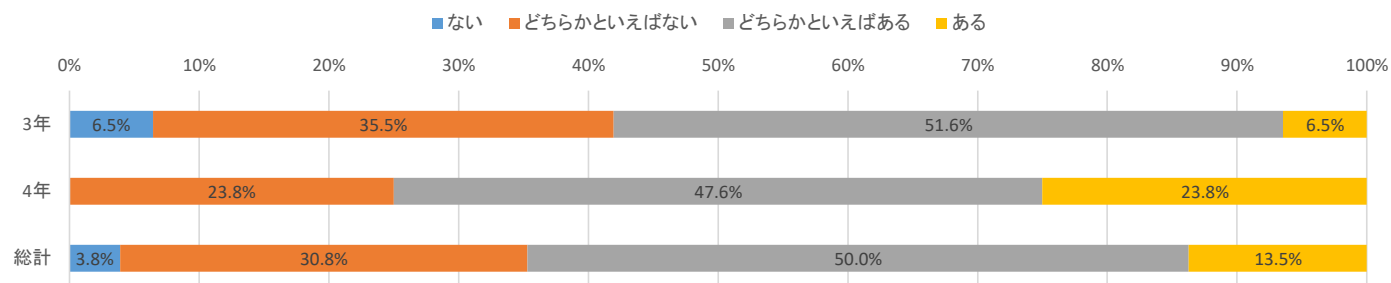
4. 教養・基礎的スキルについて

(9) 専門分野の知識とは別に幅広い知識や教養がどの程度ありますか

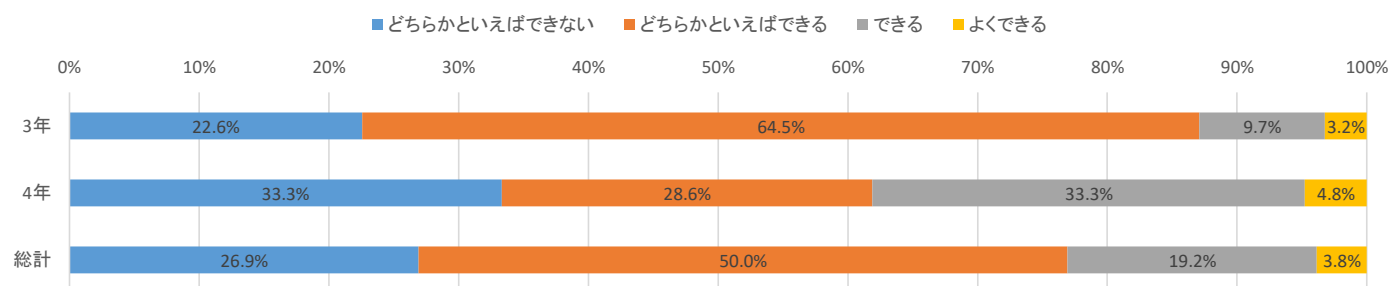


(10) レポートや論文作成に必要なスキル（文献検索、書式・作法、論理構成、文章作成など）

(無効回答 4年：1)

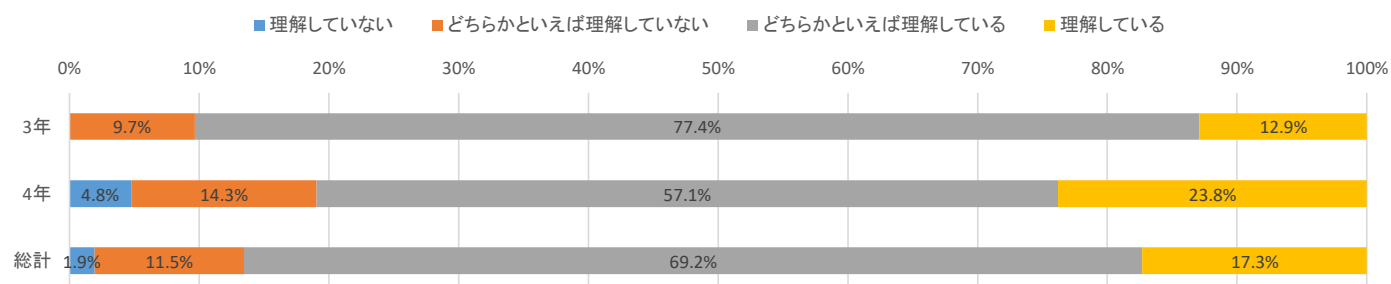


(11) ディスカッションの中で他者の意見をきちんと聞きながら自分の意見を述べる



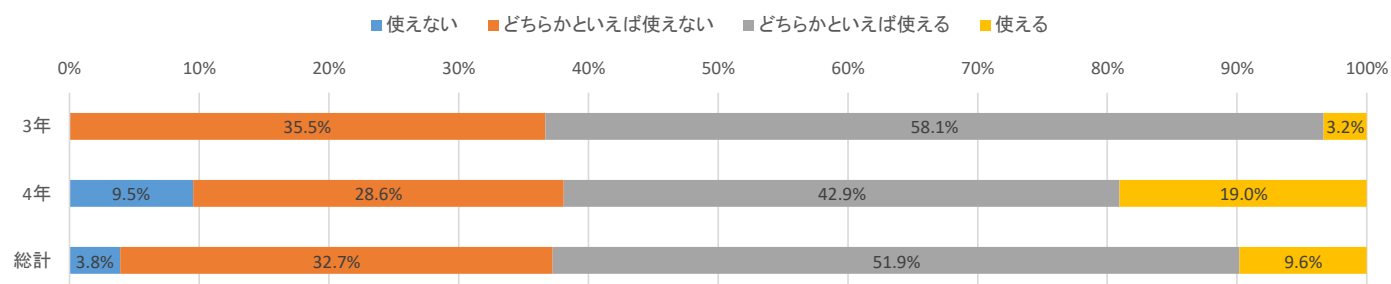
5-1. 専門知識・専門的スキルについて

(12) 専門知識をどの程度、理解していますか



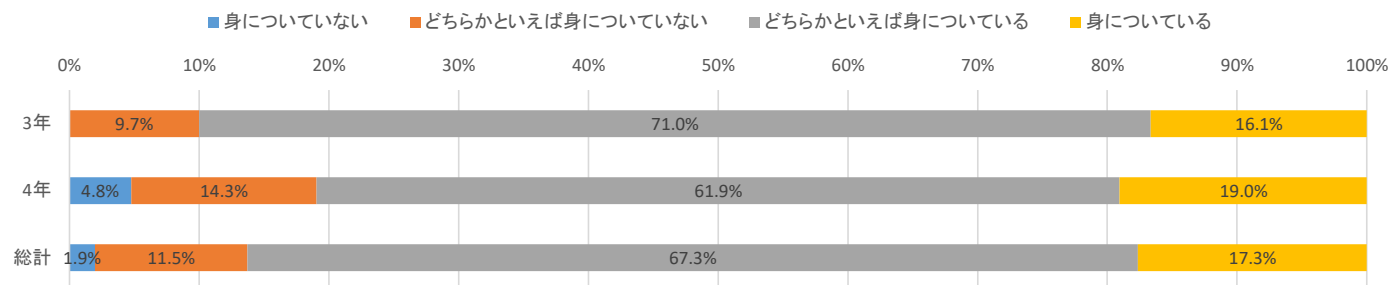
(13) 専門知識を実際の場面で使うことがどの程度できますか

(無効回答 3年：1)

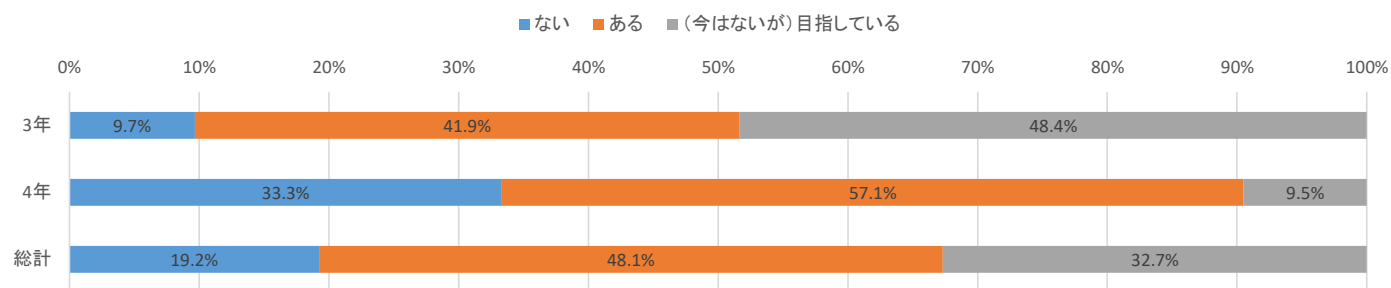


(14) 専門的スキルが身についている

(無効回答 3年：1)

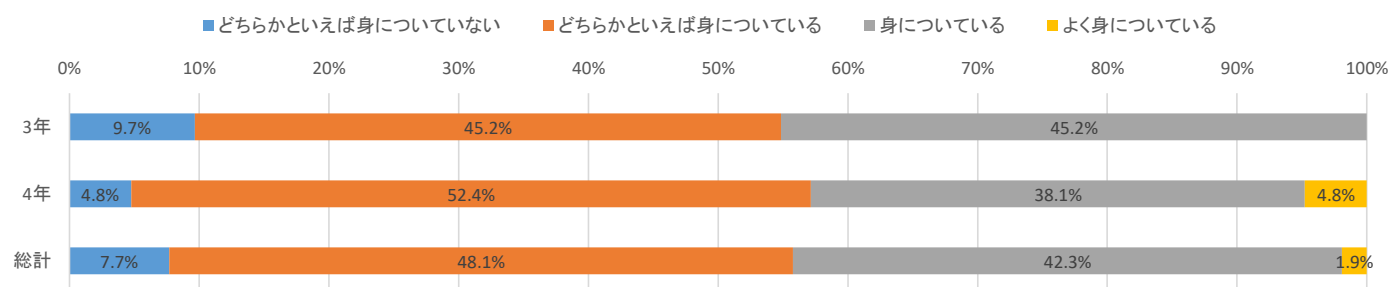


(15) 大学入学後の専門分野に関連する資格の取得、検定試験での一定の点数取得

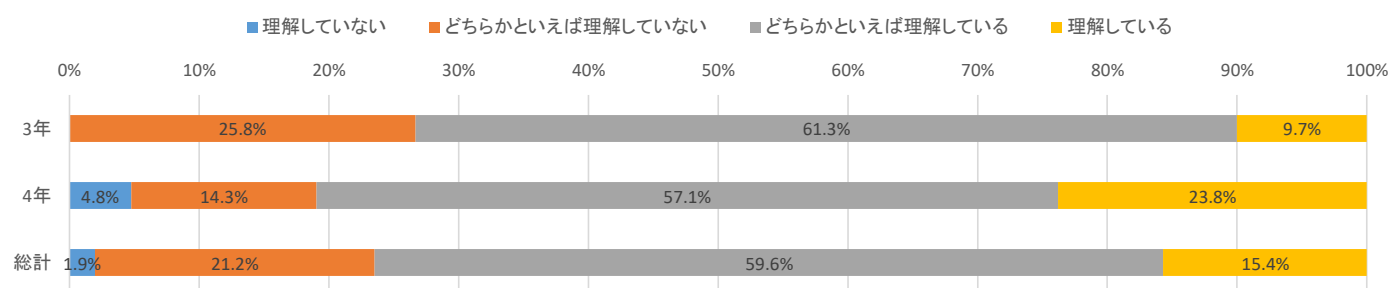


5-2. 専門知識・専門的スキルについて（学科独自項目）

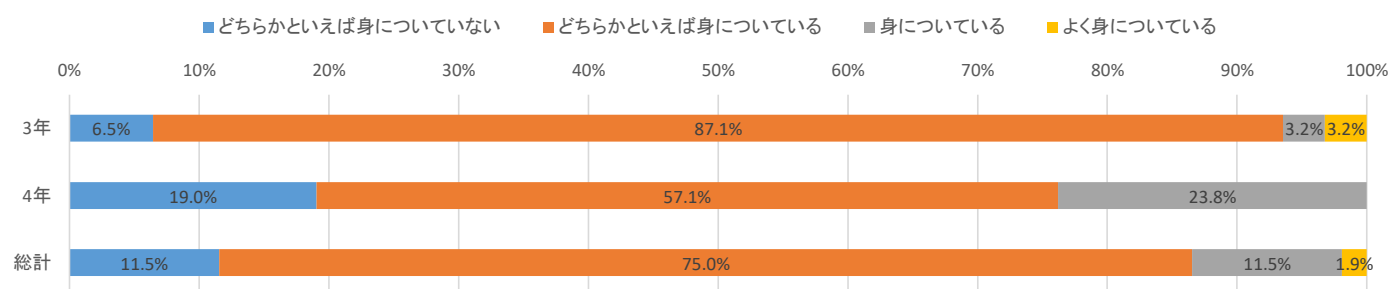
(16) 「語学科目」で学んだ内容はどの程度身についていますか



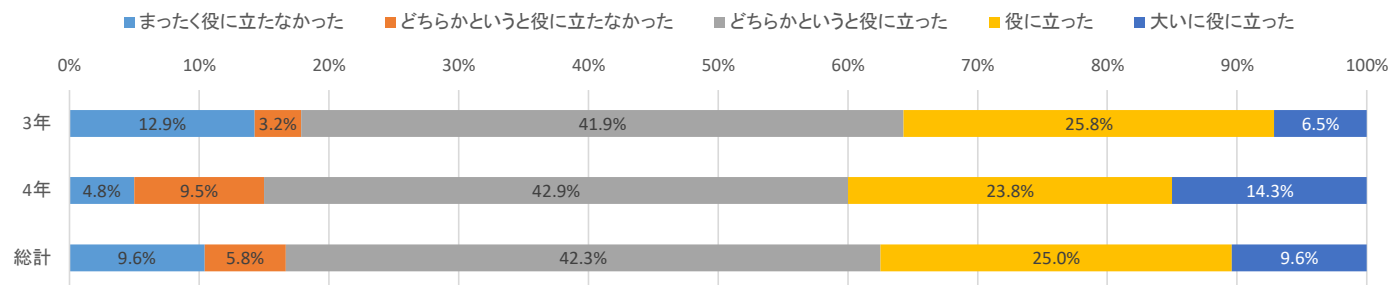
(17) 「英語教養科目」で学んだ内容をどの程度理解していますか



(18) 「地域文化・国際教養科目」で学んだ内容をどの程度理解していますか

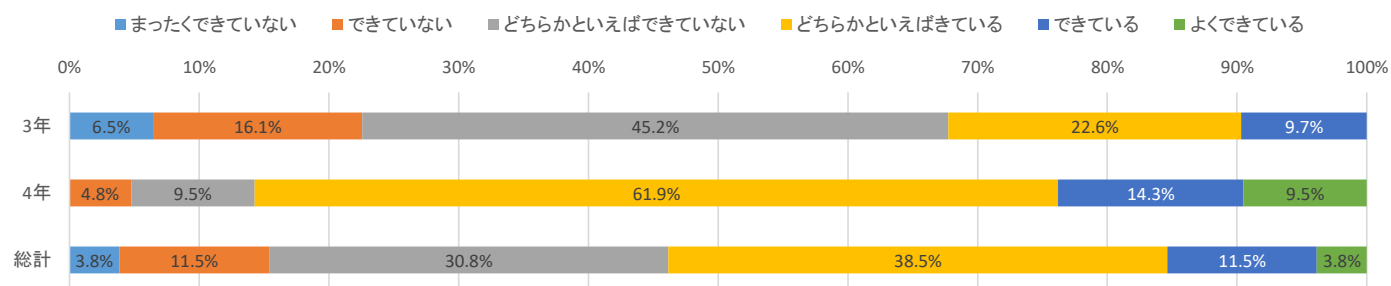


(19) 海外留学や短期語学研修など外国で学んだ内容はどの程度役に立ちましたか

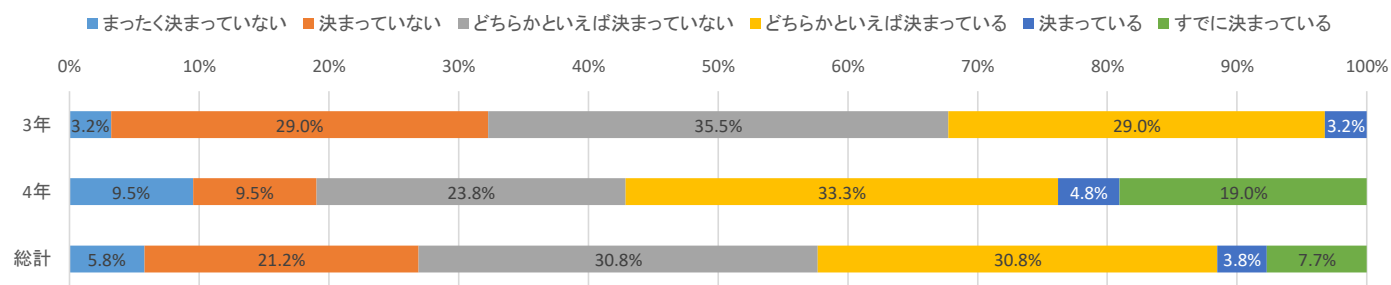


6. 社会で活躍するための力（キャリア教育、社会人基礎力）について

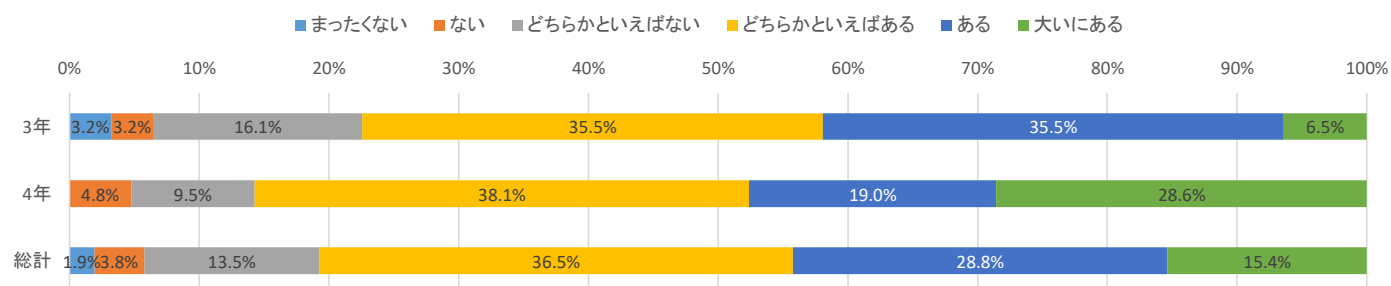
(20) 「自分が働く」とはどのようなことかを、どの程度イメージできていますか



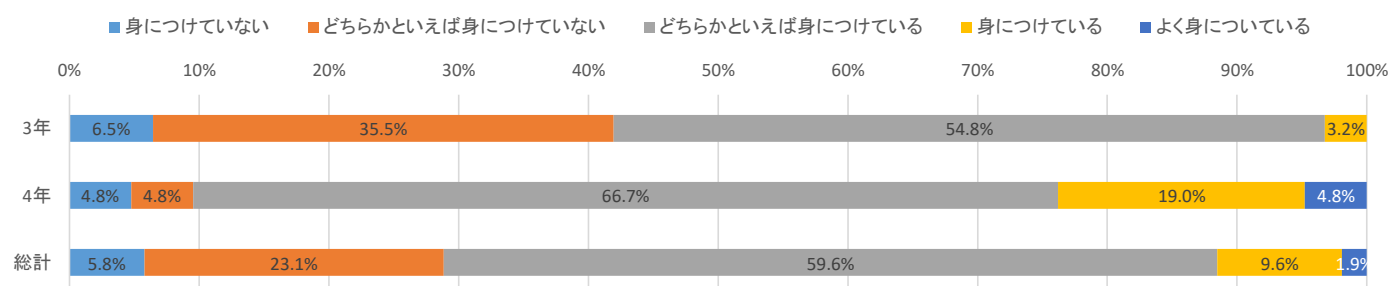
(21) 将来の進路（職業、進学など）はどの程度決まっていますか



(22) 就職活動を最後まで頑張る自信はどの程度ありますか

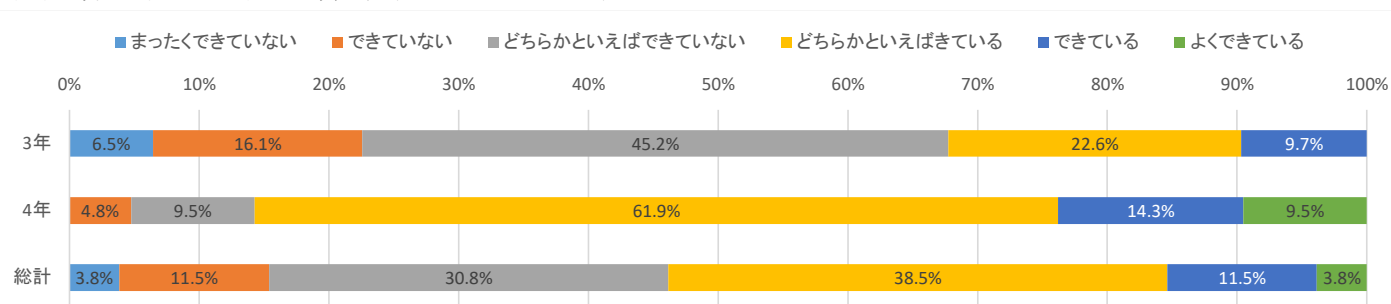


(23) 社会に出て仕事や社会的活動を行うために必要な力を、どの程度身につけていますか

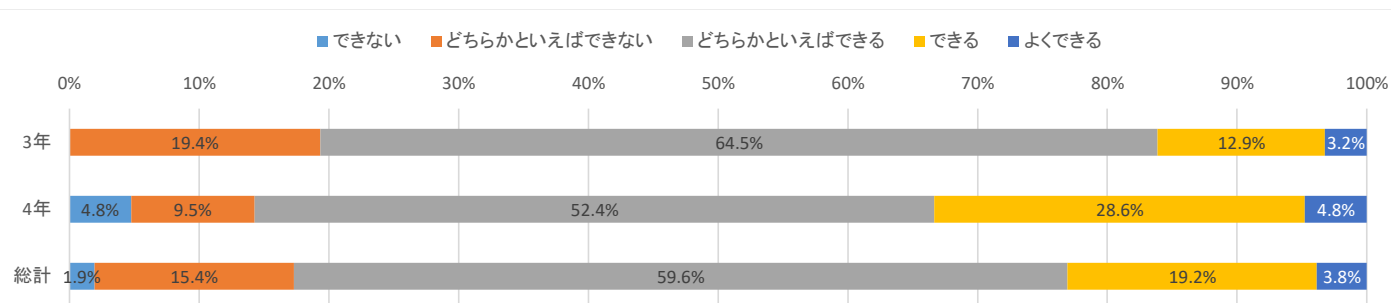


7. 総合力について

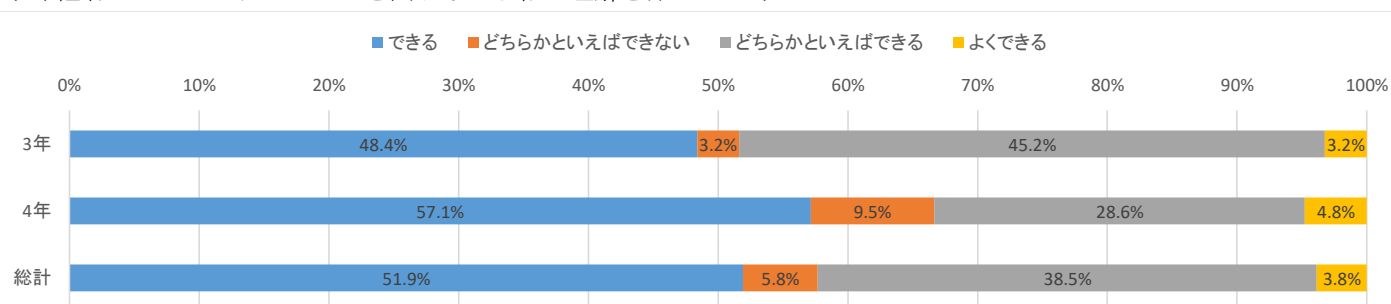
(24) 自分の考えを文章や口頭で他者にきちんと説明する



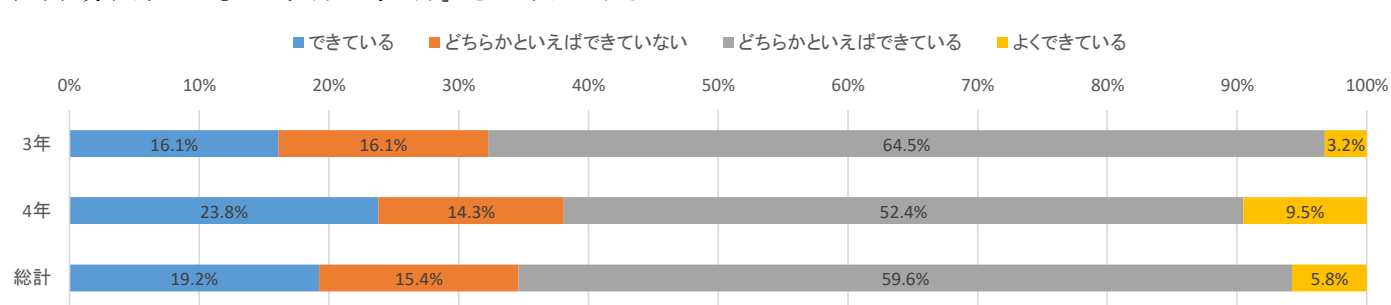
(25) 課題を見つけ出しそれに対する最善の解決方法を考える



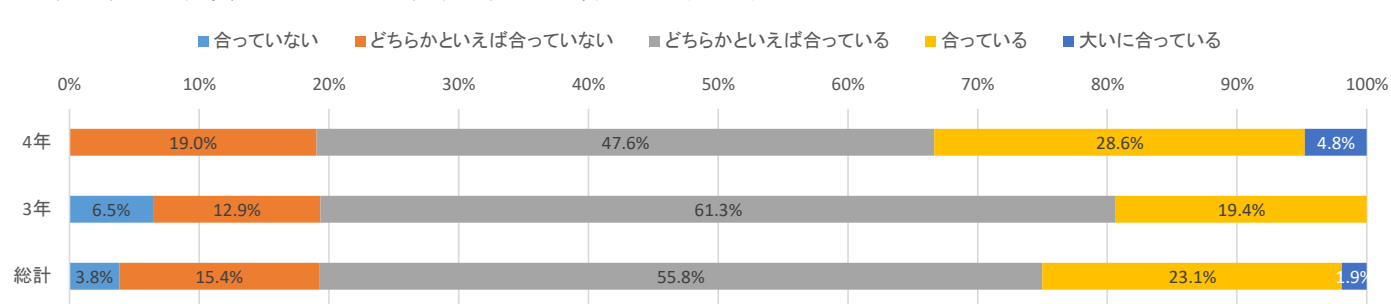
(26) 他者とコミュニケーションを図りながら相互理解を深めていく



(27) 自分自身の「ものの見方・考え方」をつくり上げる



(28) 興味関心や資質・適性からみて学部での学びは自分にどの程度合っているか

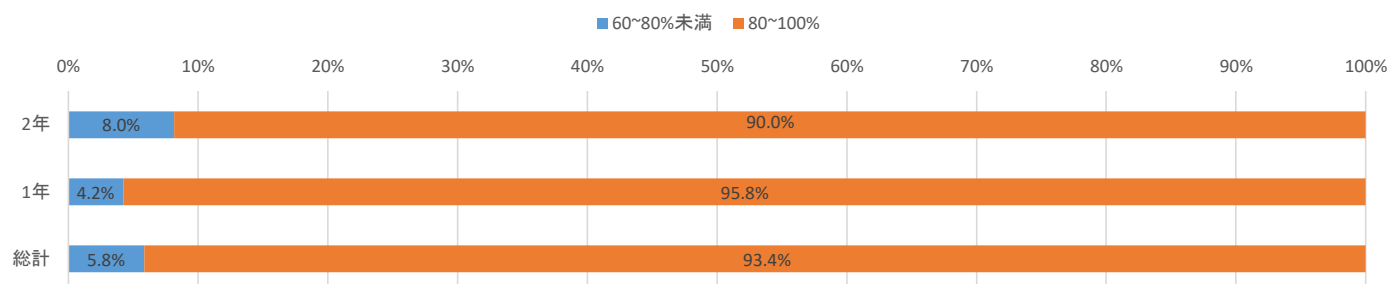


2) - 3 国際学科

【学修行動調査】

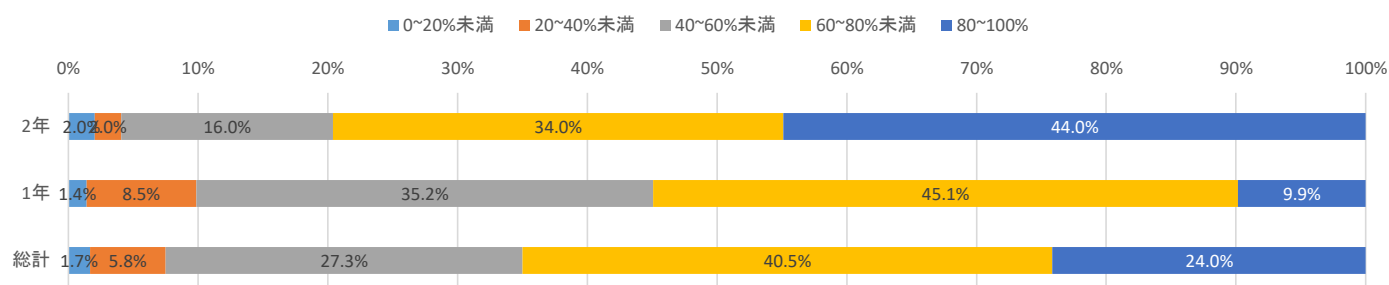
1. 1週間（平均的な）における学修行動について

(1) 授業への出席割合（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は、課題などの提出回数などで回答）（無効回答 2年：1）

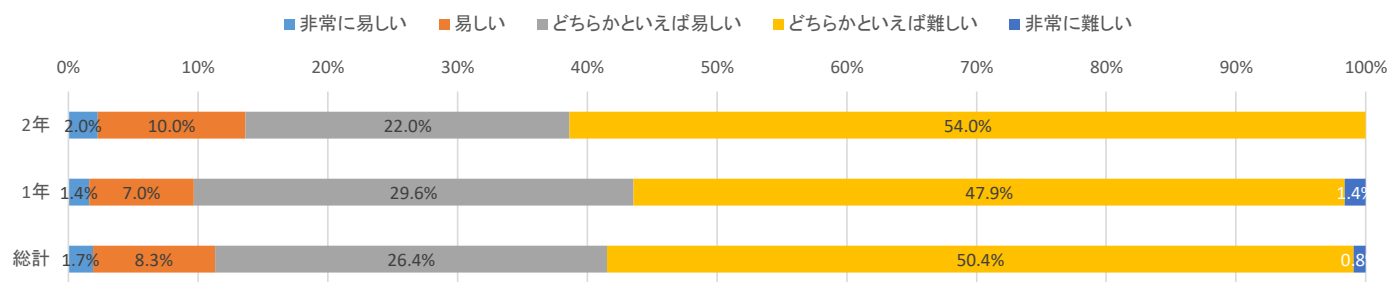


(2) 興味のある授業の割合

（無効回答 2年：1）

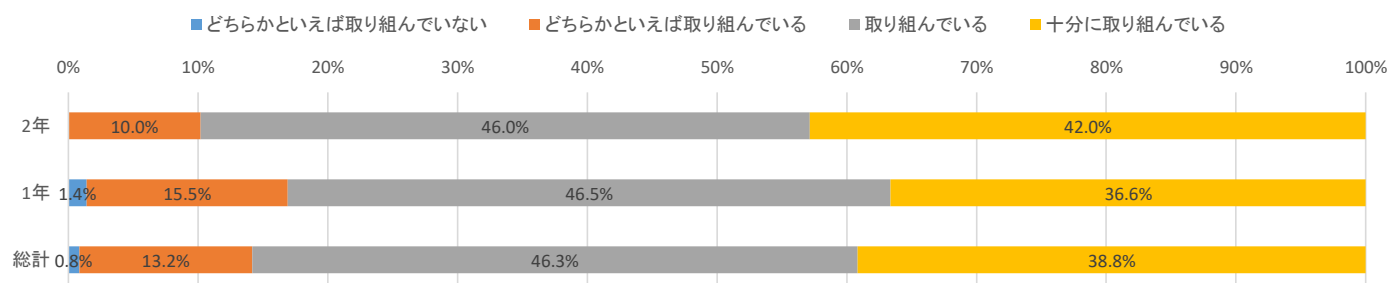


(3) 授業全体の難易度

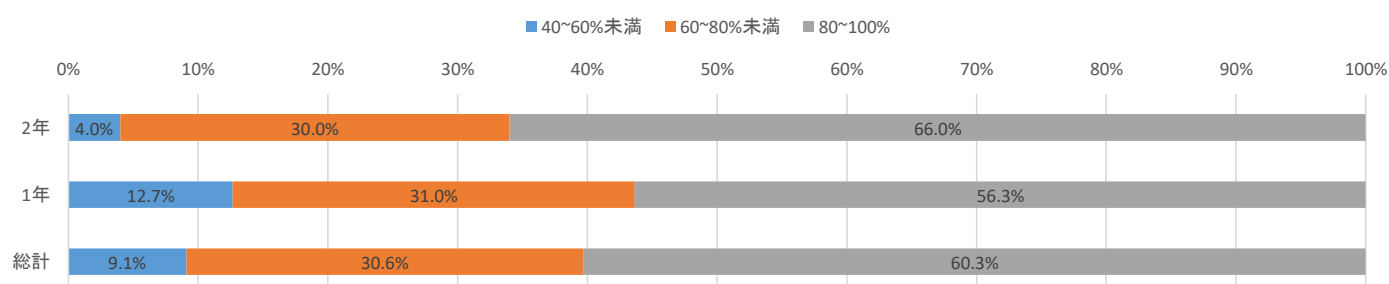


(4) 授業（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は課題など）への積極的取り組み

（無効回答 2年：1）

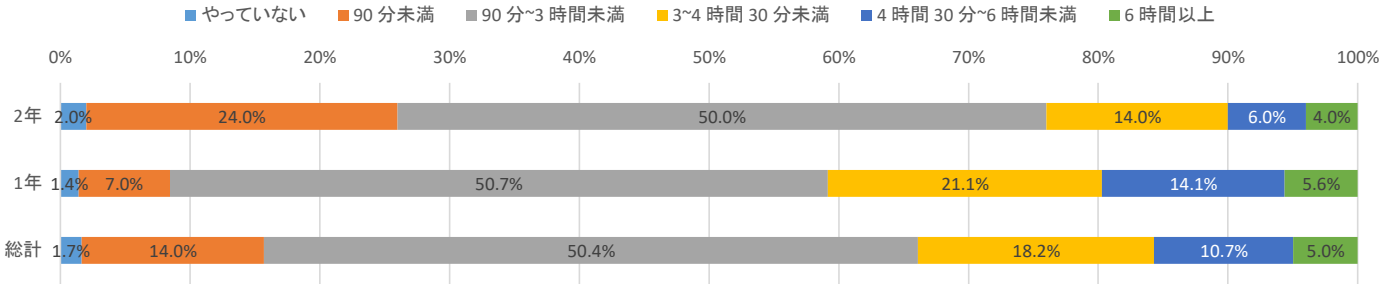


(5) 4年間で卒業できる自信

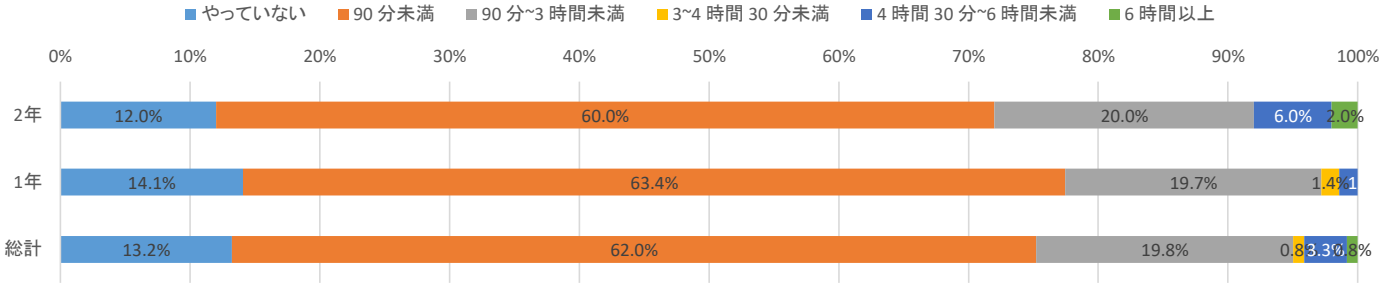


2. 1週間（平均的な）における授業時間外での学修行動について

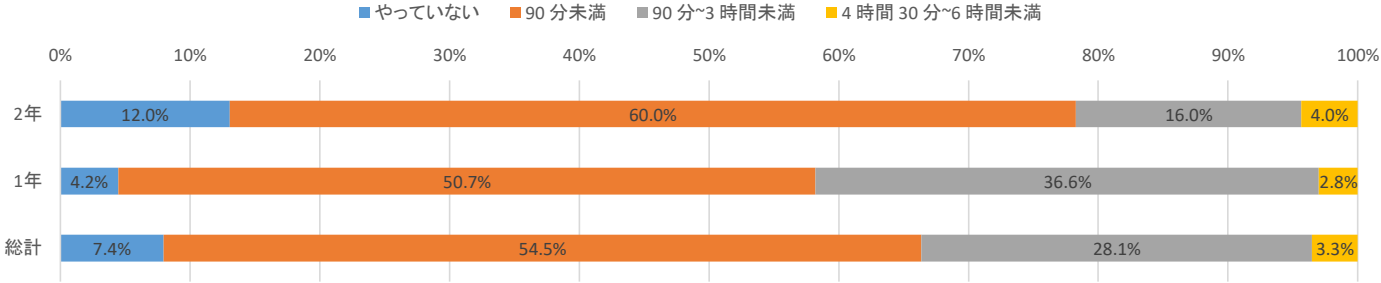
(6) 先生に指示された授業での発表の準備、課題やレポート、宿題などをのくらいやりましたか



(7) 授業の予習をどのくらいしていますか

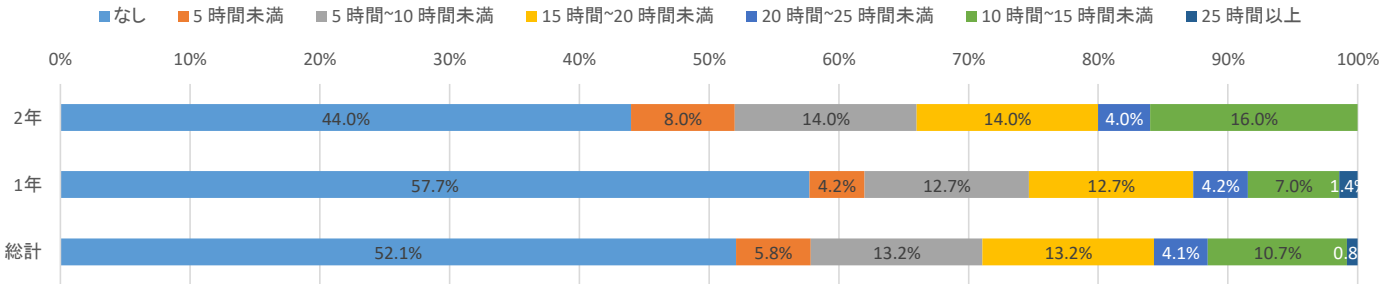


(8) 授業の復習をどのくらいしていますか

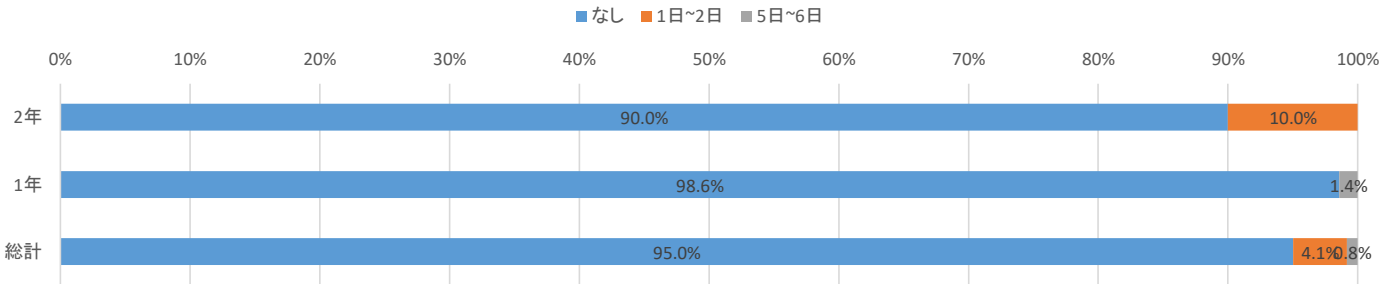


3. 1週間（平均的な）における授業以外の学修活動や行動についてか

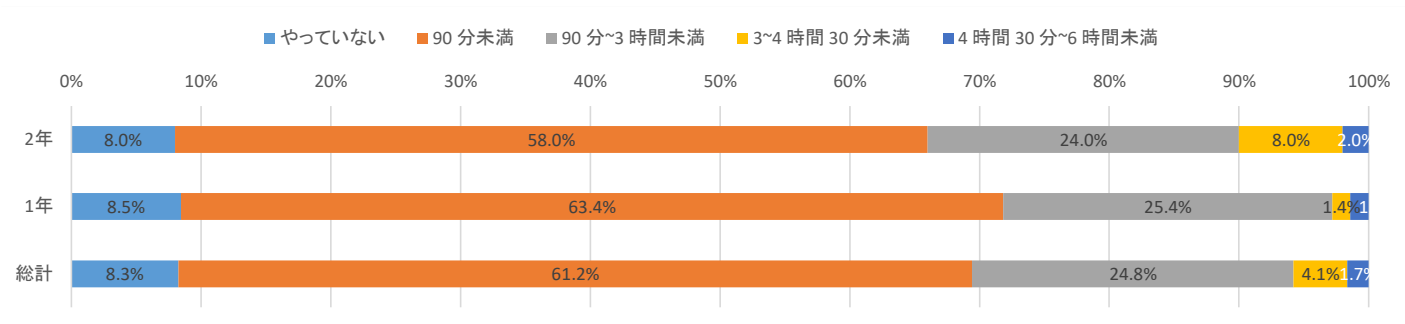
(9) アルバイトをどのくらいしていますか



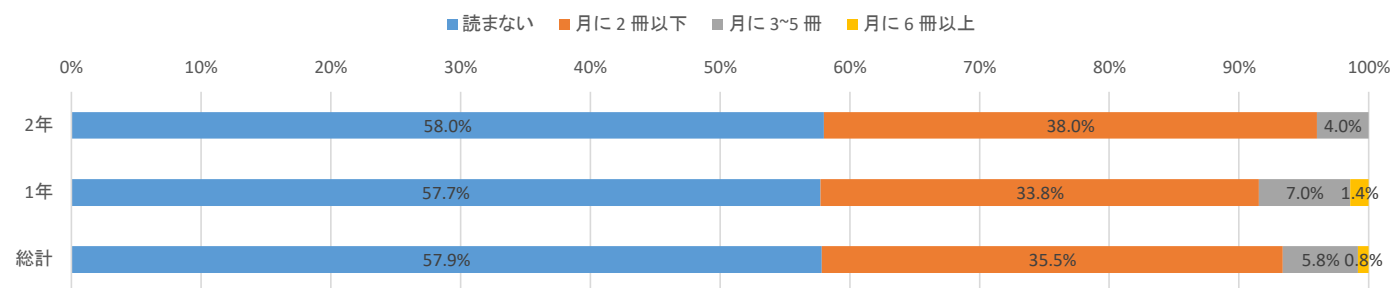
(10) 部活・サークル活動をどのくらいしていますか



(11) ネットやテレビ、新聞、雑誌などのニュースや記事を見て社会の動きを知る努力



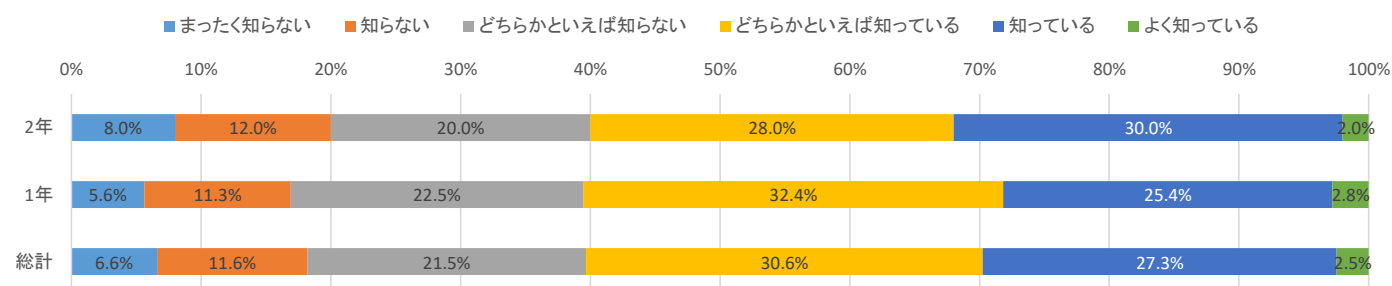
(12) 本をどのくらい読んでいますか



【学修成果調査】

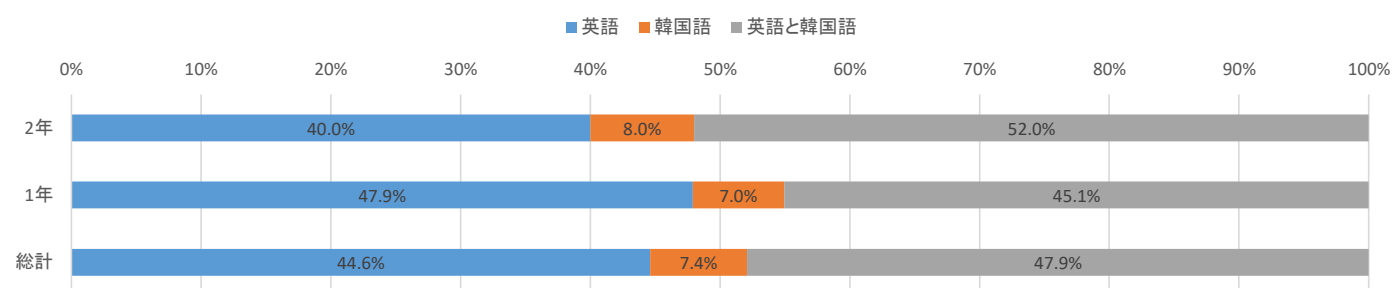
1. 教育理念について

(1) 本学の建学の精神「徳を成す人間の育成」を知っていますか

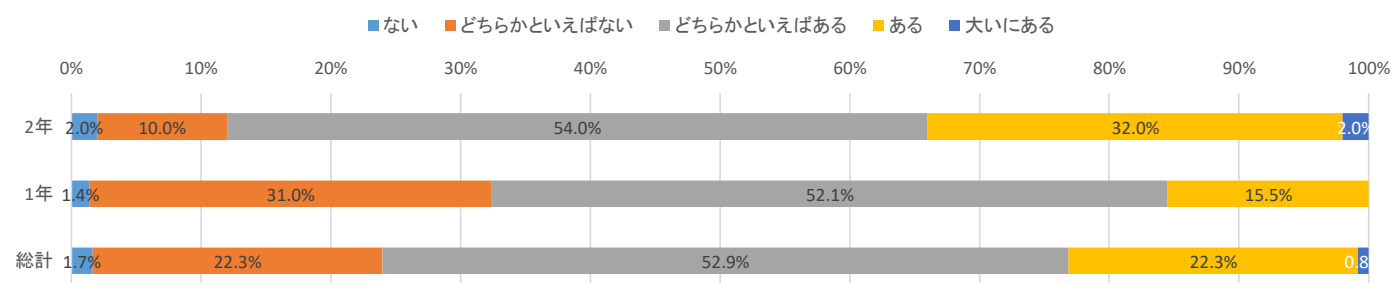


2. 外国語能力について

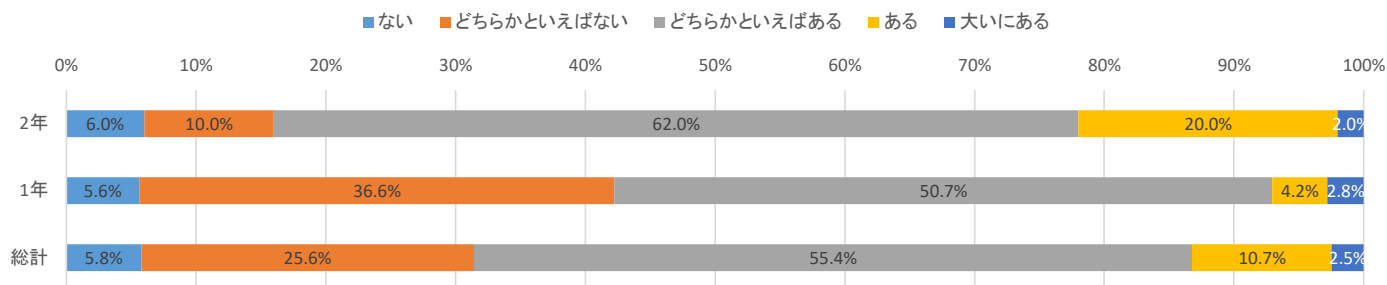
(2) 外国語の授業を選択していますか・いましたか



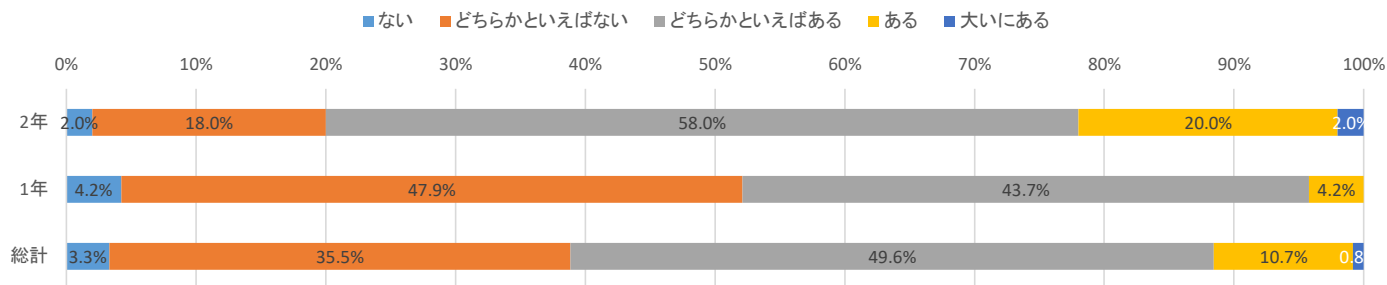
(3) 読む力はどの程度ありますか



(4) 会話力（話す、聞く）はどの程度ありますか

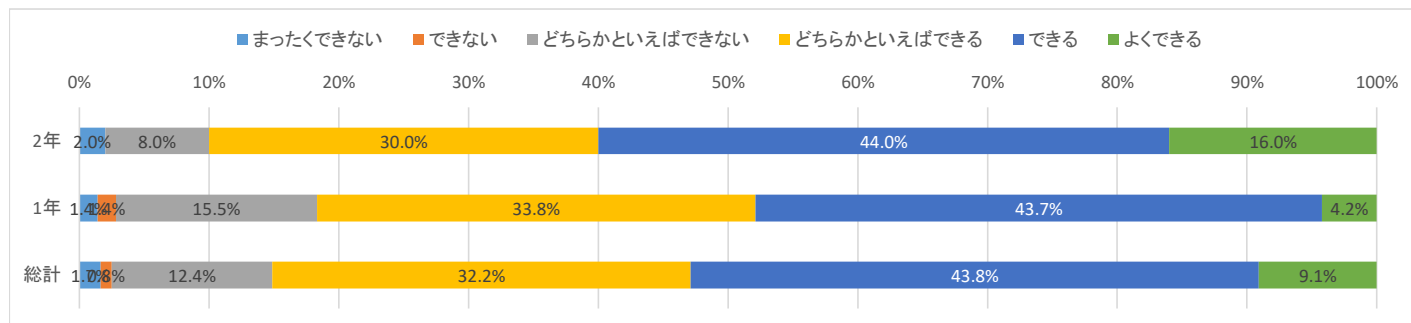


(5) 書く力はどの程度ありますか

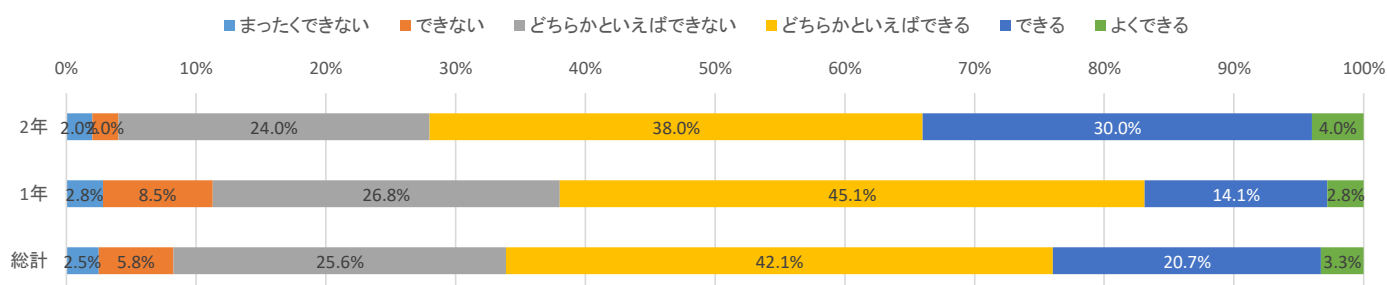


3. ICTリテラシー（＝情報機器やインターネットを使う能力）について

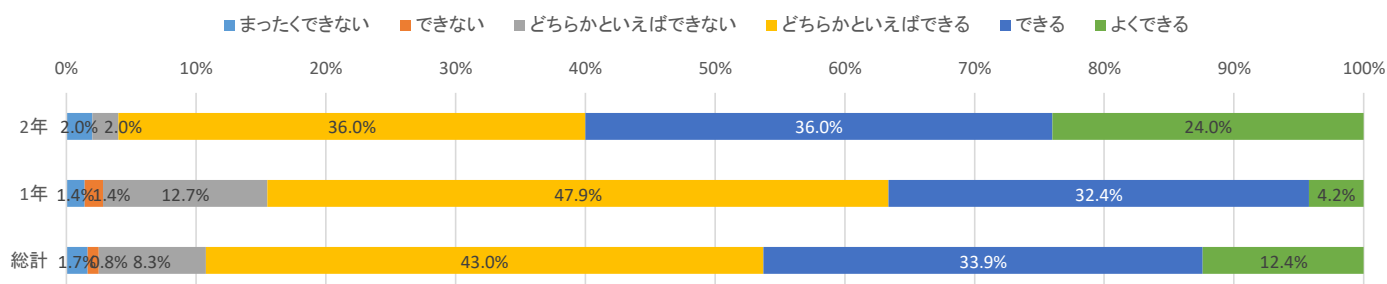
(6) 文章作成ソフト（Wordなど）を使って文章を作成することがどの程度できますか



(7) 表計算ソフト（Excelなど）を使って図表を作成することがどの程度できますか

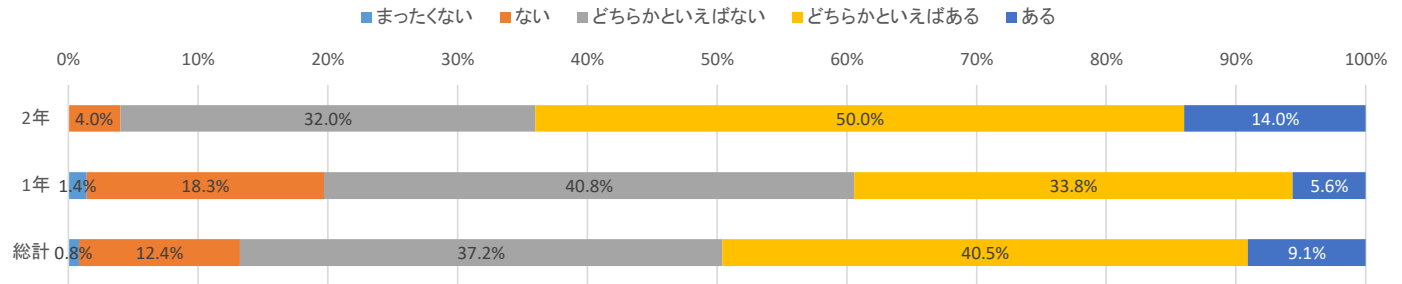


(8) プレゼンテーションソフト（Power Pointなど）による資料作成がどの程度できますか

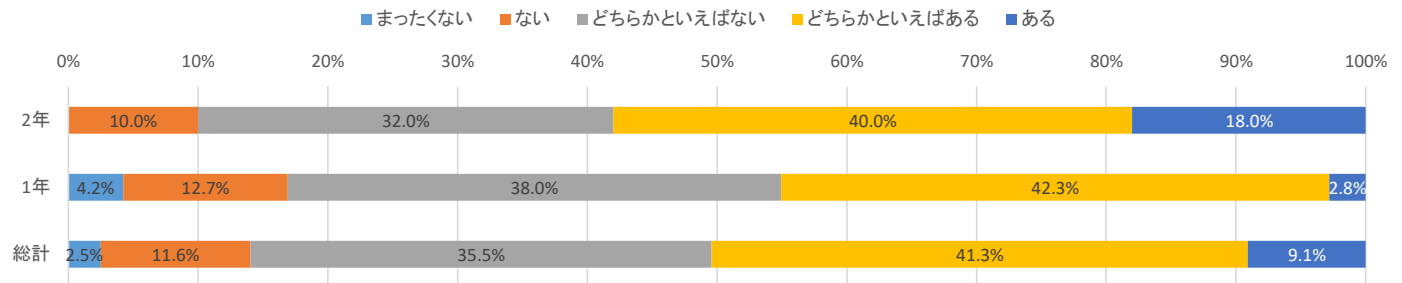


4. 教養・基礎的スキルについて

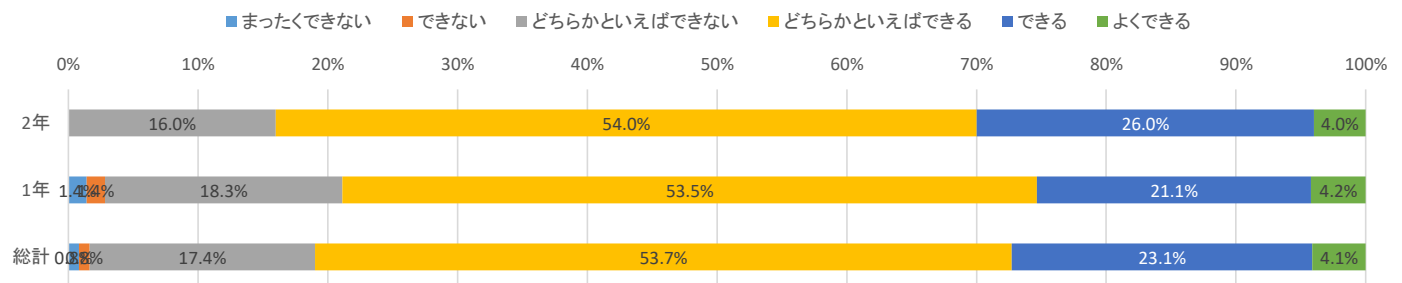
(9) 専門分野の知識とは別に幅広い知識や教養がどの程度ありますか



(10) レポートや論文作成に必要なスキル（文献検索、書式・作法、論理構成、文章作成など）

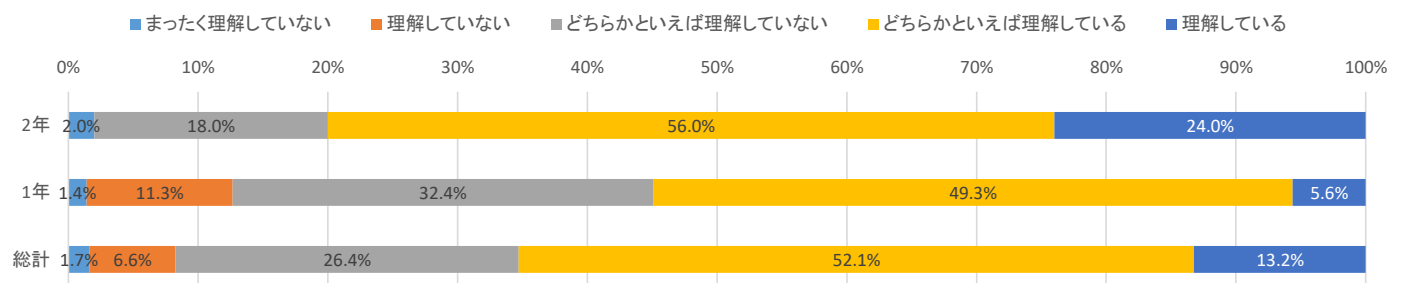


(11) ディスカッションの中で他者の意見をきちんと聞きながら自分の意見を述べる

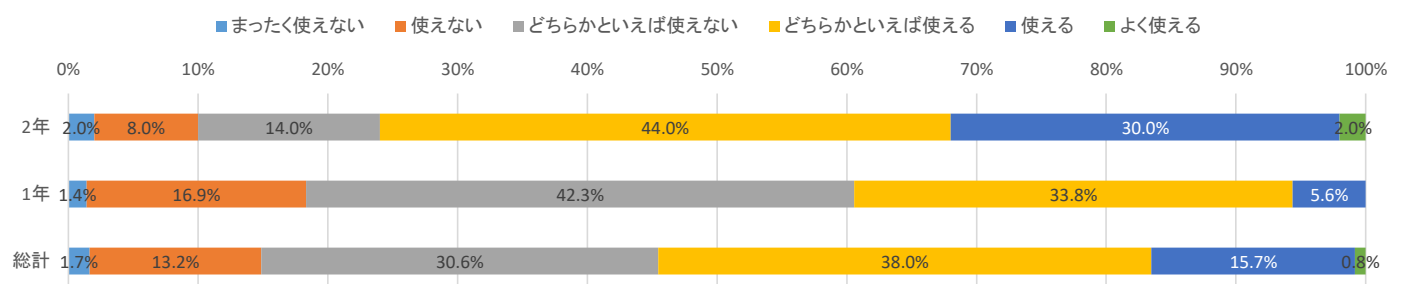


5. 専門知識・専門的スキルについて

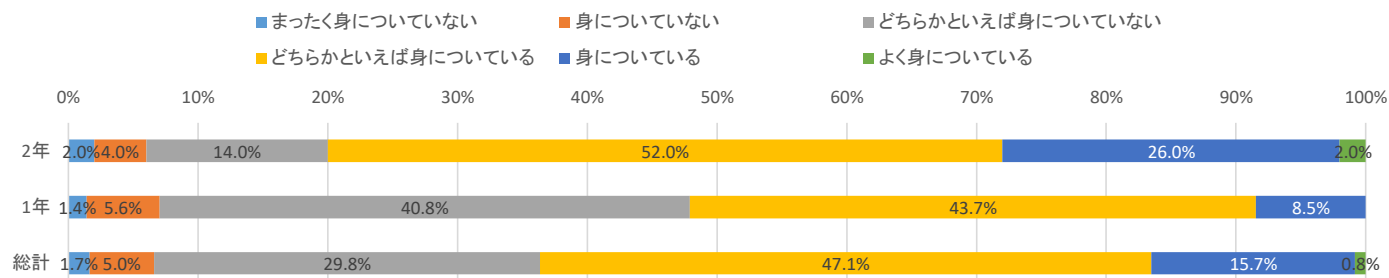
(12) 専門知識をどの程度、理解していますか



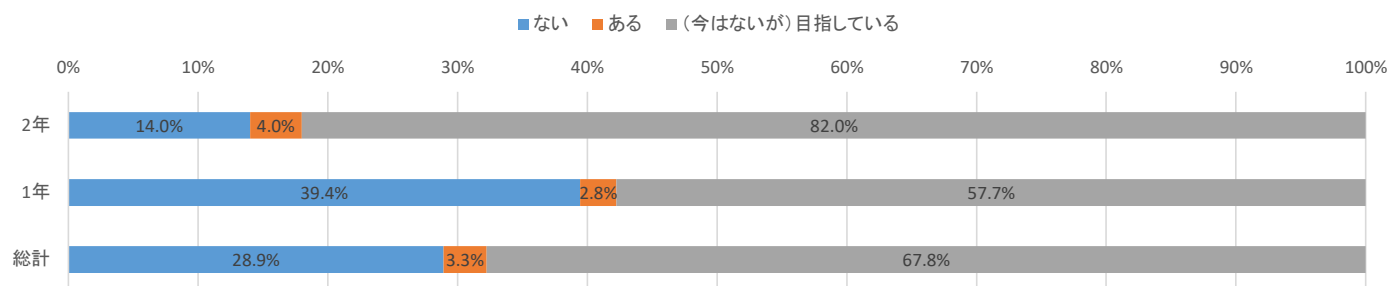
(13) 専門知識を実際の場面で使うことがどの程度できますか



(14) 専門的スキルが身についている

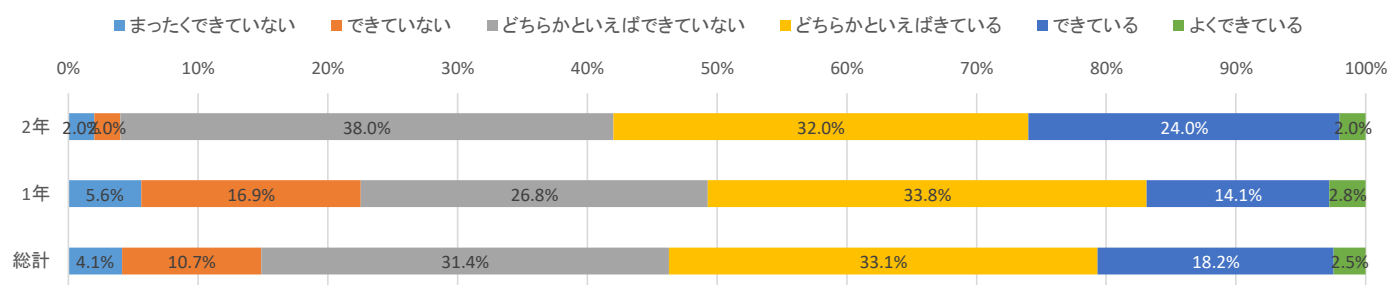


(15) 大学入学後の専門分野に関連する資格の取得、検定試験での一定の点数取得

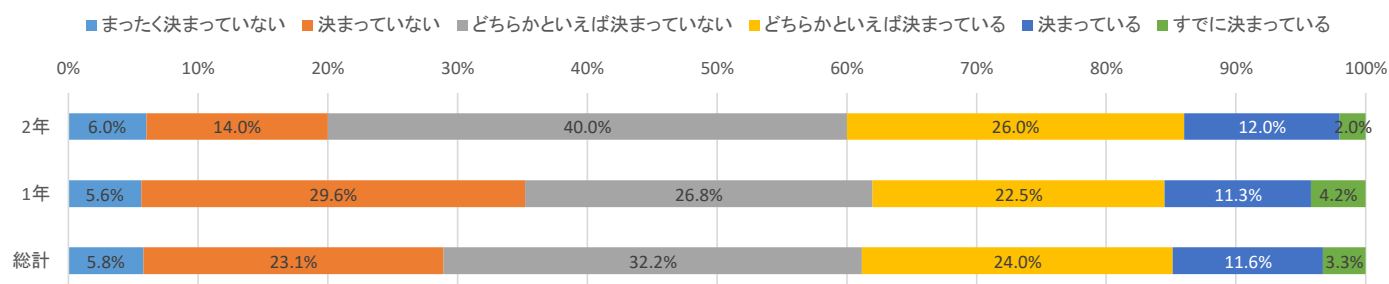


6. 社会で活躍するための力（キャリア教育、社会人基礎力）について

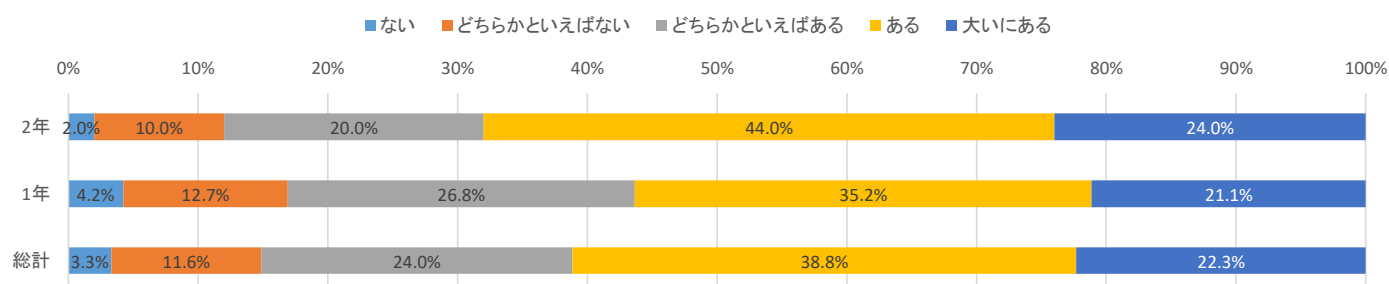
(16) 「自分が働く」とはどのようなことを、どの程度イメージできていますか



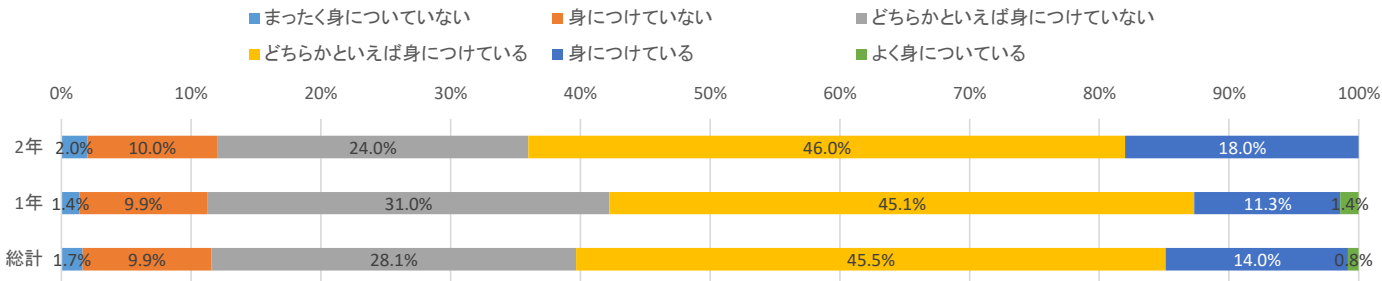
(17) 将来の進路（職業、進学など）はどの程度決まっていますか



(18) 就職活動を最後まで頑張る自信はどの程度ありますか

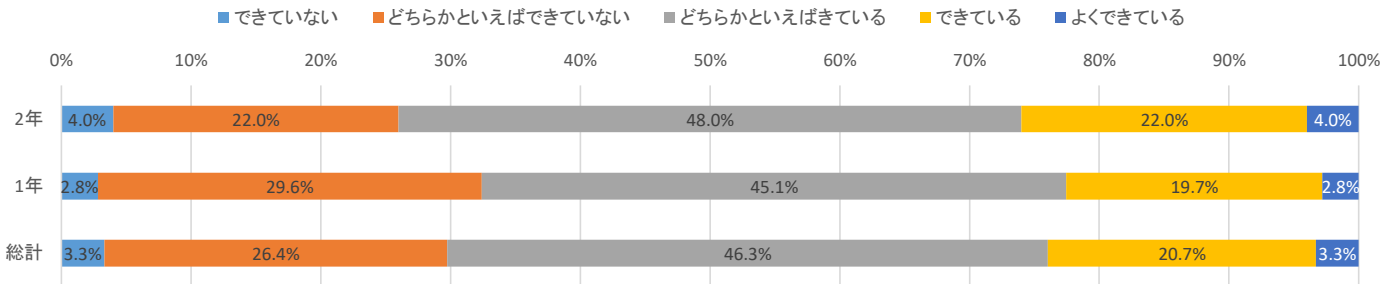


(19) 社会に出て仕事や社会的活動を行うために必要な力を、どの程度身につけていますか

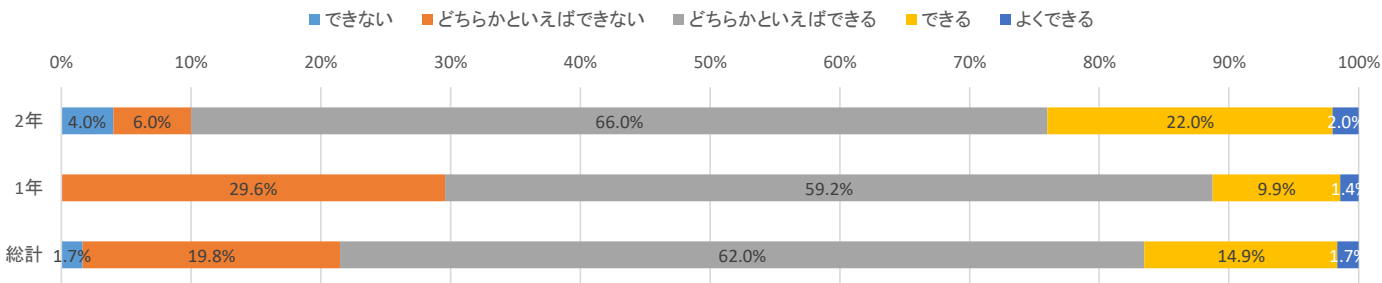


7. 総合力について

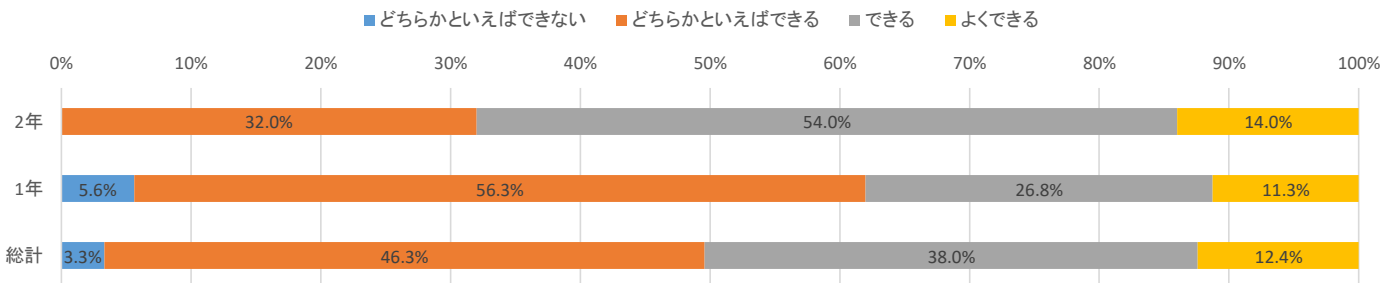
(20) 自分の考えを文章や口頭で他者にきちんと説明する



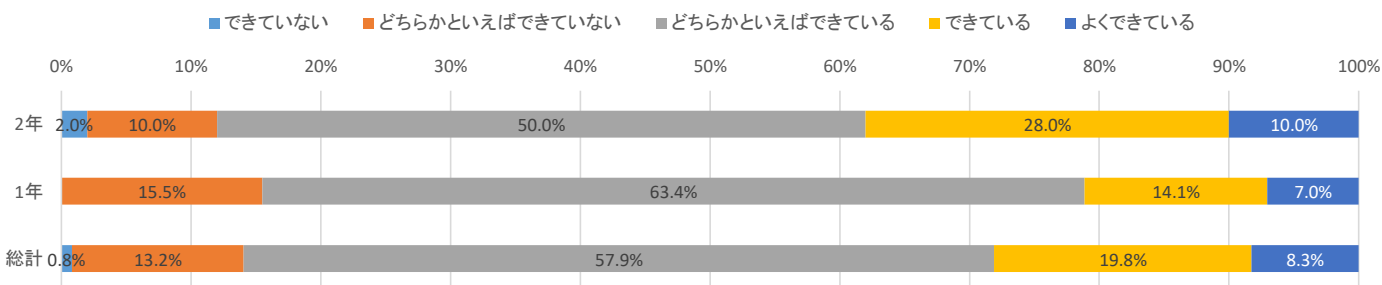
(21) 課題を見つけ出しそれに対する最善の解決方法を考える



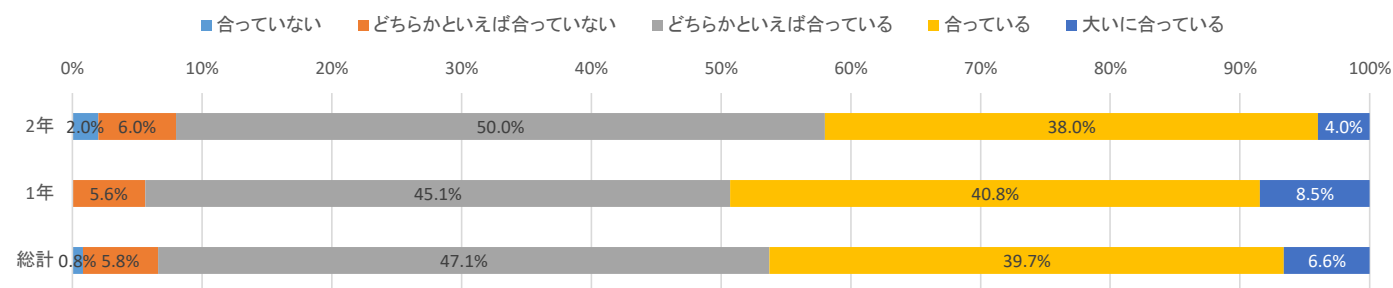
(22) 他者とコミュニケーションを図りながら相互理解を深めていく



(23) 自分自身の「ものの見方・考え方」をつくり上げる



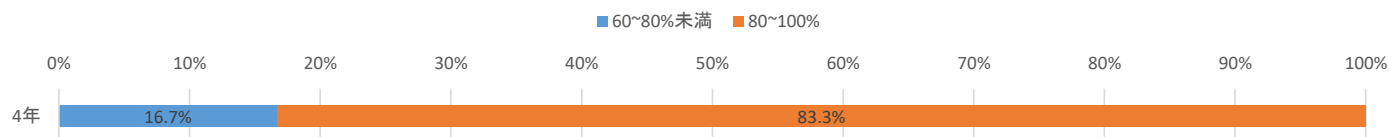
(24) 興味関心や資質・適性からみて学部 of 学びは自分にどの程度合っているか



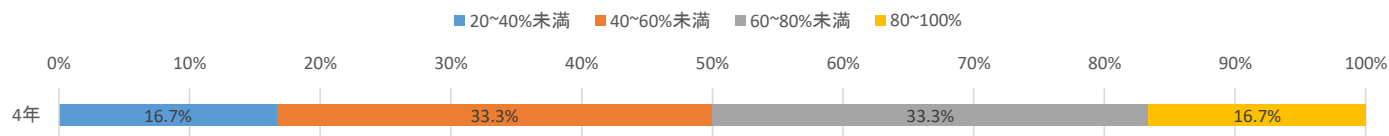
【学修行動調査】

1. 1週間（平均的な）における学修行動について

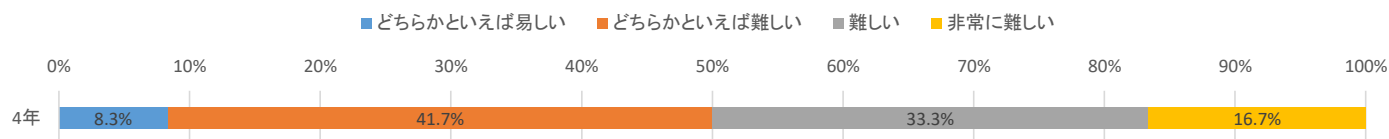
(1) 授業への出席割合（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は、課題などの提出回数などで回答）



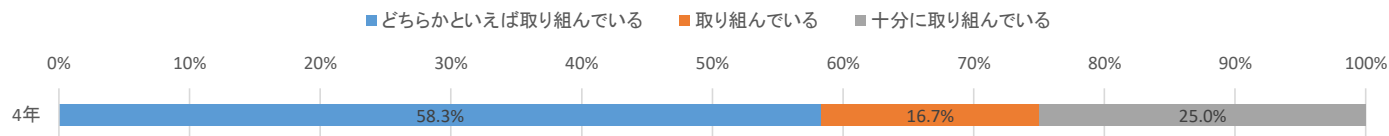
(2) 興味のある授業の割合



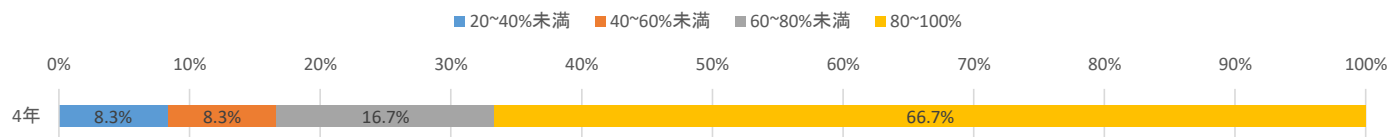
(3) 授業全体の難易度



(4) 授業（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は課題など）への積極的取り組み

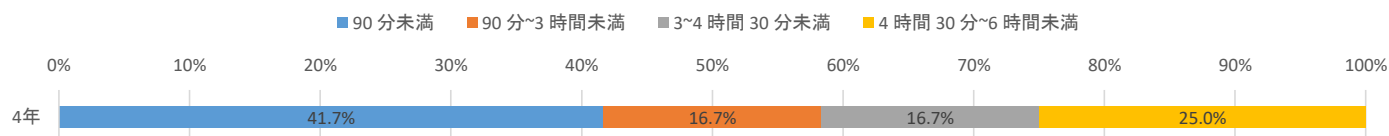


(5) 4年間で卒業できる自信

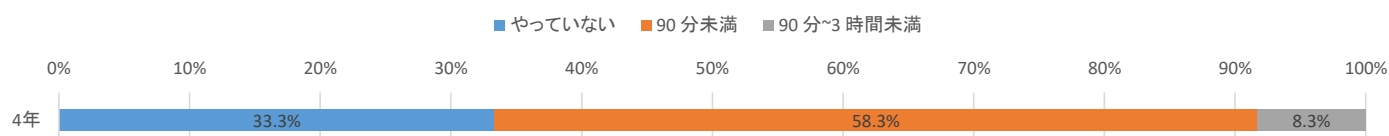


2. 1週間（平均的な）における授業時間外での学修行動について

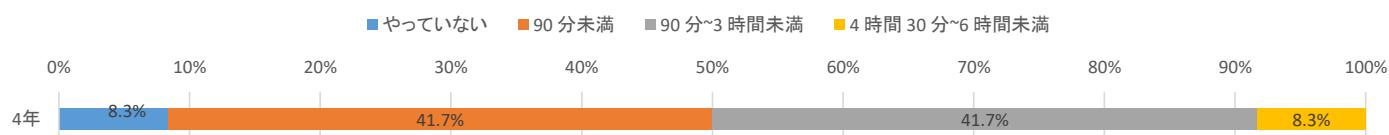
(6) 先生に指示された授業での発表の準備、課題やレポート、宿題などをのくらいやりましたか



(7) 授業の予習をどのくらいしていますか

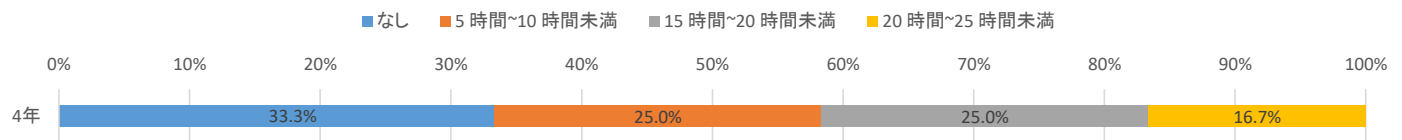


(8) 授業の復習をどのくらいしていますか

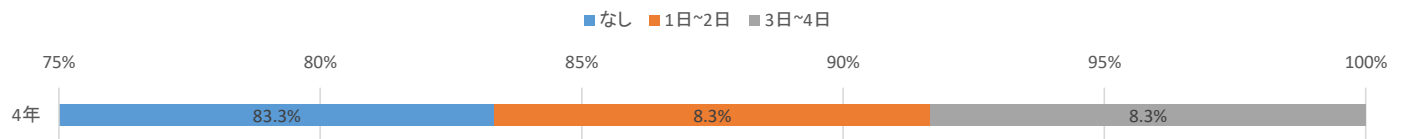


3. 1週間（平均的な）における授業以外の学修活動や行動についてか

(9) アルバイトをどのくらいしていますか

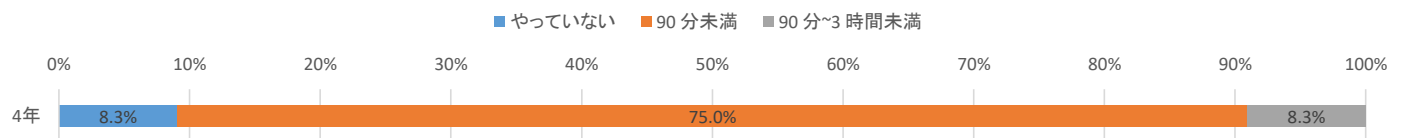


(10) 部活・サークル活動をどのくらいしていますか



(11) ネットやテレビ、新聞、雑誌などのニュースや記事を見て社会の動きを知る努力

(無効回答 4年：1)



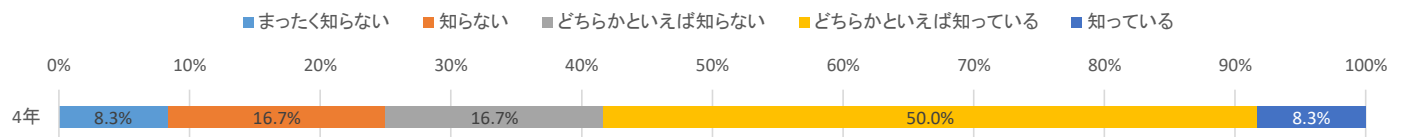
(12) 本をどのくらい読んでいますか



【学修成果調査】

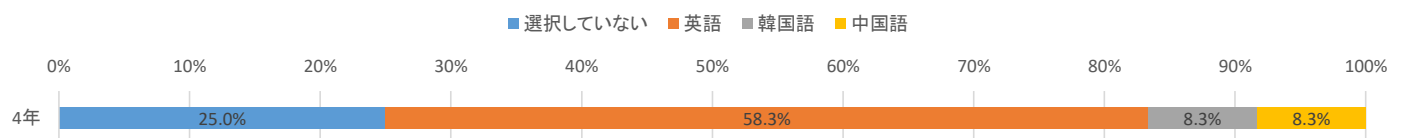
1. 教育理念について

(1) 本学の建学の精神「徳を成す人間の育成」を知っていますか

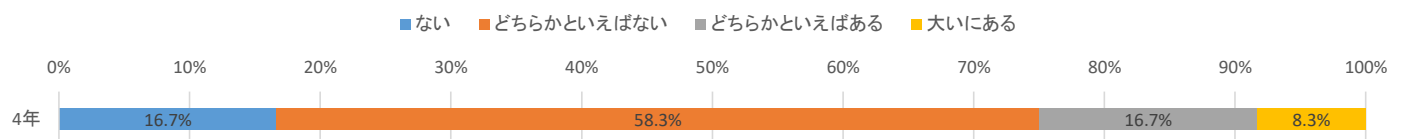


2. 外国語能力について

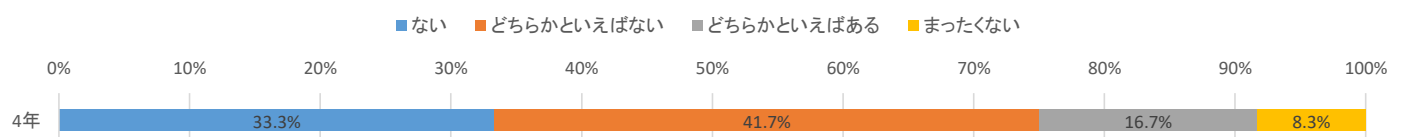
(2) 外国語の授業を選択していますか・いましたか



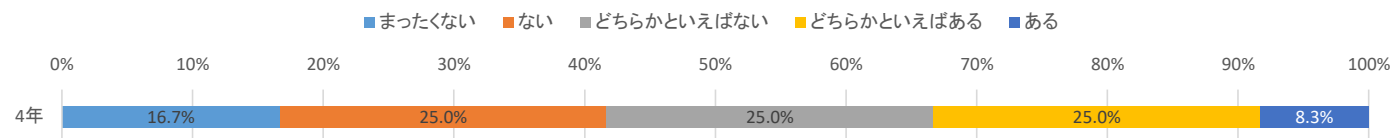
(3) 読む力はどの程度ありますか



(4) 会話力（話す、聞く）はどの程度ありますか

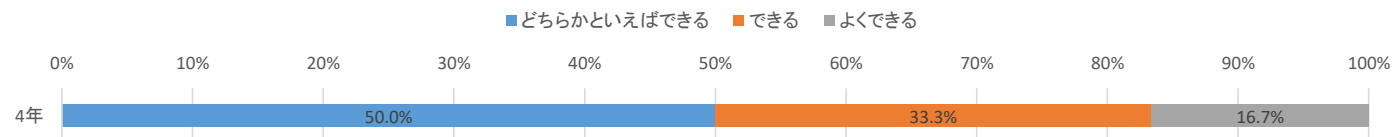


(5) 書く力はどの程度ありますか

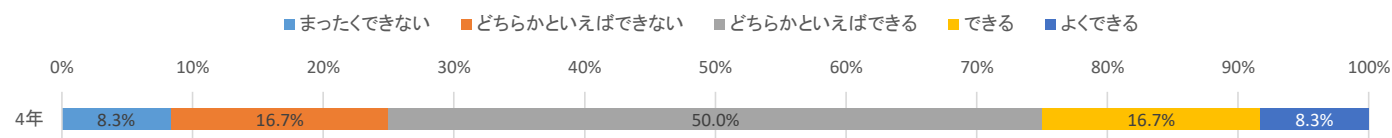


3. ICTリテラシー（＝情報機器やインターネットを使う能力）について

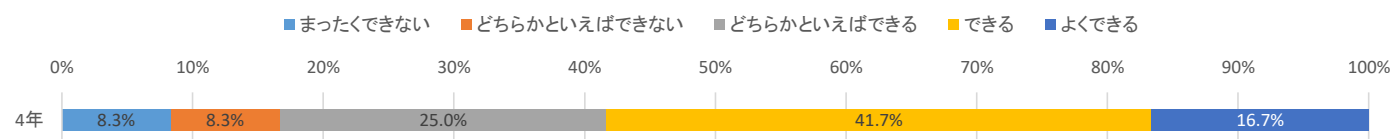
(6) 文章作成ソフト（Wordなど）を使って文章を作成することがどの程度できますか



(7) 表計算ソフト（Excelなど）を使って図表を作成することがどの程度できますか

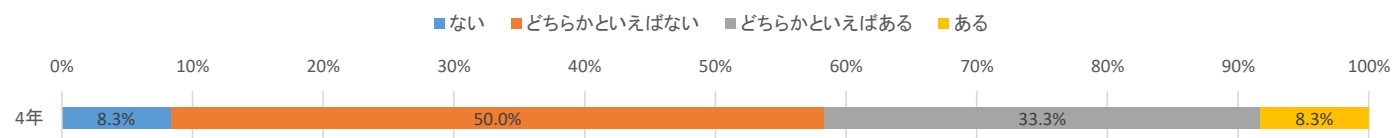


(8) プレゼンテーションソフト（Power Pointなど）による資料作成がどの程度できますか

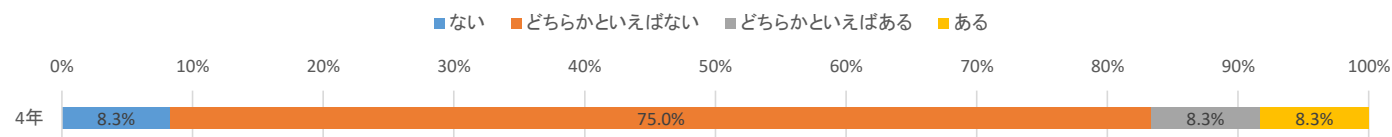


4. 教養・基礎的スキルについて

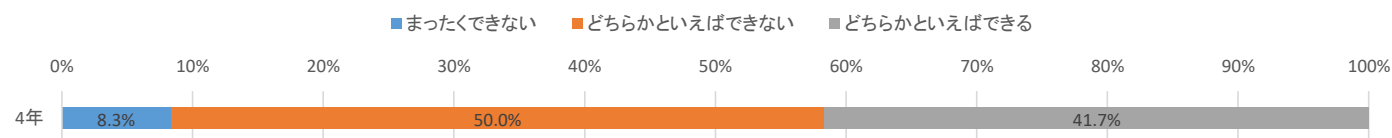
(9) 専門分野の知識とは別に幅広い知識や教養がどの程度ありますか



(10) レポートや論文作成に必要なスキル（文献検索、書式・作法、論理構成、文章作成など）

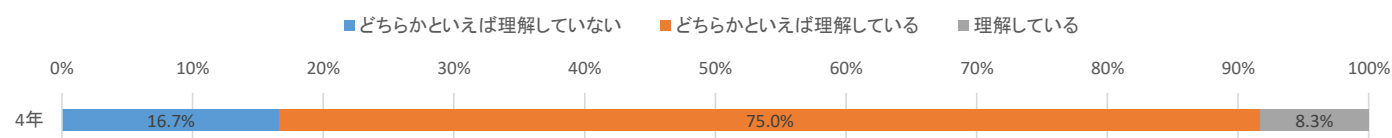


(11) ディスカッションの中で他者の意見をきちんと聞きながら自分の意見を述べる

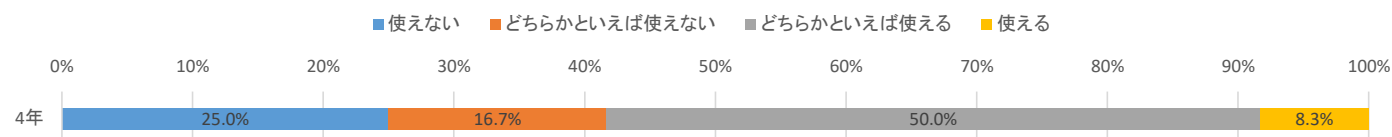


5. 専門知識・専門的スキルについて

(12) 専門知識をどの程度、理解していますか

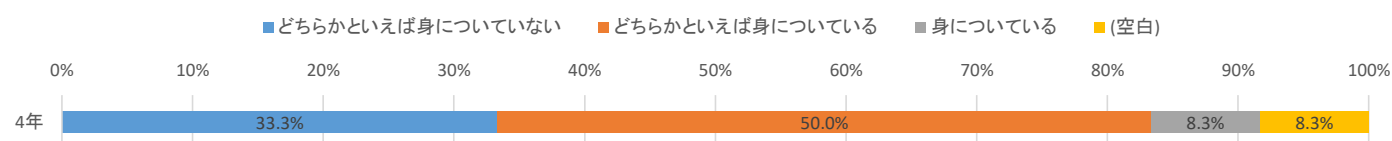


(13) 専門知識を実際の場面で使うことがどの程度できますか

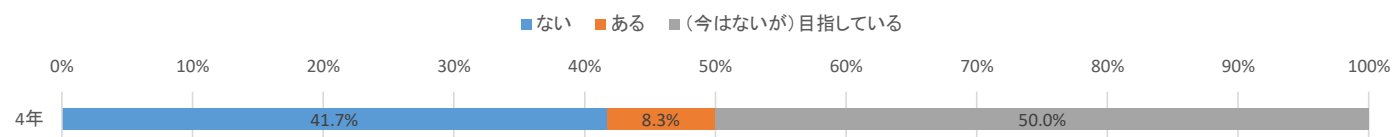


(14) 専門的スキルが身についている

(無効回答 4年：1)

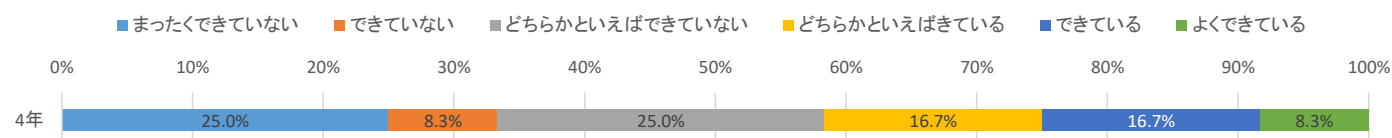


(15) 大学入学後の専門分野に関連する資格の取得、検定試験での一定の点数取得

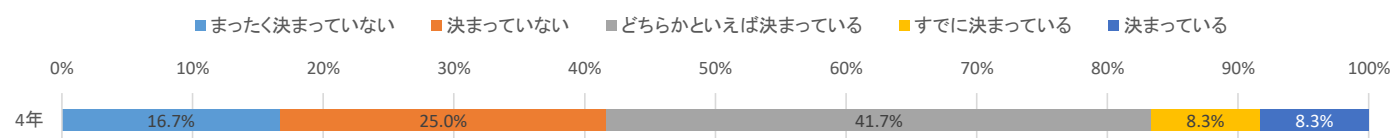


6. 社会で活躍するための力（キャリア教育、社会人基礎力）について

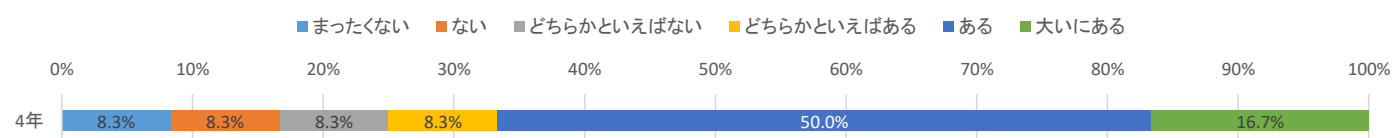
(16) 「自分が働く」とはどのようなことかを、どの程度イメージできていますか



(17) 将来の進路（職業、進学など）はどの程度決まっていますか



(18) 就職活動を最後まで頑張る自信はどの程度ありますか

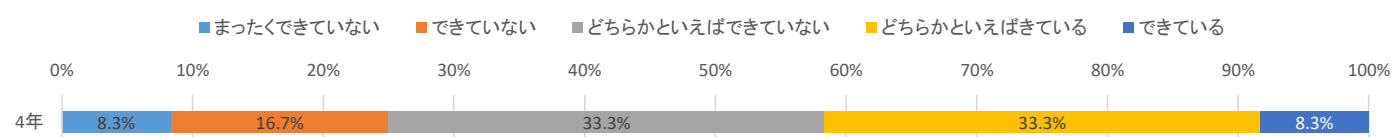


(19) 社会に出て仕事や社会的活動を行うために必要な力を、どの程度身につけていますか

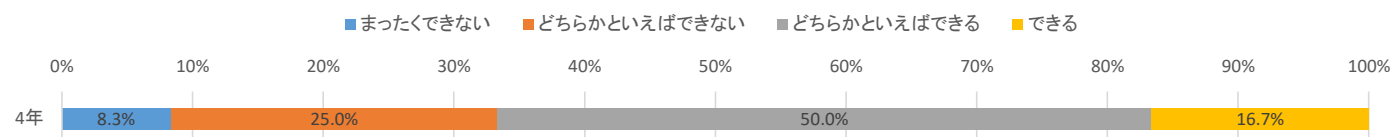


7. 総合力について

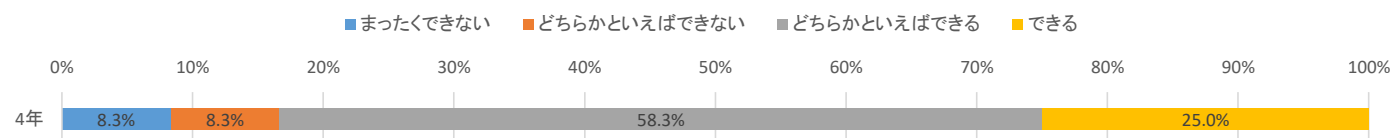
(20) 自分の考えを文章や口頭で他者にきちんと説明する



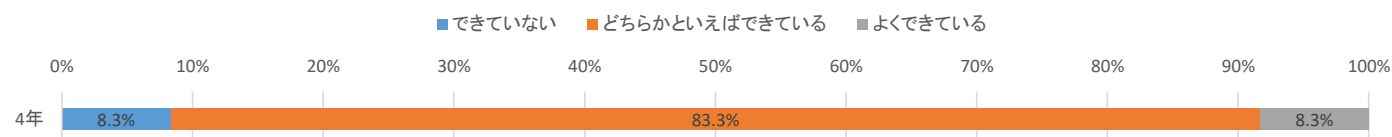
(21) 課題を見つけ出しそれに対する最善の解決方法を考える



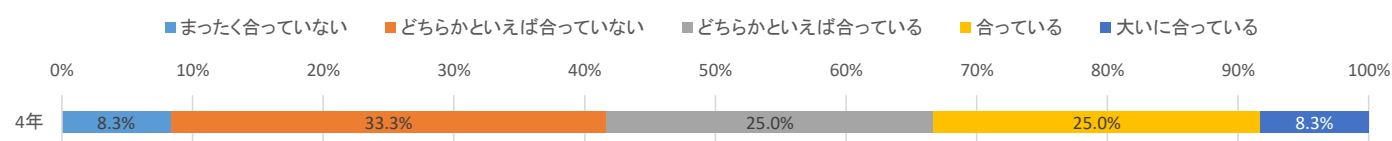
(22) 他者とコミュニケーションを図りながら相互理解を深めていく



(23) 自分自身の「ものの見方・考え方」をつくり上げる



(24) 興味関心や資質・適性からみて学部での学びは自分にどの程度合っているか

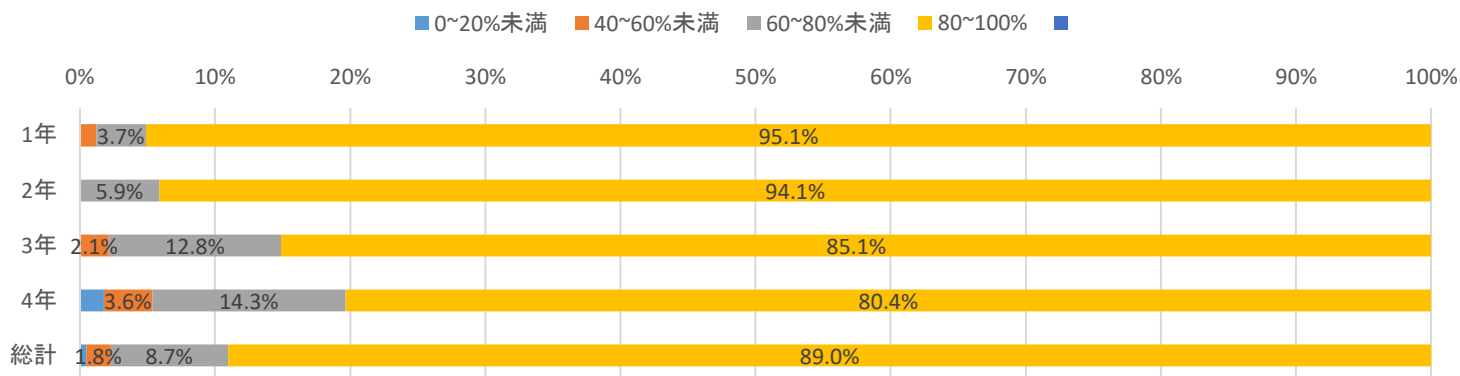


2) - 5 臨床心理学科

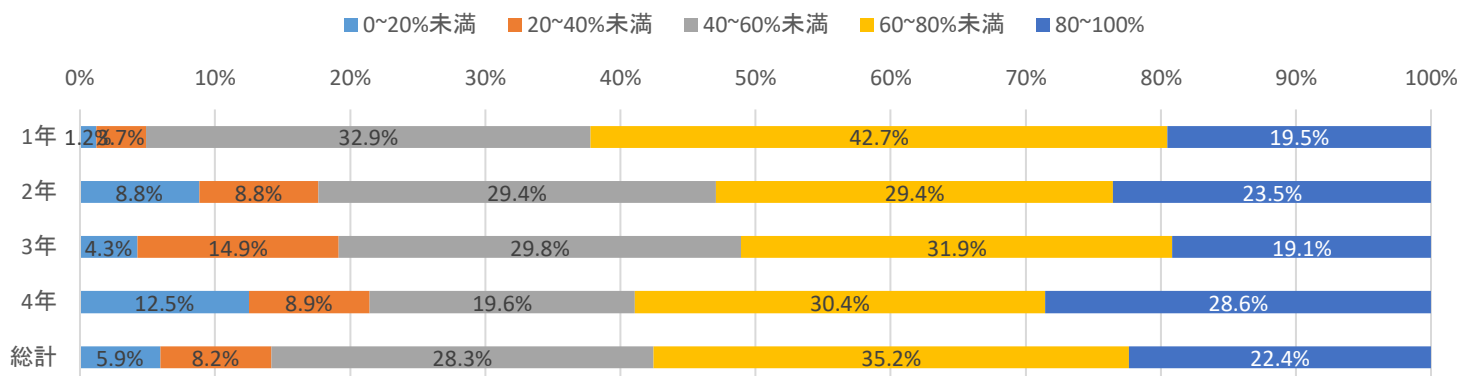
【学修行動】

1. 1週間（平均的な）における学修行動について

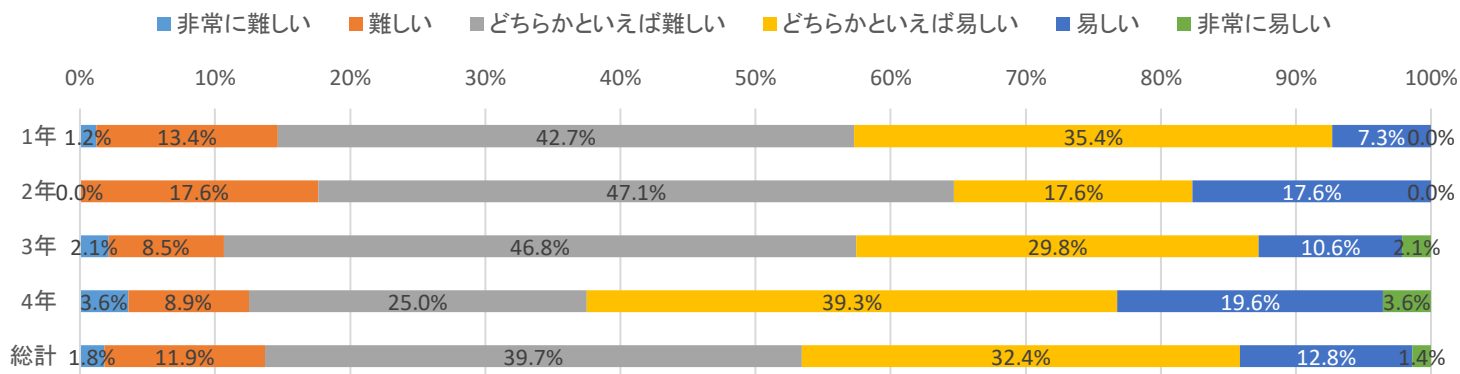
(1) 授業への出席割合（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は、課題などの提出回数などで回答）



(2) 興味のある授業の割合

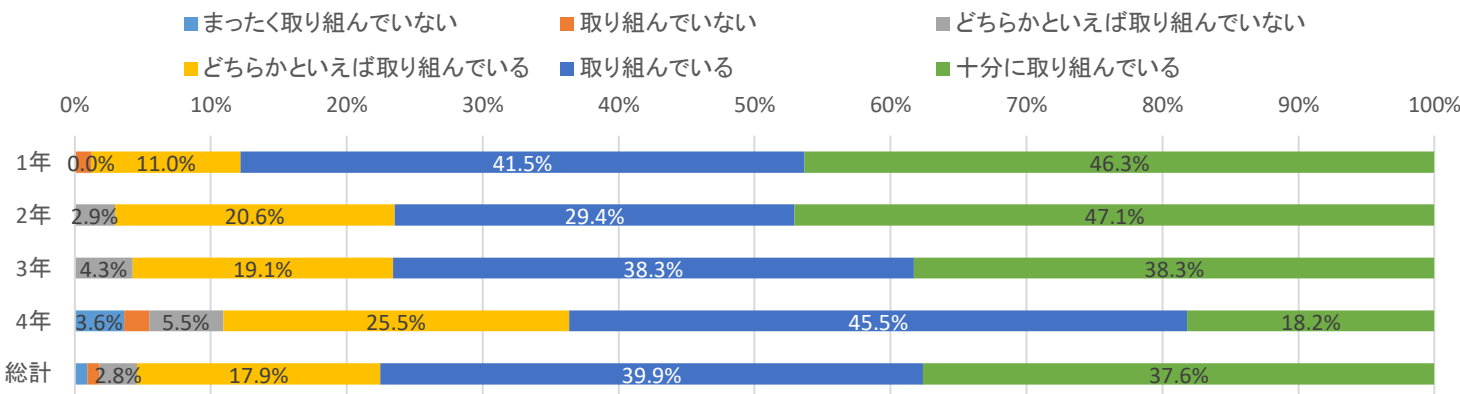


(3) 授業全体の難易度

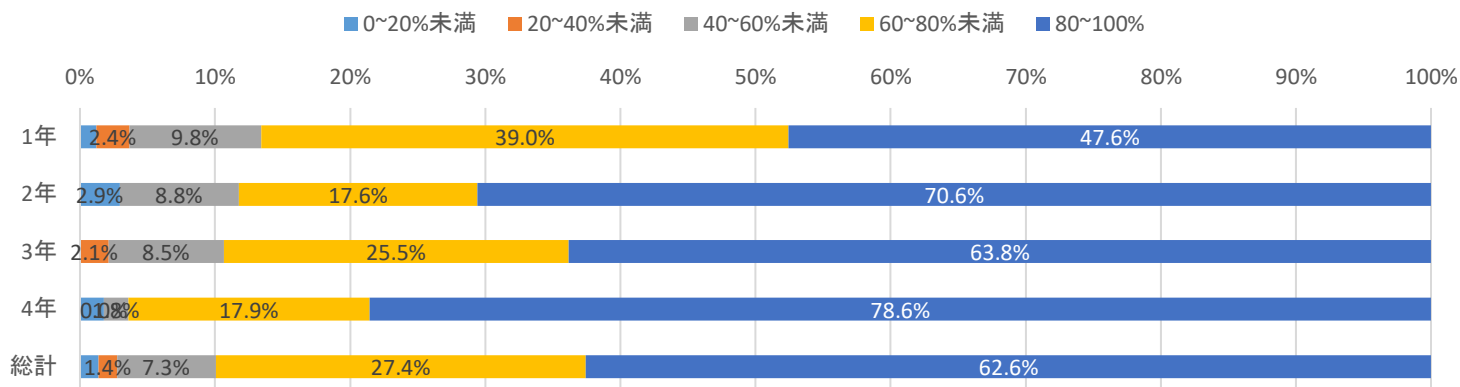


(4) 授業（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は課題など）への積極的取り組み

（無効回答 4年:1）

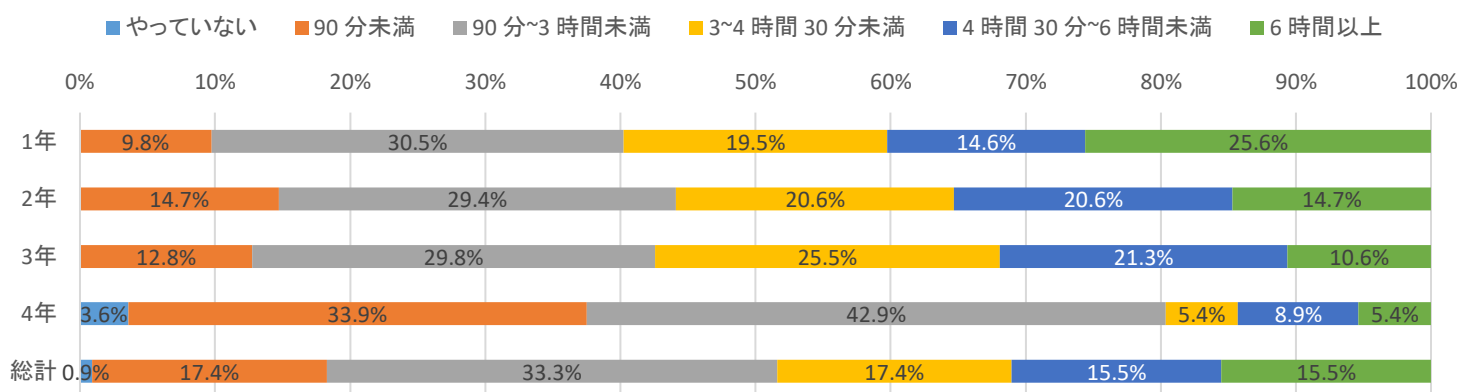


(5)4年間で卒業できる自信



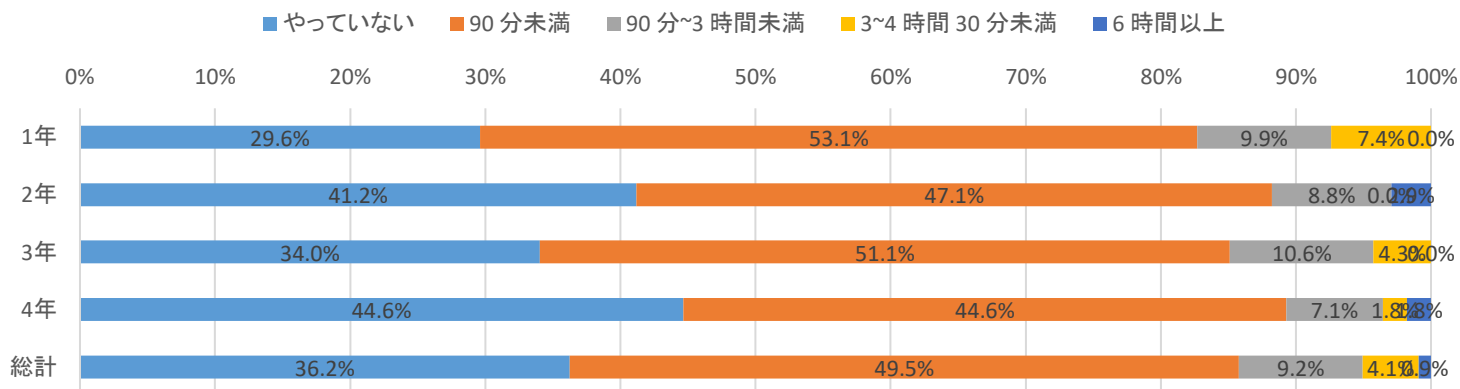
2. 1週間(平均的な)における授業時間外での学修行動について

(6)先生に指示された授業での発表の準備、課題やレポート、宿題などをのくらいやりましたか

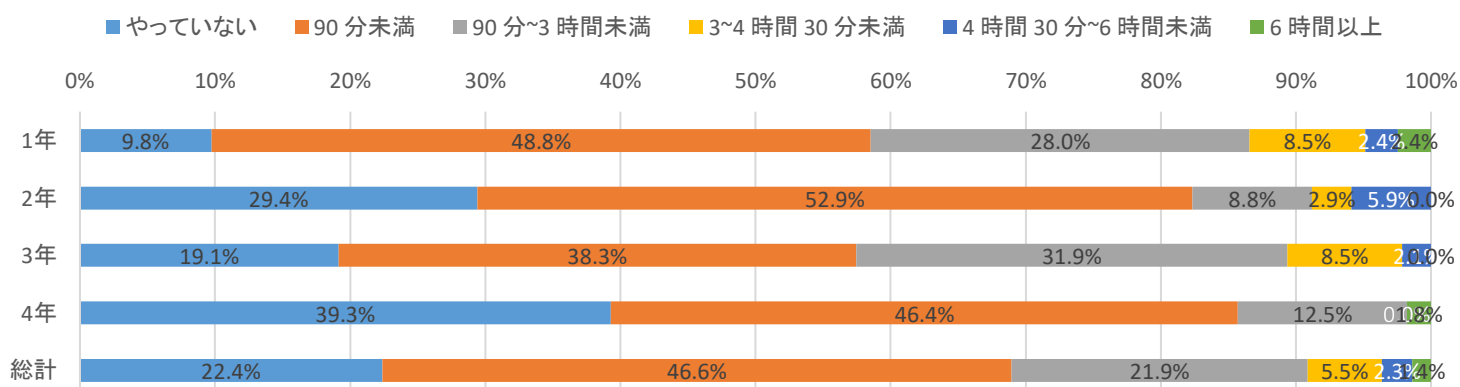


(7) 授業の予習をどのくらいしていますか

(無効回答 1年:1)

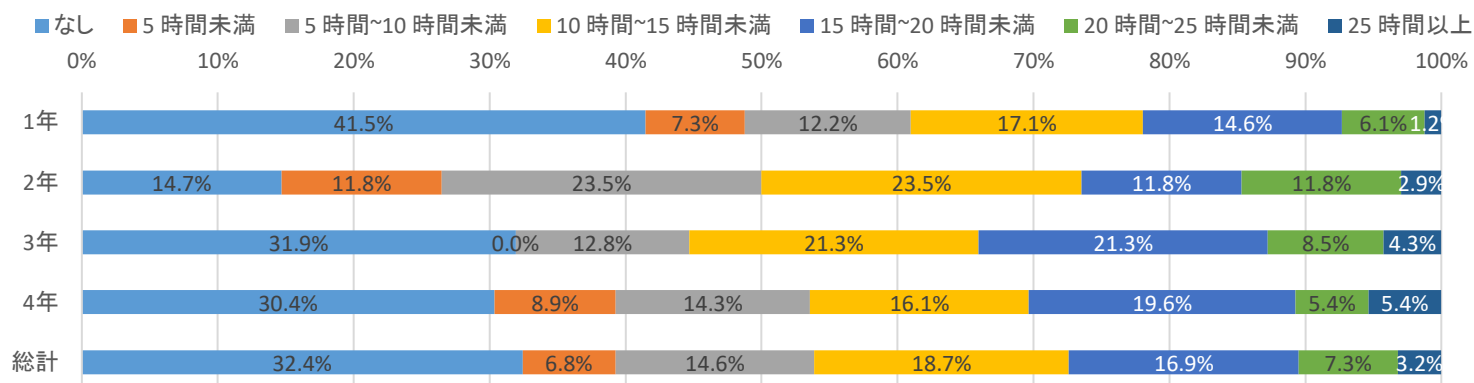


(8) 授業の復習をどのくらいしていますか

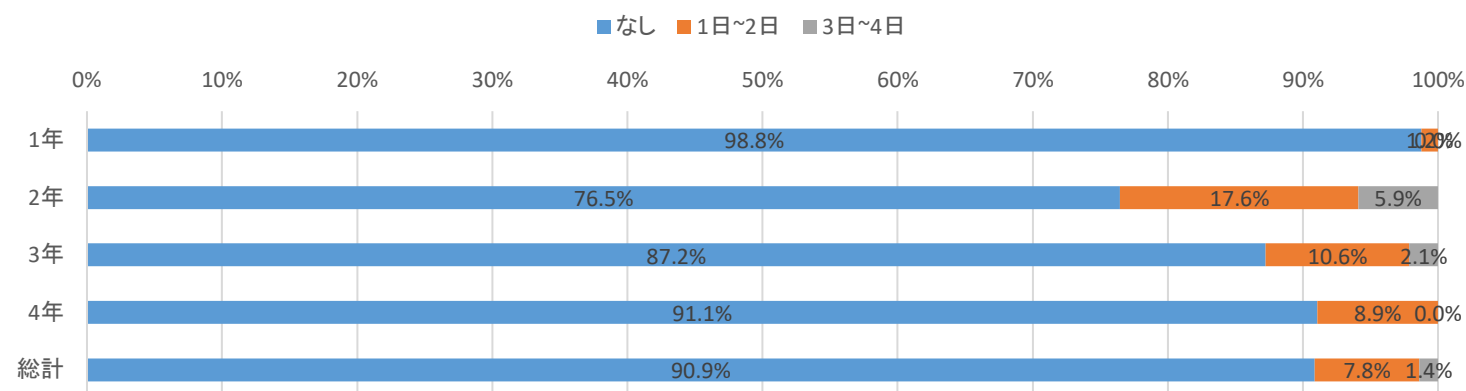


3. 1週間(平均的な)における授業以外の学修活動や行動についてか

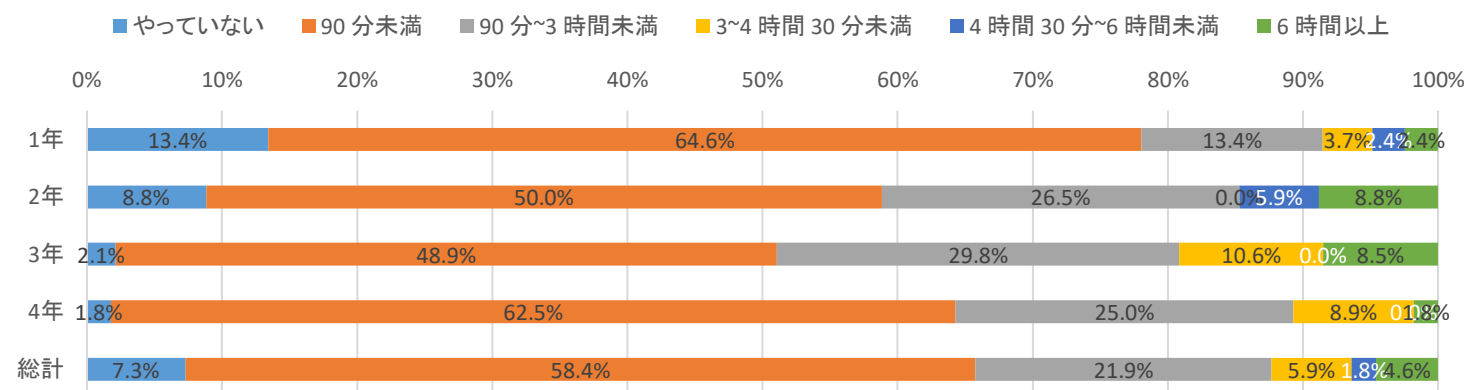
(9) アルバイトをどのくらいしていますか



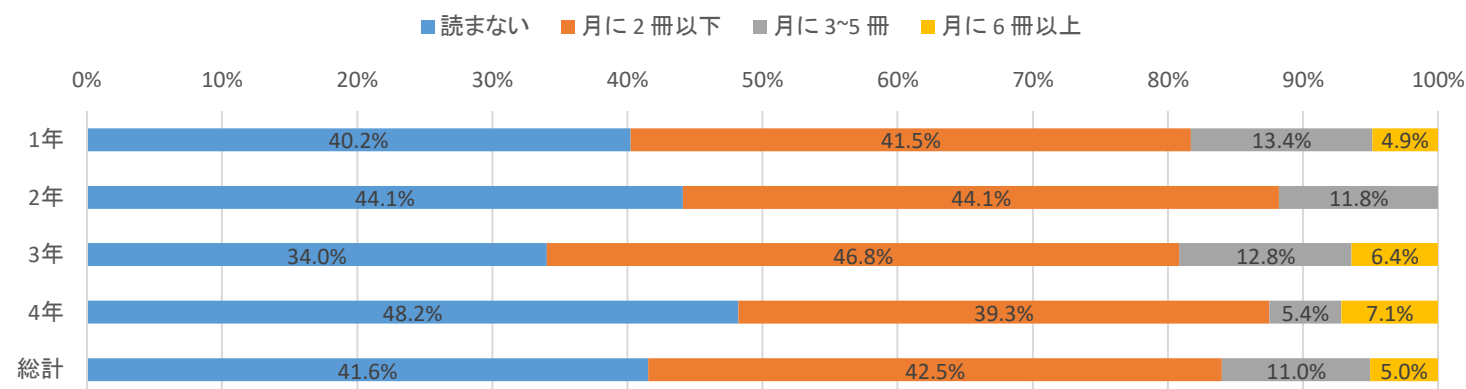
(10) 部活・サークル活動をどのくらいしていますか



(11) ネットやテレビ、新聞、雑誌などのニュースや記事を見て社会の動きを知る努力



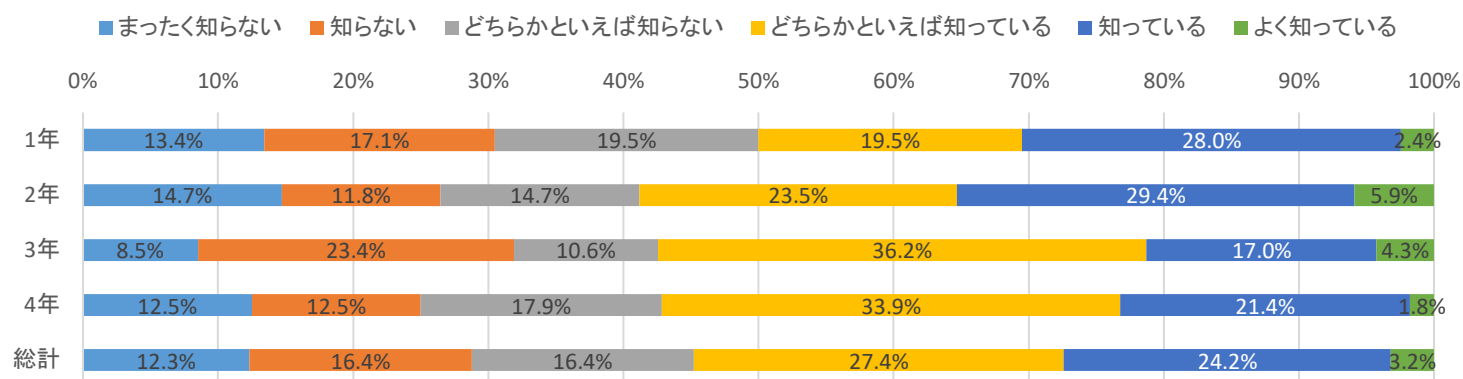
(12) 本をどのくらい読んでいますか



【学修成果】

1. 教育理念について

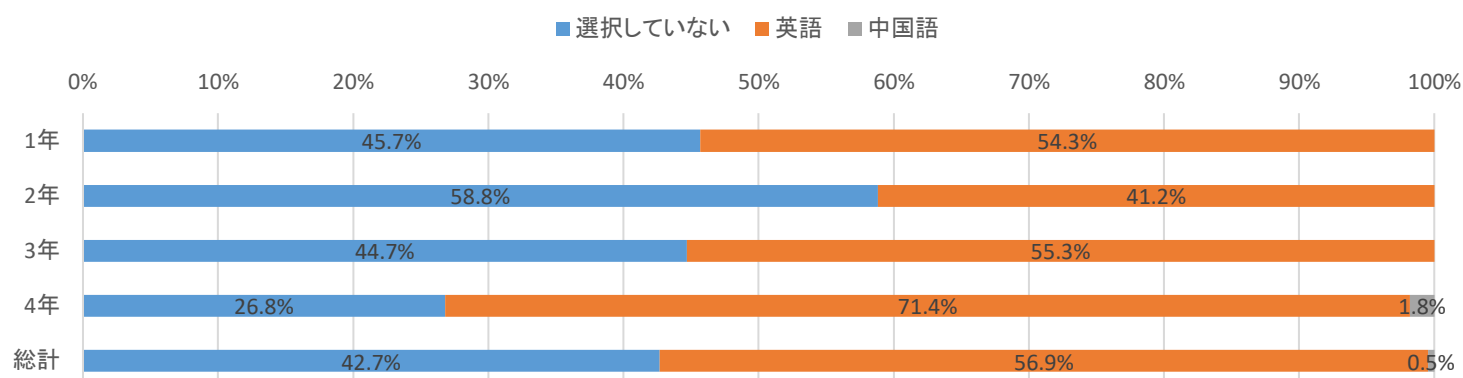
(1) 本学の建学の精神「徳を成す人間の育成」を知っていますか



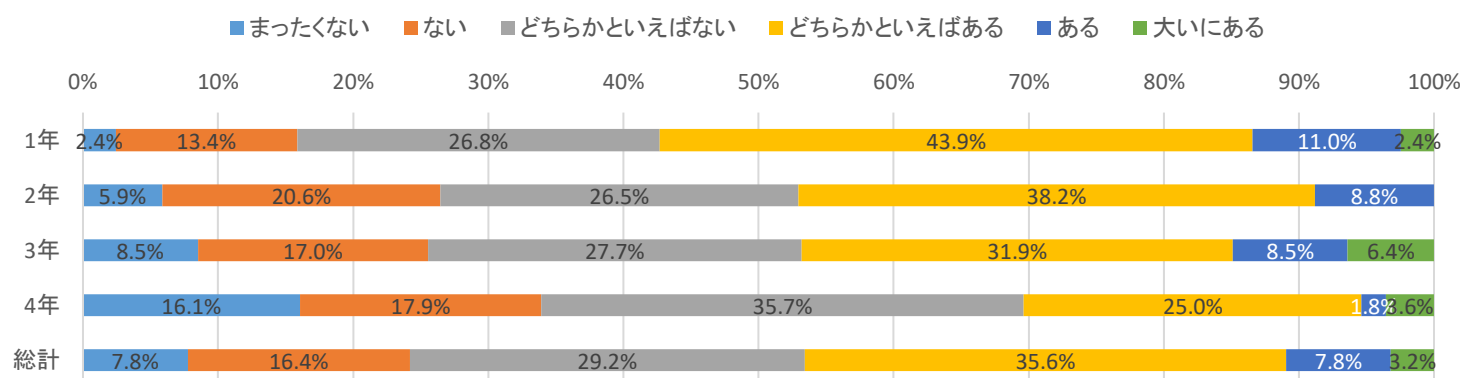
2. 外国語能力について

(2) 外国語の授業を選択していますか・いましたか

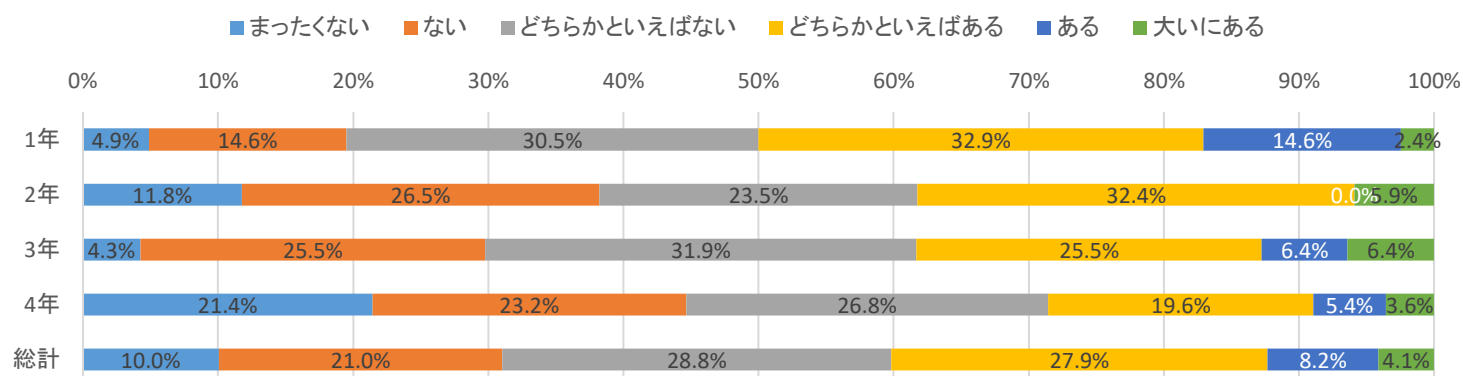
(無効回答 1年:1)



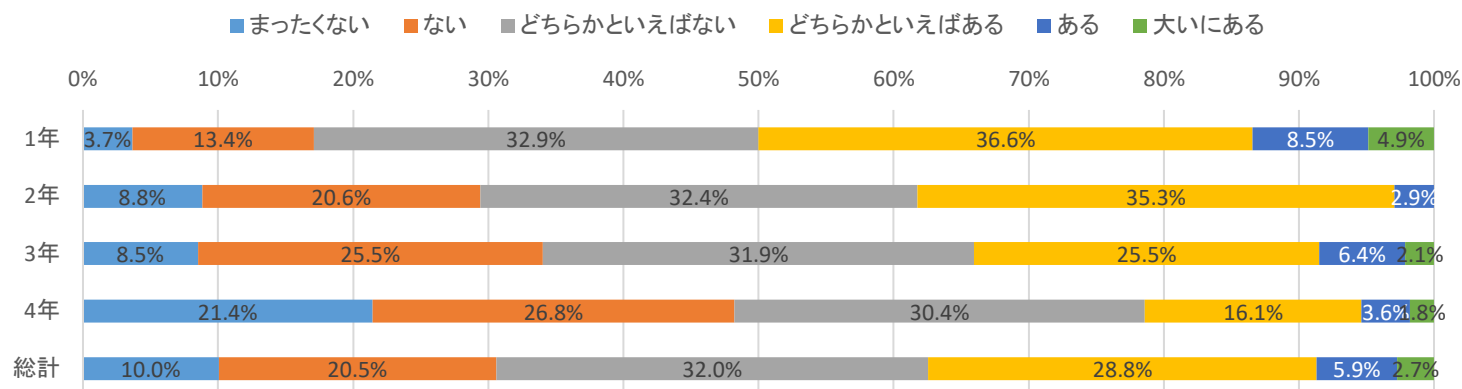
(3) 読む力はどの程度ありますか



(4) 会話力(話す、聞く)はどの程度ありますか

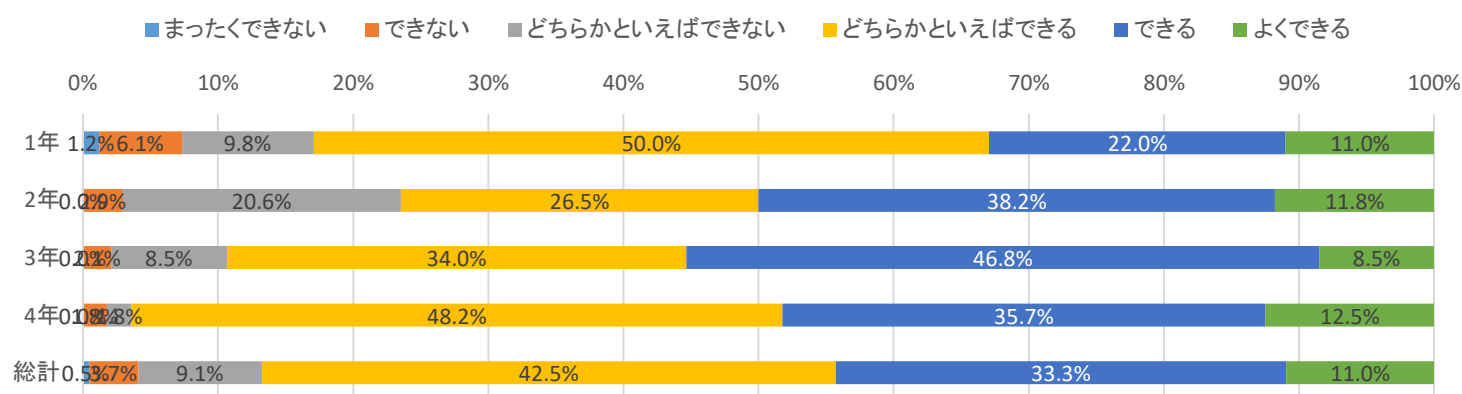


(5)書く力はどの程度ありますか

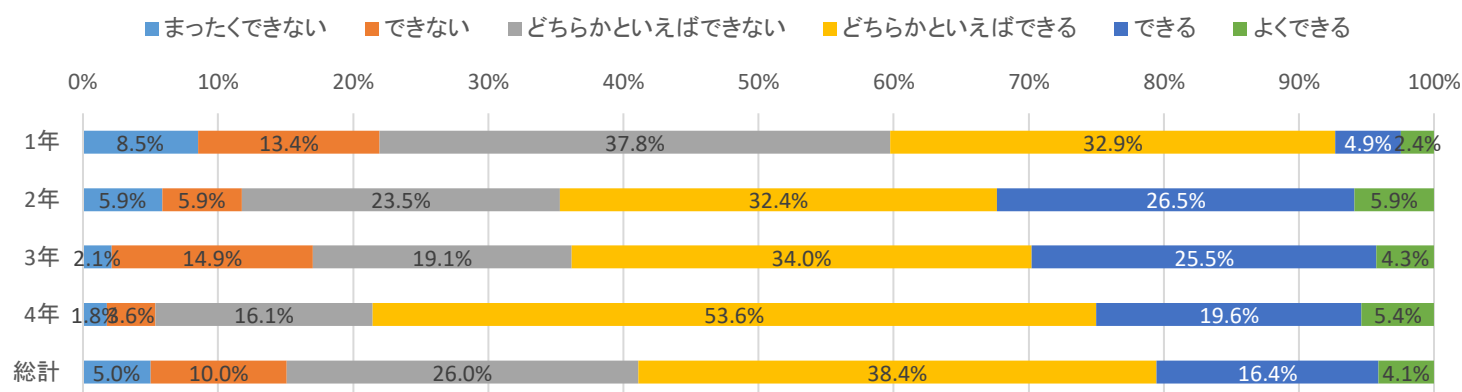


3. ICTリテラシー(=情報機器やインターネットを使う能力)について

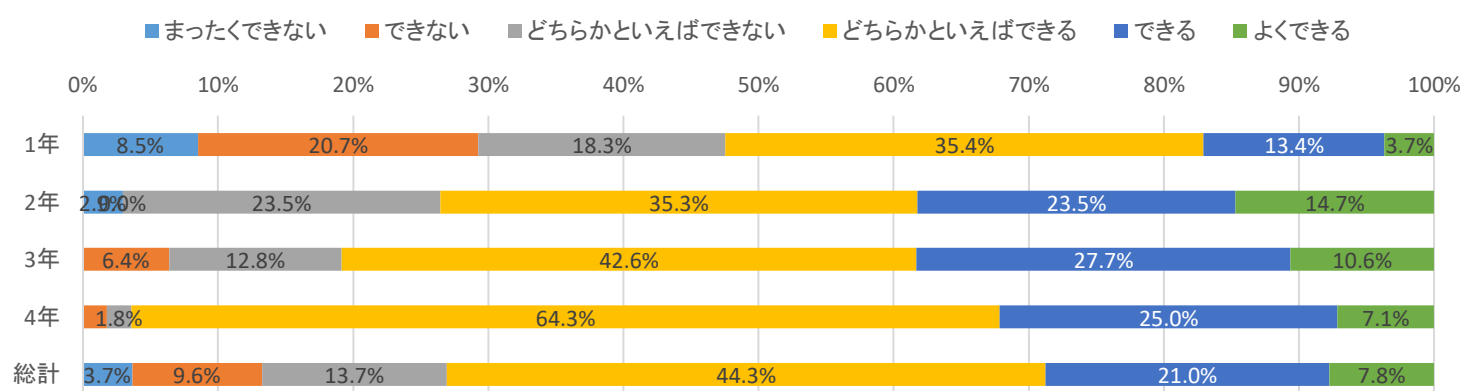
(6)文章作成ソフト(Wordなど)を使って文章を作成することがどの程度できますか



(7)表計算ソフト(Excelなど)を使って図表を作成することがどの程度できますか

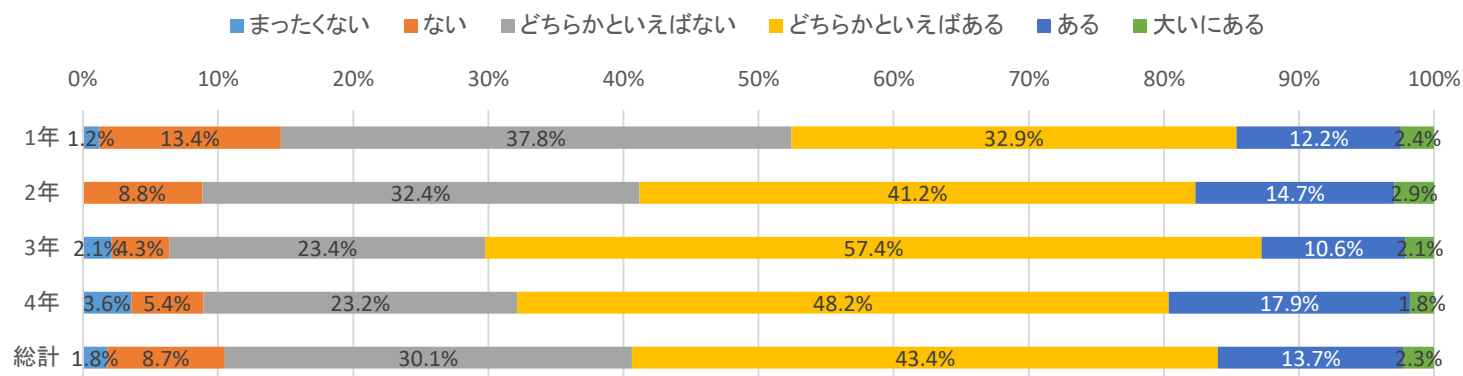


(8)プレゼンテーションソフト(Power Pointなど)による資料作成がどの程度できますか

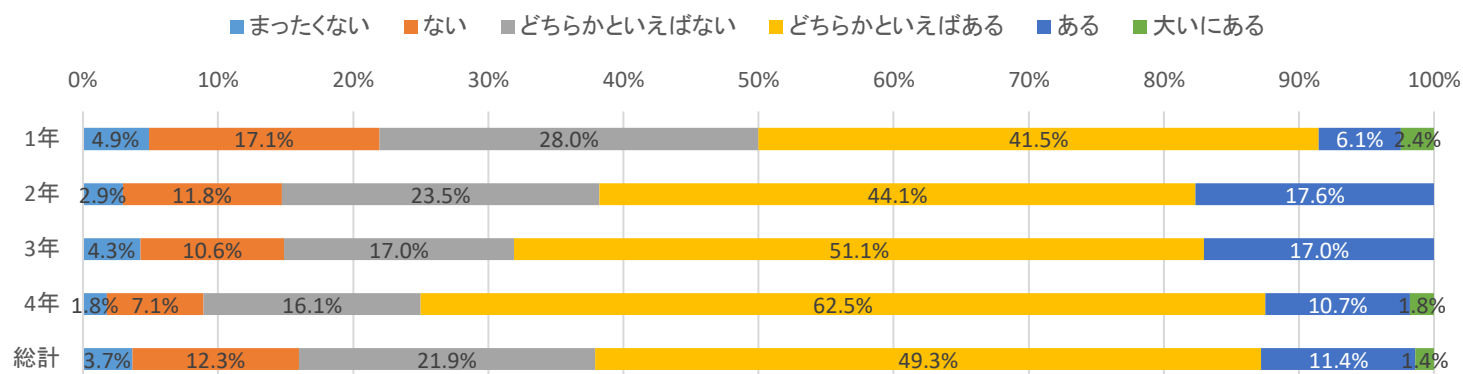


4. 教養・基礎的スキルについて

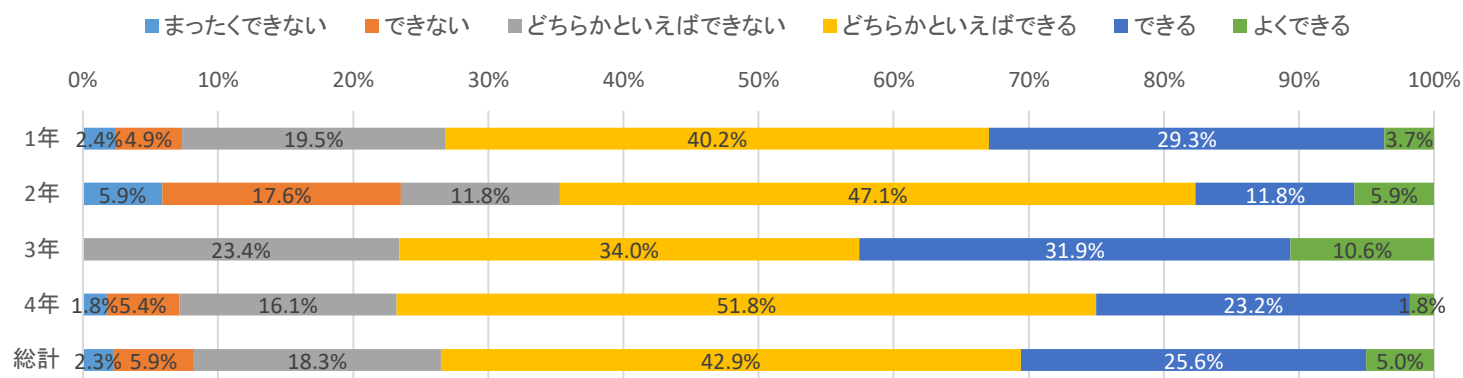
(9)専門分野の知識とは別に幅広い知識や教養がどの程度ありますか



(10)レポートや論文作成に必要なスキル(文献検索、書式・作法、論理構成、文章作成など)

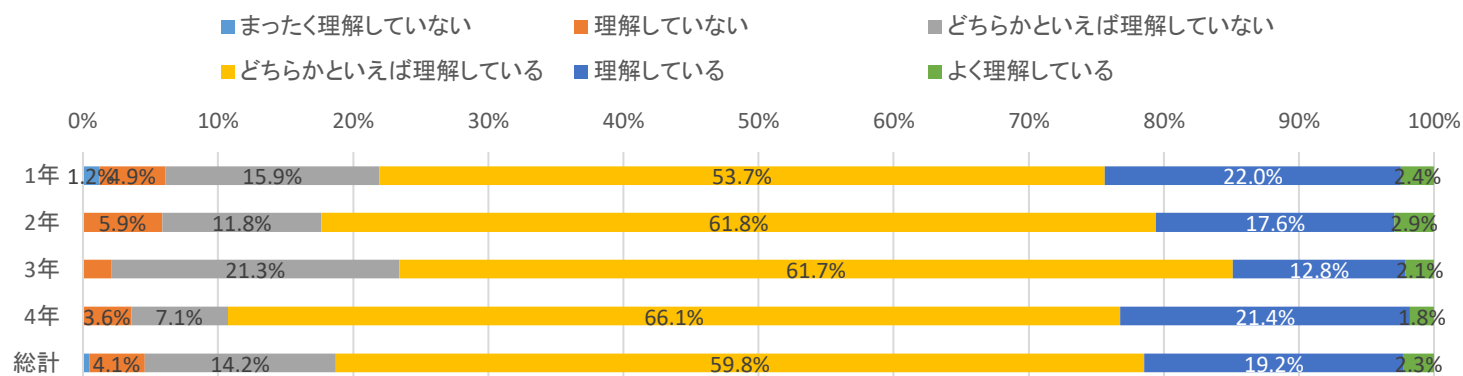


(11)ディスカッションの中で他者の意見をきちんと聞きながら自分の意見を述べる

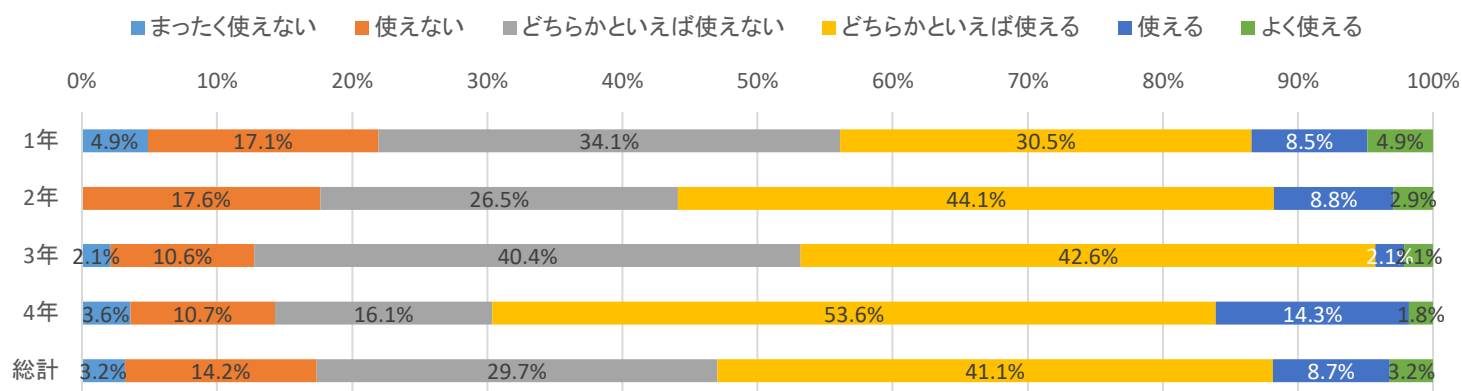


5-1. 専門知識・専門的スキルについて(全学共通項目)

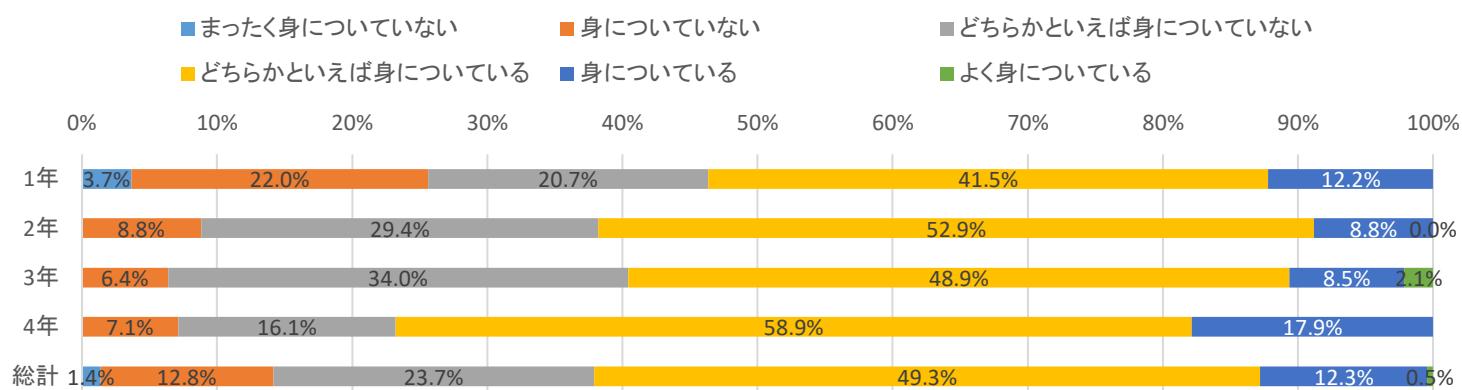
(12)専門知識をどの程度、理解していますか



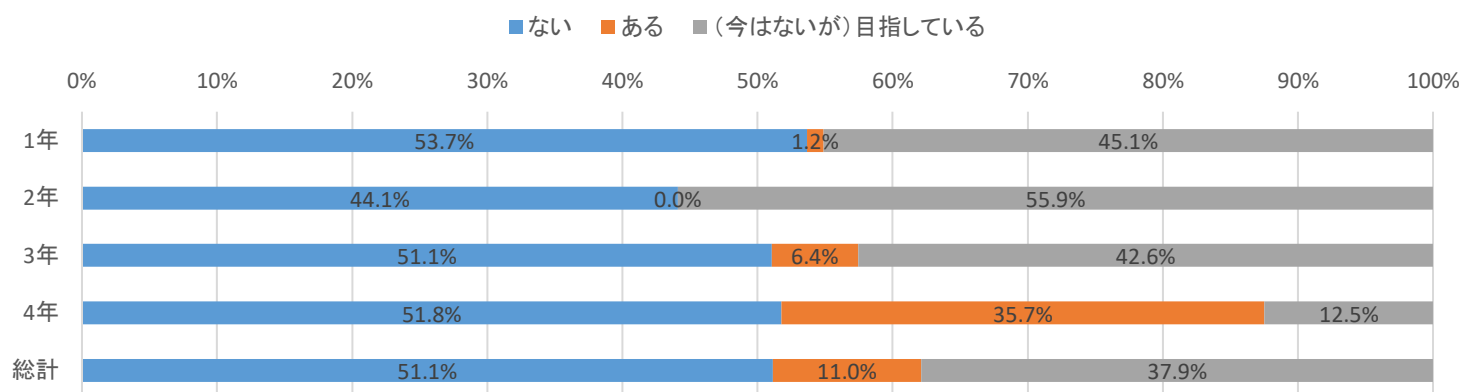
(13)専門知識を実際の場面で使うことがどの程度できますか



(14)専門的スキルがどの程度身についていますか



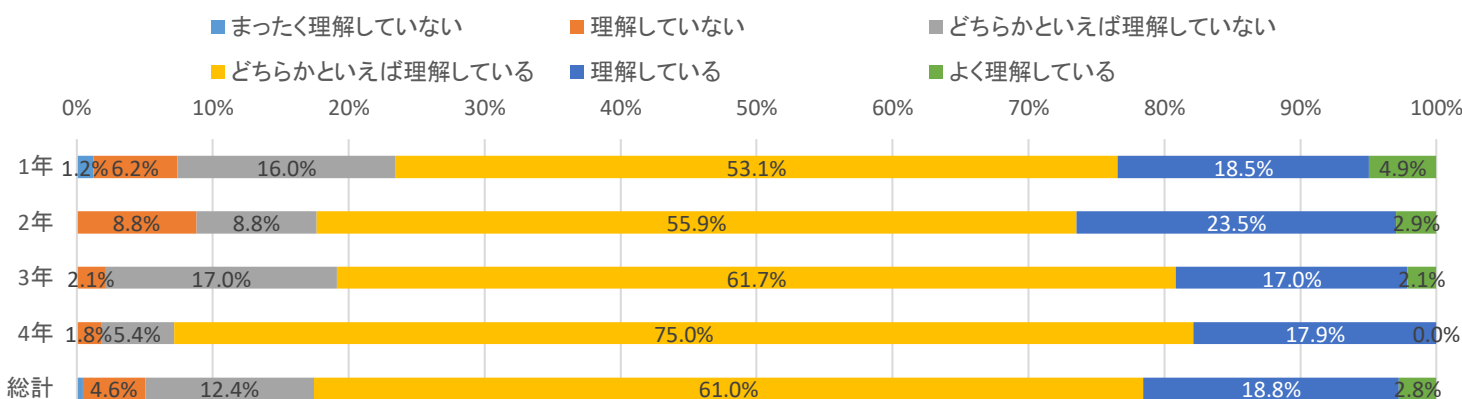
(15)大学入学後の専門分野に関連する資格の取得、検定試験での一定の点数取得



5-2. 専門知識・専門的スキルについて(学科独自項目)

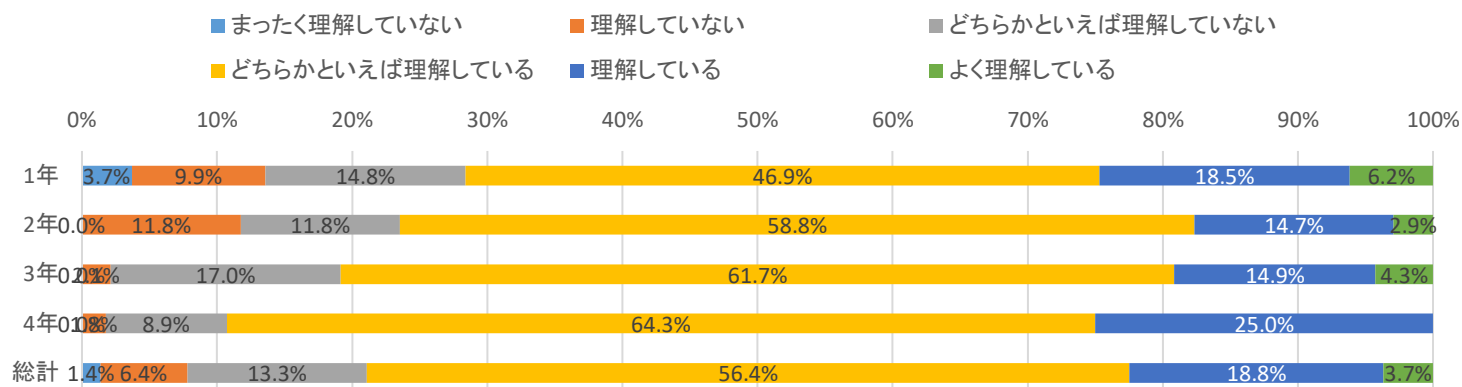
(16)「心理療法・カウンセリングの展開」に関する学び、をどの程度理解していますか

(無効回答 1年: 1)



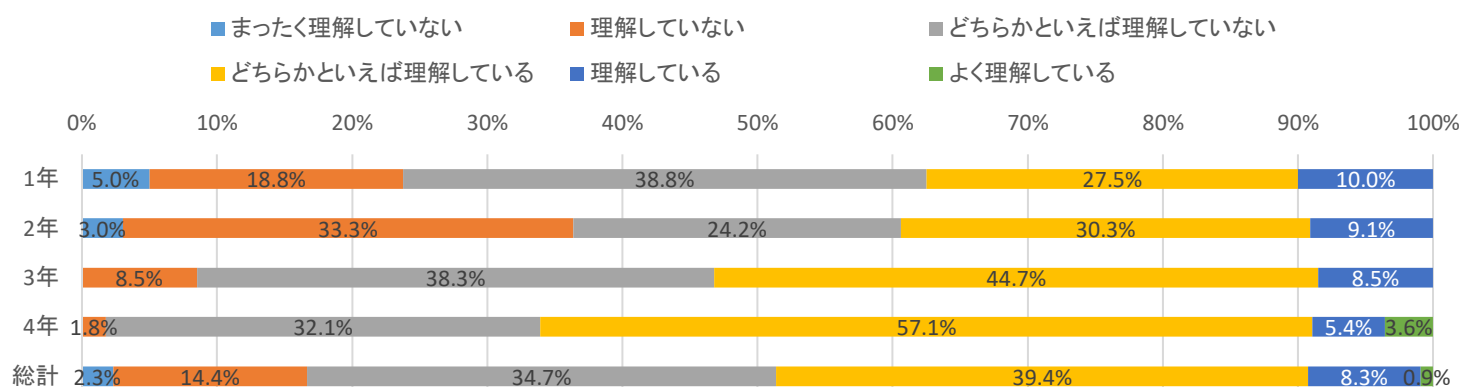
(17)「学校・子どもの臨床心理学」に関する学びを、どの程度理解していますか

(無効回答 1年:1)



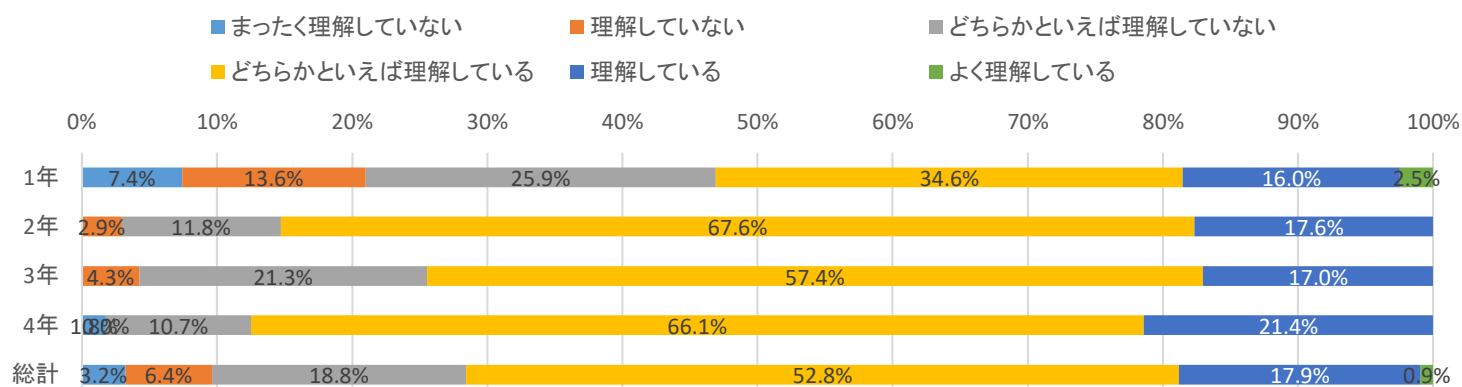
(18)「社会・産業の臨床心理学」に関する学びを、どの程度理解していますか

(無効回答 1年:2、2年:1)



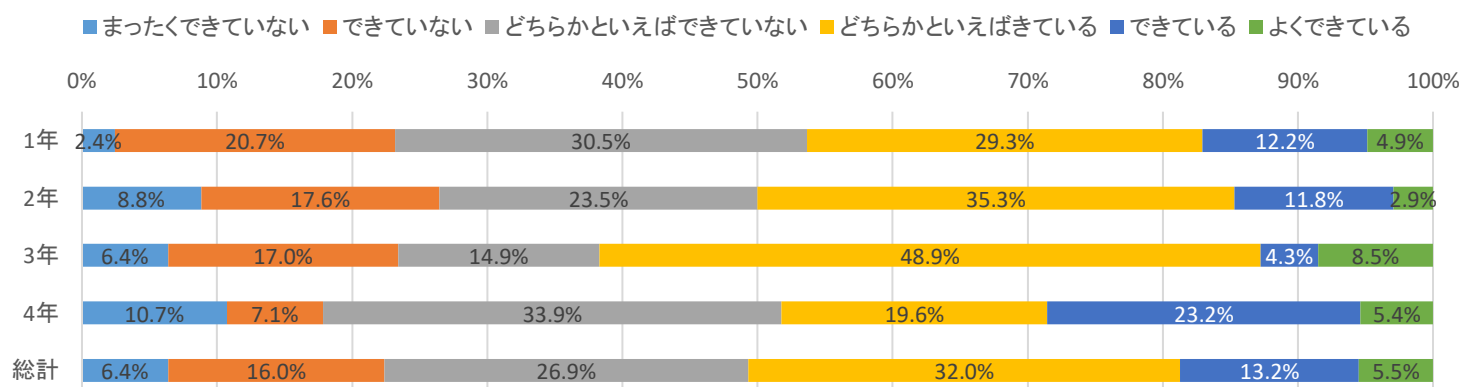
(19)「心理学における実験や調査の方法」に関する学びを、どの程度理解していますか

(無効回答 1年:1)

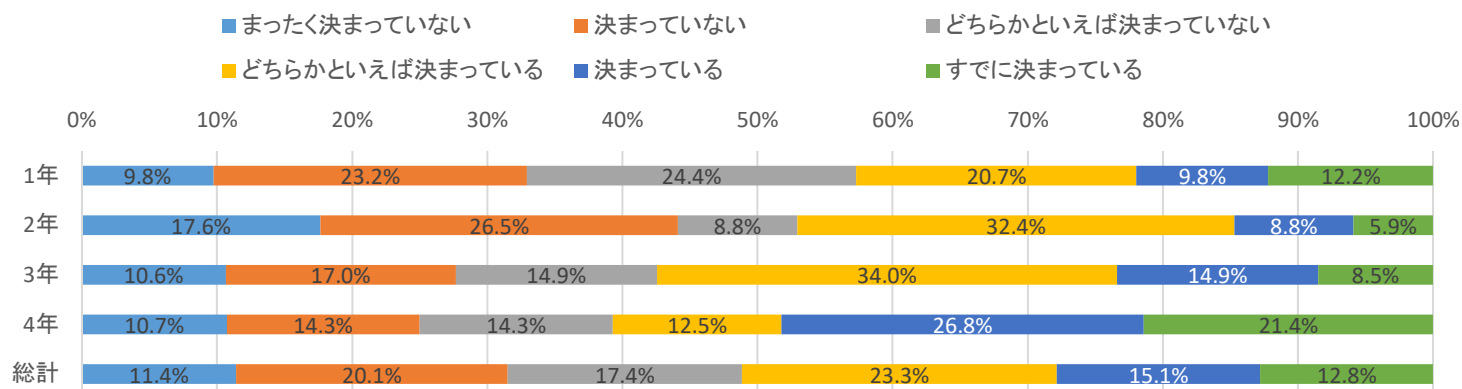


6. 社会で活躍するための力(キャリア教育、社会人基礎力)について

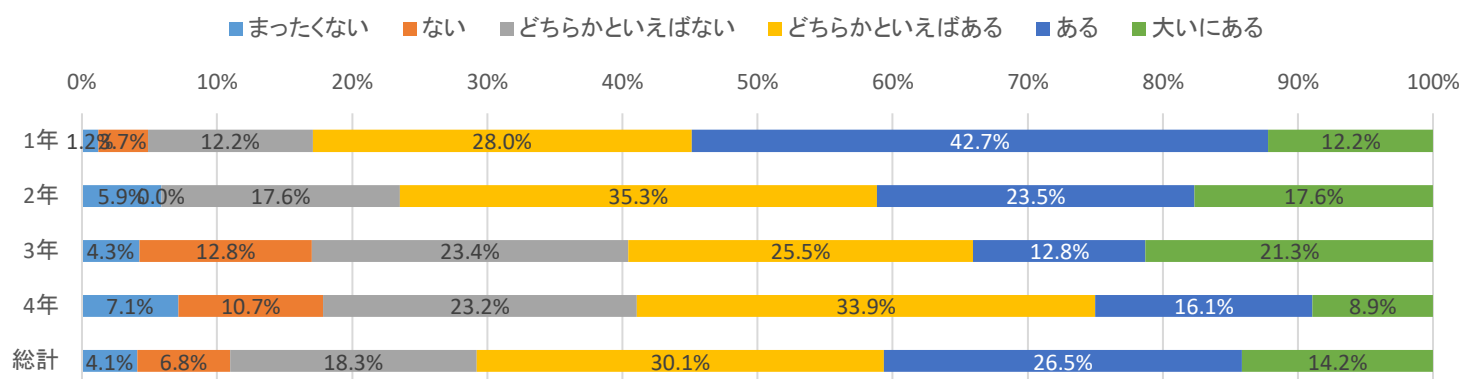
(20)「自分が働く」とはどのようなことかを、どの程度イメージできていますか



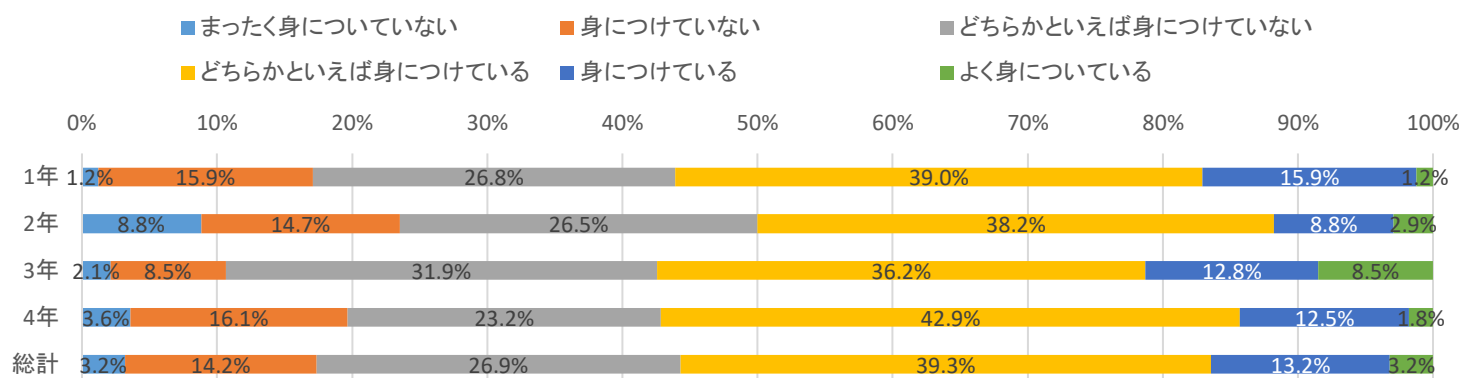
(21)将来の進路(職業、進学など)がどの程度決まっていますか



(22) 就職活動を最後まで頑張る自信がどの程度ありますか



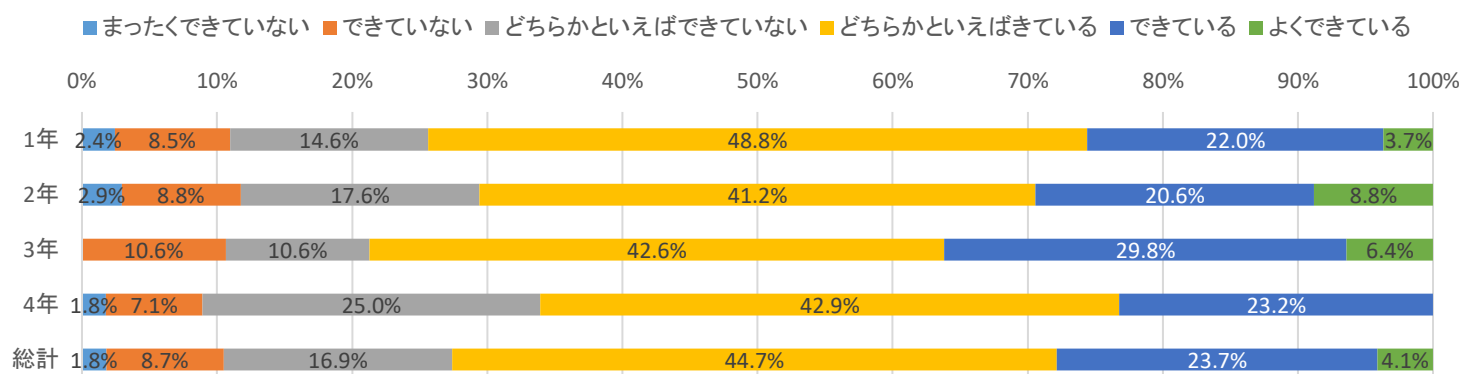
(23)社会に出て仕事や社会的活動を行うために必要な力を、どの程度身につけていますか



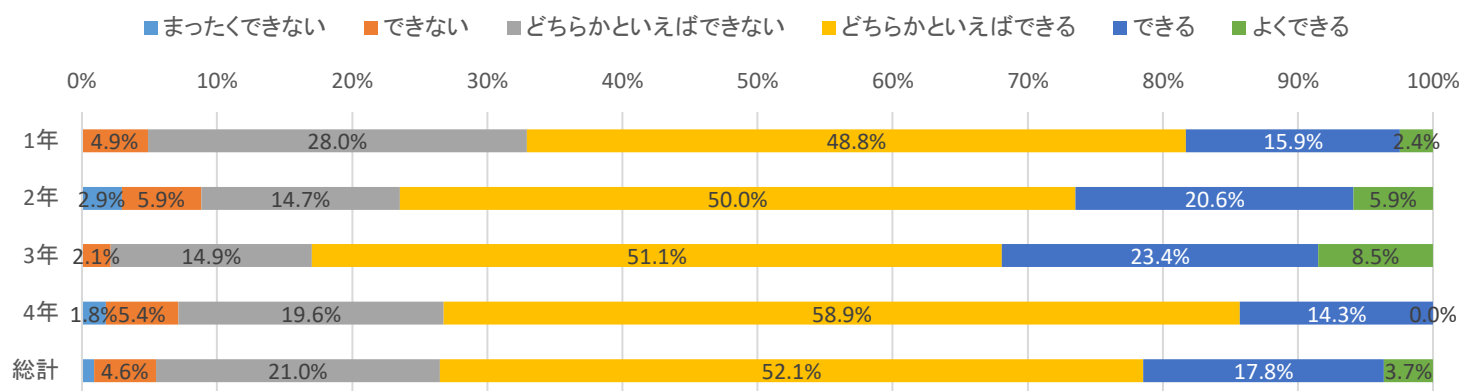
7. 総合力について

・上記の「2」～「6」の学びを通して、以下の力がどの程度、身についていると思うかお答えください。

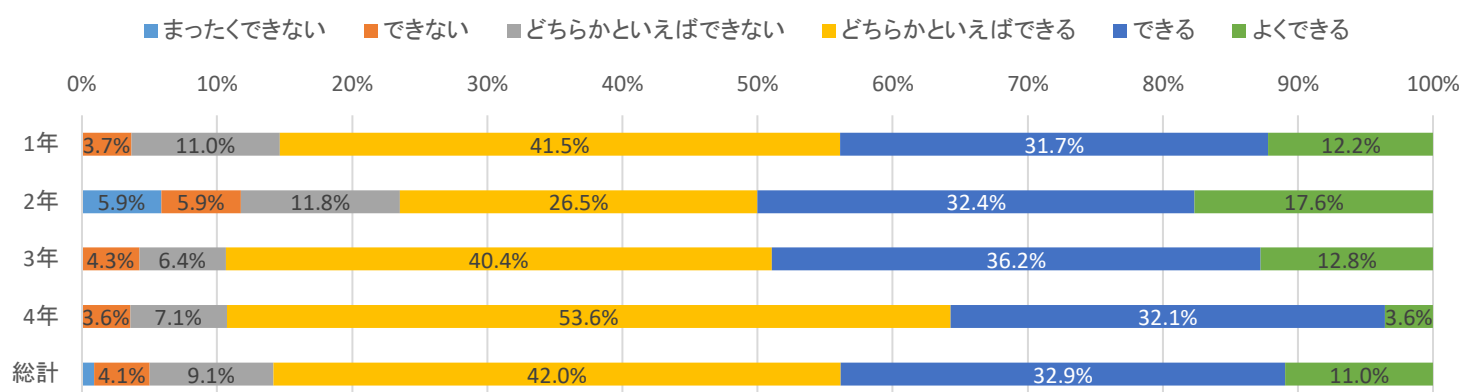
(24)自分の考えを文章や口頭で他者にきちんと説明する



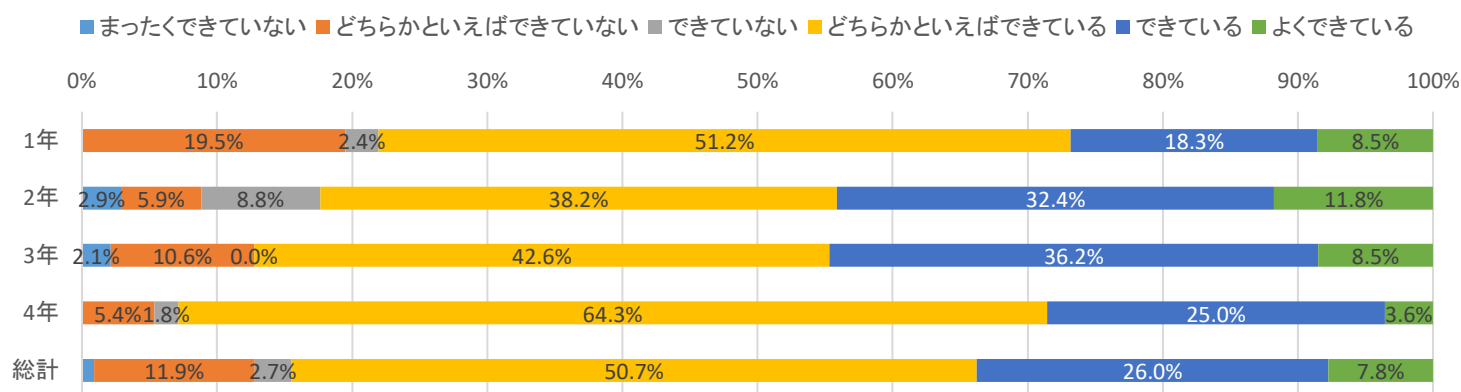
(25)課題を見つけ出しそれに対する最善の解決方法を考える



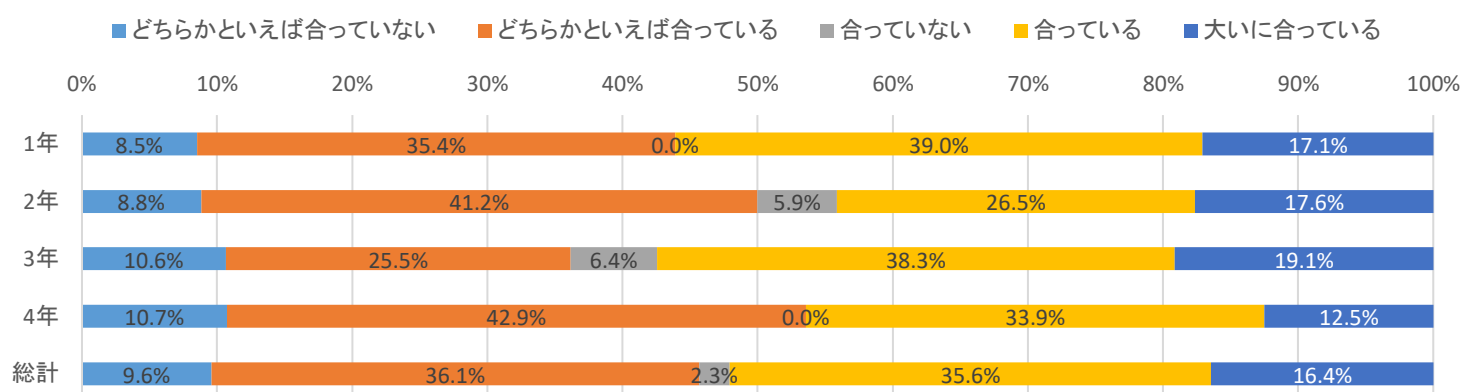
(26)他者とコミュニケーションを図りながら相互理解を深めていく



(27)自分自身の「ものの見方・考え方」をつくり上げる



(28)興味関心や資質・適性からみて学部での学びは自分にどの程度合っているか

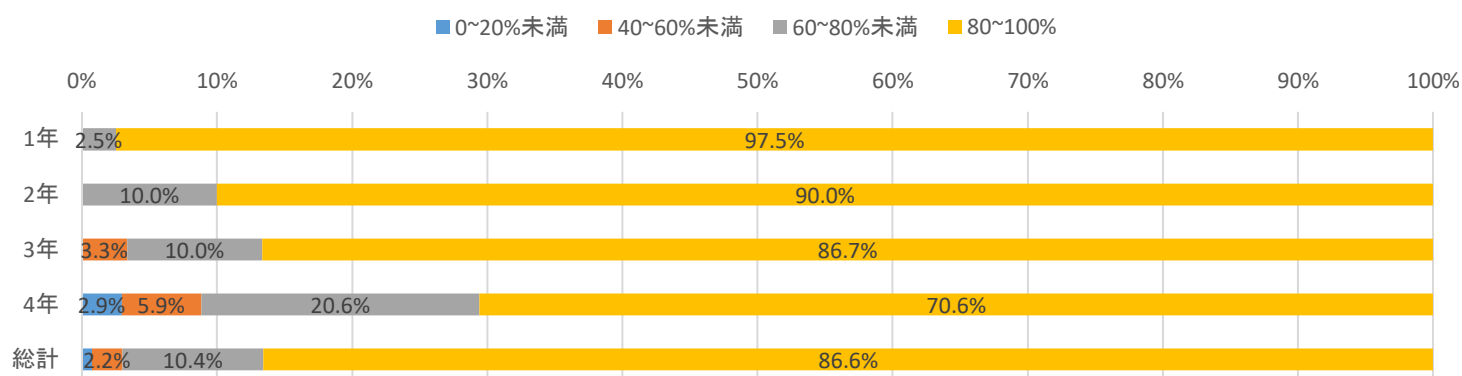


2) - 6 健康・スポーツ心理学科

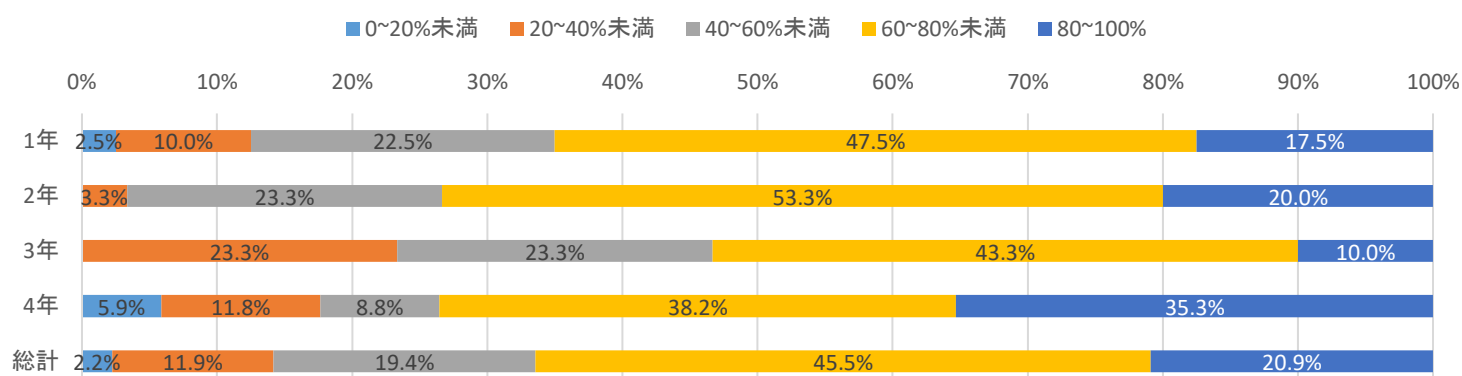
【学修行動】

1. 1週間（平均的な）における学修行動について

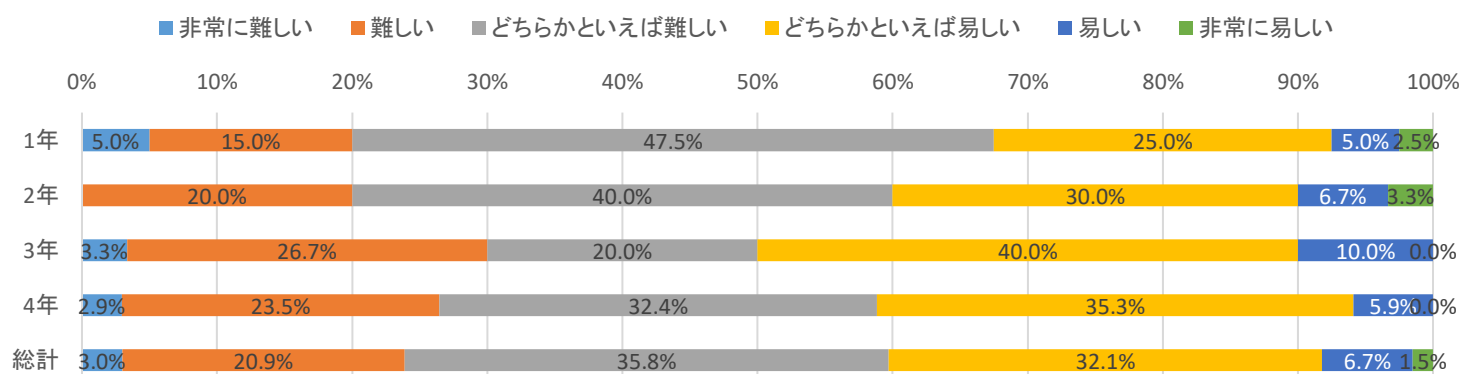
(1) 授業への出席割合（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は、課題などの提出回数などで回答）



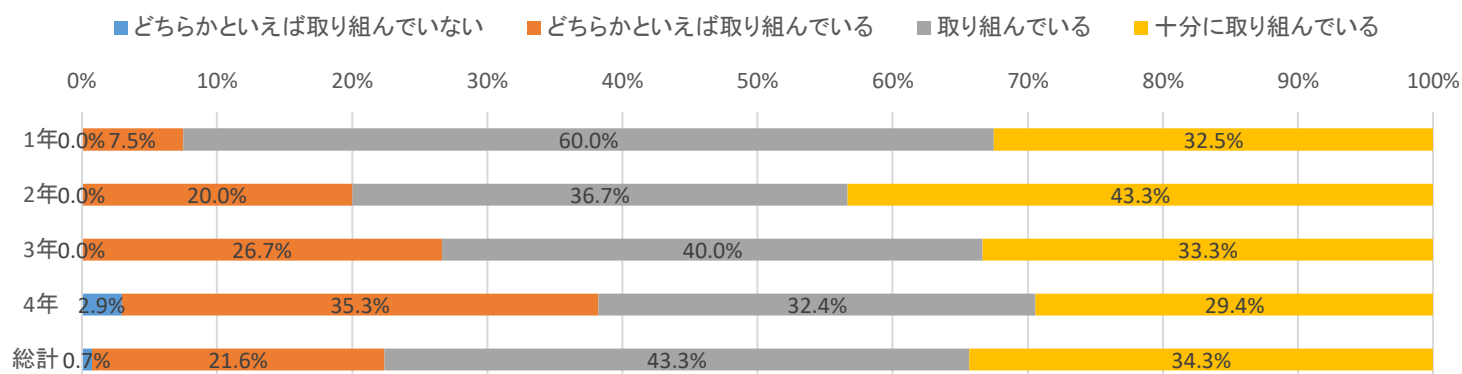
(2) 興味のある授業の割合



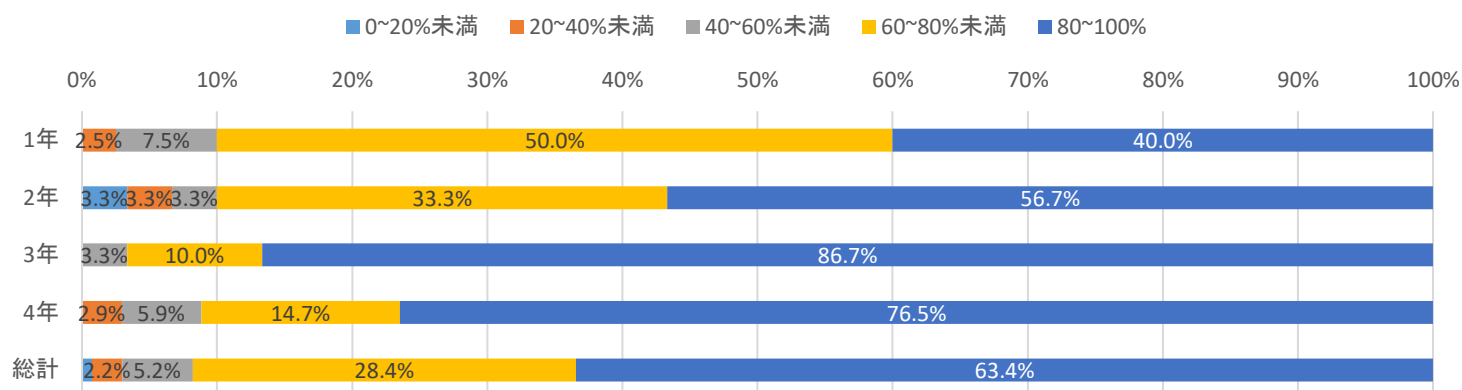
(3) 授業全体の難易度



(4) 授業（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は課題など）への積極的取り組み

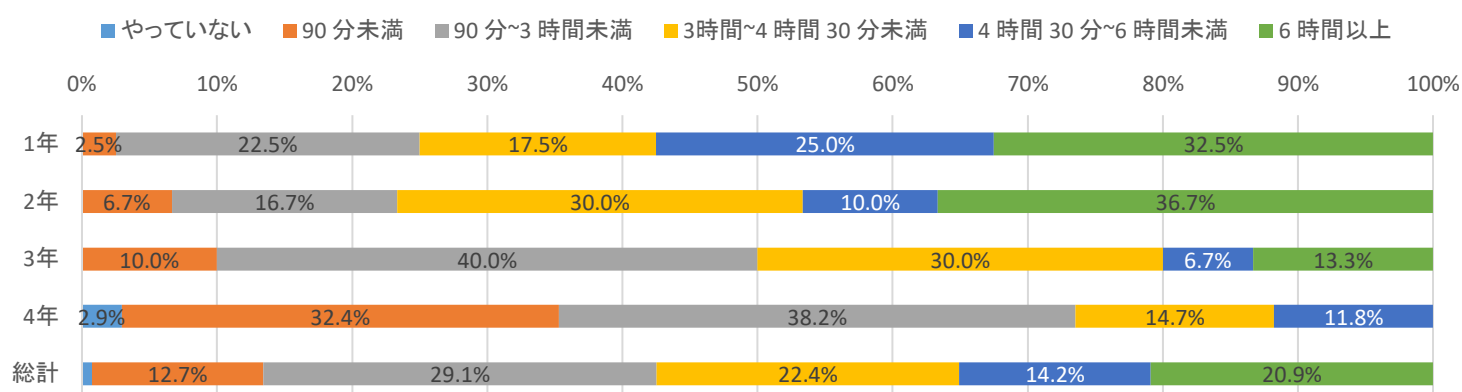


(5)4年間で卒業できる自信

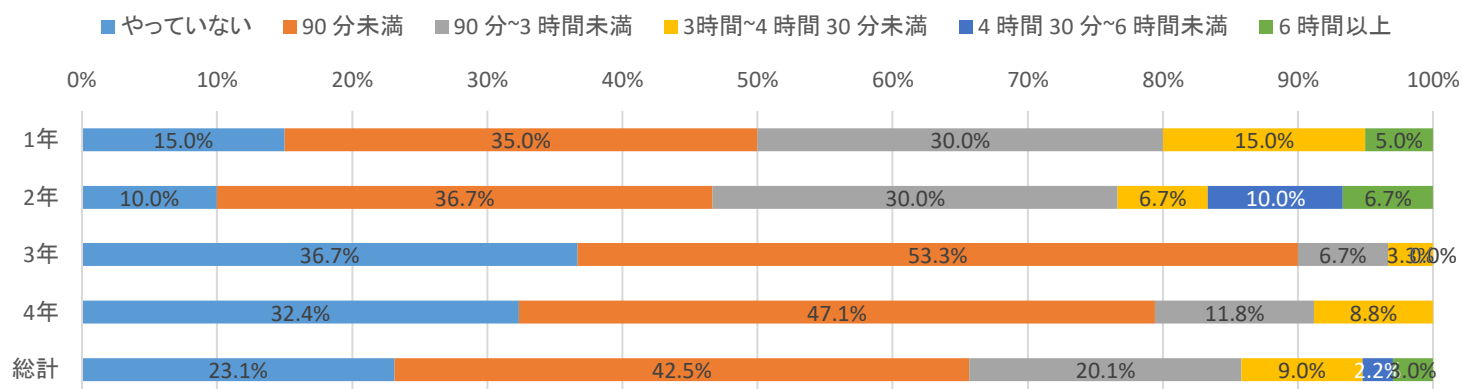


2. 1週間(平均的な)における授業時間外での学修行動について

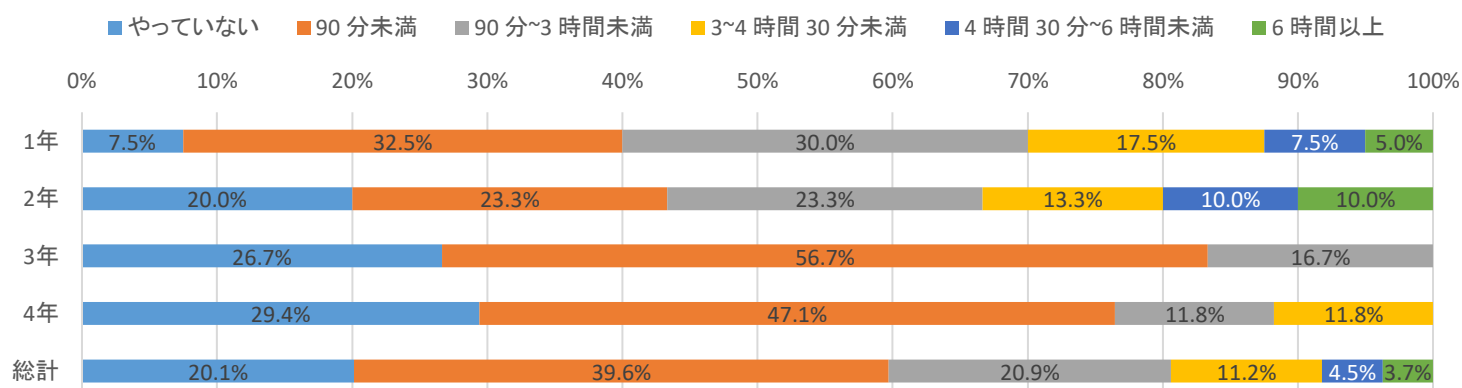
(6)先生に指示された授業での発表の準備、課題やレポート、宿題などをのくらいやりましたか



(7) 授業の予習をどのくらいしていますか

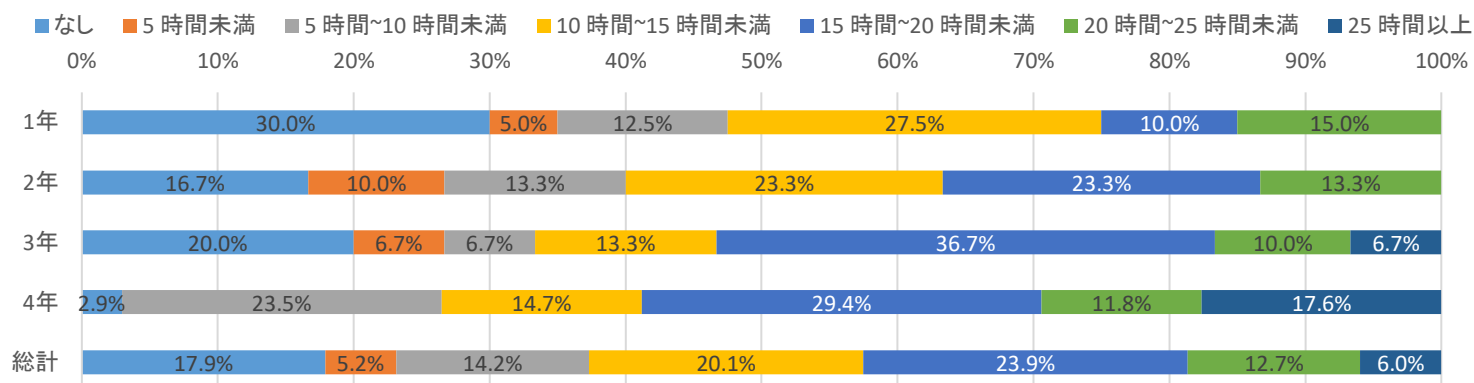


(8) 授業の復習をどのくらいしていますか

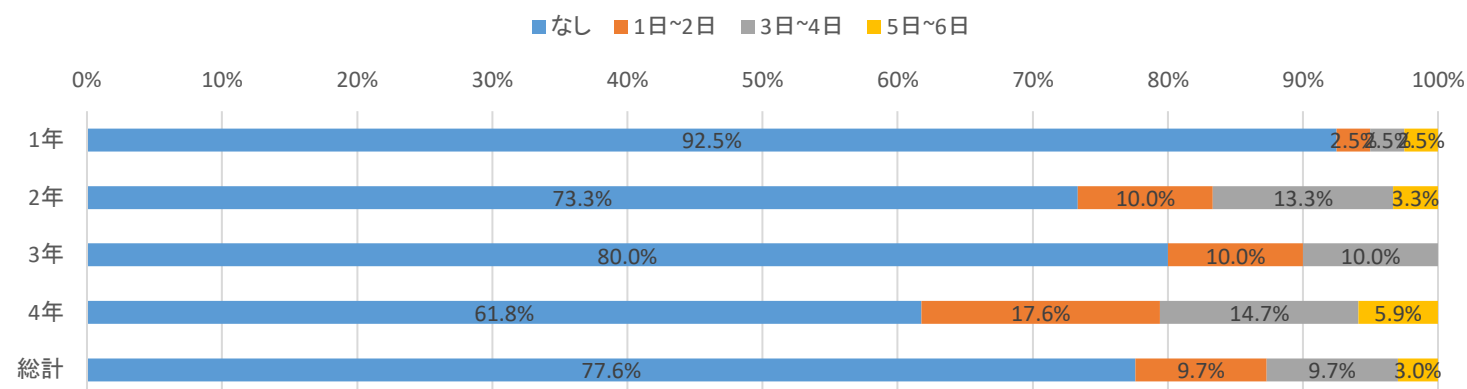


3. 1週間(平均的な)における授業以外の学修活動や行動についてか

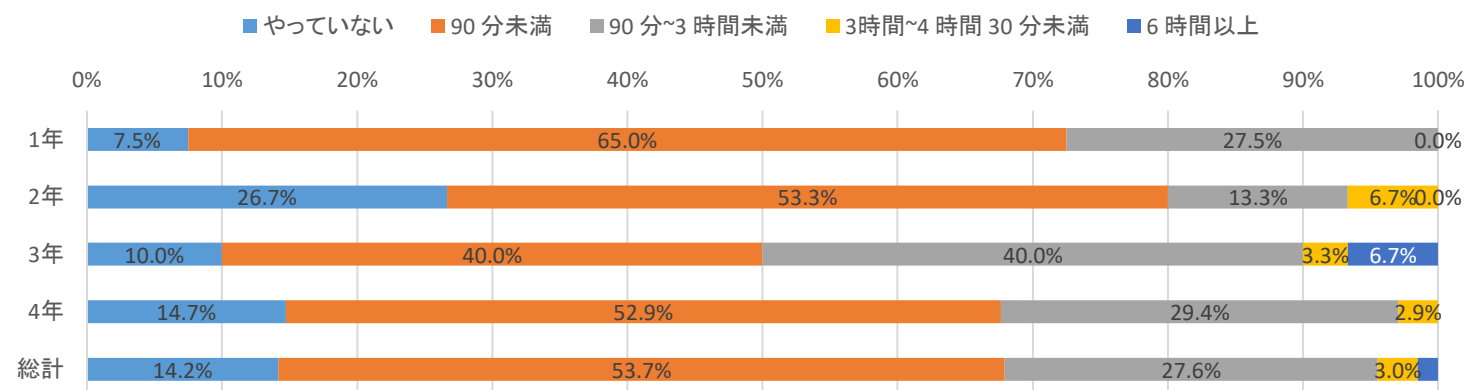
(9) アルバイトをどのくらいしていますか



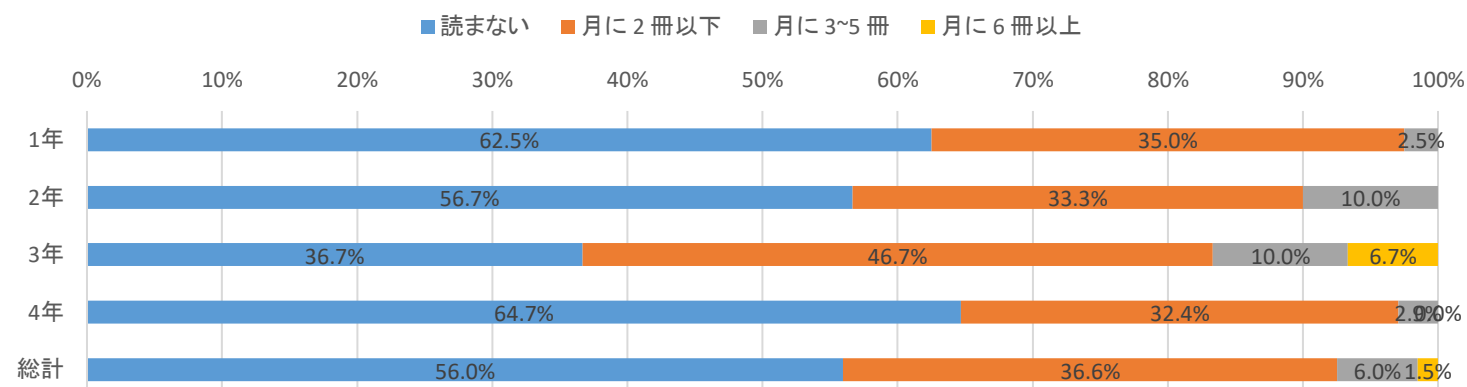
(10) 部活・サークル活動をどのくらいしていますか



(11) ネットやテレビ、新聞、雑誌などのニュースや記事を見て社会の動きを知る努力



(12) 本をどのくらい読んでいますか

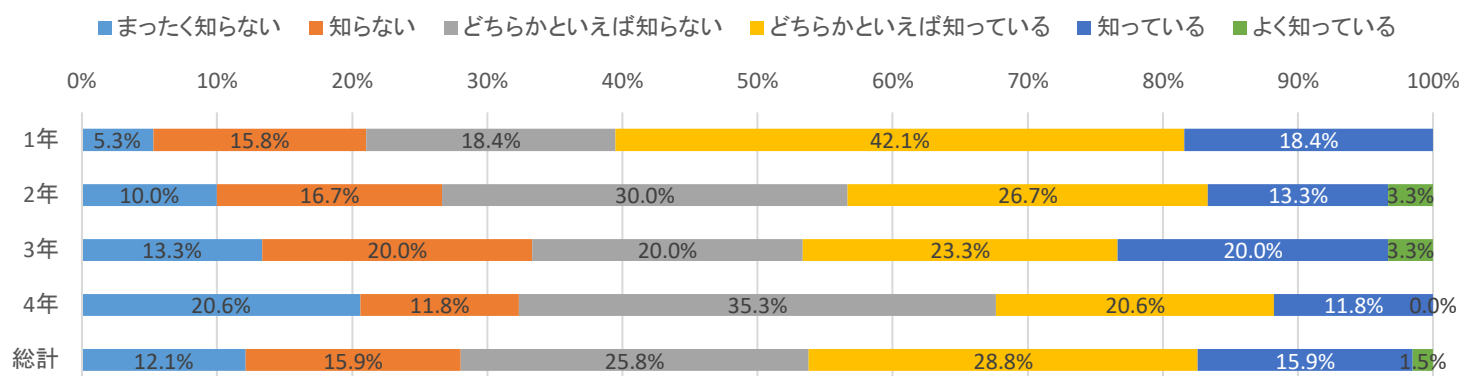


【学修成果】

1. 教育理念について

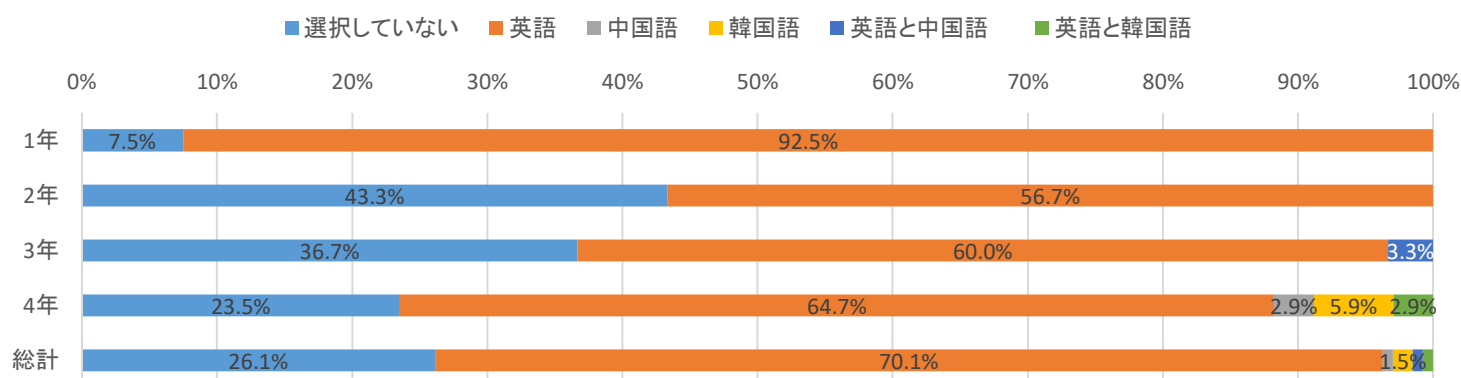
(無効回答 2年:1、3年:1)

(1) 本学の建学の精神「徳を成す人間の育成」を知っていますか

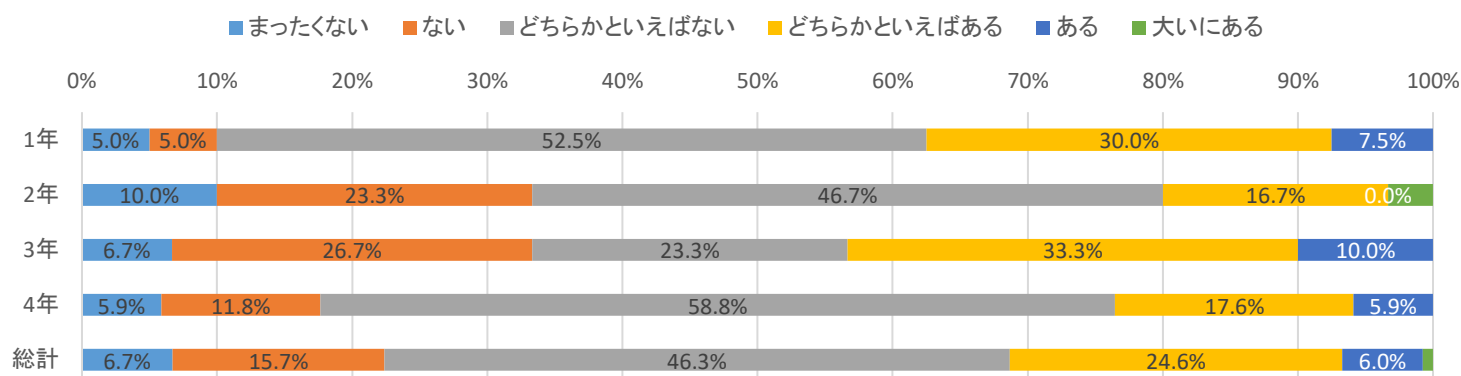


2. 外国語能力について

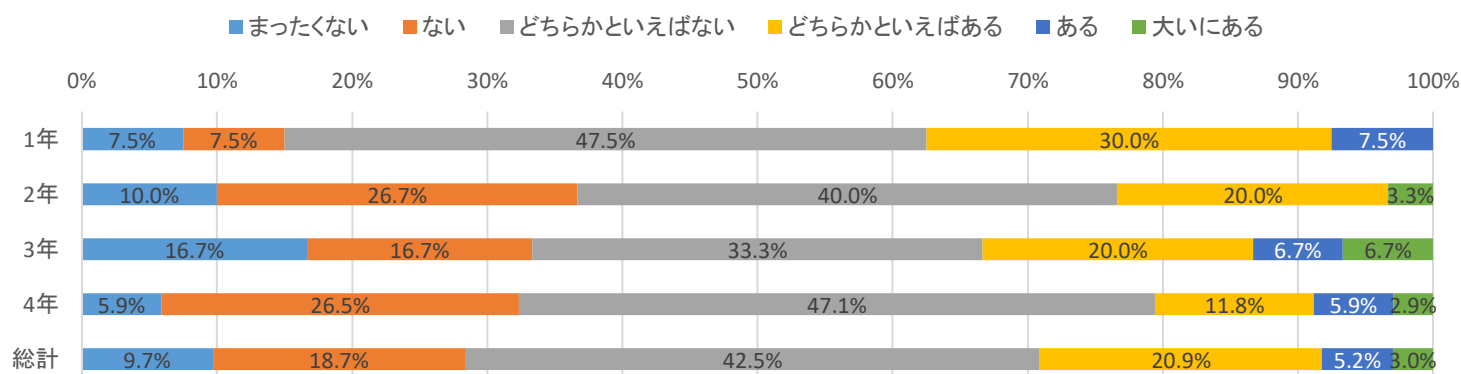
(2) 外国語の授業を選択していますか・いましたか



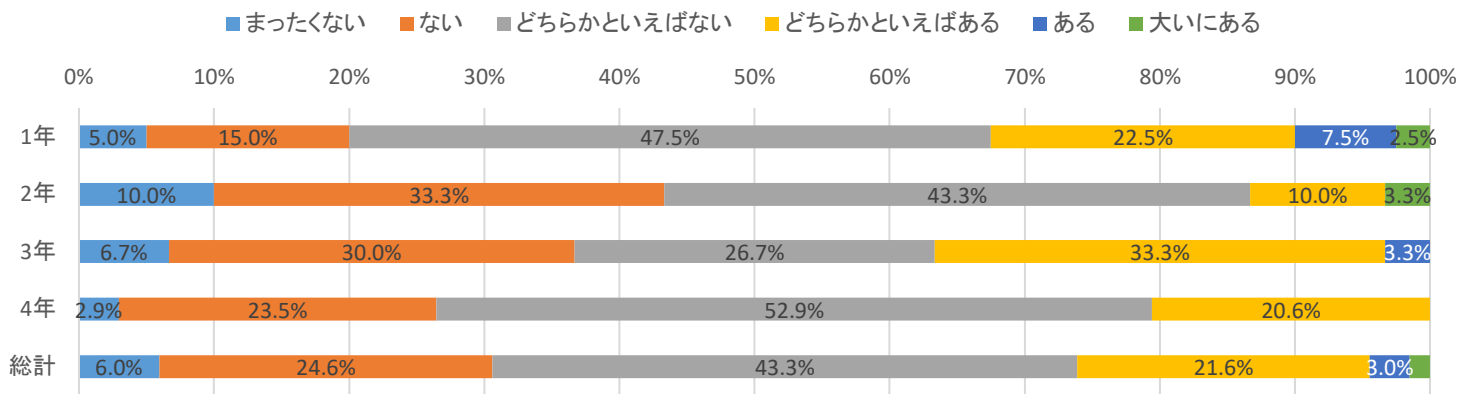
(3) 読む力はどの程度ありますか



(4) 会話力(話す、聞く)はどの程度ありますか

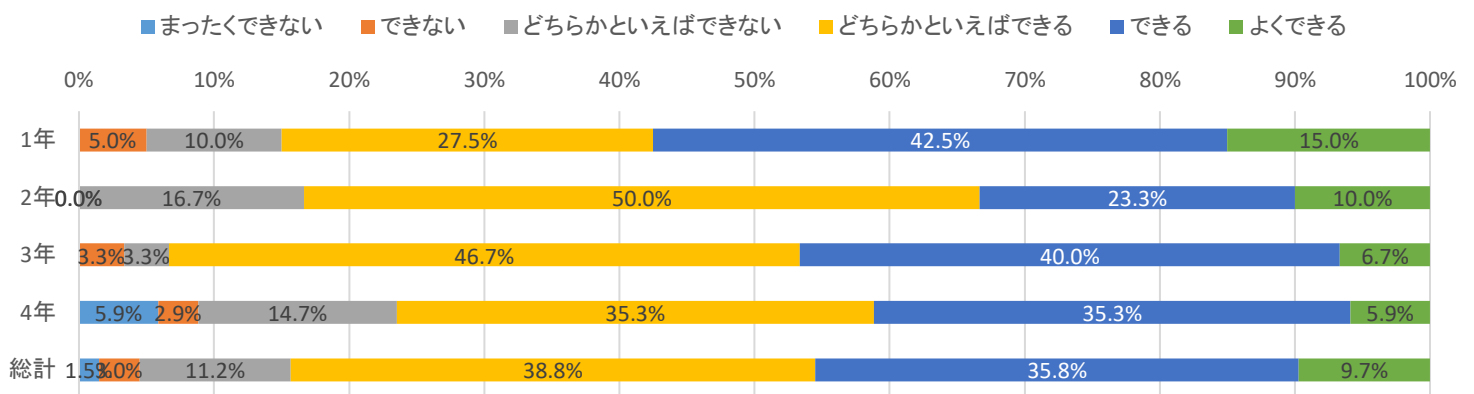


(5)書く力はどの程度ありますか

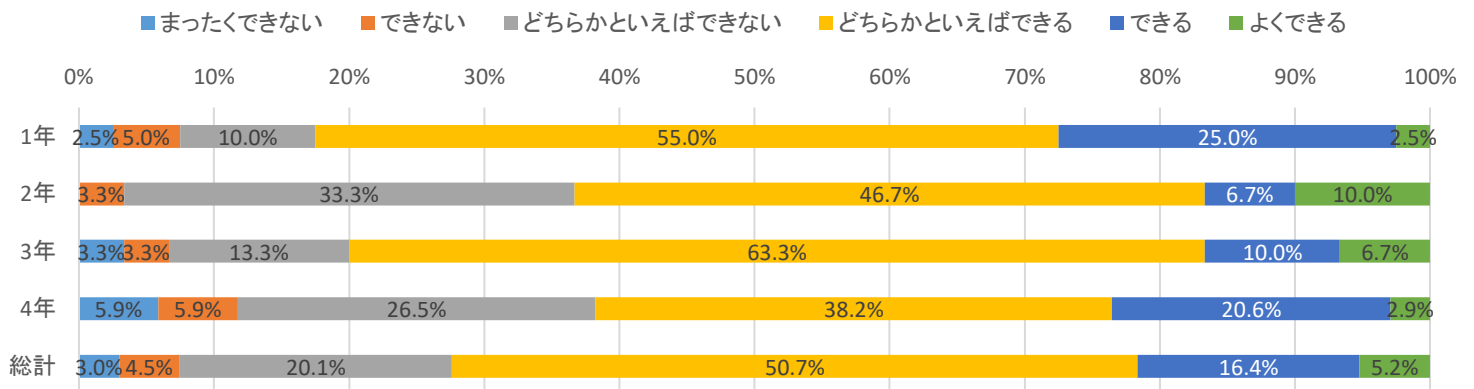


3. ICTリテラシー(=情報機器やインターネットを使う能力)について

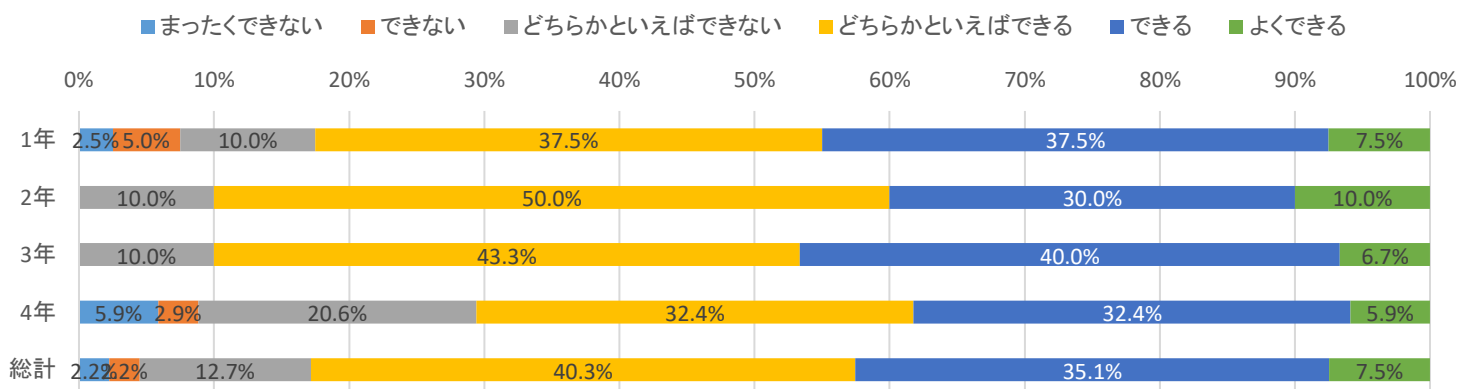
(6)文章作成ソフト(Wordなど)を使って文章を作成することがどの程度できますか



(7)表計算ソフト(Excelなど)を使って図表を作成することがどの程度できますか

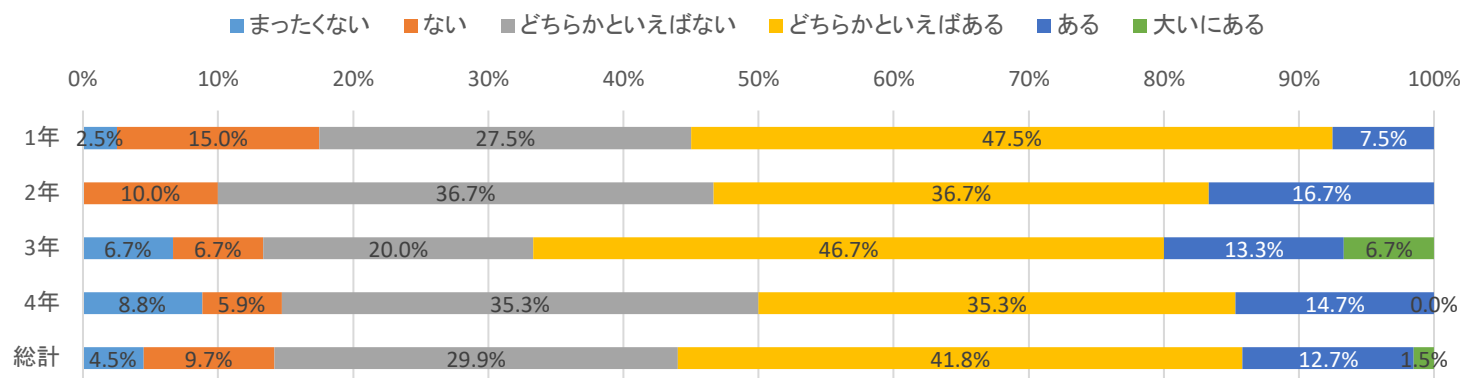


(8)プレゼンテーションソフト(Power Pointなど)による資料作成がどの程度できますか

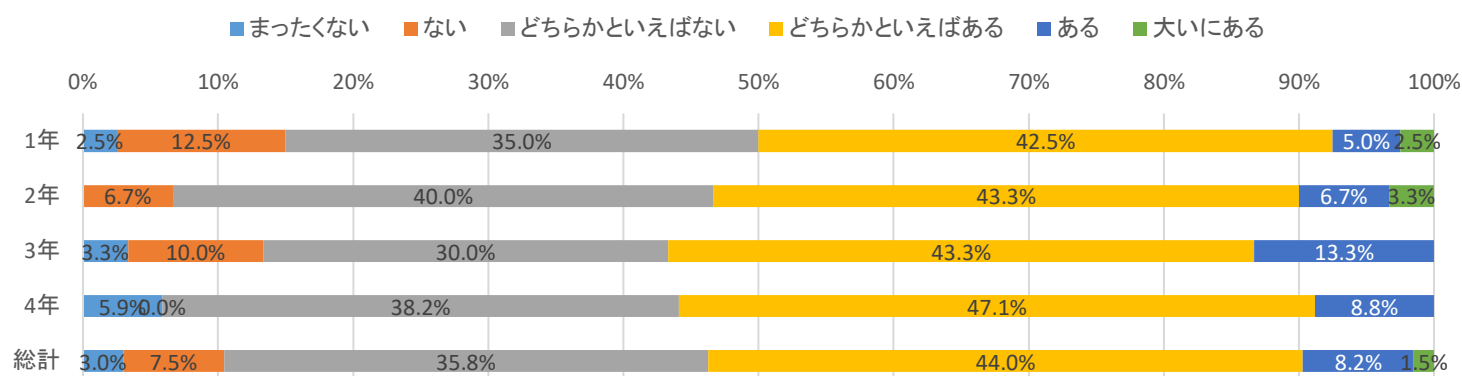


4. 教養・基礎的スキルについて

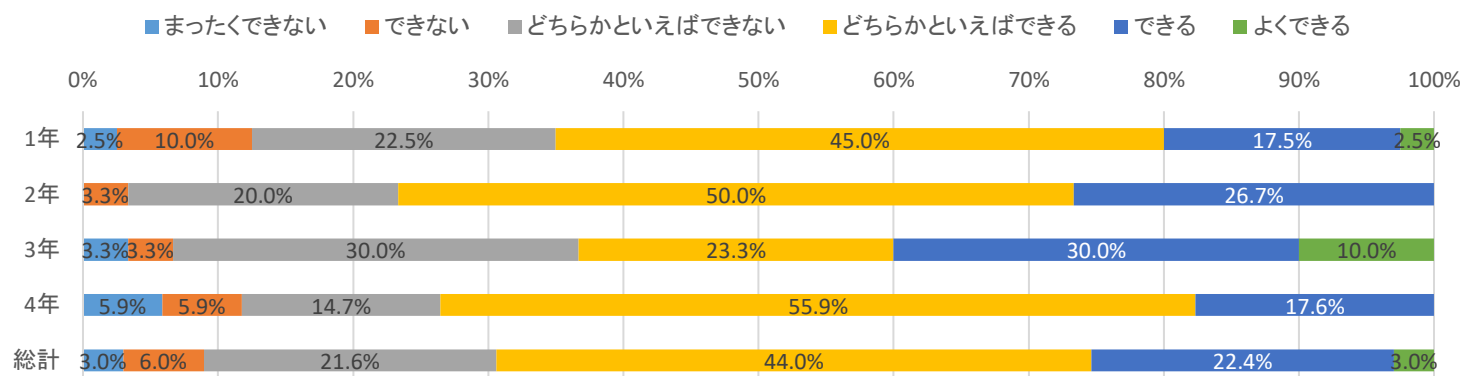
(9)専門分野の知識とは別に幅広い知識や教養がどの程度ありますか



(10)レポートや論文作成に必要なスキル(文献検索、書式・作法、論理構成、文章作成など)

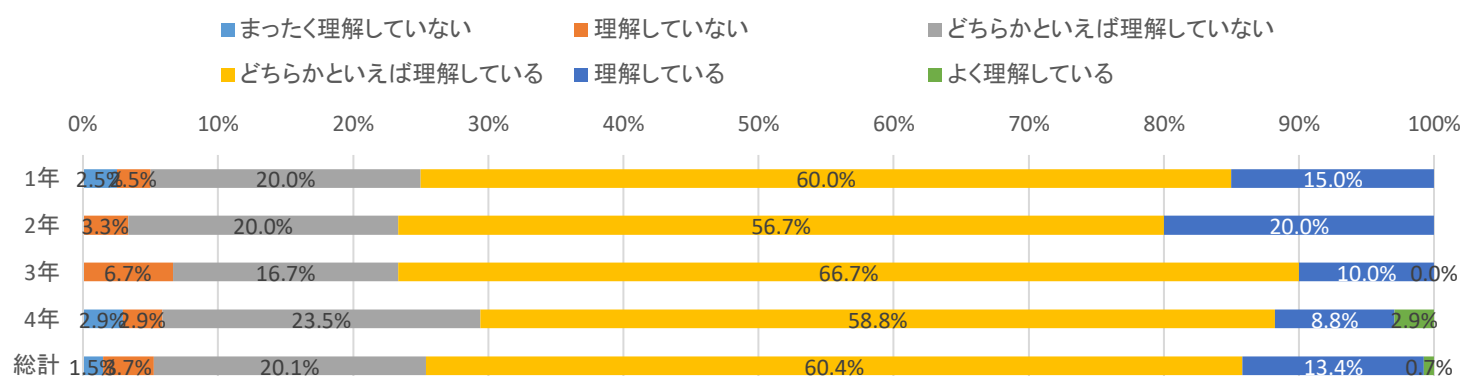


(11)ディスカッションの中で他者の意見をきちんと聞きながら自分の意見を述べる

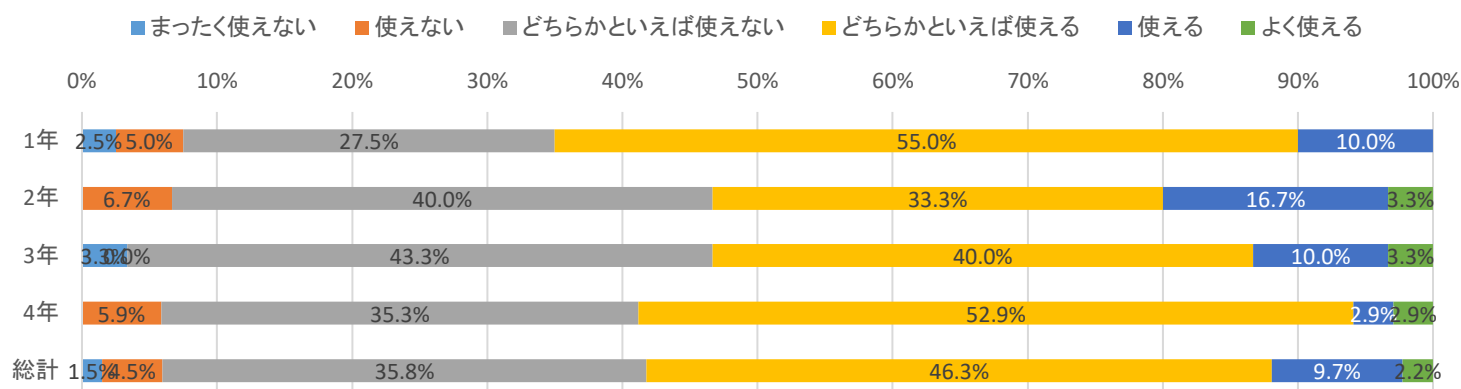


5. 専門知識・専門的スキルについて

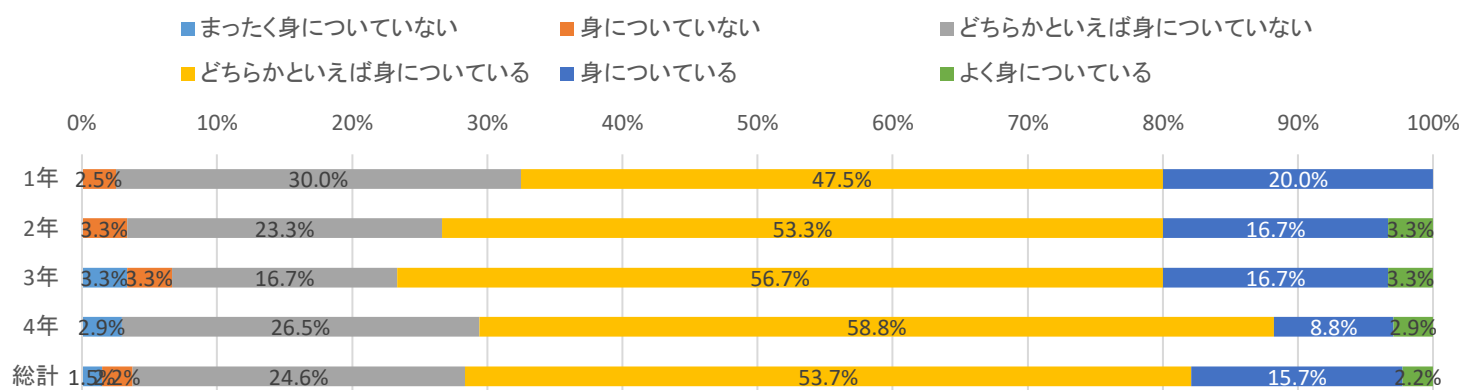
(12)専門知識をどの程度、理解していますか



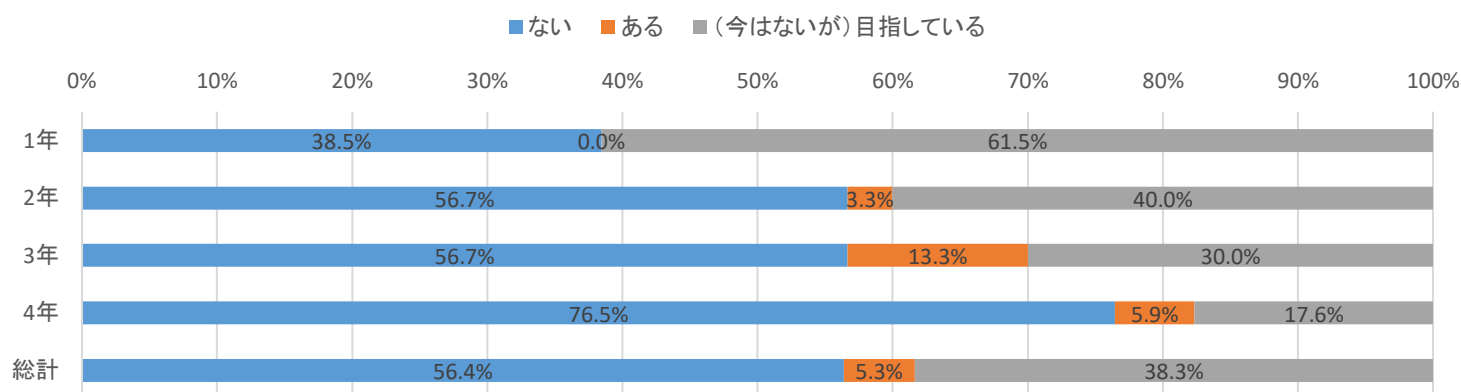
(13)専門知識を実際の場面で使うことがどの程度できますか



(14)専門的スキルがどの程度身についていますか

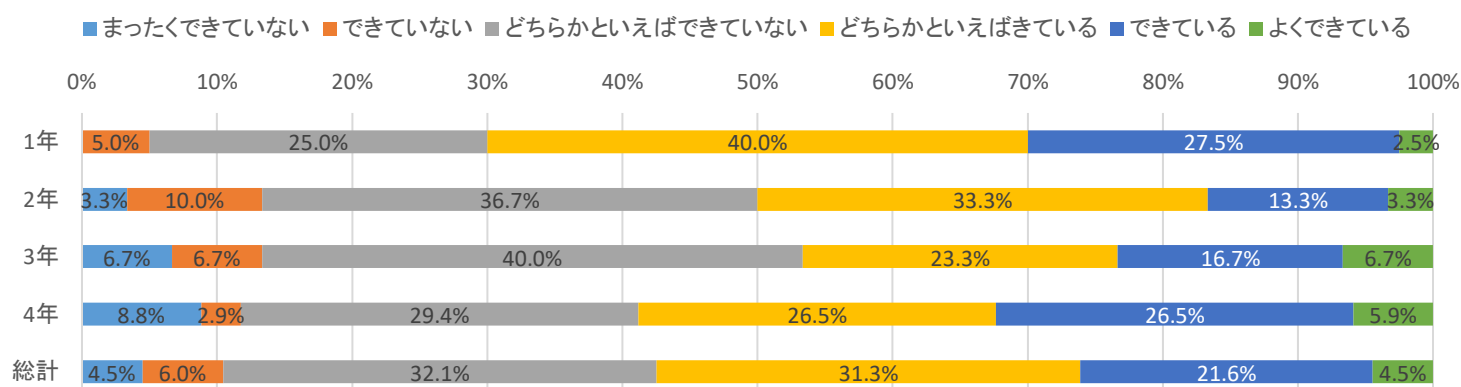


(15)大学入学後の専門分野に関連する資格の取得、検定試験での一定の点数取得

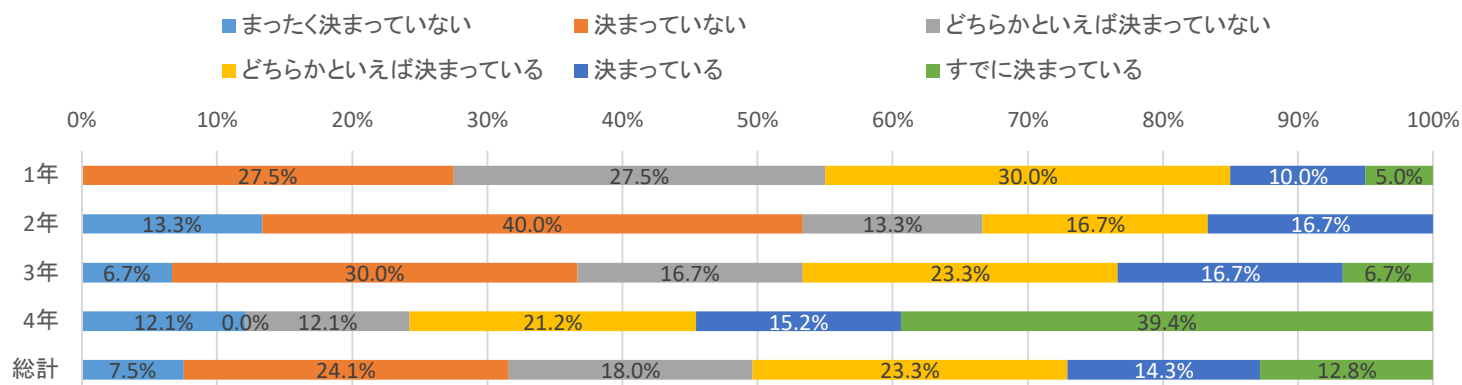


6. 社会で活躍するための力(キャリア教育、社会人基礎力)について

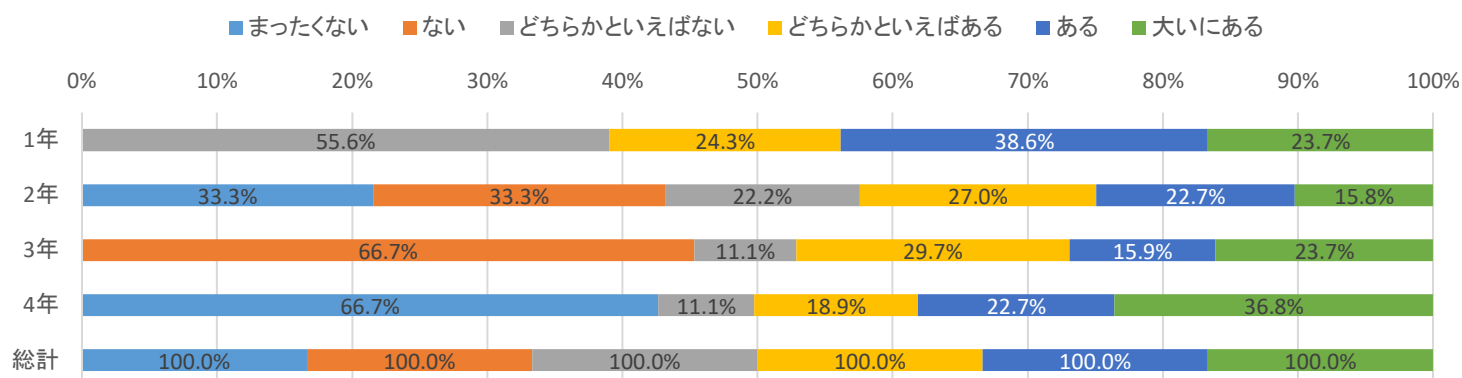
(16)「自分が働く」とはどのようなことかを、どの程度イメージできていますか



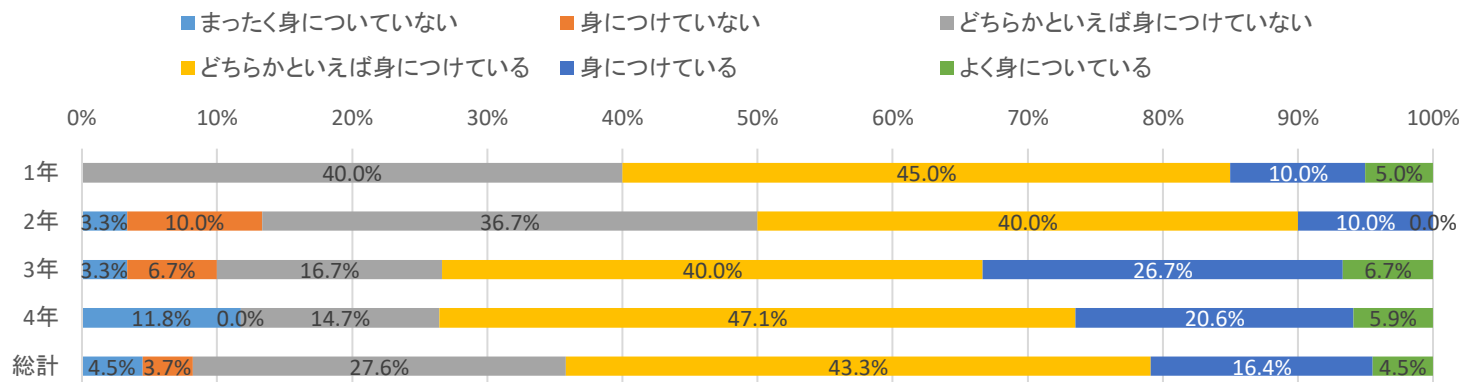
(17) 将来の進路(職業、進学など)がどの程度決まっていますか



(18) 就職活動を最後まで頑張る自信がどの程度ありますか



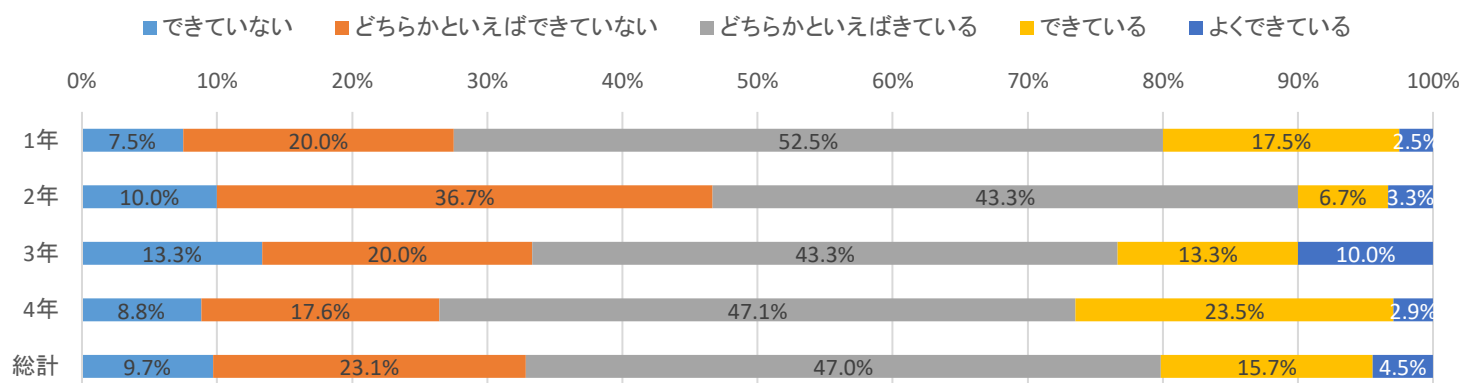
(19) 社会に出て仕事や社会的活動を行うために必要な力を、どの程度身につけていますか



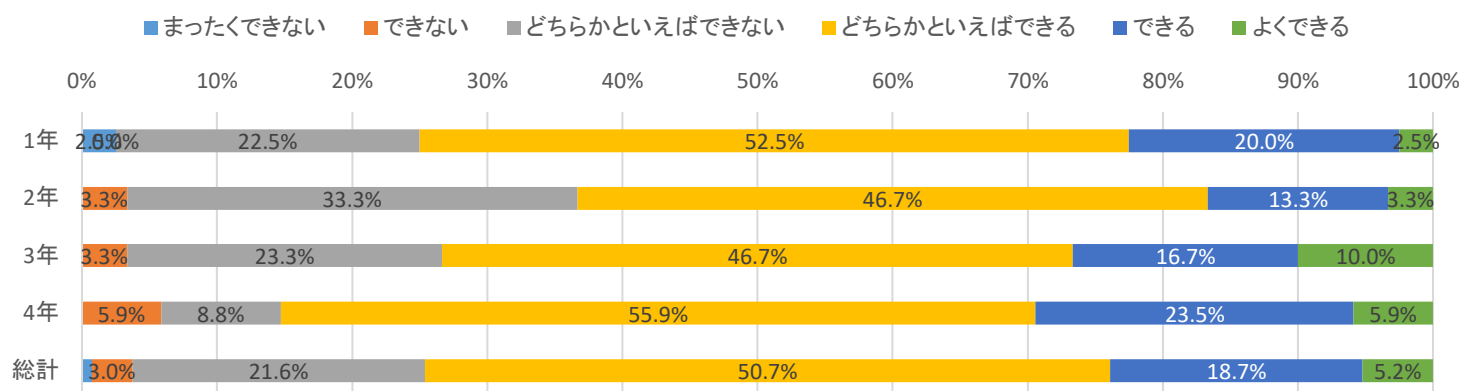
7. 総合力について

・上記の「2」～「6」の学びを通して、以下の力がどの程度、身につけていると思うかお答えください。

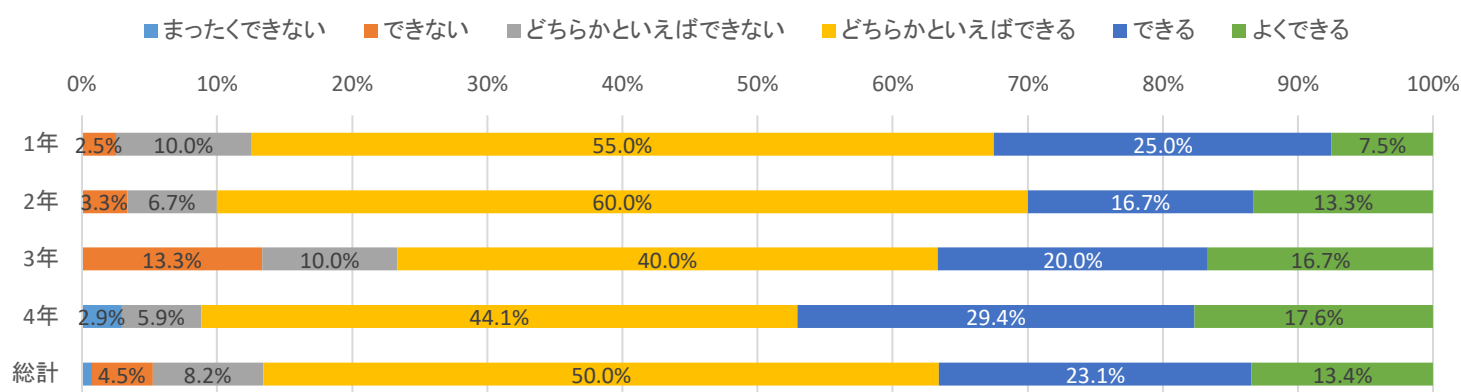
(20) 自分の考えを文章や口頭で他者にきちんと説明する



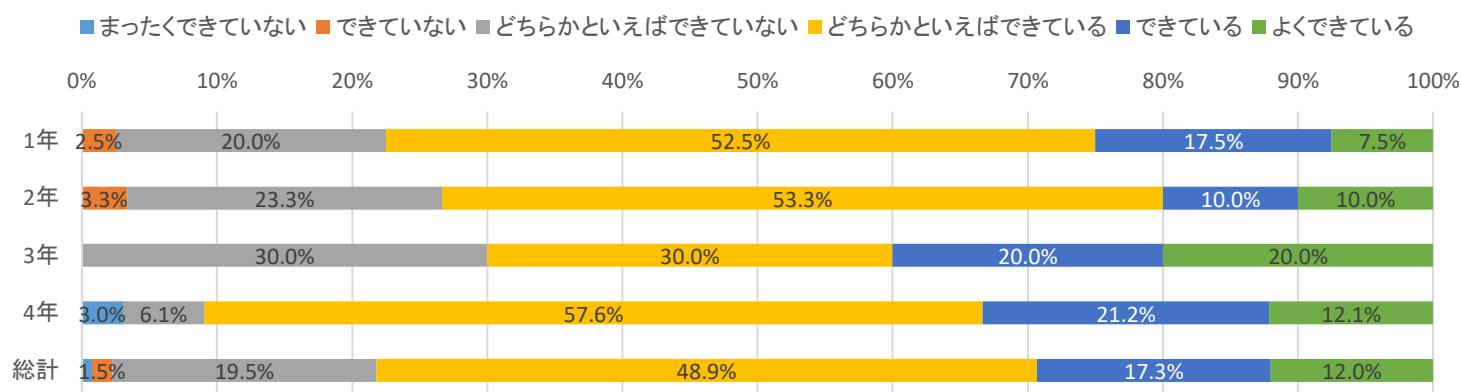
(21)課題を見つけ出しそれに対する最善の解決方法を考える



(22)他者とコミュニケーションを図りながら相互理解を深めていく

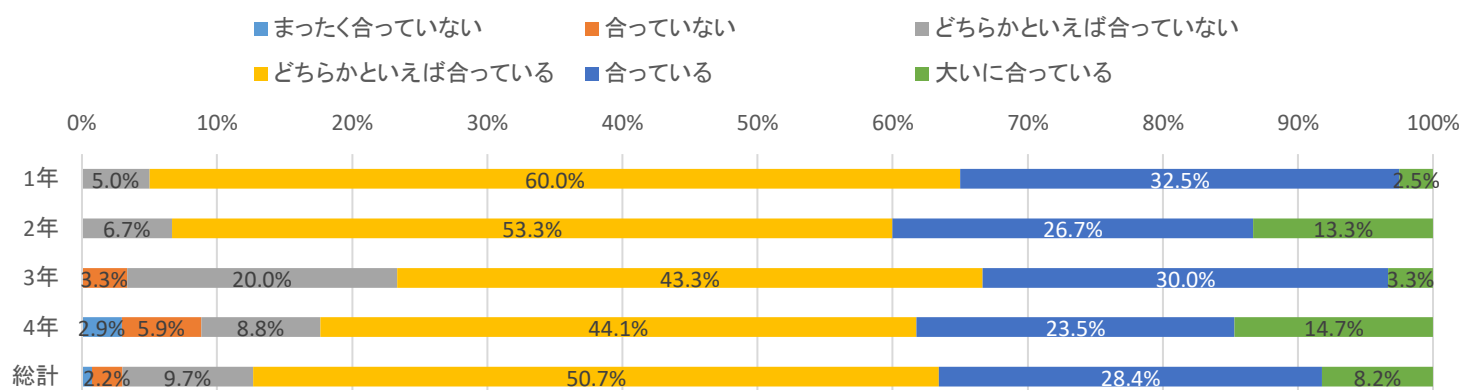


(23)自分自身の「ものの見方・考え方」をつくり上げる



(24)興味関心や資質・適性からみて学部の学びは自分にどの程度合っているか

(無効回答 1年:1)

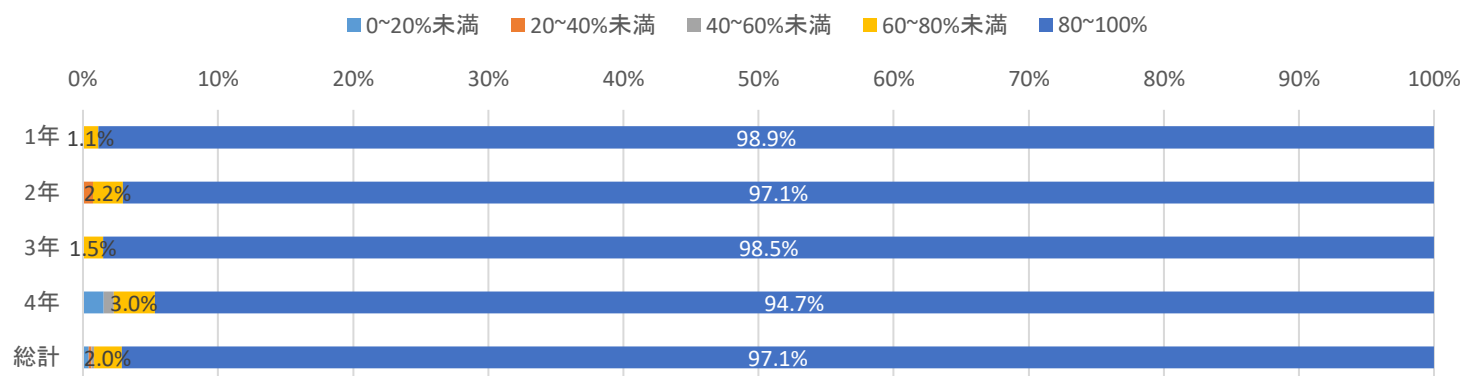


2) - 7 子ども学科

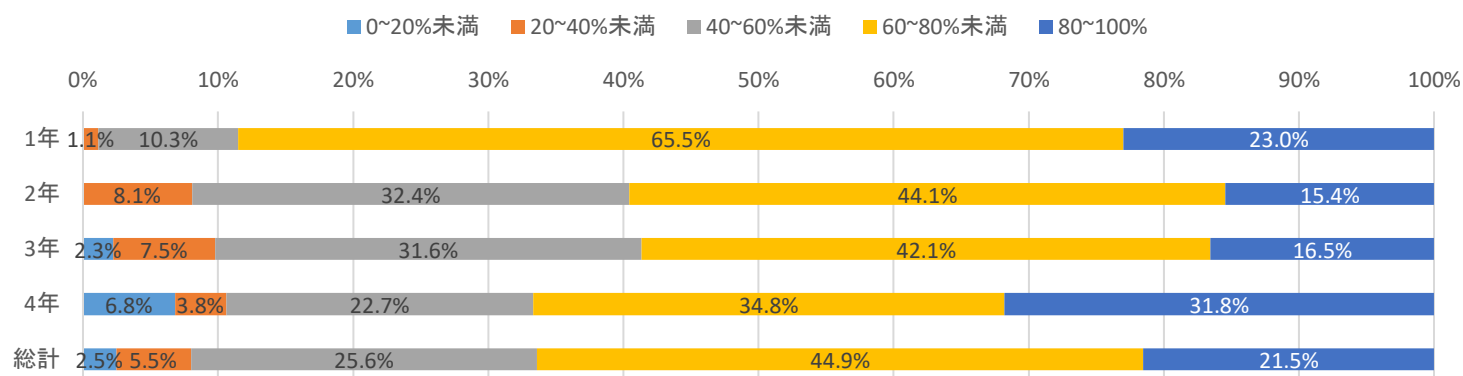
【学修行動】

1. 1週間（平均的な）における学修行動について

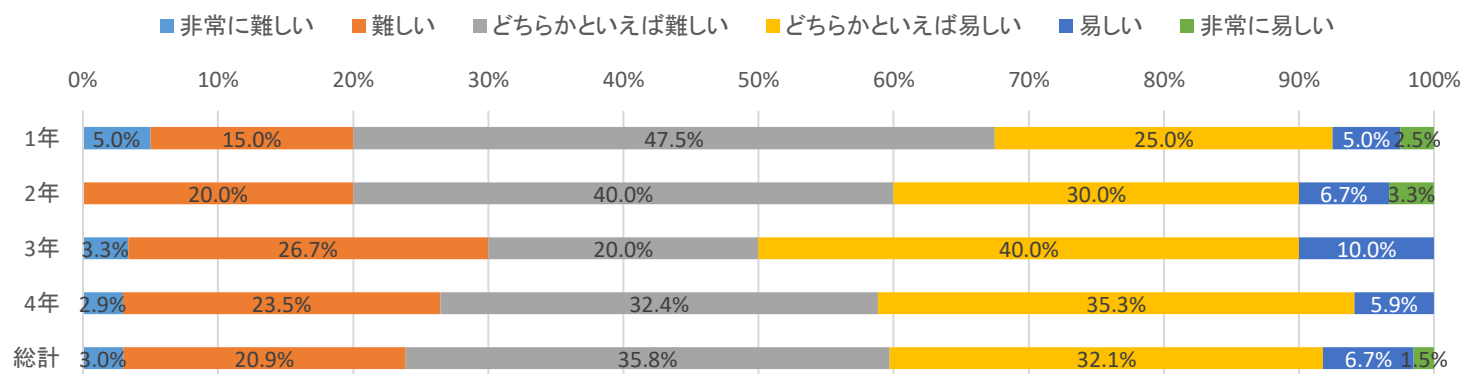
(1) 授業への出席割合（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は、課題などの提出回数などで回答）



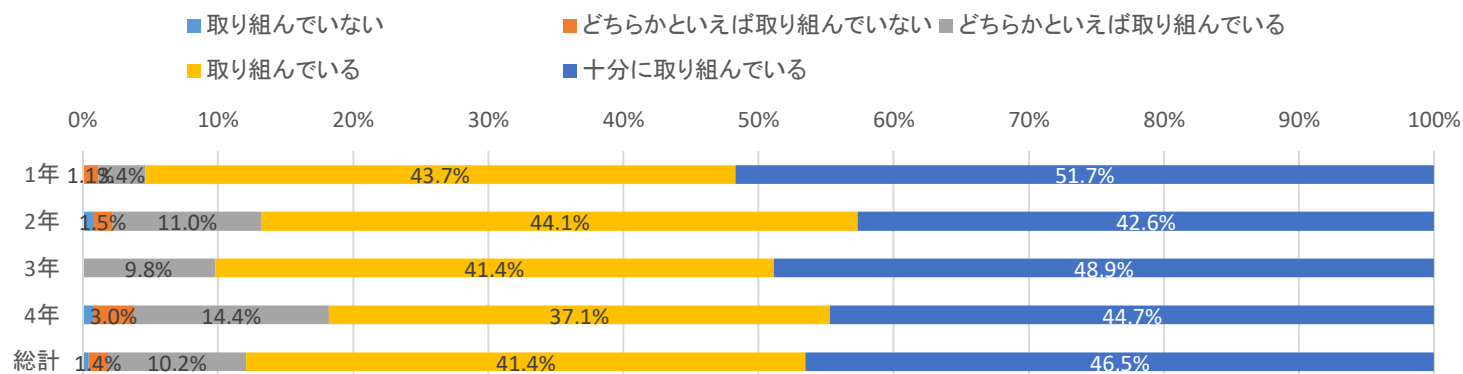
(2) 興味のある授業の割合



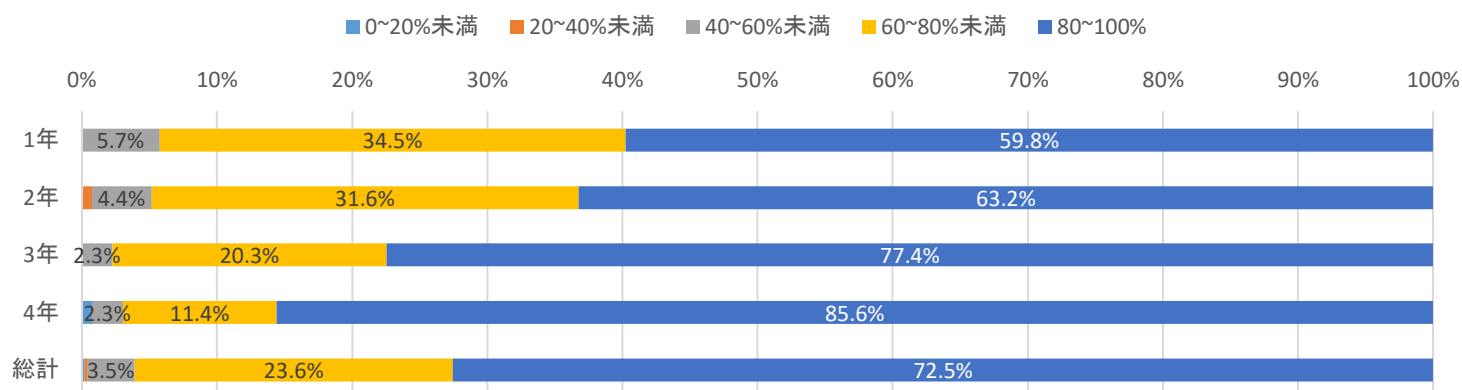
(3) 授業全体の難易度



(4) 授業（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は課題など）への積極的取り組み



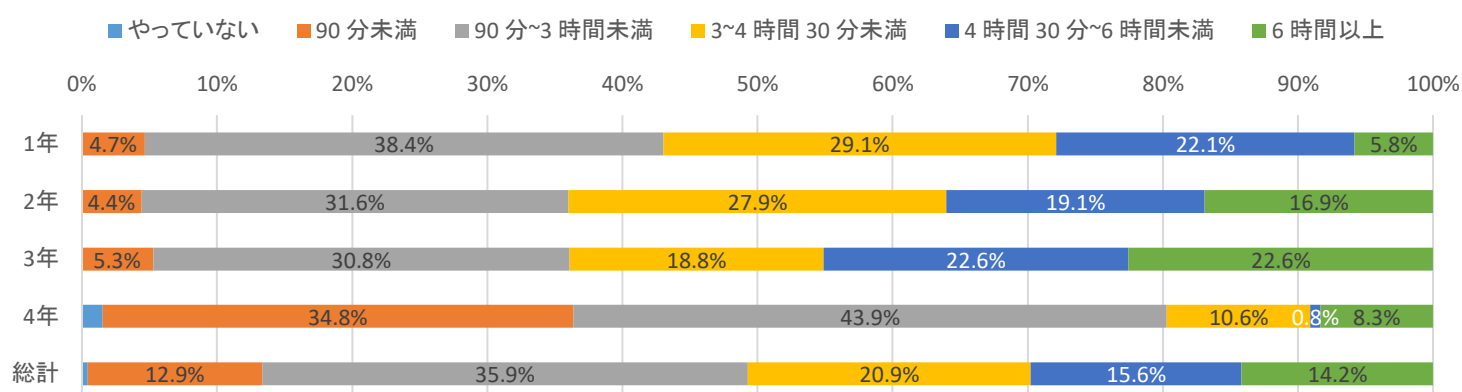
(5)4年間で卒業できる自信



2. 1週間(平均的な)における授業時間外での学修行動について

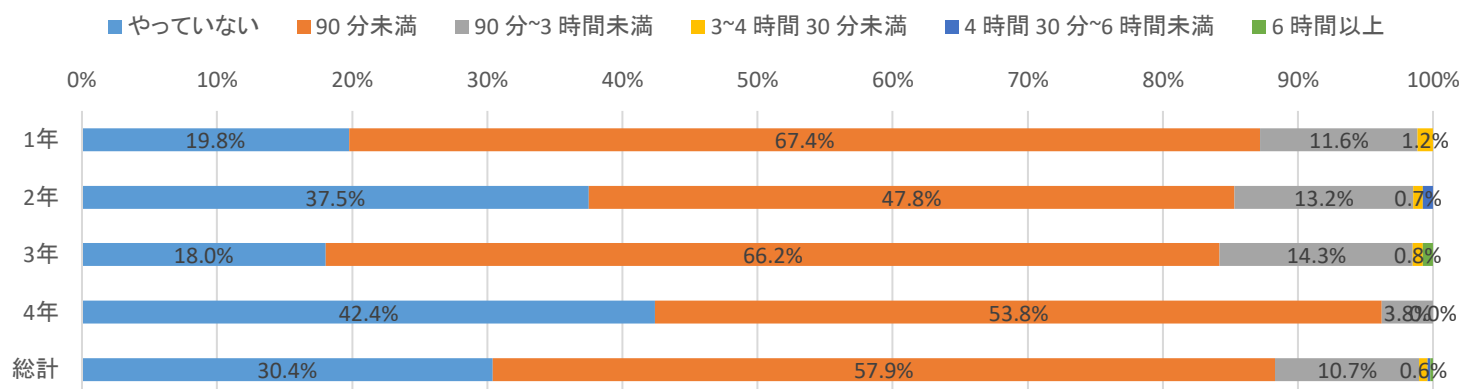
(6)先生に指示された授業での発表の準備、課題やレポート、宿題などをのくらいやりましたか

(無効回答 1年:1)



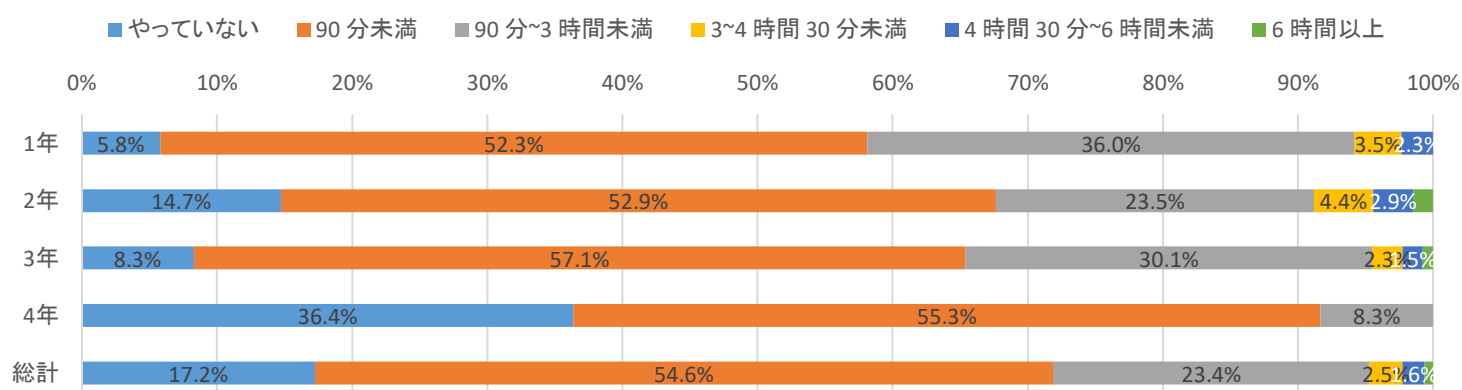
(7) 授業の予習をどのくらいしていますか

(無効回答 1年:1)



(8) 授業の復習をどのくらいしていますか

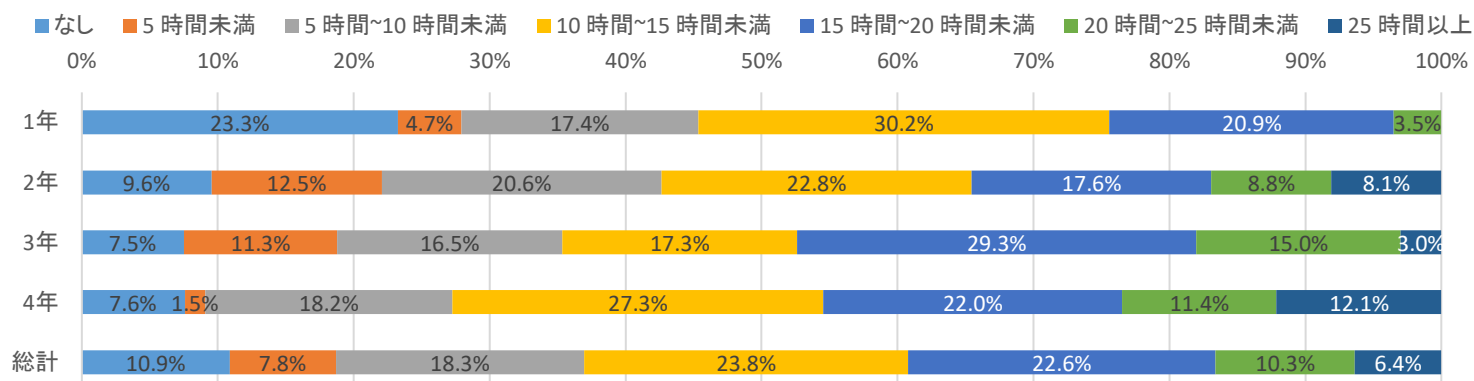
(無効回答 1年:1)



3. 1週間(平均的な)における授業以外の学修活動や行動についてか

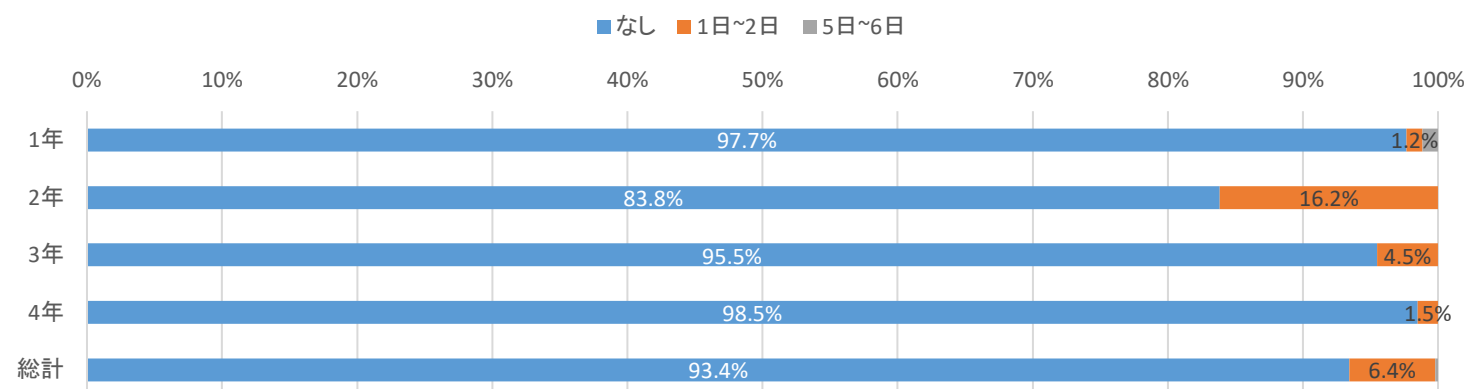
(9) アルバイトをどのくらいしていますか

(無効回答 1年:1)



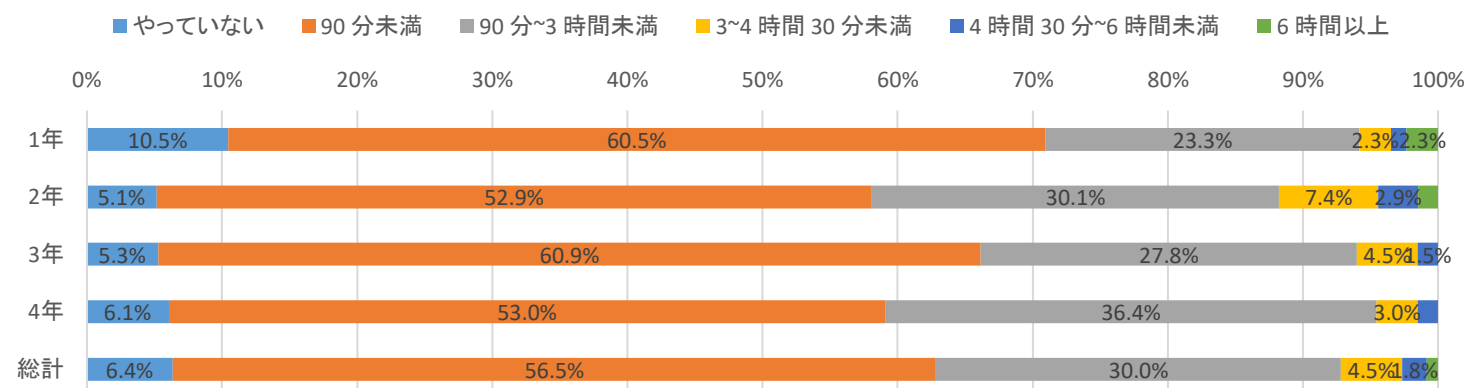
(10) 部活・サークル活動をどのくらいしていますか

(無効回答 1年:1)



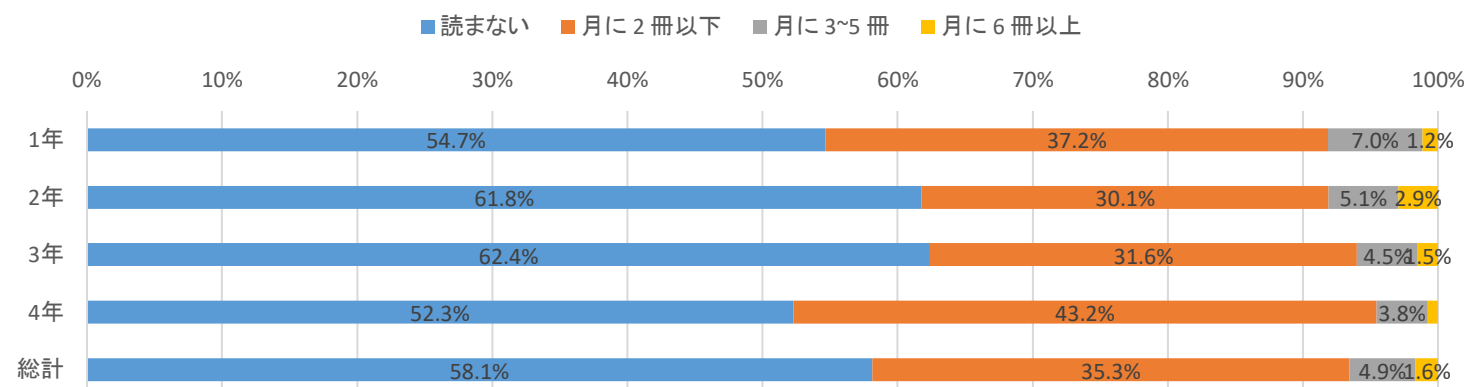
(11) ネットやテレビ、新聞、雑誌などのニュースや記事を見て社会の動きを知る努力

(無効回答 1年:1)



(12) 本をどのくらい読んでいますか

(無効回答 1年:1)

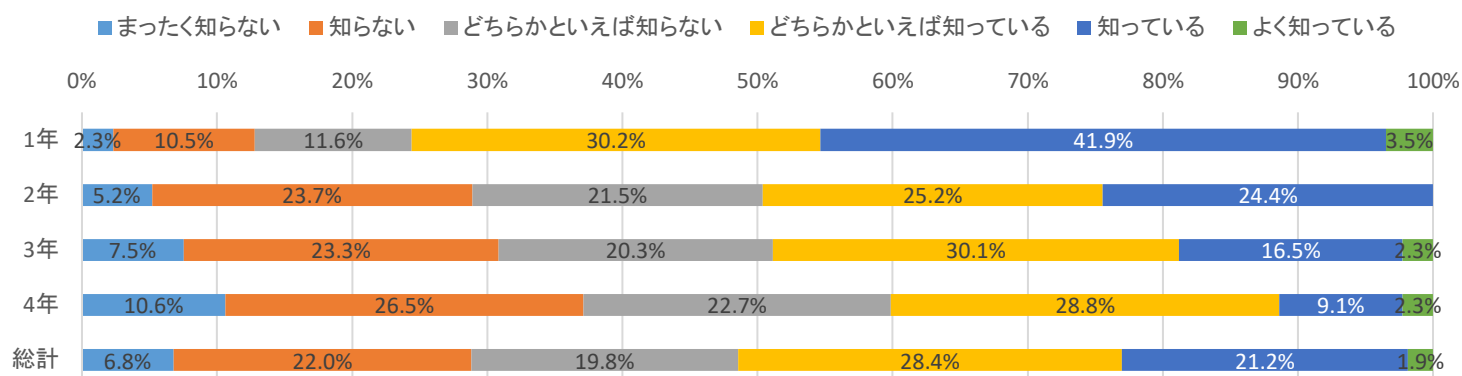


【学修成果】

1. 教育理念について

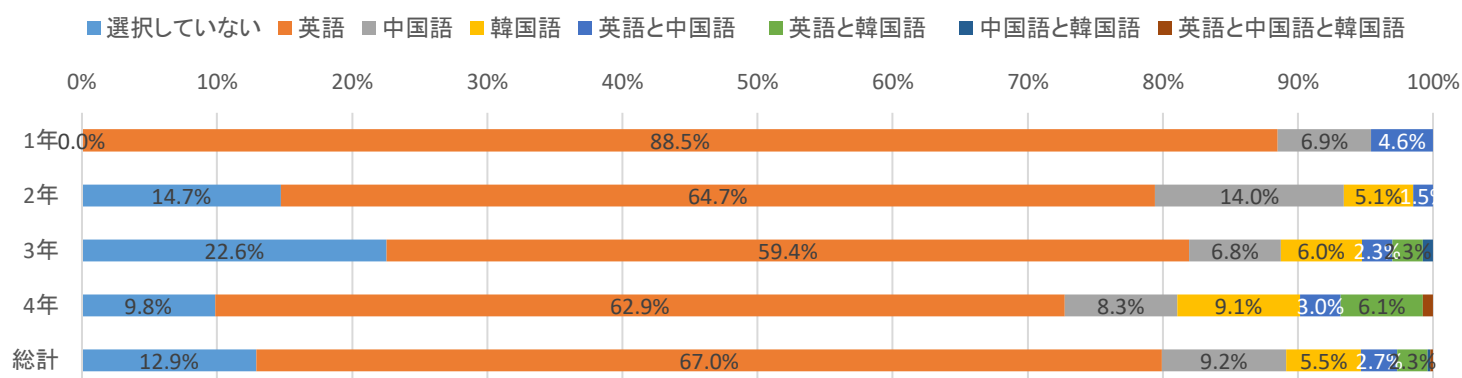
(1) 本学の建学の精神「徳を成す人間の育成」を知っていますか

(無効回答 1年:1、2年:1)

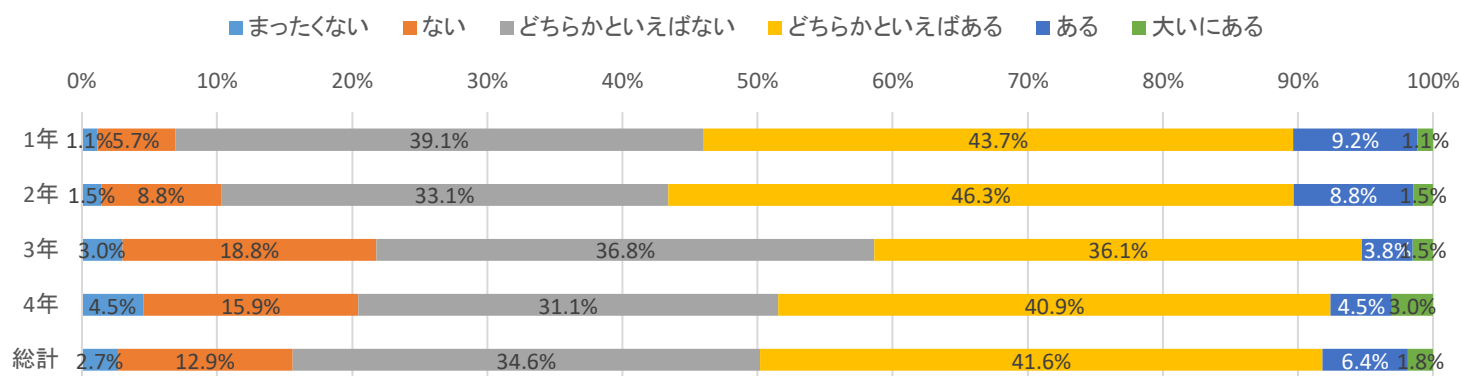


2. 外国語能力について

(2) 外国語の授業を選択していますか・いましたか

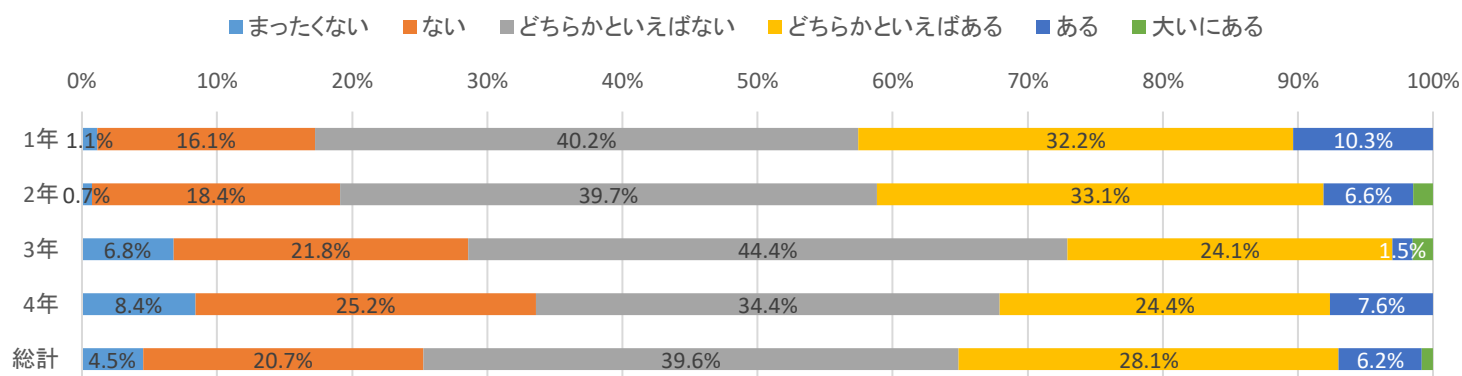


(3) 読む力はどの程度ありますか

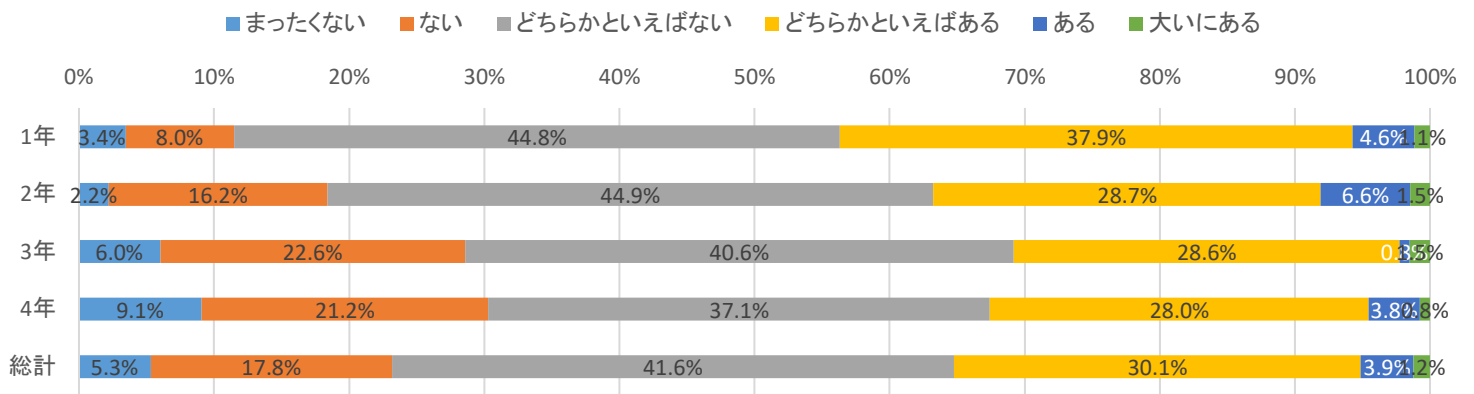


(4) 会話力(話す、聞く)はどの程度ありますか

(無効回答 4年:1)



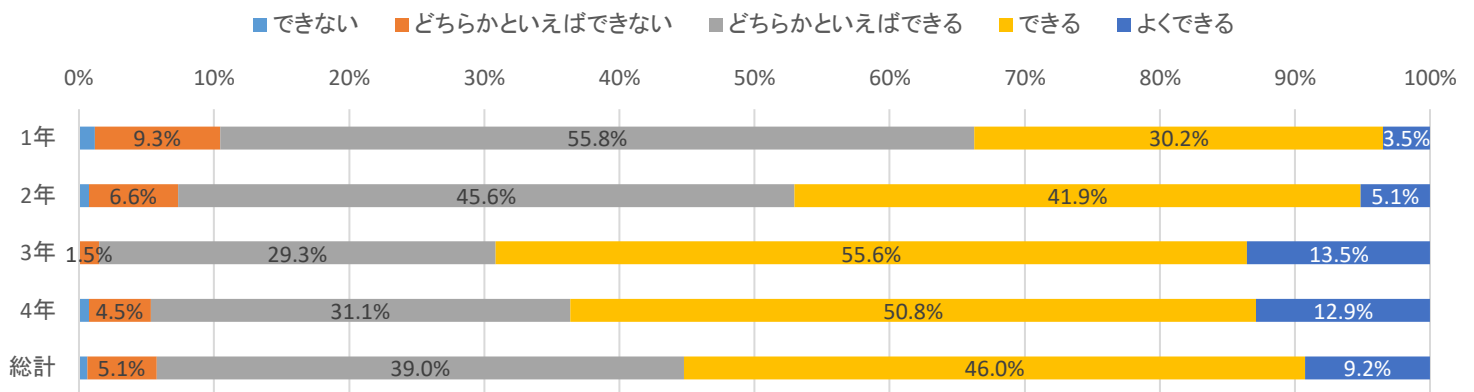
(5)書く力はどの程度ありますか



3. ICTリテラシー(=情報機器やインターネットを使う能力)について

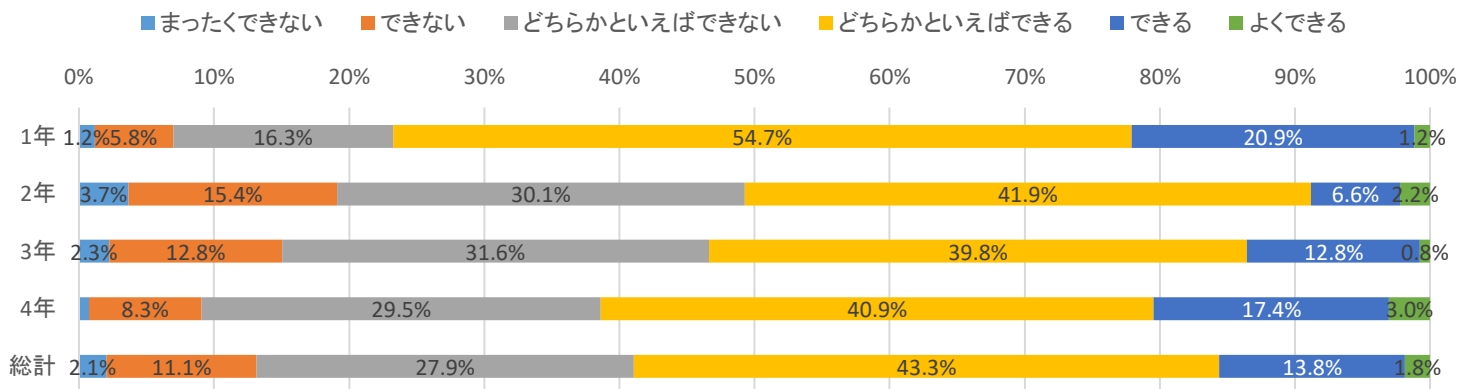
(6)文章作成ソフト(Wordなど)を使って文章を作成することがどの程度できますか

(無効回答 1年:1)



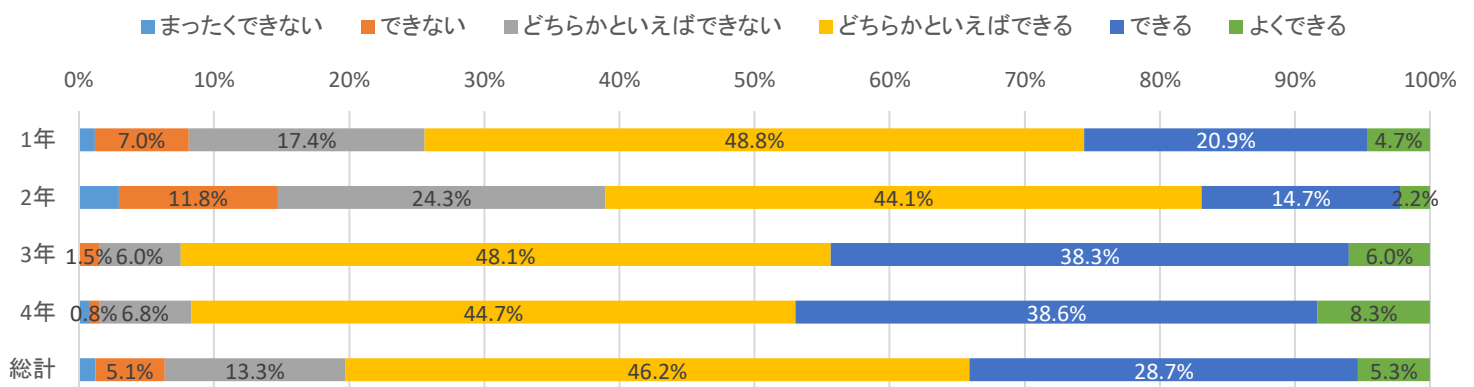
(7)表計算ソフト(Excelなど)を使って図表を作成することがどの程度できますか

(無効回答 1年:1)



(8)プレゼンテーションソフト(Power Pointなど)による資料作成がどの程度できますか

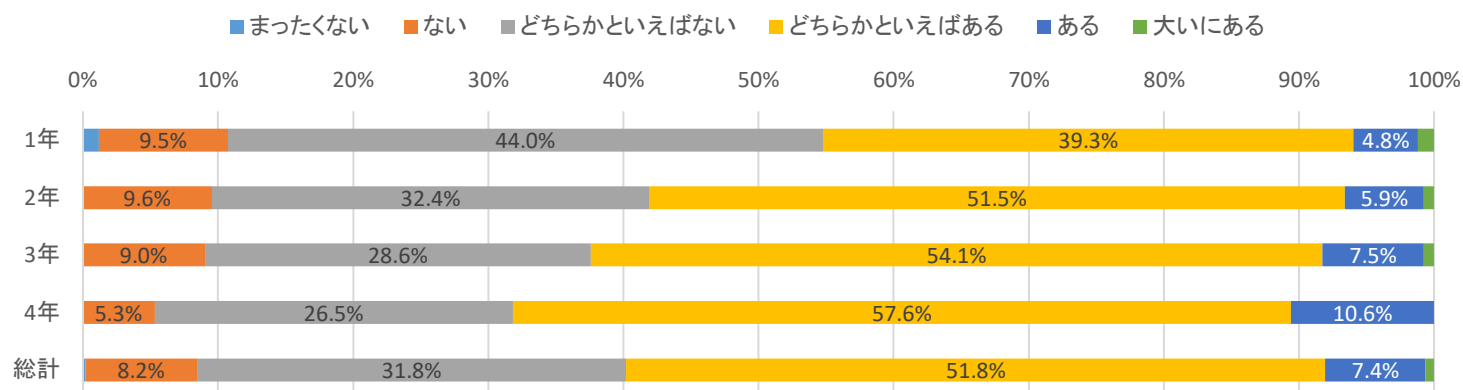
(無効回答 1年:1)



4. 教養・基礎的スキルについて

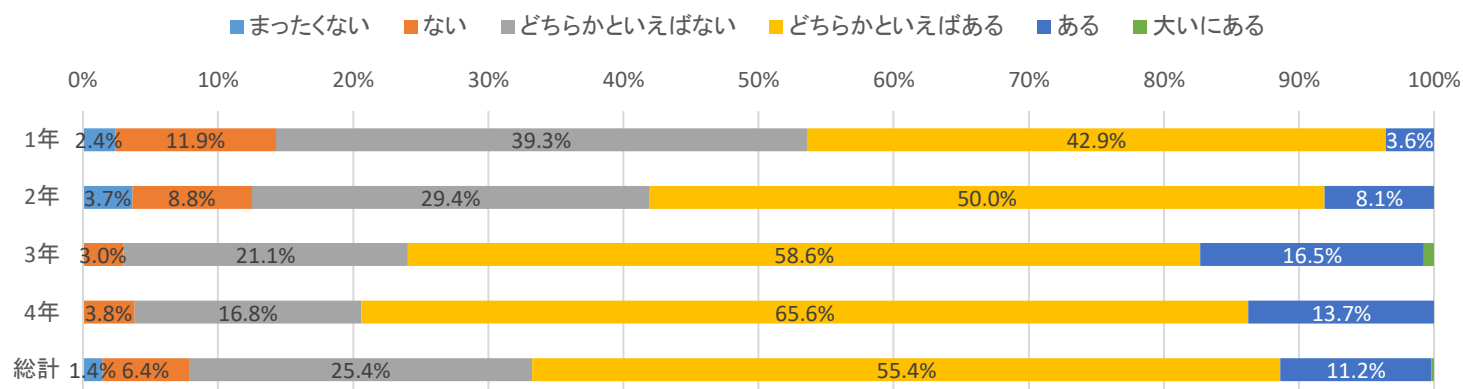
(9)専門分野の知識とは別に幅広い知識や教養がどの程度ありますか

(無効回答 1年:3)



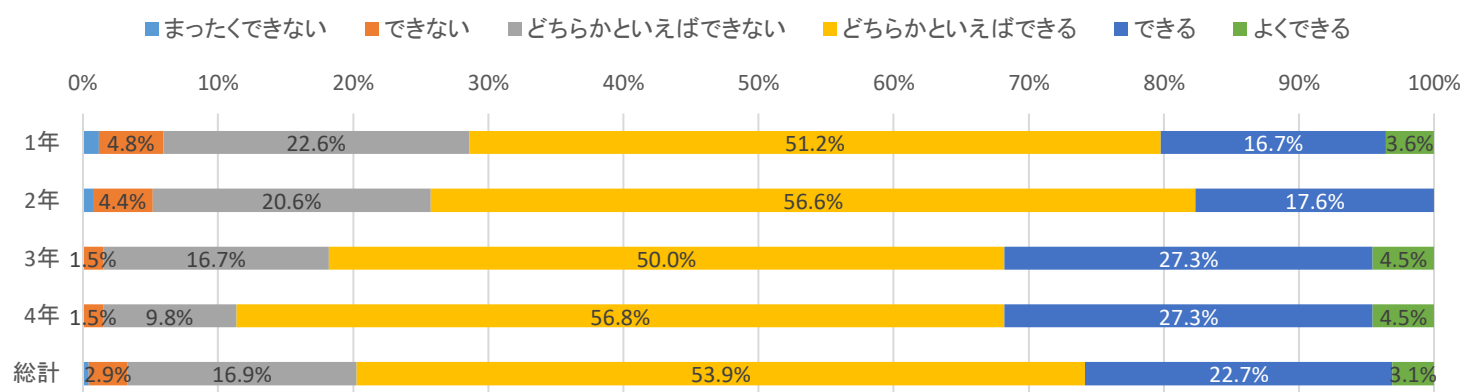
(10)レポートや論文作成に必要なスキル(文献検索、書式・作法、論理構成、文章作成など)

(無効回答 1年:3、4年:1)



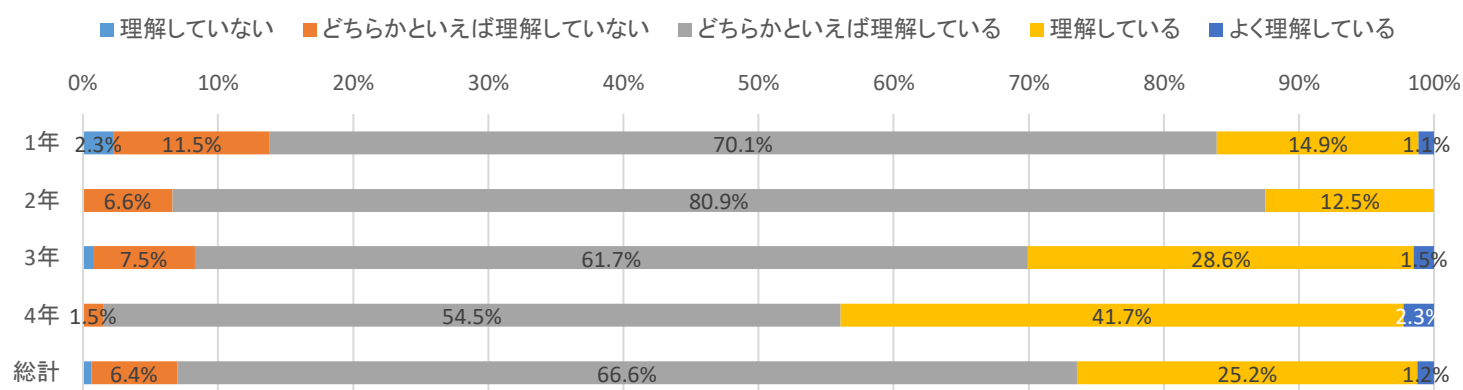
(11)ディスカッションの中で他者の意見をきちんと聞きながら自分の意見を述べる

(無効回答 1年:3、3年:1)

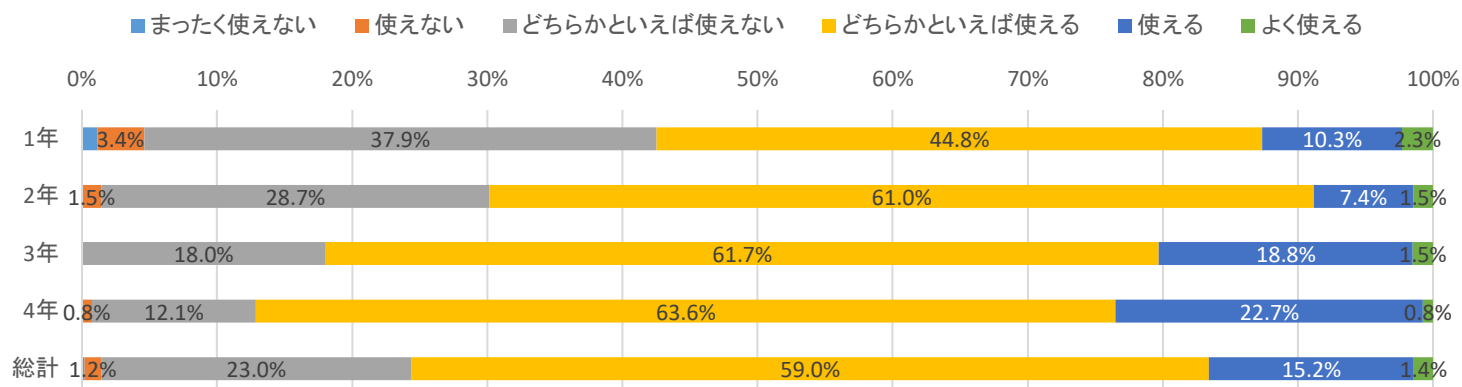


5. 専門知識・専門的スキルについて

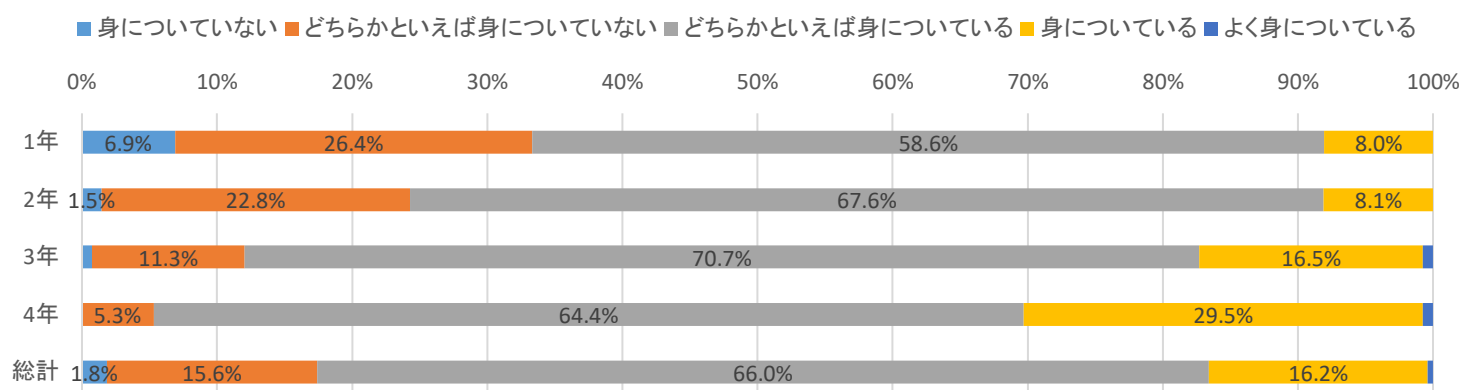
(12)専門知識をどの程度、理解していますか



(13)専門知識を実際の場面で使うことがどの程度できますか

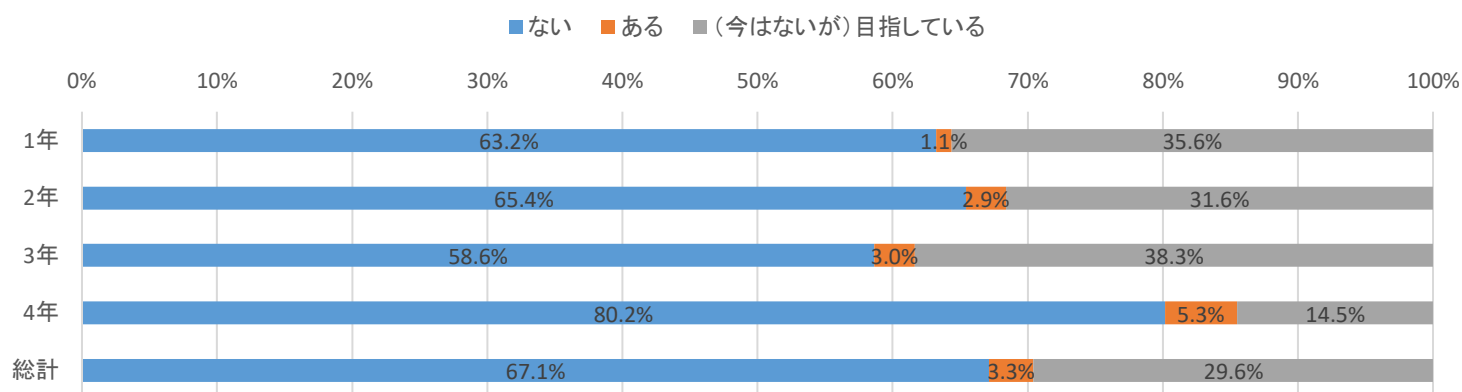


(14)専門的スキルがどの程度身についていますか



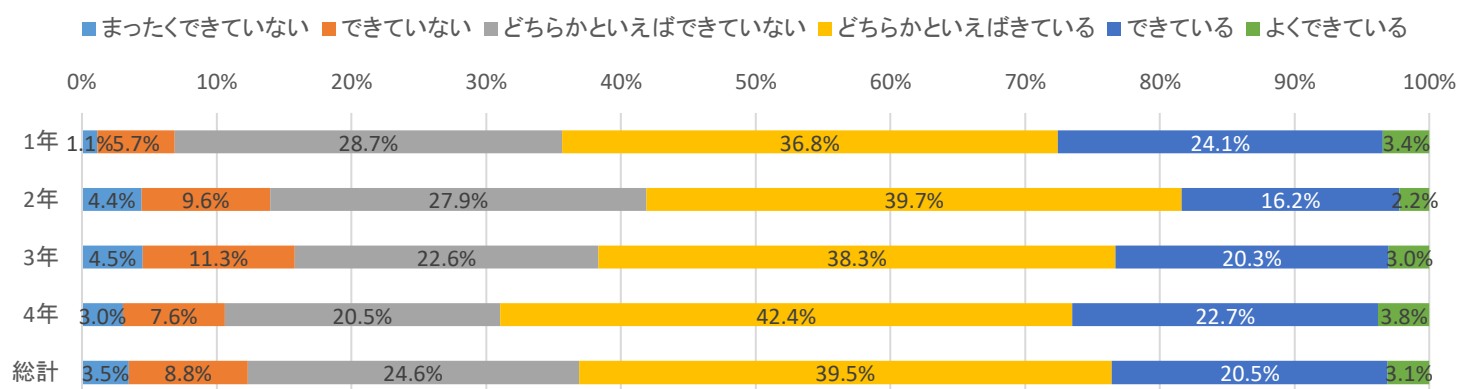
(15)大学入学後の専門分野に関連する資格の取得、検定試験での一定の点数取得

(無効回答 4年:1)



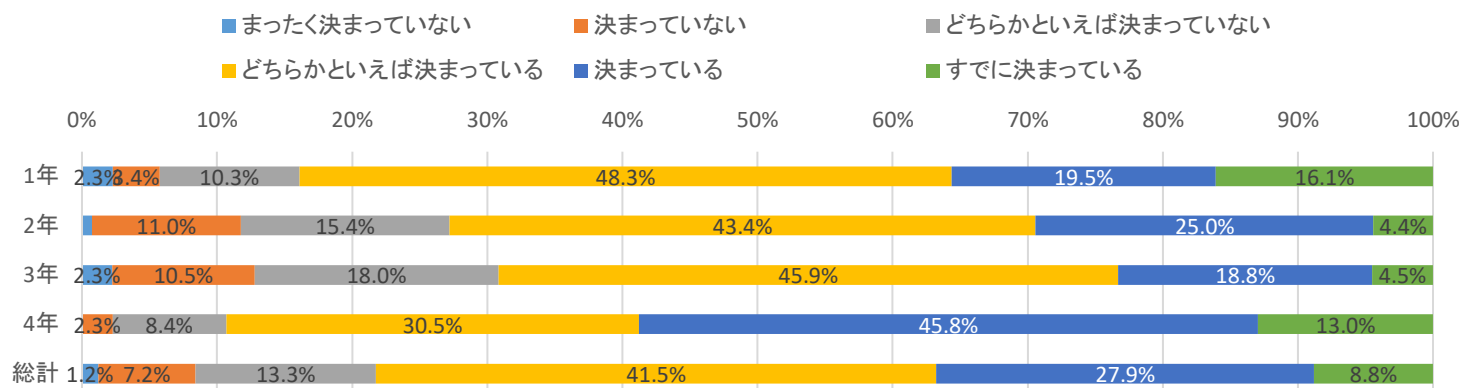
6. 社会で活躍するための力(キャリア教育、社会人基礎力)について

(16)「自分が働く」とはどのようなことかを、どの程度イメージできていますか

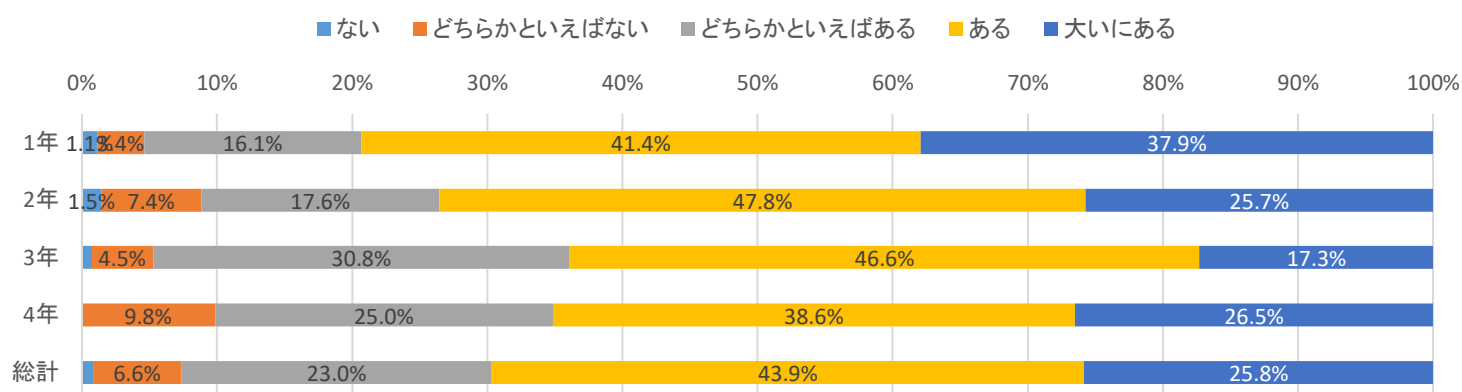


(17)将来の進路(職業、進学など)がどの程度決まっていますか

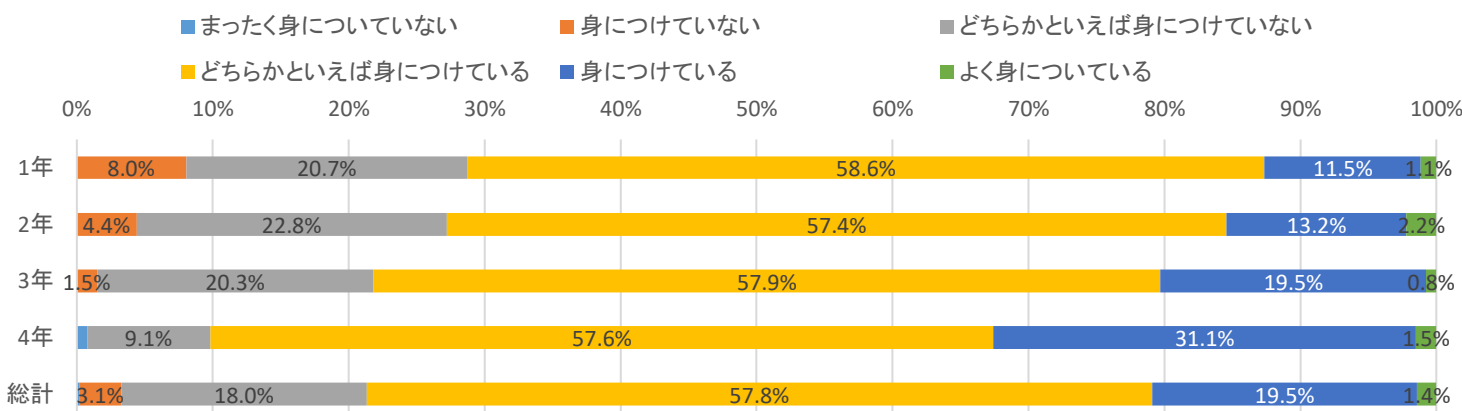
(無効回答 4年:1)



(18)就職活動を最後まで頑張る自信がどの程度ありますか



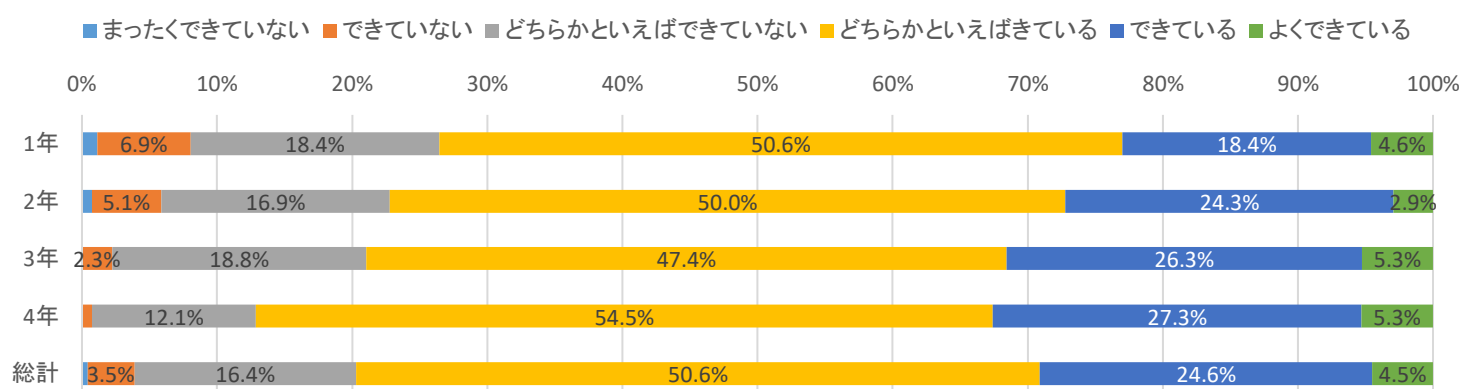
(19)社会に出て仕事や社会的活動を行うために必要な力を、どの程度身につけていますか



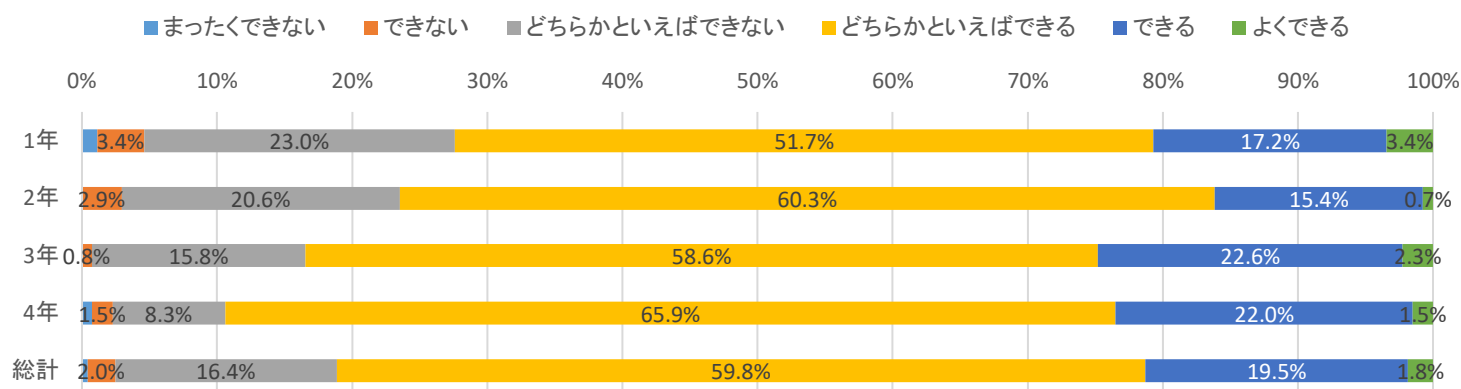
7. 総合力について

・上記の「2」～「6」の学びを通して、以下の力がどの程度、身についていると思うかお答えください。

(20)自分の考えを文章や口頭で他者にきちんと説明する

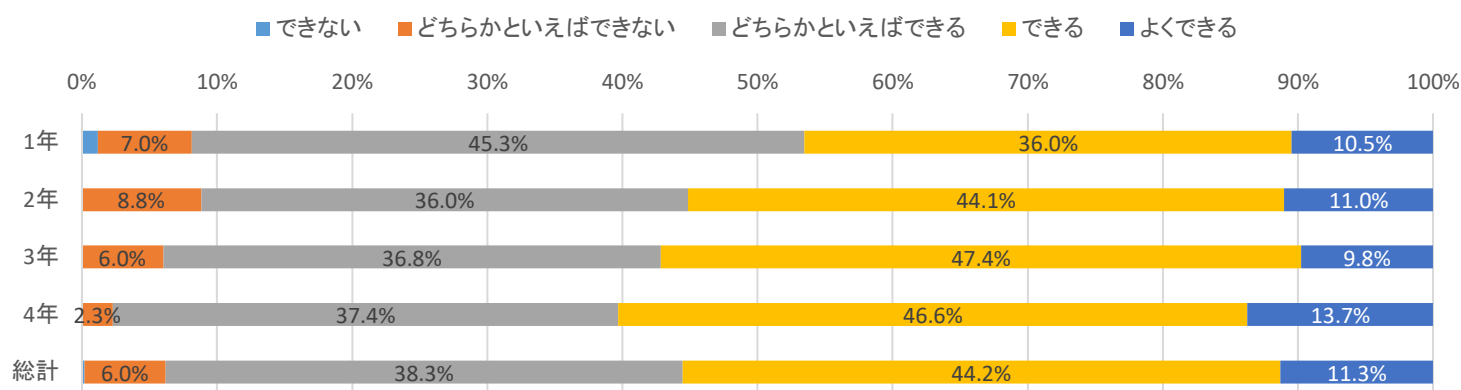


(21)課題を見つけ出しそれに対する最善の解決方法を考える

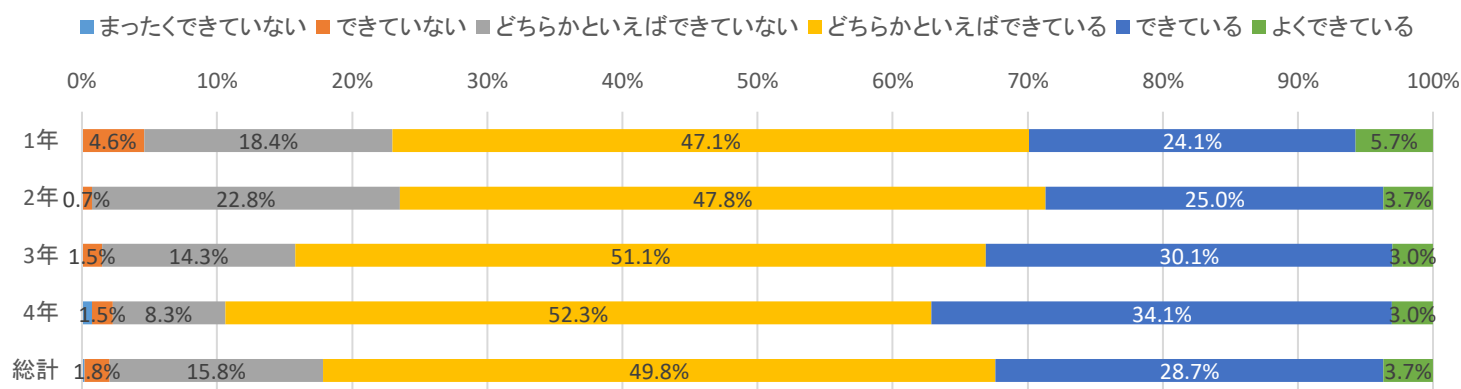


(22)他者とコミュニケーションを図りながら相互理解を深めていく

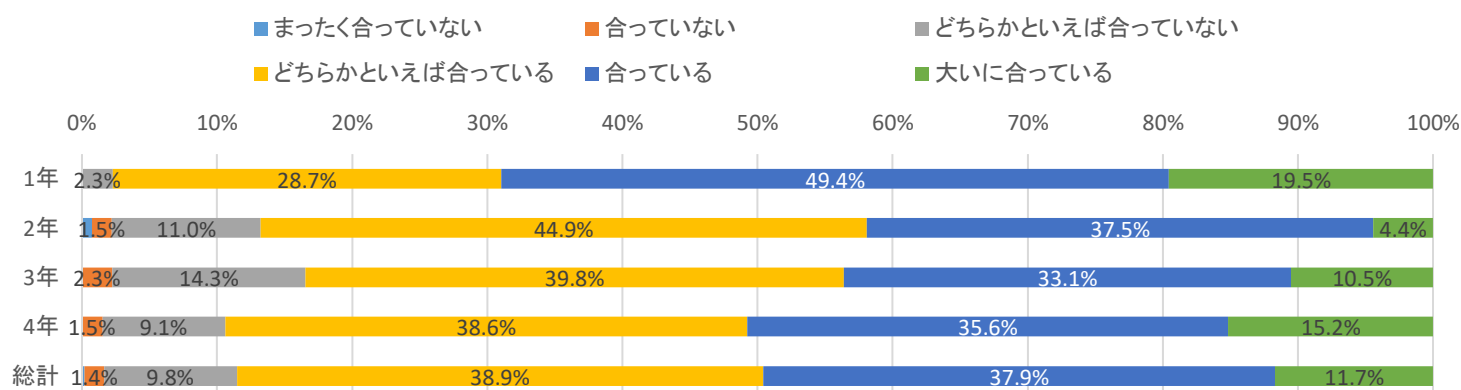
(無効回答 1年:1、4年:1)



(23)自分自身の「ものの見方・考え方」をつくり上げる



(24)興味関心や資質・適性からみて学部の学びは自分にどの程度合っているか

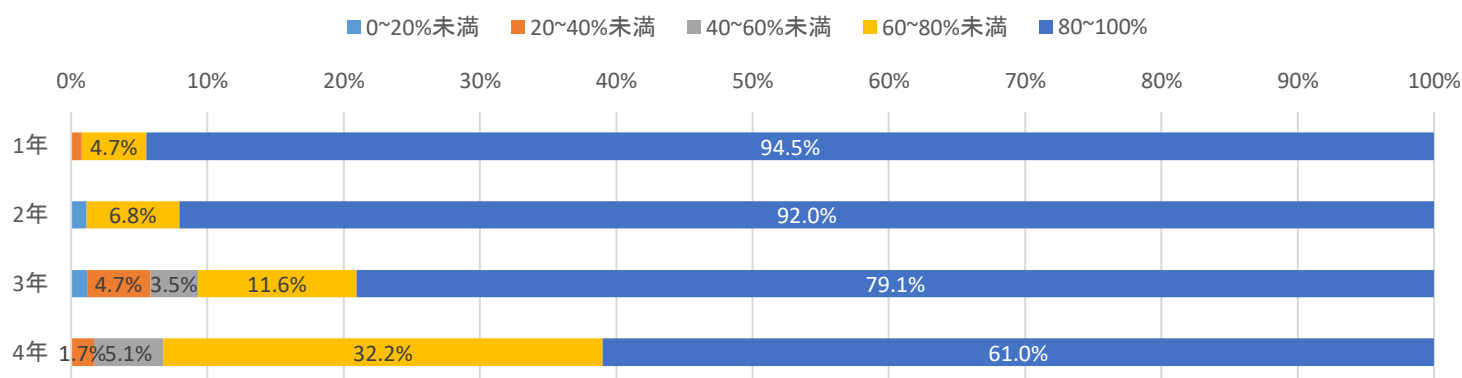


2) - 8 経営学科

【学修行動】

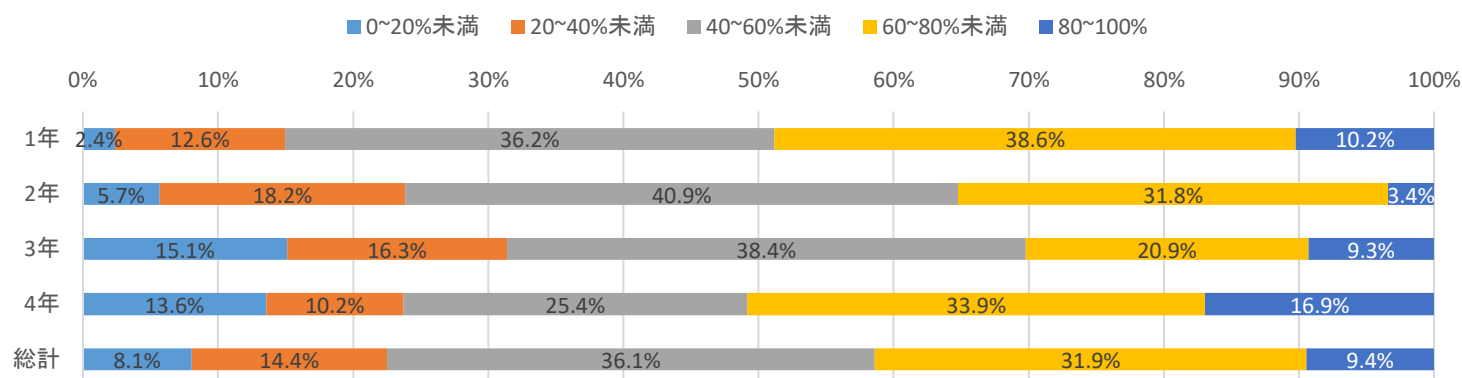
1. 1週間（平均的な）における学修行動について

(1) 授業への出席割合（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は、課題などの提出回数などで回答）（無効回答 4年:1）



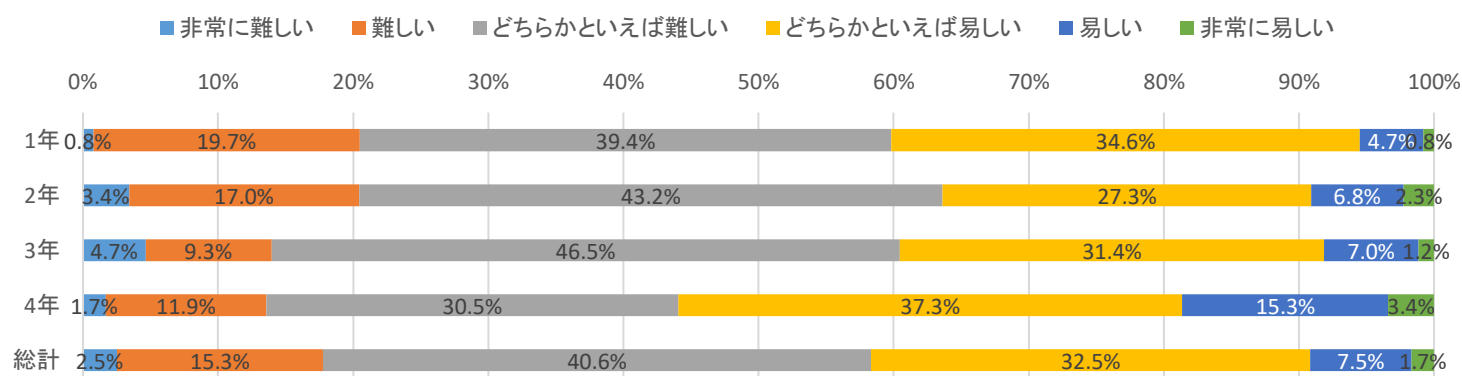
(2) 興味のある授業の割合

（無効回答 4年:1）



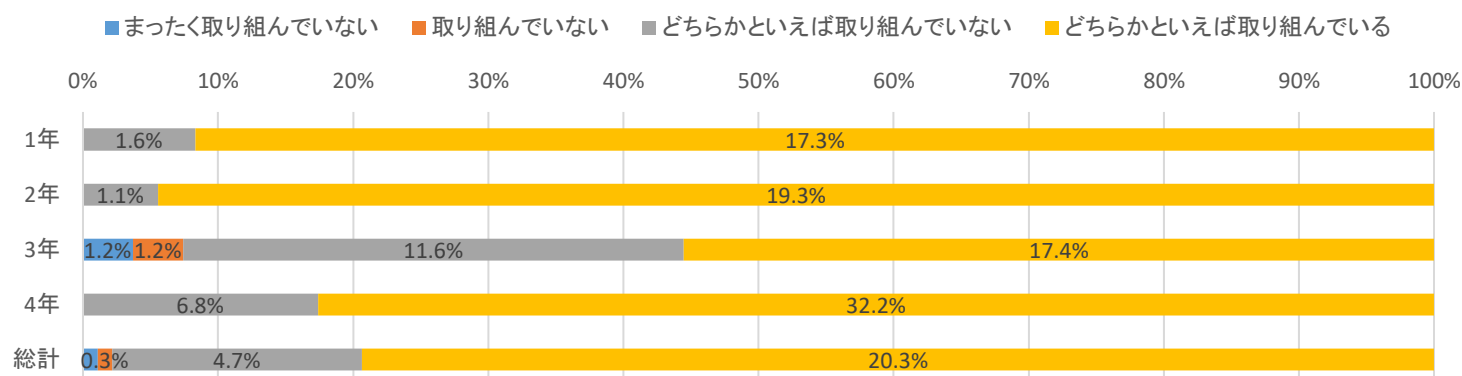
(3) 授業全体の難易度

（無効回答 4年:1）



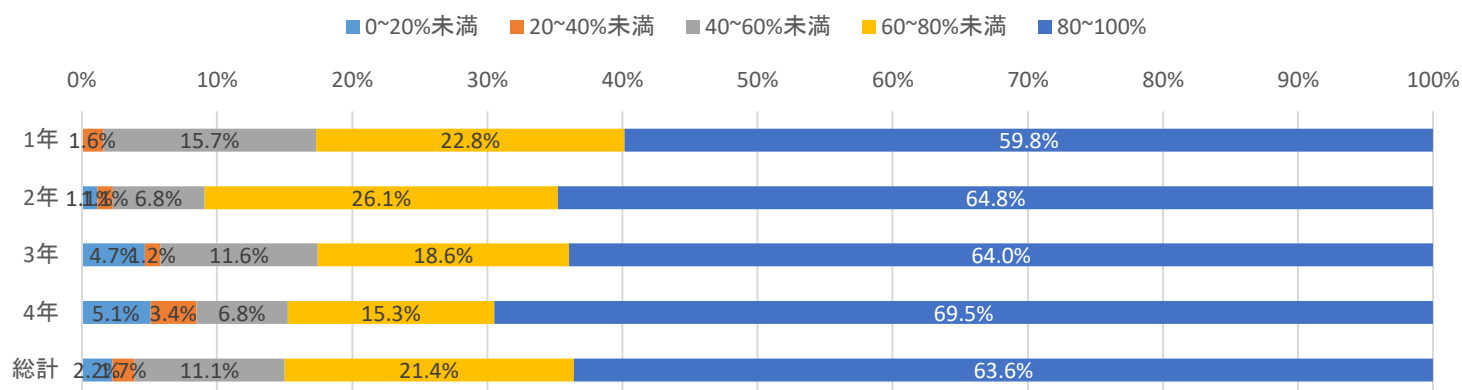
(4) 授業（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は課題など）への積極的取り組み

（無効回答 4年:1）



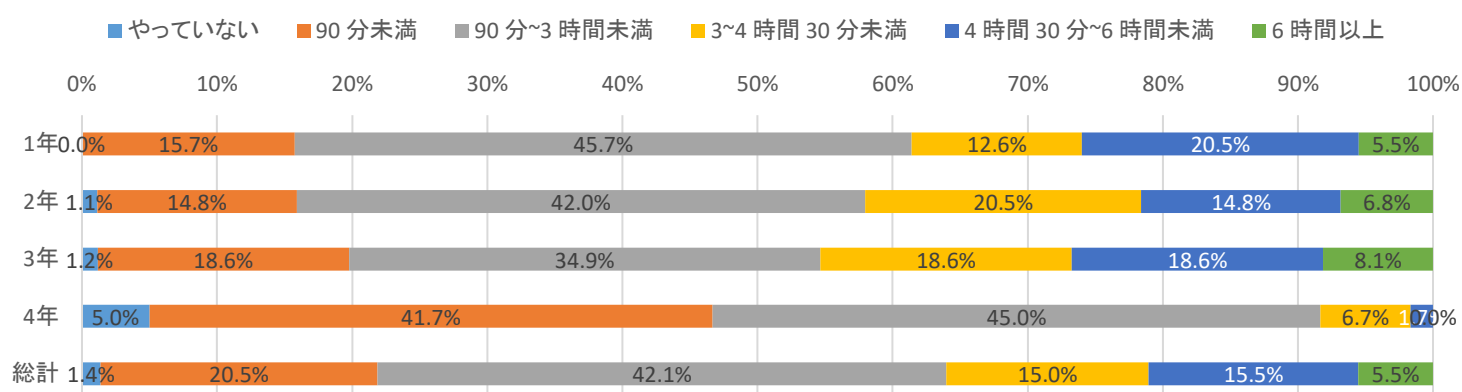
(5)4年間で卒業できる自信

(無効回答 4年:1)

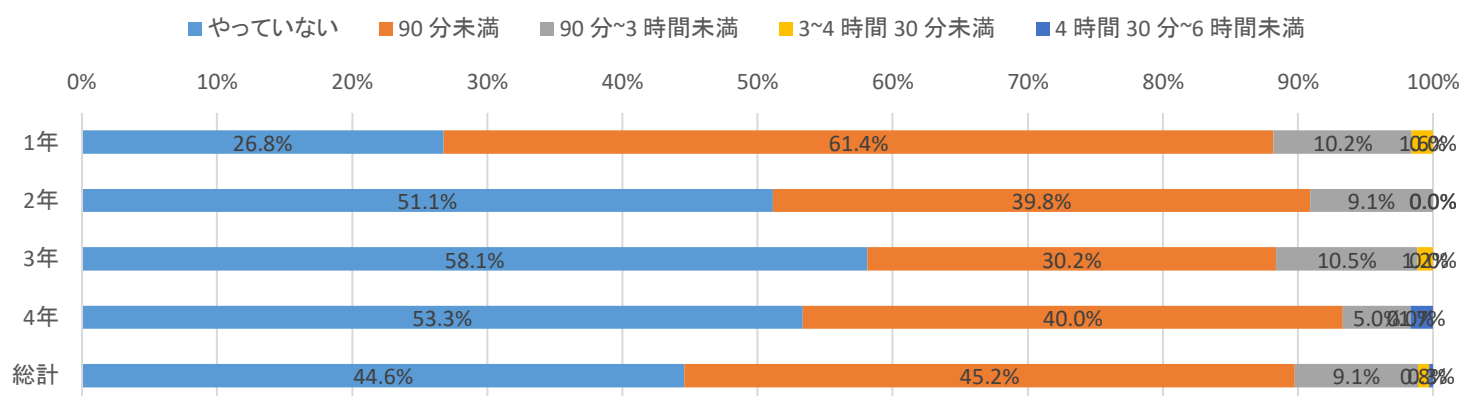


2. 1週間(平均的な)における授業時間外での学修行動について

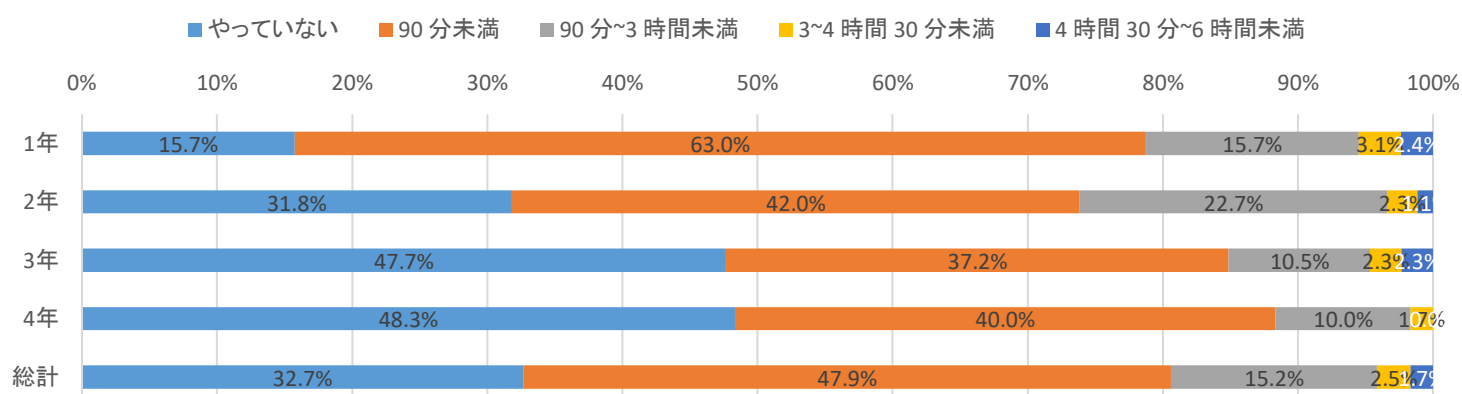
(6)先生に指示された授業での発表の準備、課題やレポート、宿題などをのくらいやりましたか



(7) 授業の予習をどのくらいしていますか

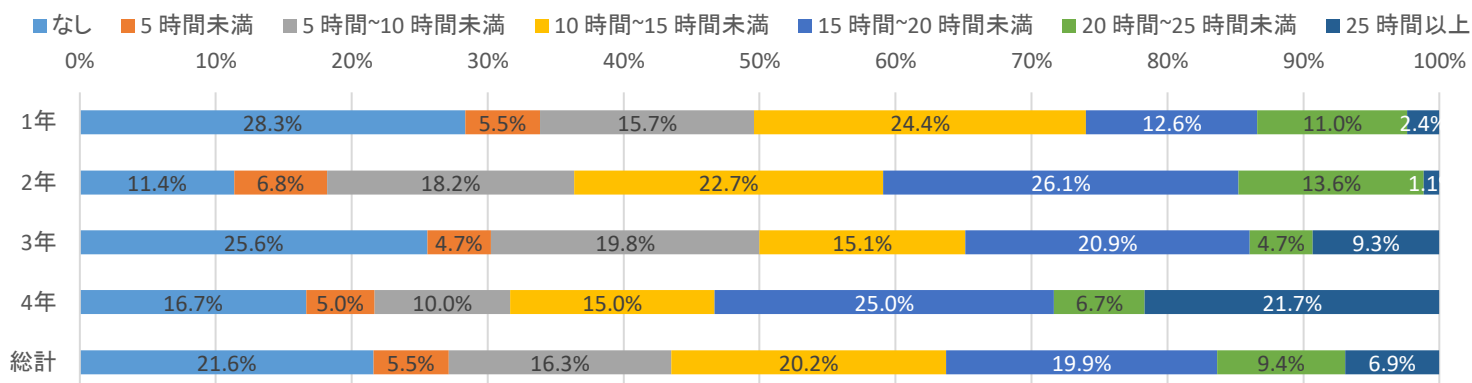


(8) 授業の復習をどのくらいしていますか

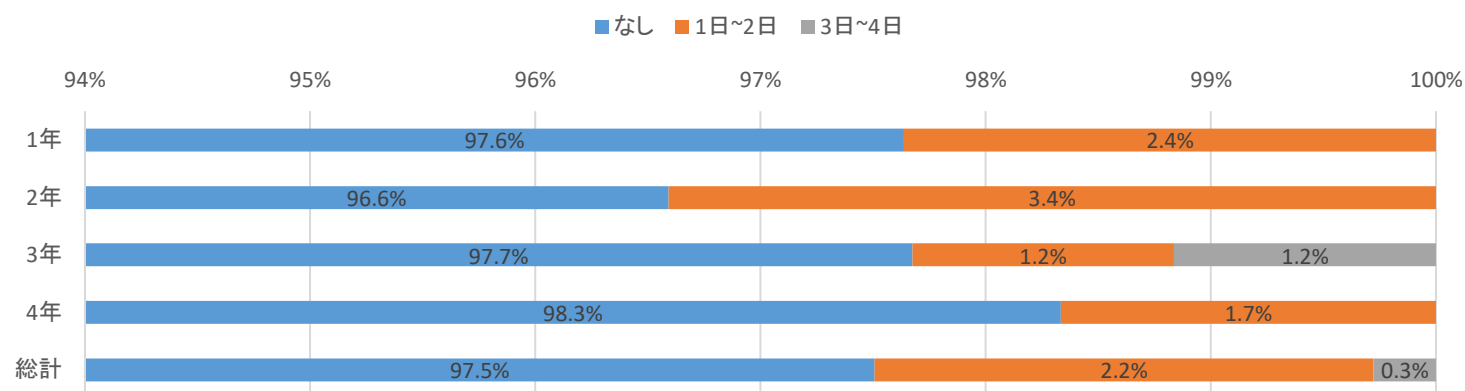


3. 1週間(平均的な)における授業以外の学修活動や行動についてか

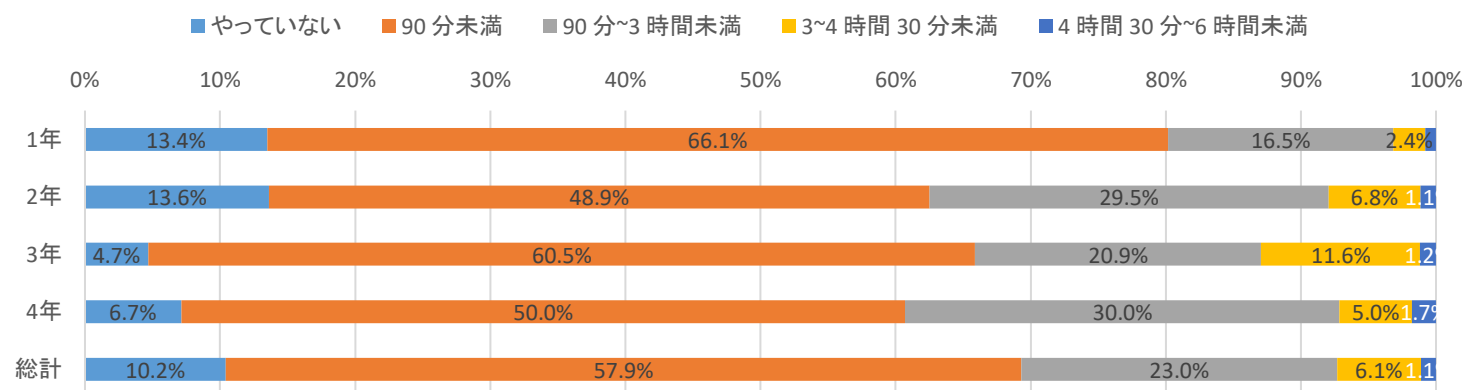
(9) アルバイトをどのくらいしていますか



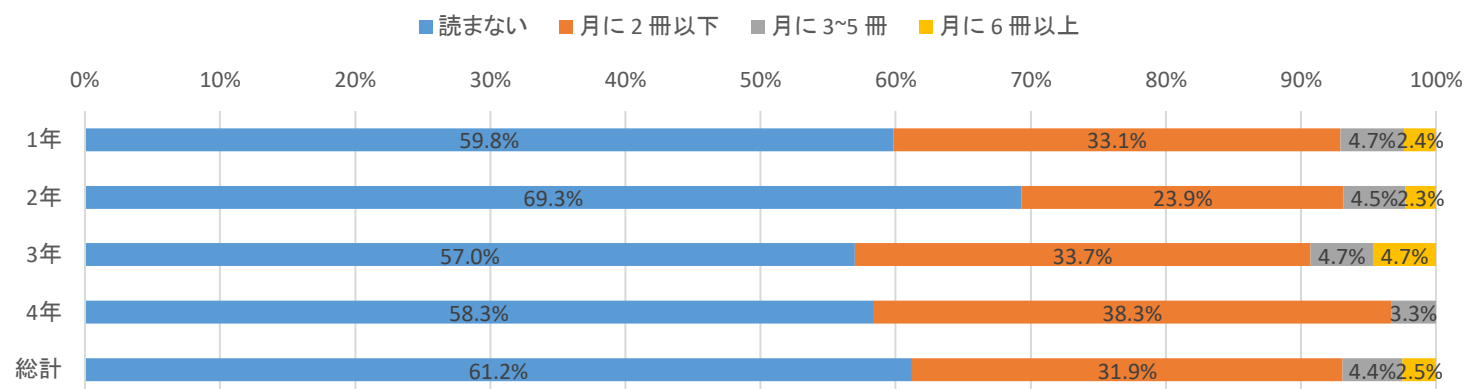
(10) 部活・サークル活動をどのくらいしていますか



(11) ネットやテレビ、新聞、雑誌などのニュースや記事を見て社会の動きを知る努力



(12) 本をどのくらい読んでいますか

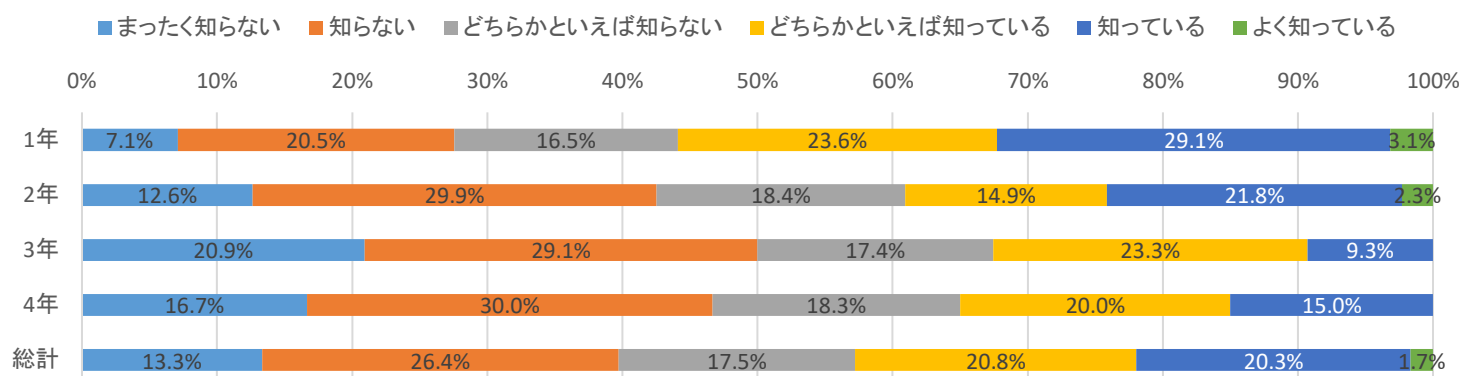


【学修成果】

1. 教育理念について

(1) 本学の建学の精神「徳を成す人間の育成」を知っていますか

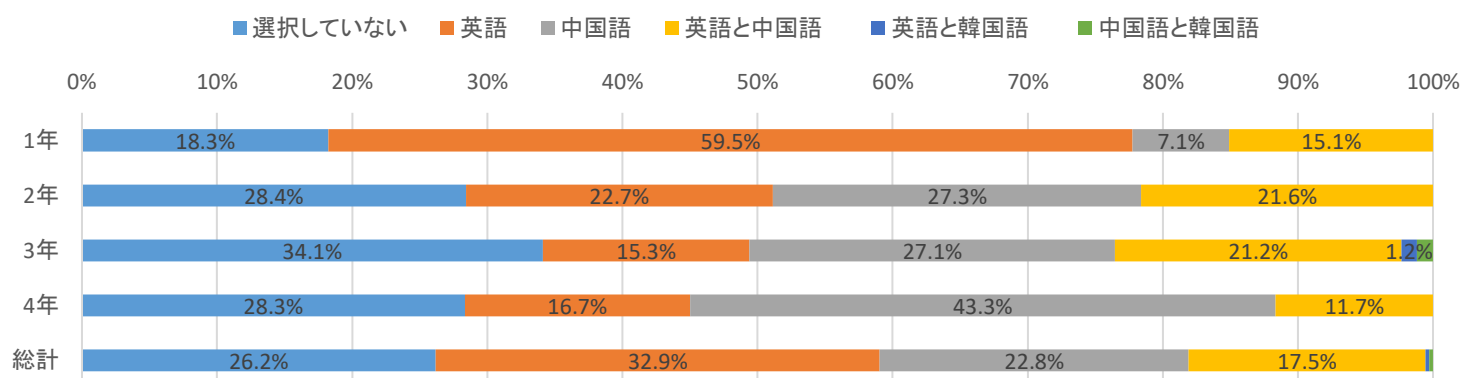
(無効回答 2年:1)



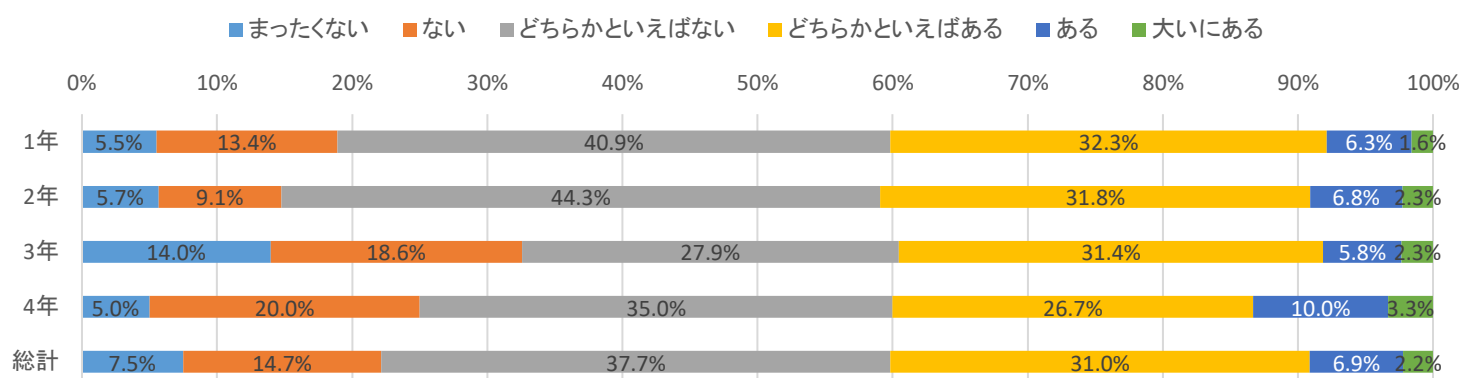
2. 外国語能力について

(2) 外国語の授業を選択していますか・いましたか

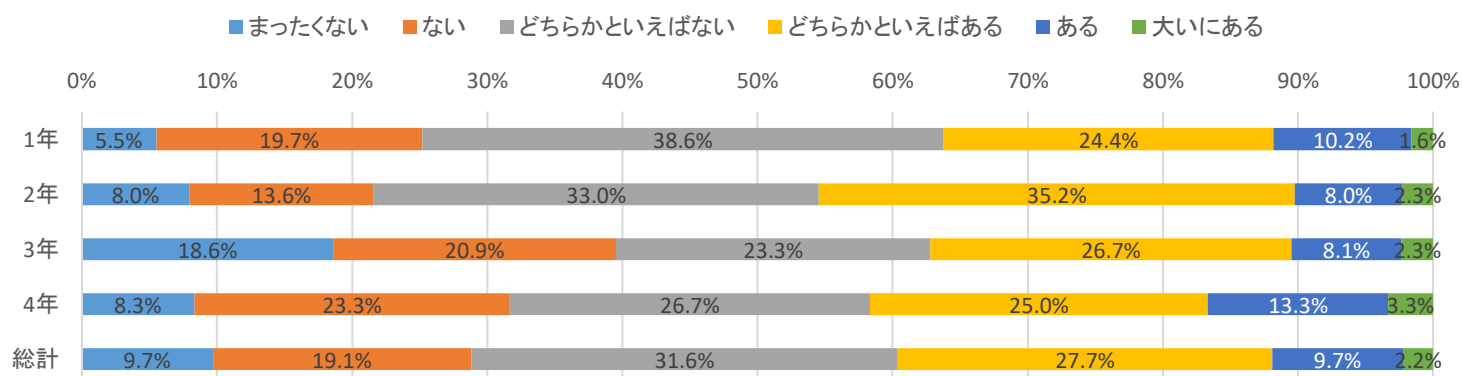
(無効回答 1年:1、3年:1)



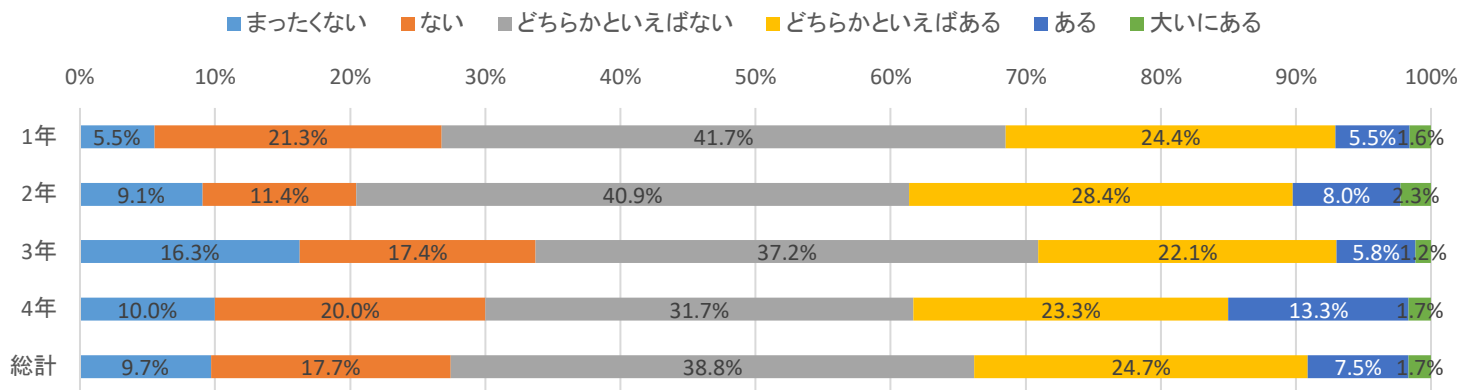
(3) 読む力はどの程度ありますか



(4) 会話力(話す、聞く)はどの程度ありますか

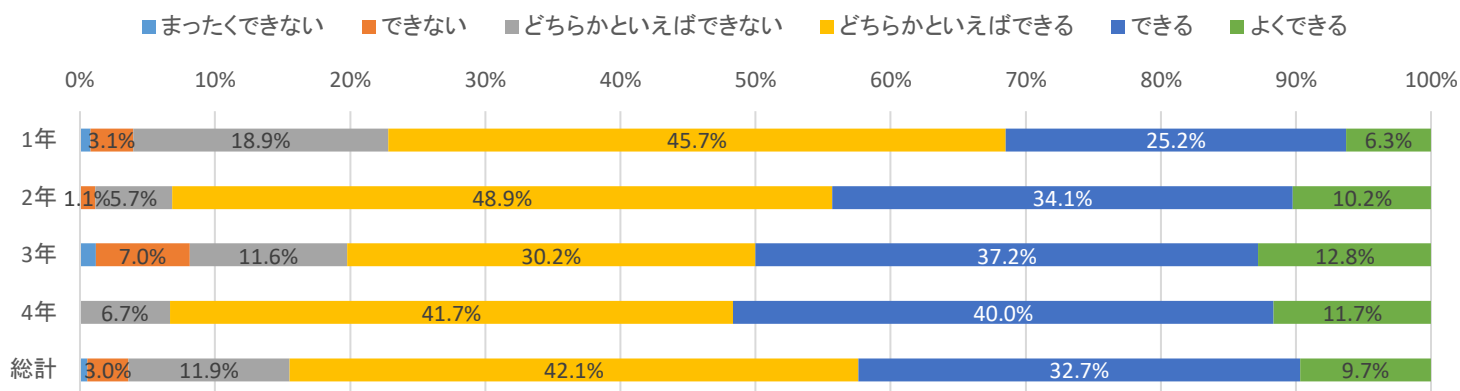


(5)書く力はどの程度ありますか



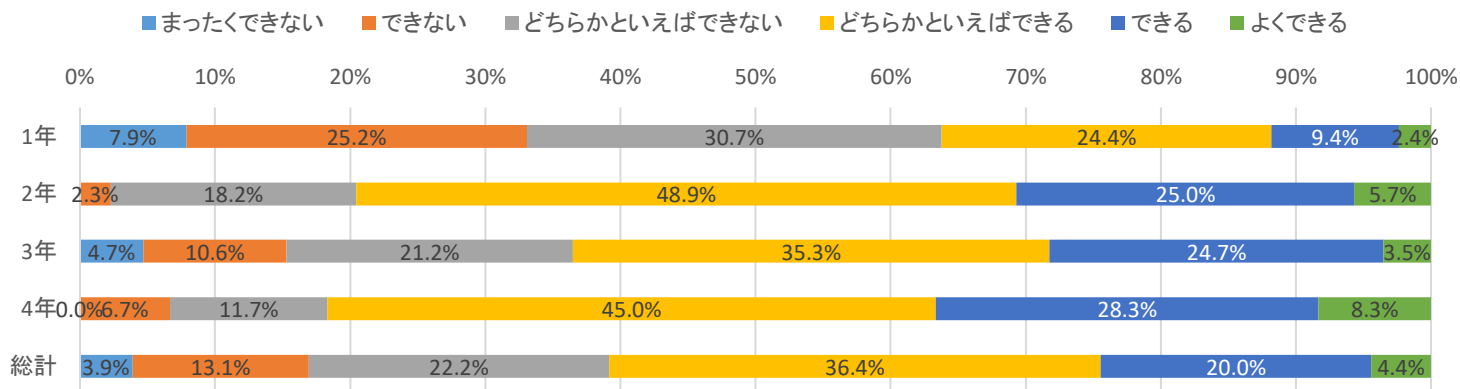
3. ICTリテラシー(=情報機器やインターネットを使う能力)について

(6)文章作成ソフト(Wordなど)を使って文章を作成することがどの程度できますか

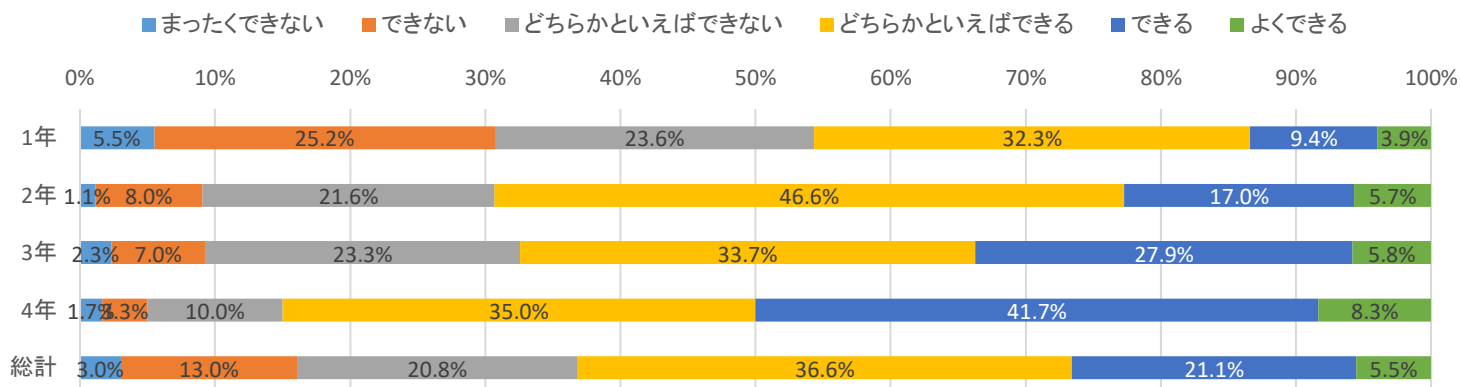


(7)表計算ソフト(Excelなど)を使って図表を作成することがどの程度できますか

(無効回答 3年:1)



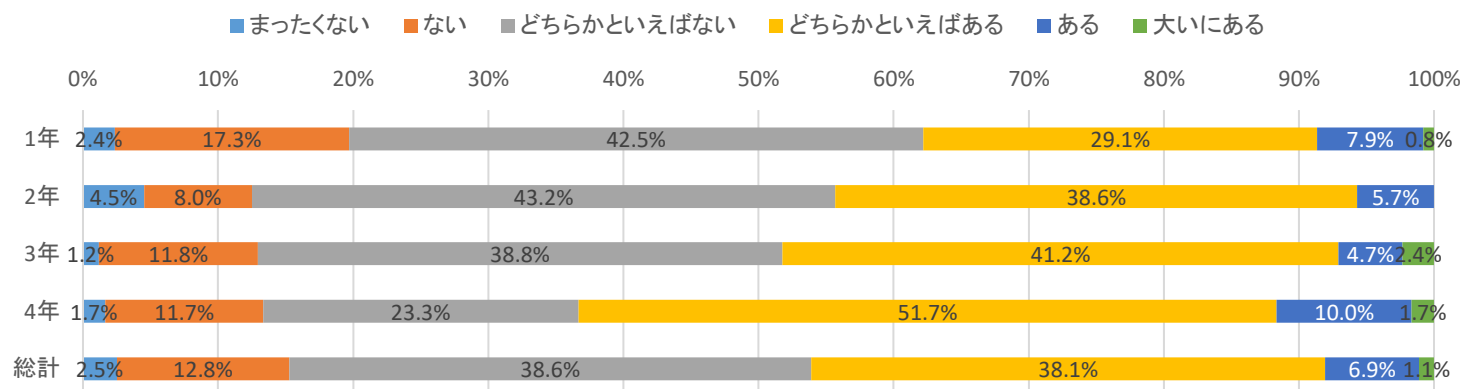
(8)プレゼンテーションソフト(Power Pointなど)による資料作成がどの程度できますか



4. 教養・基礎的スキルについて

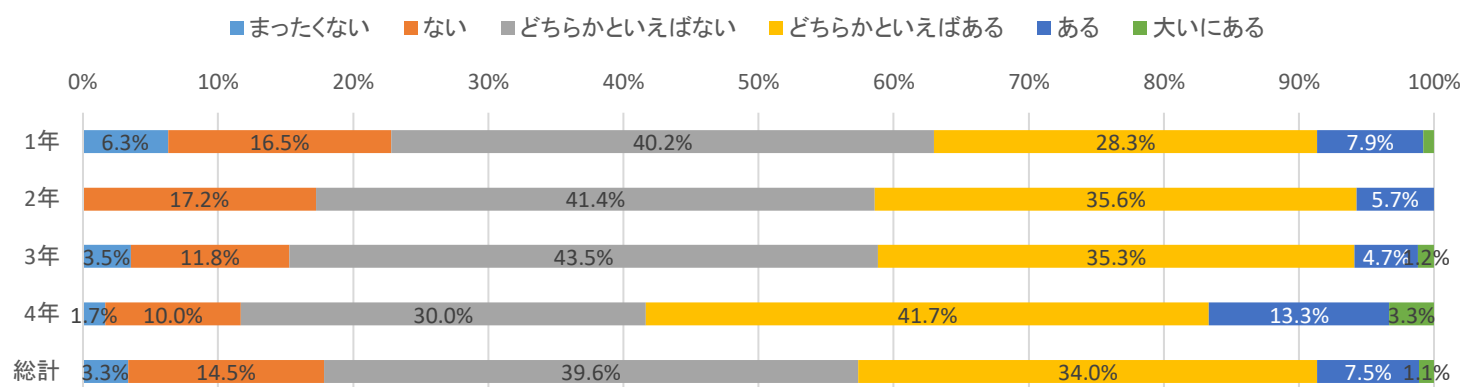
(9)専門分野の知識とは別に幅広い知識や教養がどの程度ありますか

(無効回答 3年:1)



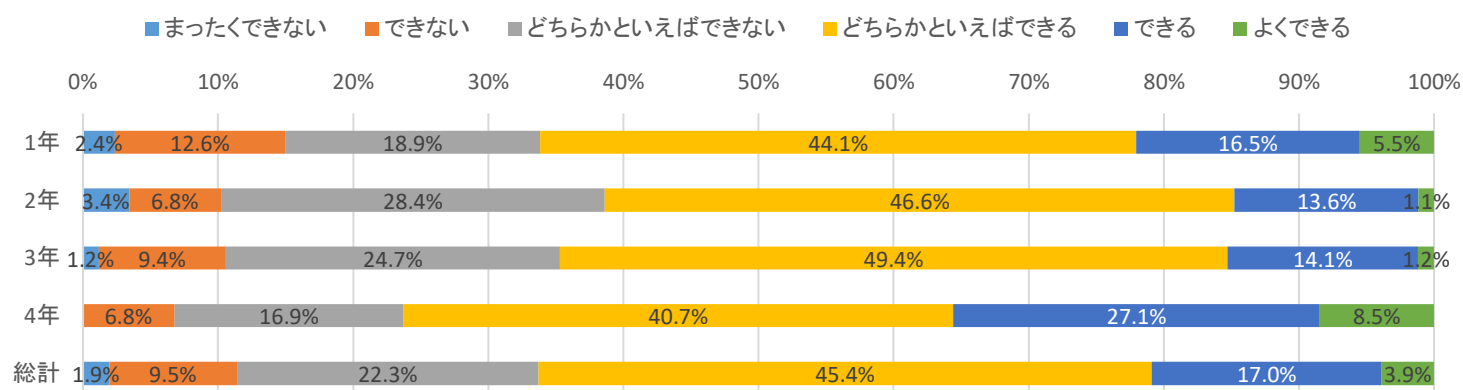
(10)レポートや論文作成に必要なスキル(文献検索、書式・作法、論理構成、文章作成など)

無効回答 2年:1、3年:1



(11)ディスカッションの中で他者の意見をきちんと聞きながら自分の意見を述べる

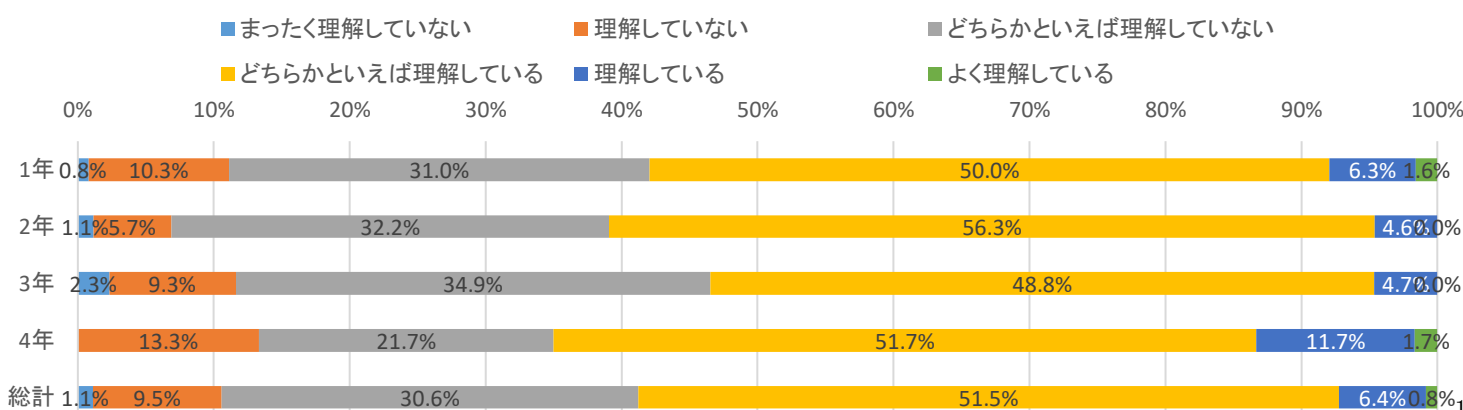
(無効回答 3年:1、4年:1)



5-1. 専門知識・専門的スキルについて(全学共通項目)

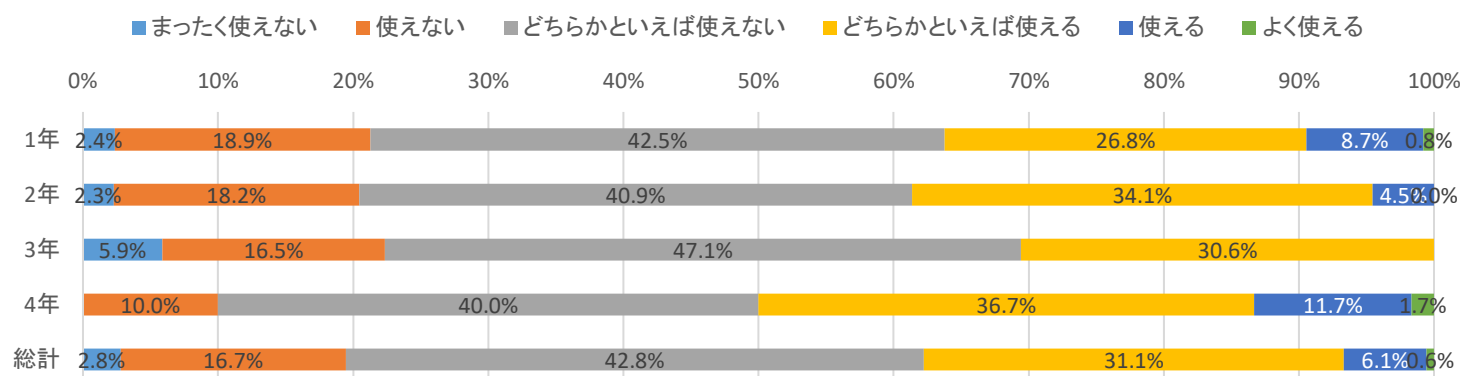
(無効回答 1年:1、2年:1)

(12)専門知識をどの程度、理解していますか

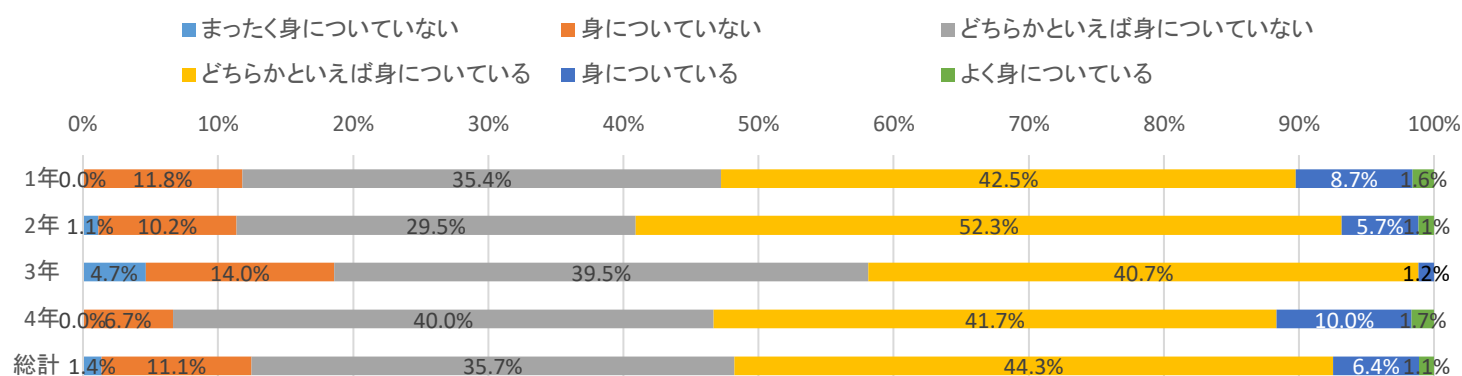


(13)専門知識を実際の場面で使うことがどの程度できますか

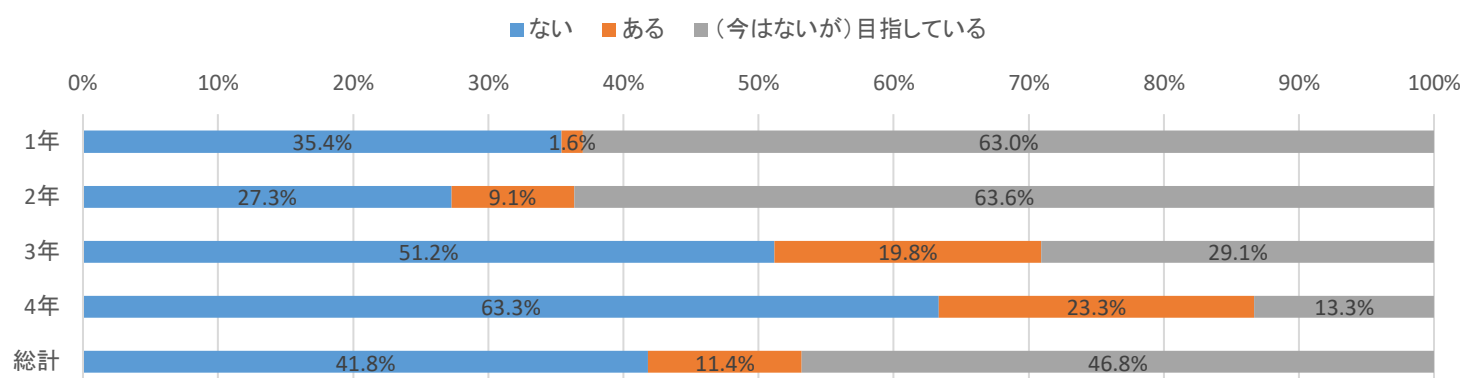
(無効回答 3年:1)



(14)専門的スキルがどの程度身についていますか



(15)大学入学後の専門分野に関連する資格の取得、検定試験での一定の点数取得

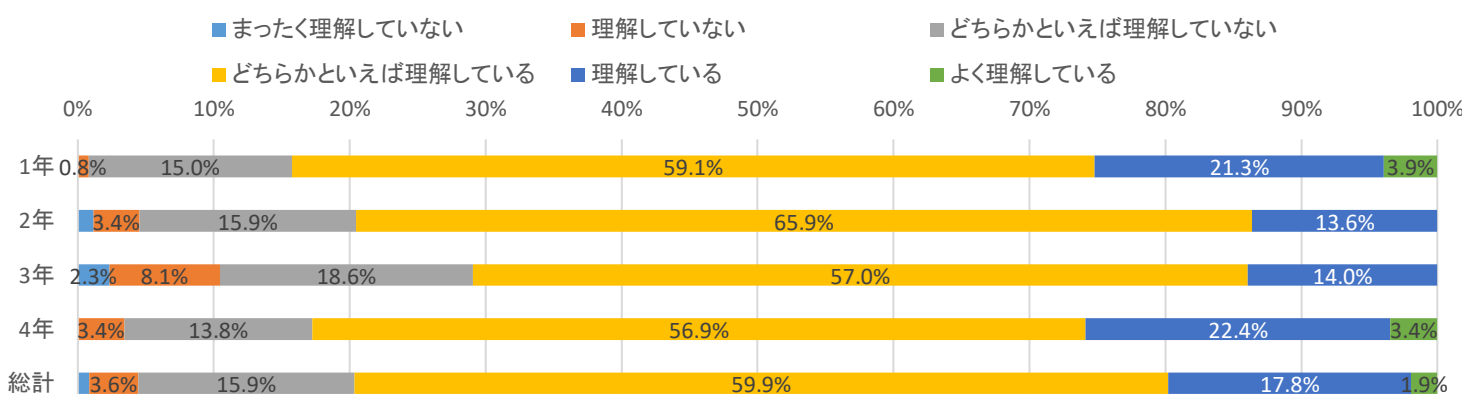


5-2. 専門知識・専門的スキルについて(学科独自項目)

・経営学部の専門科目は、「経営学分野」「会計学分野」「マーケティング分野」「ビジネス科目(ファッション・エンターテインメント・トラベル・ホスピタリティ)」などから構成されています。各分野の学びをどのくらい理解していますか。

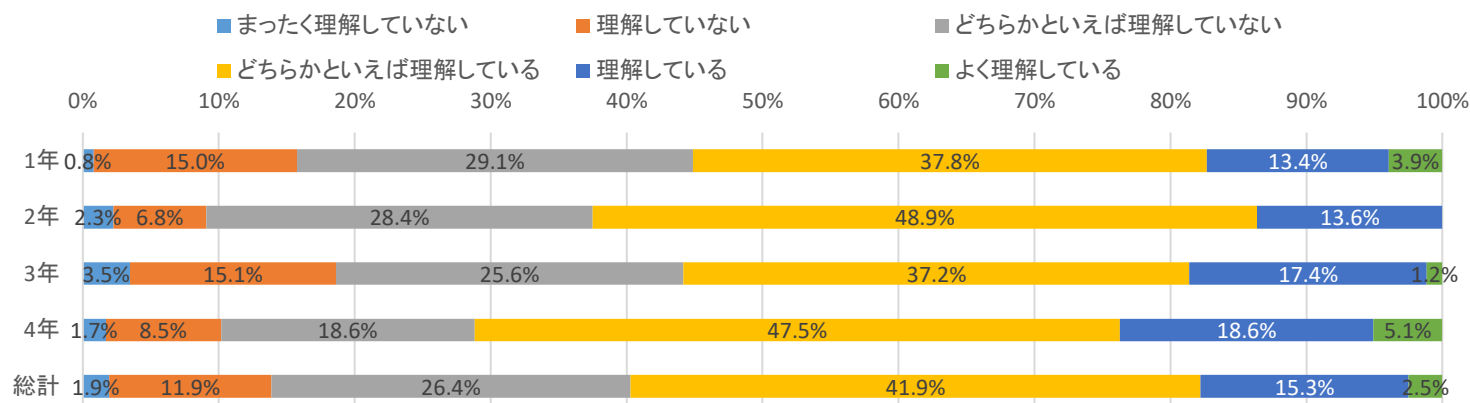
(16)「経営学分野」の学びを、どの程度理解していますか

(無効回答 4年:2)



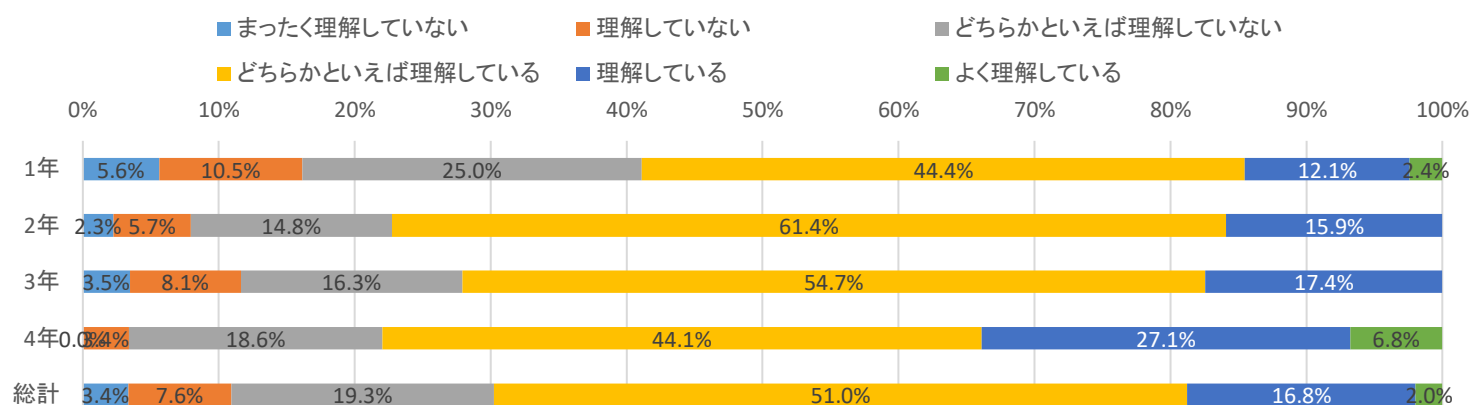
(17)「会計学分野」の学びを、どの程度理解していますか

(無効回答 4年:1)



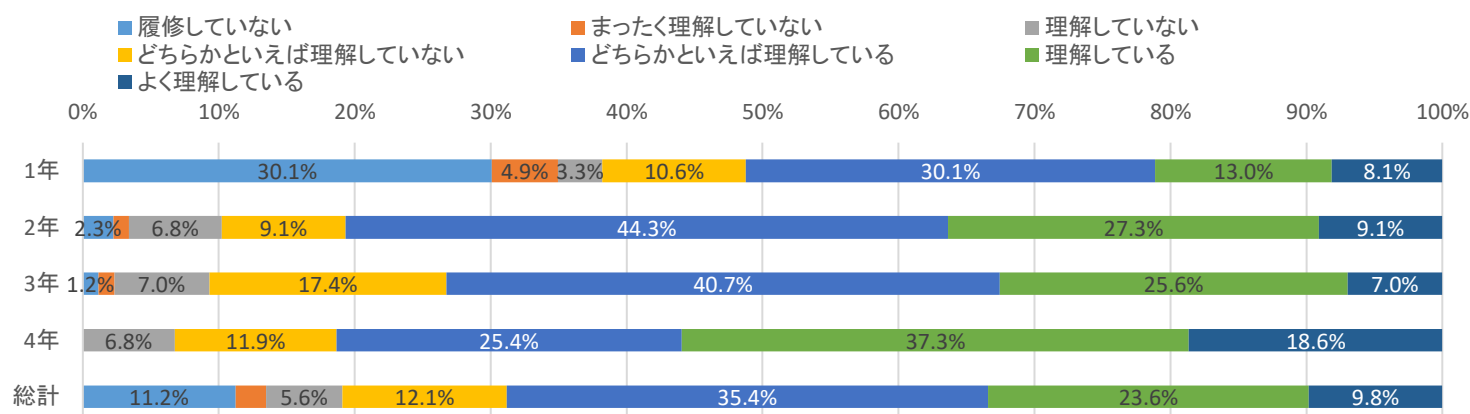
(18)「マーケティング分野」の学びを、どの程度理解していますか

(無効回答 1年:3、4年:1)



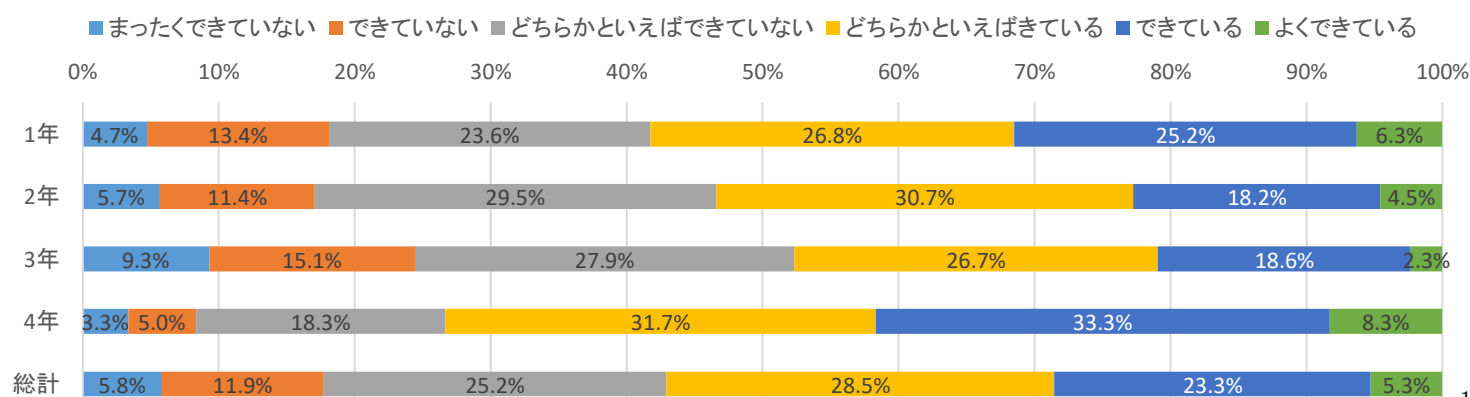
(19)「ビジネス分野(ファンション分野、エンターテインメント分野、観光分野)」の学びを、どの程度理解していますか

(無効回答 1年:4、4年:1)



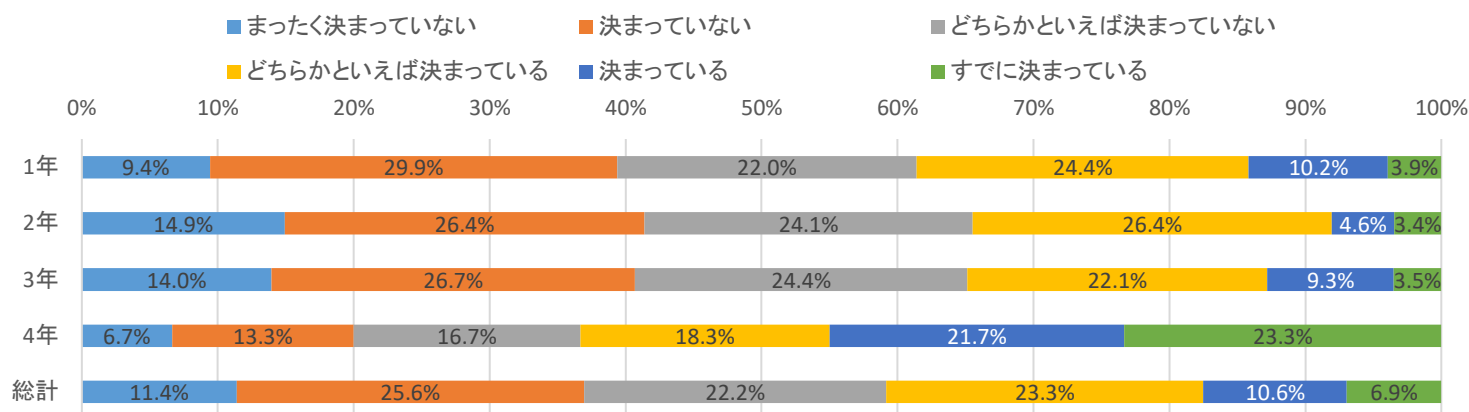
6. 社会で活躍するための力(キャリア教育、社会人基礎力)について

(20)「自分が働く」とはどのようなことかを、どの程度イメージできていますか



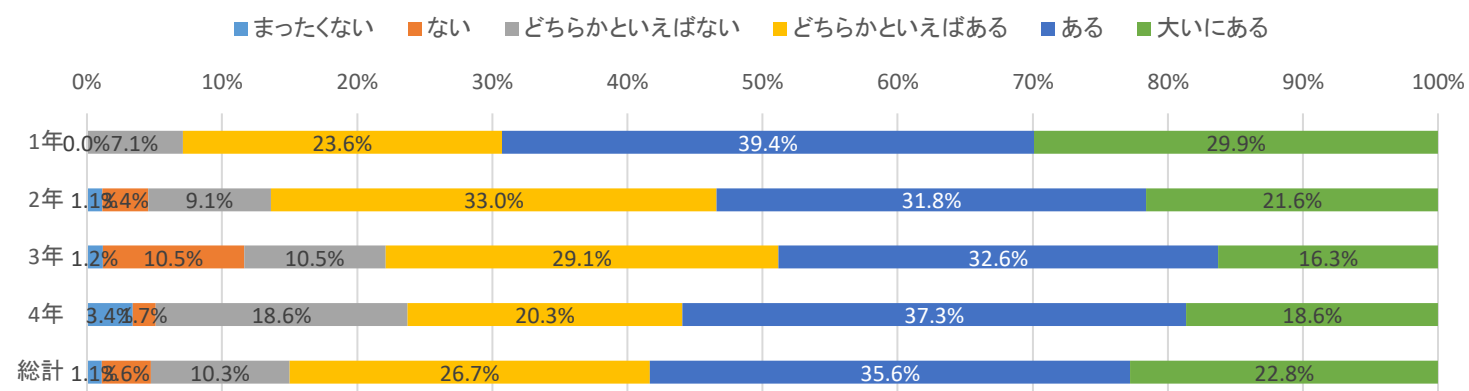
(21)将来の進路(職業、進学など)がどの程度決まっていますか

(無効回答 2年:1)

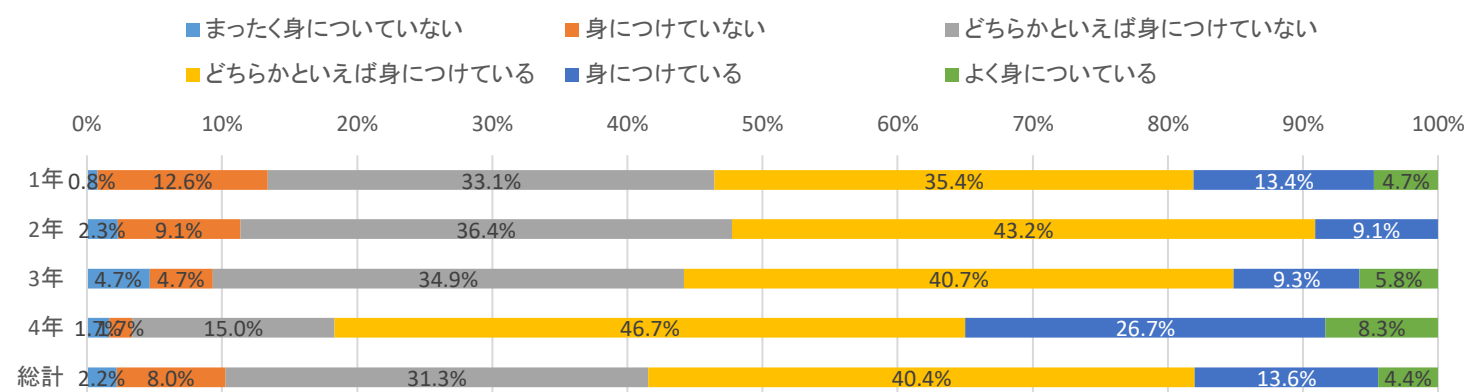


(22) 就職活動を最後まで頑張る自信がどの程度ありますか

(無効回答 4年:1)



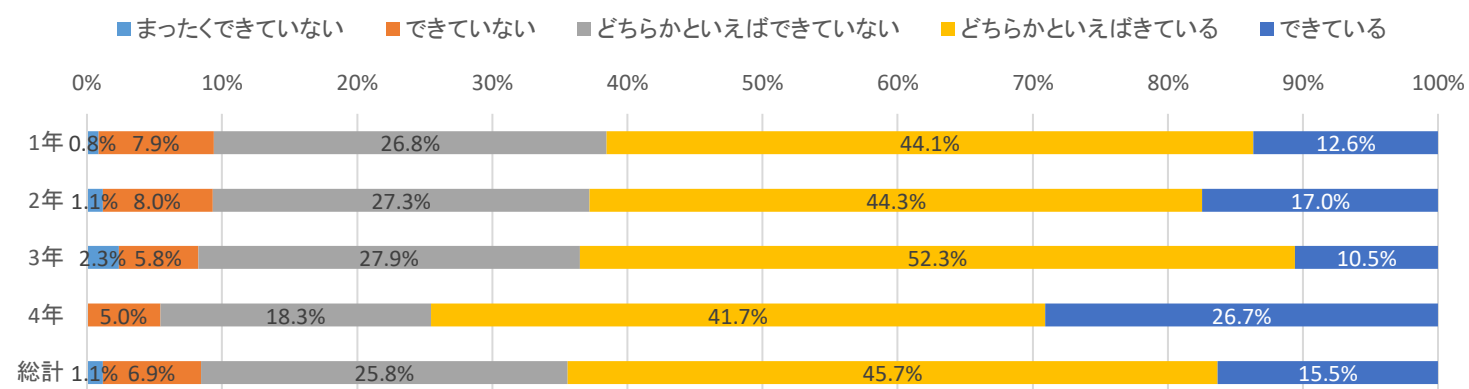
(23)社会に出て仕事や社会的活動を行うために必要な力を、どの程度身につけていますか



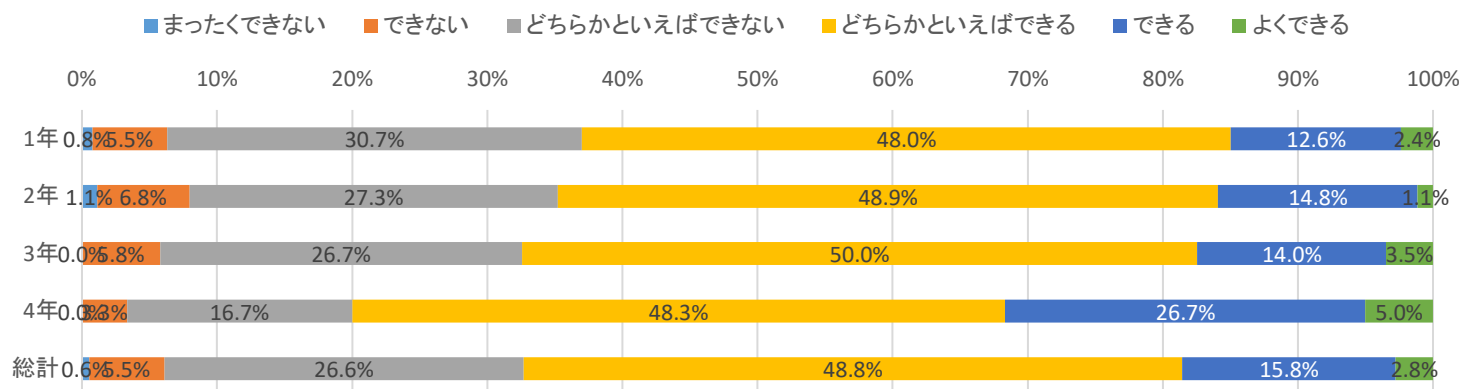
7. 総合力について

・上記の「2」～「6」の学びを通して、以下の力がどの程度、身についていると思うかお答えください。

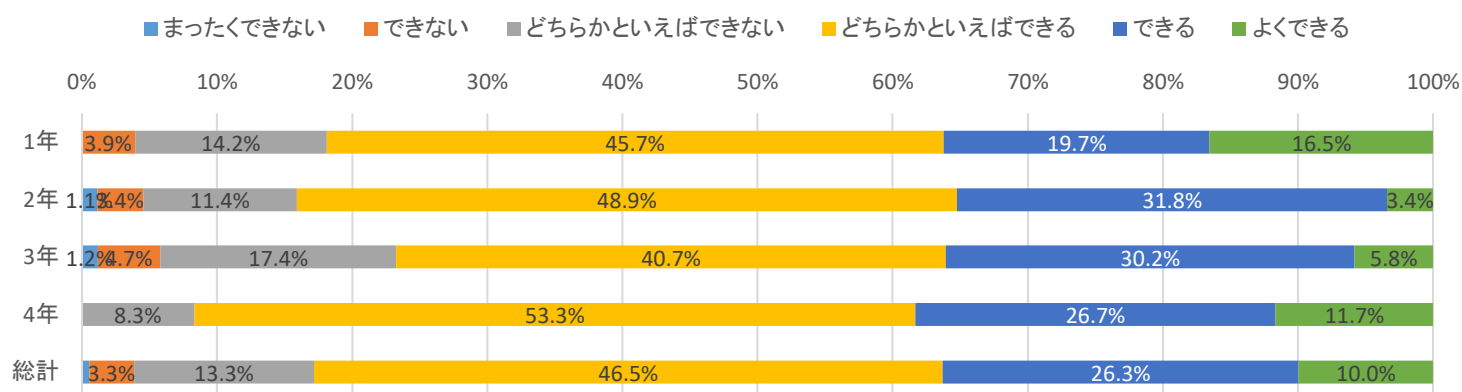
(24)自分の考えを文章や口頭で他者にきちんと説明する



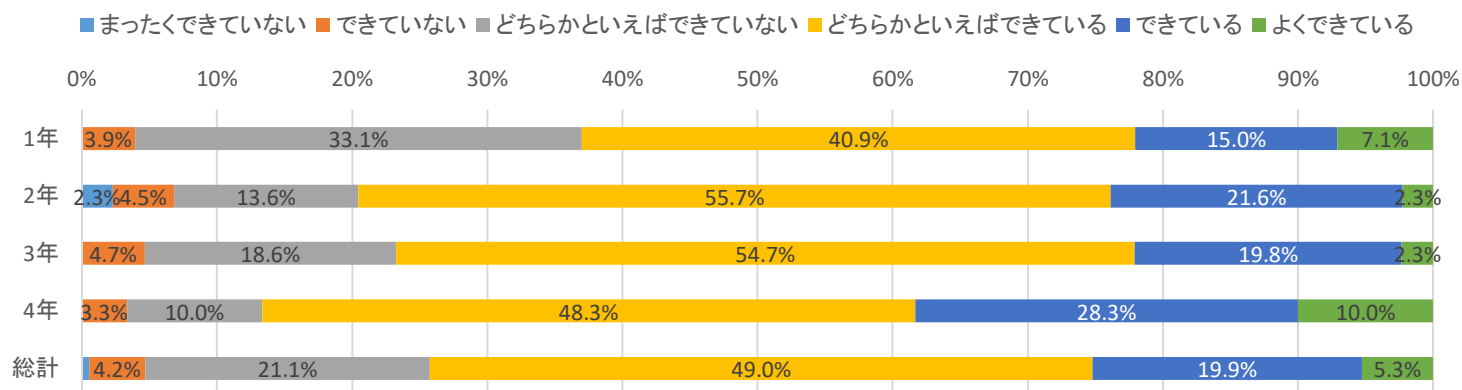
(25)課題を見つけ出しそれに対する最善の解決方法を考える



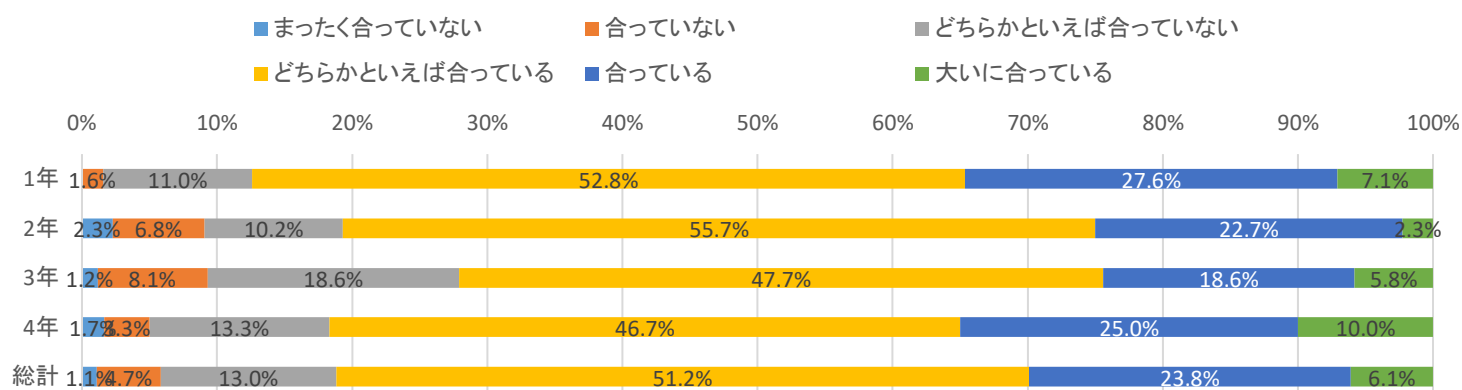
(26)他者とコミュニケーションを図りながら相互理解を深めていく



(27)自分自身の「ものの見方・考え方」をつくり上げる



(28)興味関心や資質・適性からみて学部での学びは自分にどの程度合っているか



(3) 2017年度入学者の集計結果

3) - 1 人文学部

表Ⅱ-2-11 4年間での及第者の割合の増減（学修行動）

		2017年度入学者	2016年度入学者
授業時間内	出席	12.0%	-10.0%
	興味ある授業	16.0%	-30.0%
	★授業の難易度（難しい）	-28.0%	25.0%
	★授業への積極的取組	0.0%	-20.0%
	卒業の自信	8.0%	10.0%
授業時間外	指示された課題（1週間）	0.0%	-10.0%
	授業の予習（1週間）	0.0%	0.0%
	授業の復修（1週間）	-4.0%	-20.0%
授業以外	アルバイト（1週間）	16.0%	30.0%
	部活・サークル（1週間）	-12.0%	-5.0%
	読書（1か月）	8.0%	5.0%

（注）「分析基準」は「Ⅱ-2-(1)-1)-2-B」参照。★印は3年次の値。

表Ⅱ-2-12 4年間での及第者の割合の増減（学修成果）

		2017年度入学者	2016年度入学者
外国語	外国語の選択	-16.0%	0.0%
	★外国語を読む力	-8.0%	5.0%
	★外国語の会話力	0.0%	-5.0%
	★外国語を書く力	0.0%	10.0%
ITリテラシー	★文章作成ソフト	8.0%	0.0%
	★表計算ソフト	12.0%	5.0%
	★プレゼンテーションソフト	8.0%	20.0%
教養・基礎	★幅広い知識と教養	4.0%	15.0%
	★論文執筆スキル	28.0%	35.0%
	★ディスカッション	8.0%	5.0%
専門分野	★専門知識の理解	28.0%	-5.0%
	★専門知識の利用	12.0%	10.0%
	★専門的スキル	4.0%	-5.0%
	専門分野の資格	-4.0%	-20.0%
キャリア	★自分が働くイメージ	8.0%	-40.0%
	★将来の進路	-16.0%	0.0%
総合力	★自分の考えを他者に説明する	8.0%	-15.0%
	★課題の発見と解決	8.0%	10.0%
	★コミュニケーションによる相互理解	4.0%	5.0%
	★ものの見方・考え方	4.0%	5.0%

（注）「分析基準」は「Ⅱ-2-(1)-1)-2-B」参照。★印は3年次の値。

表Ⅱ-2-13 4年次の及第者の割合（学修行動）

		2017年度入学者	2016年度入学者
授業時間内	出席	100.0%	90.0%
	興味ある授業	52.0%	15.0%
	★授業の難易度（難しい）	28.0%	-25.0%
	★授業への積極的取組	56.0%	50.0%
	卒業の自信	88.0%	85.0%
授業時間外	指示された課題（1週間）	40.0%	25.0%
	授業の予習（1週間）	8.0%	10.0%
	授業の復修（1週間）	8.0%	0.0%
授業以外	アルバイト（1週間）	40.0%	55.0%
	部活・サークル（1週間）	0.0%	0.0%
	読書（1か月）	60.0%	60.0%

（注）「分析基準」は「Ⅱ-2-(1)-1)-2-B」参照。★印は3年次の値。

表Ⅱ-2-14 4年次の及第者の割合（学修成果）

		2017年度入学者	2016年度入学者
外国語	外国語の選択	80.0%	100.0%
	★外国語を読む力	32.0%	25.0%
	★外国語の会話力	24.0%	15.0%
	★外国語を書く力	24.0%	25.0%
ITリテラシー	★文章作成ソフト	72.0%	75.0%
	★表計算ソフト	40.0%	45.0%
	★プレゼンテーションソフト	48.0%	65.0%
教養・基礎	★幅広い知識と教養	12.0%	25.0%
	★論文執筆スキル	44.0%	45.0%
	★ディスカッション	24.0%	40.0%
専門分野	★専門知識の理解	32.0%	20.0%
	★専門知識の利用	16.0%	10.0%
	★専門的スキル	4.0%	5.0%
	専門分野の資格	40.0%	5.0%
キャリア	★自分が働くイメージ	36.0%	25.0%
	★将来の進路	24.0%	40.0%
総合力	★自分の考えを他者に説明する	32.0%	20.0%
	★課題の発見と解決	48.0%	40.0%
	★コミュニケーションによる相互理解	52.0%	50.0%
	★ものの見方・考え方	32.0%	35.0%

（注）「分析基準」は「Ⅱ-2-(1)-1)-2-B」参照。★印は3年次の値。

図 II -2-6 4年間でその及第者の割合の増減（学修行動）

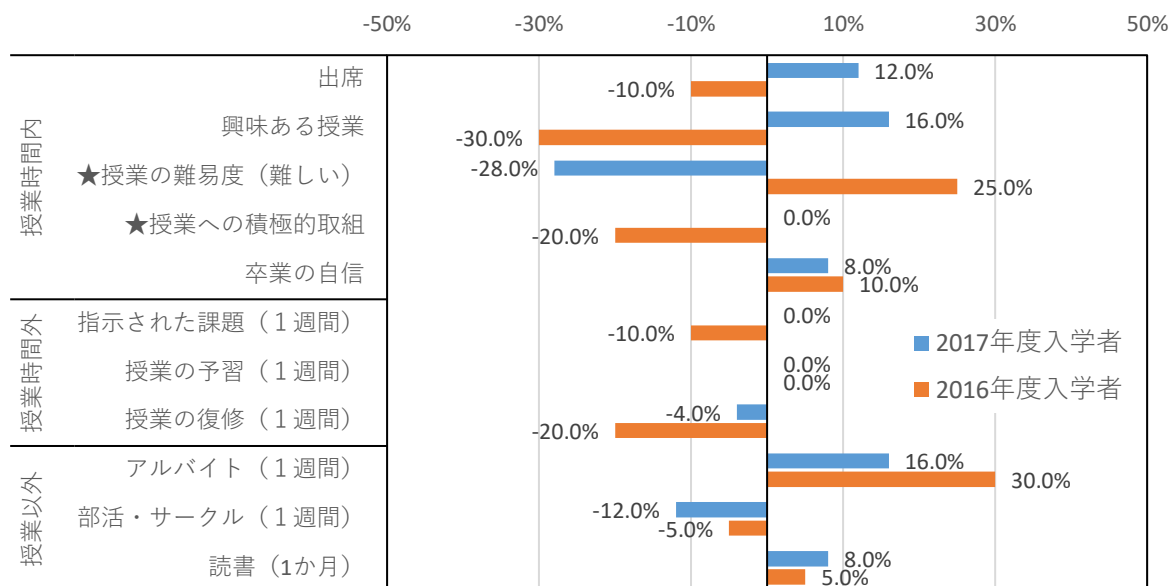


図 II -2-7 4年間でその及第者の割合の増減（学修成果）

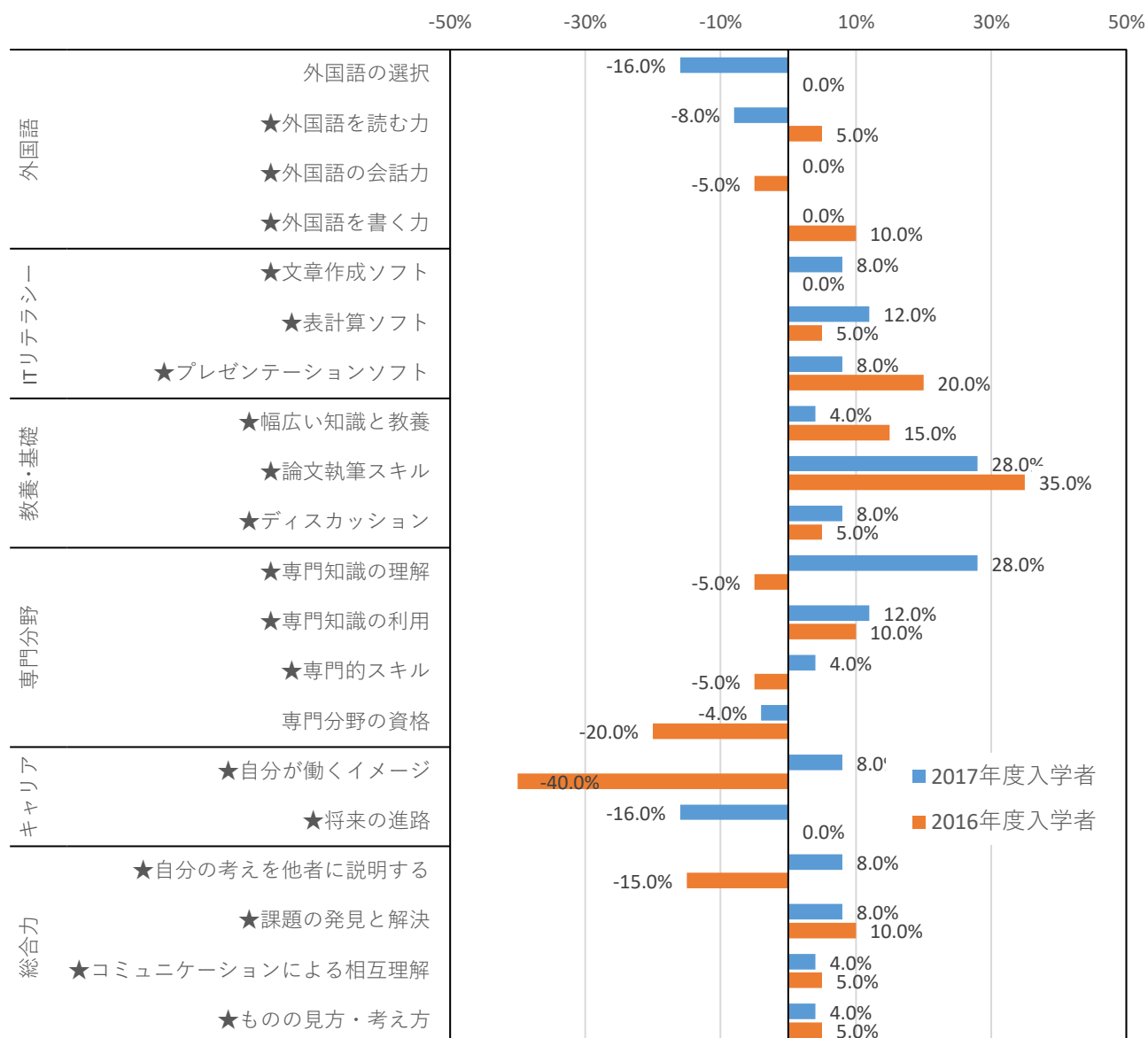


図 II -2-8 4年次の及第者の割合（学修行動）

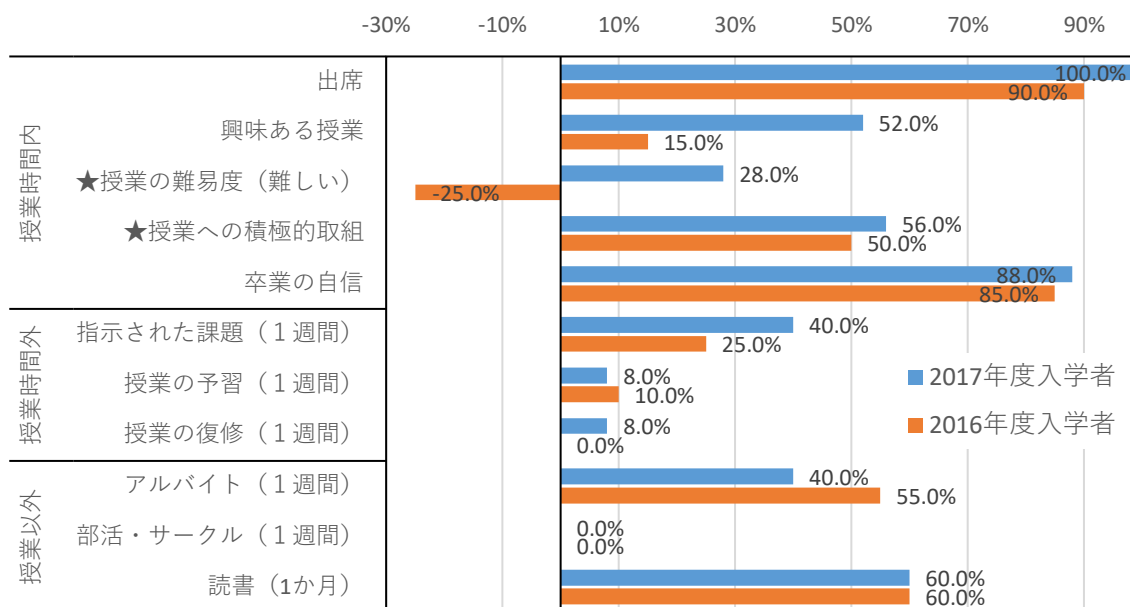
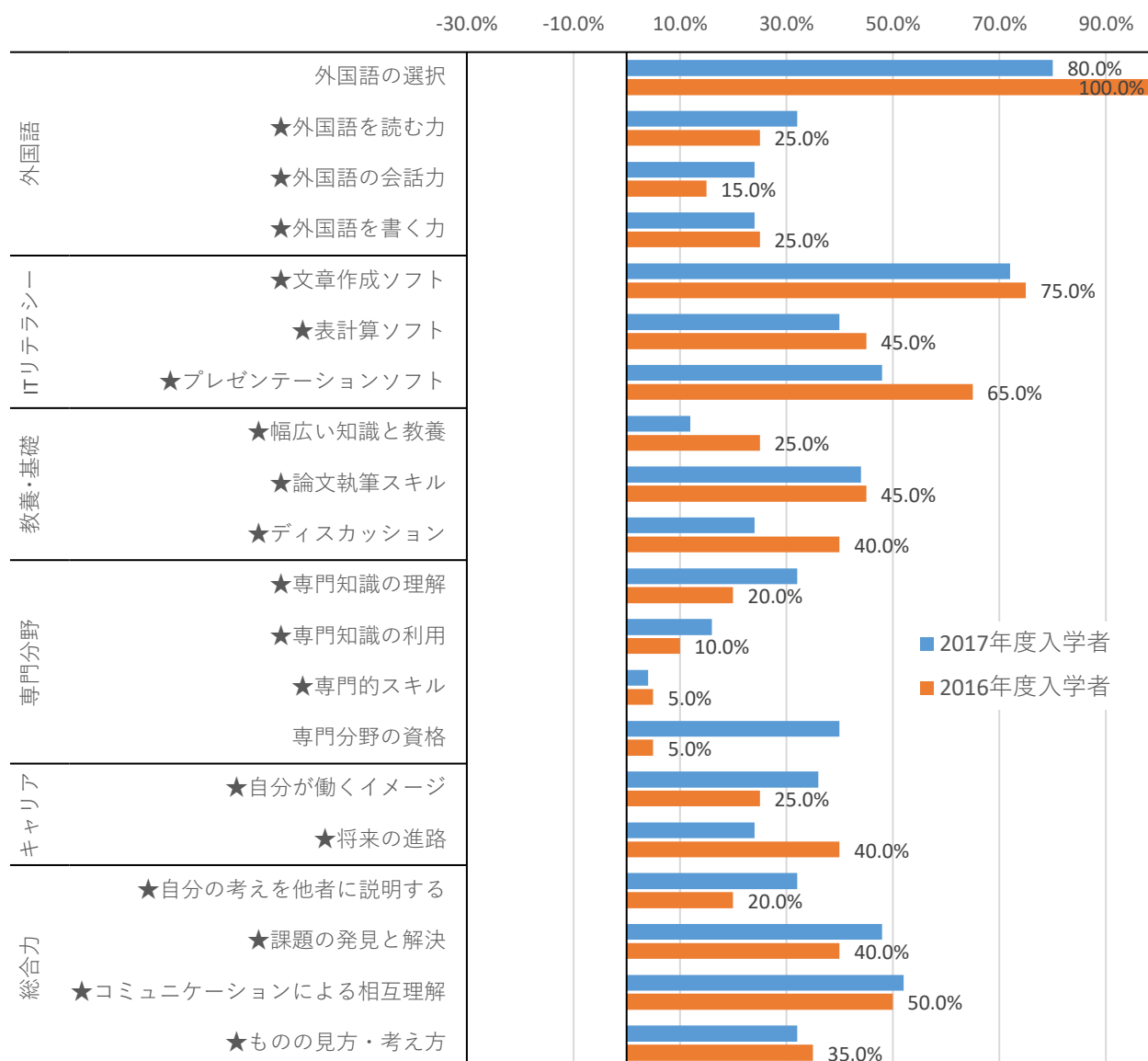


図 II -2-9 4年次の及第者の割合（学修成果）



3) - 2 応用心理学部

表Ⅱ-2-15 4年間での及第者の割合の増減（学修行動）

		2017年度入学者	2016年度入学者
授業時間内	出席	0.0%	-7.3%
	興味ある授業	32.5%	11.0%
	★授業の難易度（難しい）	-5.5%	-24.4%
	★授業への積極的取組	0.0%	3.7%
	卒業の自信	9.1%	14.6%
授業時間外	指示された課題（1週間）	9.1%	4.9%
	授業の予習（1週間）	3.9%	3.7%
	授業の復修（1週間）	0.0%	6.1%
授業以外	アルバイト（1週間）	25.8%	19.5%
	部活・サークル（1週間）	-20.8%	-14.6%
	読書（1か月）	-9.1%	-14.6%

（注）「分析基準」は「Ⅱ-2-(1)-1)-2-B」参照。★印は3年次の値。

表Ⅱ-2-16 4年間での及第者の割合の増減（学修成果）

		2017年度入学者	2016年度入学者
外国語	外国語の選択	-15.6%	-2.4%
	★外国語を読む力	-5.2%	0.0%
	★外国語の会話力	2.6%	-1.2%
	★外国語を書く力	2.6%	-6.1%
ITリテラシー	★文章作成ソフト	16.9%	11.0%
	★表計算ソフト	16.9%	14.6%
	★プレゼンテーションソフト	15.6%	15.9%
教養・基礎	★幅広い知識と教養	10.4%	3.7%
	★論文執筆スキル	6.5%	9.8%
	★ディスカッション	7.8%	12.2%
専門分野	★専門知識の理解	22.1%	8.5%
	★専門知識の利用	10.4%	12.2%
	★専門的スキル	11.7%	9.8%
	専門分野の資格	13.0%	11.0%
キャリア	★自分が働くイメージ	7.8%	-15.9%
	★将来の進路	-2.6%	7.3%
総合力	★自分の考えを他者に説明する	18.2%	26.8%
	★課題の発見と解決	13.0%	25.6%
	★コミュニケーションによる相互理解	23.4%	14.6%
	★ものの見方・考え方	7.8%	19.5%

（注）「分析基準」は「Ⅱ-2-(1)-1)-2-B」参照。★印は3年次の値。

表Ⅱ-2-17 4年間での及第者の割合の増減（学修行動）

		2017年度入学者	2016年度入学者
授業時間内	出席	93.5%	90.2%
	興味ある授業	63.6%	51.2%
	★授業の難易度（難しい）	19.5%	9.8%
	★授業への積極的取組	62.3%	63.4%
	卒業の自信	92.2%	93.9%
授業時間外	指示された課題（1週間）	26.0%	22.0%
	授業の予習（1週間）	3.9%	3.7%
	授業の復修（1週間）	3.9%	6.1%
授業以外	アルバイト（1週間）	40.3%	41.5%
	部活・サークル（1週間）	7.8%	13.4%
	読書（1か月）	50.6%	39.0%

（注）「分析基準」は「Ⅱ-2-(1)-1)-2-B」参照。★印は3年次の値。

表Ⅱ-2-18 4年間での及第者の割合の増減（学修成果）

		2017年度入学者	2016年度入学者
外国語	外国語の選択	81.8%	75.6%
	★外国語を読む力	11.7%	12.2%
	★外国語の会話力	13.0%	12.2%
	★外国語を書く力	7.8%	7.3%
ITリテラシー	★文章作成ソフト	67.5%	58.5%
	★表計算ソフト	44.2%	31.7%
	★プレゼンテーションソフト	59.7%	53.7%
教養・基礎	★幅広い知識と教養	16.9%	12.2%
	★論文執筆スキル	20.8%	20.7%
	★ディスカッション	33.8%	37.8%
専門分野	★専門知識の理解	36.4%	18.3%
	★専門知識の利用	19.5%	15.9%
	★専門的スキル	18.2%	17.1%
	専門分野の資格	44.2%	41.5%
キャリア	★自分が働くイメージ	33.8%	34.1%
	★将来の進路	24.7%	32.9%
総合力	★自分の考えを他者に説明する	41.6%	45.1%
	★課題の発見と解決	46.8%	43.9%
	★コミュニケーションによる相互理解	57.1%	54.9%
	★ものの見方・考え方	40.3%	40.2%

（注）「分析基準」は「Ⅱ-2-(1)-1)-2-B」参照。★印は3年次の値。

図 II-2-10 4年間ででの及第者の割合の増減（学修行動）

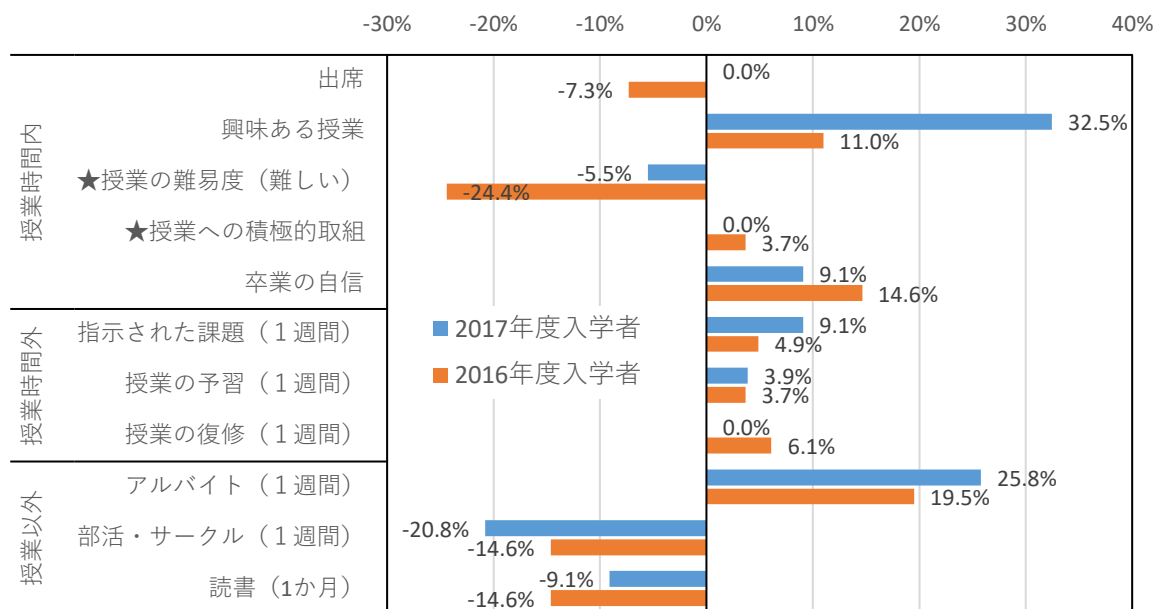


図 II-2-11 4年間ででの及第者の割合の増減（学修成果）

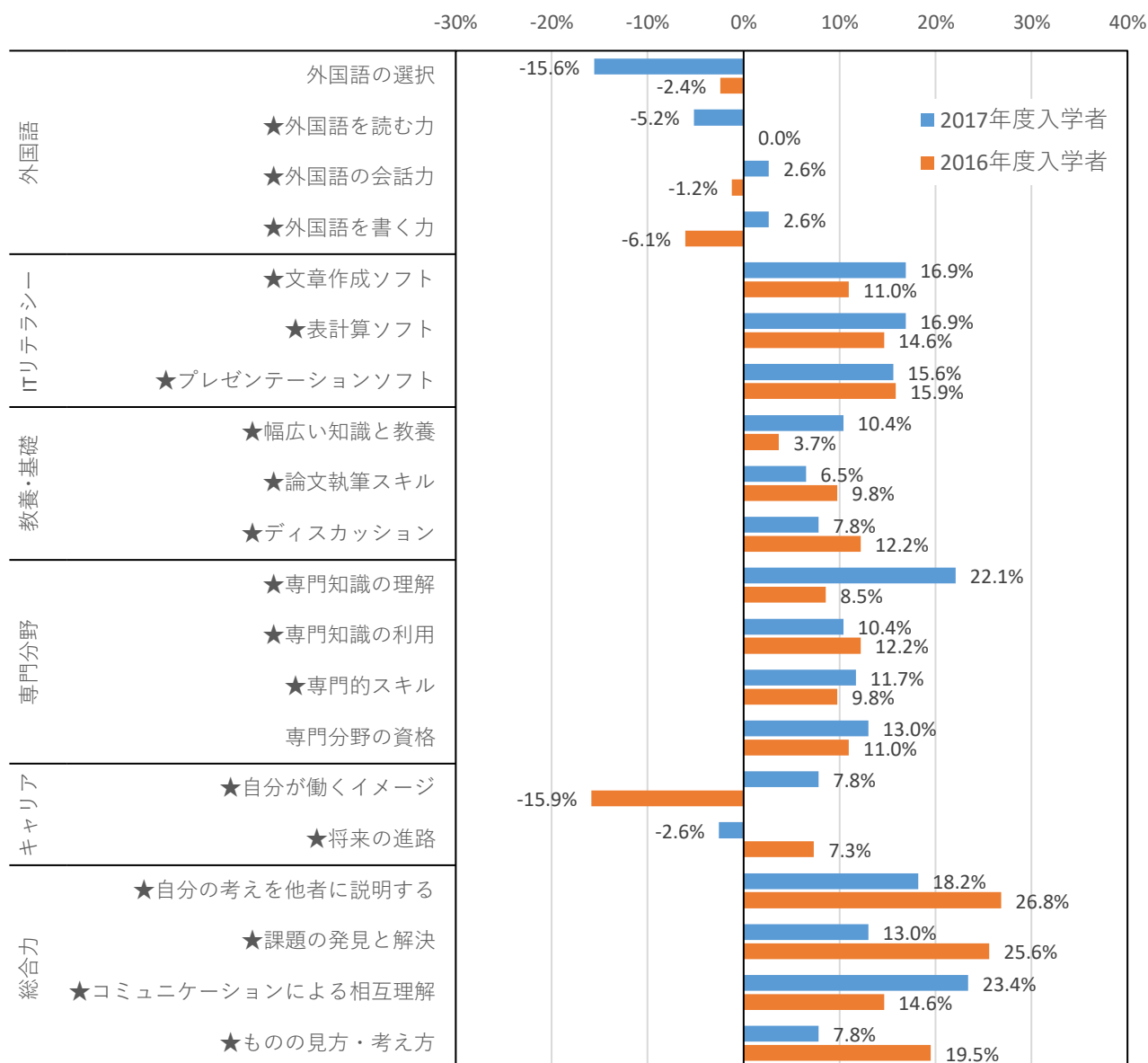


図 II-2-12 4年次の及第者の割合（学修行動）

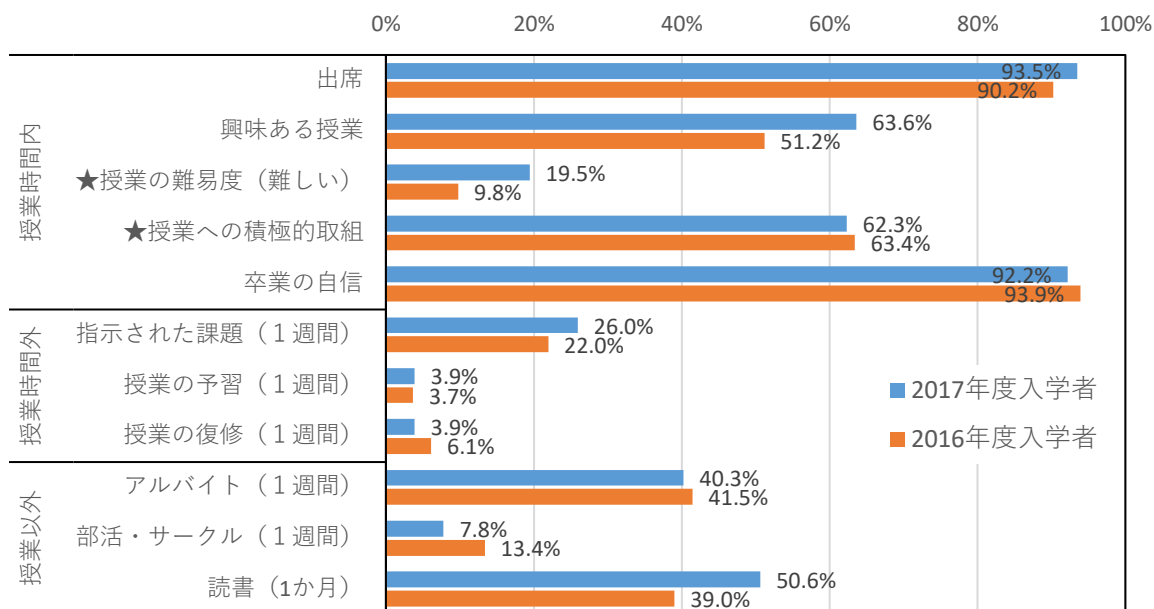
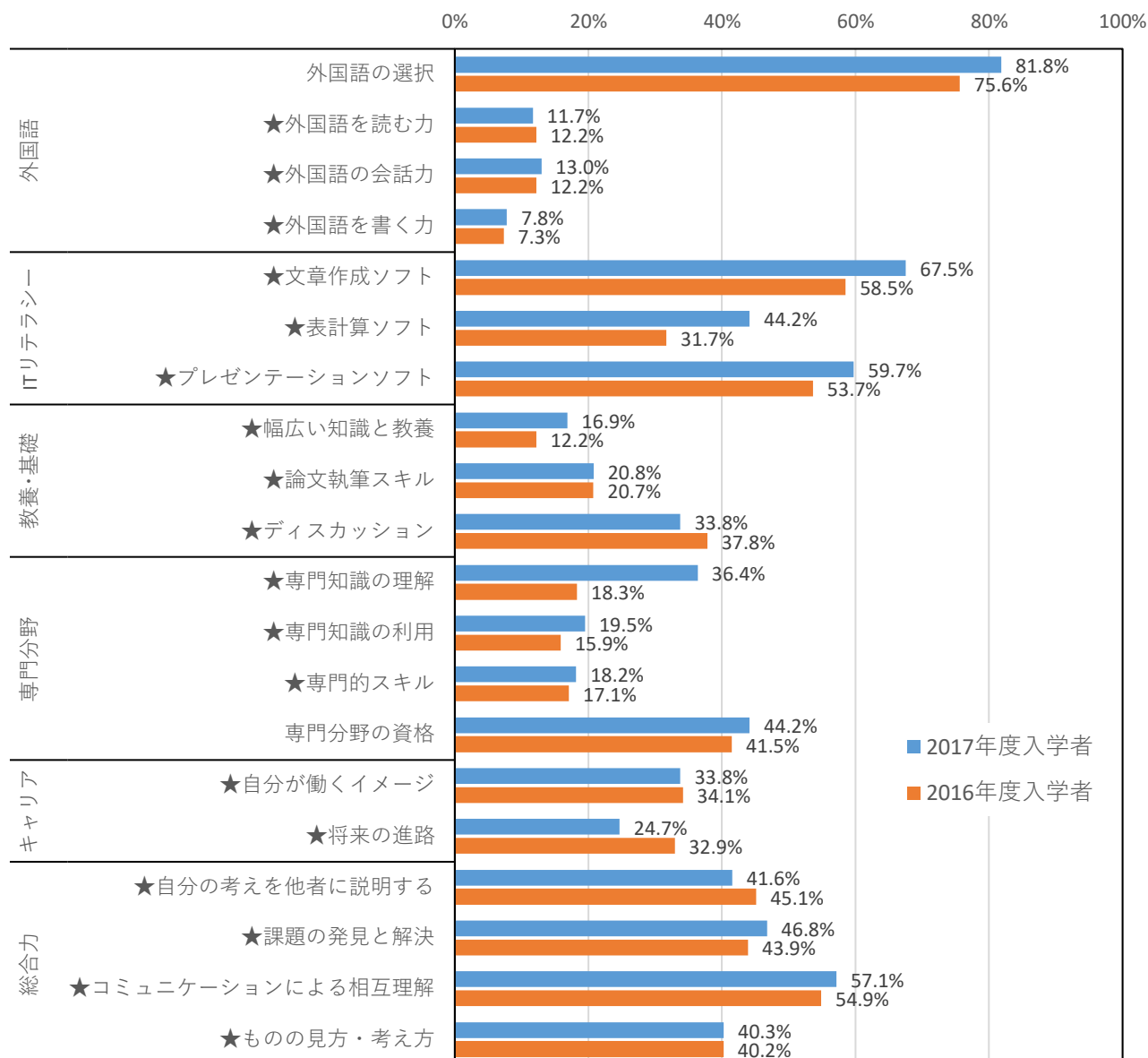


図 II-2-13 4年次の及第者の割合（学修成果）



3) - 3 子ども学部

表Ⅱ-2-19 4年間での及第者の割合の増減（学修行動）

		2017年度入学者	2016年度入学者
授業時間内	出席	-1.8%	-1.1%
	興味ある授業	26.6%	0.0%
	★授業の難易度（難しい）	-16.4%	-23.1%
	★授業への積極的取組	-8.3%	-5.5%
	卒業の自信	11.9%	9.9%
授業時間外	指示された課題（1週間）	-10.1%	-3.3%
	授業の予習（1週間）	-0.9%	0.0%
	授業の復修（1週間）	-6.5%	-12.1%
授業以外	アルバイト（1週間）	12.8%	19.8%
	部活・サークル（1週間）	-6.4%	-2.2%
	読書（1か月）	11.9%	-12.1%

（注）「分析基準」は「Ⅱ-2-(1)-1)-2-B」参照。★印は3年次の値。

表Ⅱ-2-20 4年間での及第者の割合の増減（学修成果）

		2017年度入学者	2016年度入学者
外国語	外国語の選択	-11.9%	-6.6%
	★外国語を読む力	-7.3%	-15.4%
	★外国語の会話力	-2.6%	-1.1%
	★外国語を書く力	-8.3%	-2.2%
ITリテラシー	★文章作成ソフト	19.3%	23.1%
	★表計算ソフト	-4.6%	-9.9%
	★プレゼンテーションソフト	20.2%	35.2%
教養・基礎	★幅広い知識と教養	11.0%	13.2%
	★論文執筆スキル	22.0%	23.1%
	★ディスカッション	28.4%	13.2%
専門分野	★専門知識の理解	30.3%	25.3%
	★専門知識の利用	26.6%	19.8%
	★専門的スキル	33.0%	24.2%
	専門分野の資格	0.9%	-6.6%
キャリア	★自分が働くイメージ	-7.3%	-20.9%
	★将来の進路	-11.9%	-24.2%
総合力	★自分の考えを他者に説明する	21.1%	17.6%
	★課題の発見と解決	-2.8%	12.1%
	★コミュニケーションによる相互理解	13.8%	22.0%
	★ものの見方・考え方	14.7%	13.2%

（注）「分析基準」は「Ⅱ-2-(1)-1)-2-B」参照。★印は3年次の値。

表Ⅱ-2-21 4年間での及第者の割合の増減（学修行動）

		2017年度入学者	2016年度入学者
授業時間内	出席	98.2%	97.8%
	興味ある授業	67.9%	48.4%
	★授業の難易度（難しい）	12.0%	14.3%
	★授業への積極的取組	66.1%	74.7%
	卒業の自信	97.2%	98.9%
授業時間外	指示された課題（1週間）	18.3%	18.7%
	授業の予習（1週間）	0.0%	2.2%
	授業の復修（1週間）	0.0%	1.1%
授業以外	アルバイト（1週間）	46.8%	52.7%
	部活・サークル（1週間）	0.0%	0.0%
	読書（1か月）	49.5%	34.1%

（注）「分析基準」は「Ⅱ-2-(1)-1)-2-B」参照。★印は3年次の値。

表Ⅱ-2-22 4年間での及第者の割合の増減（学修成果）

		2017年度入学者	2016年度入学者
外国語	外国語の選択	88.1%	93.4%
	★外国語を読む力	19.3%	15.4%
	★外国語の会話力	13.0%	9.9%
	★外国語を書く力	10.1%	8.8%
ITリテラシー	★文章作成ソフト	81.7%	89.0%
	★表計算ソフト	40.4%	34.1%
	★プレゼンテーションソフト	71.6%	84.6%
教養・基礎	★幅広い知識と教養	15.6%	23.1%
	★論文執筆スキル	35.8%	42.9%
	★ディスカッション	45.9%	42.9%
専門分野	★専門知識の理解	52.3%	47.3%
	★専門知識の利用	37.6%	34.1%
	★専門的スキル	39.4%	33.0%
	専門分野の資格	20.4%	16.5%
キャリア	★自分が働くイメージ	25.7%	30.8%
	★将来の進路	47.7%	50.5%
総合力	★自分の考えを他者に説明する	51.4%	52.7%
	★課題の発見と解決	43.1%	60.4%
	★コミュニケーションによる相互理解	59.6%	64.8%
	★ものの見方・考え方	28.1%	44.0%

（注）「分析基準」は「Ⅱ-2-(1)-1)-2-B」参照。★印は3年次の値。

図 II -2-14 4年間でとの及第者の割合の増減（学修行動）

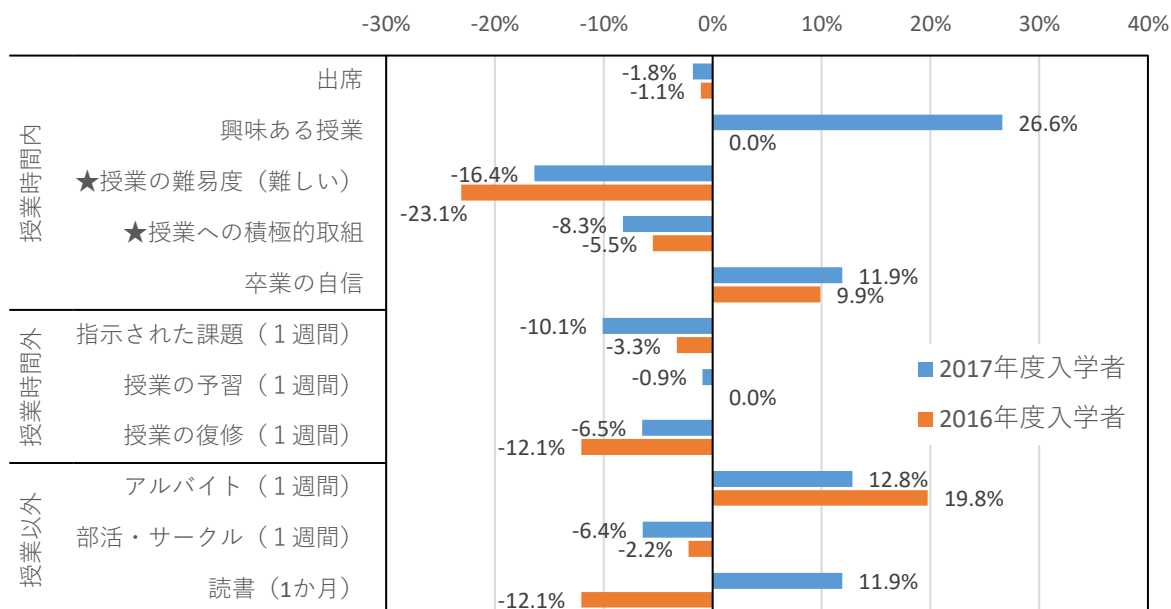


図 II -2-15 4年間でとの及第者の割合の増減（学修成果）

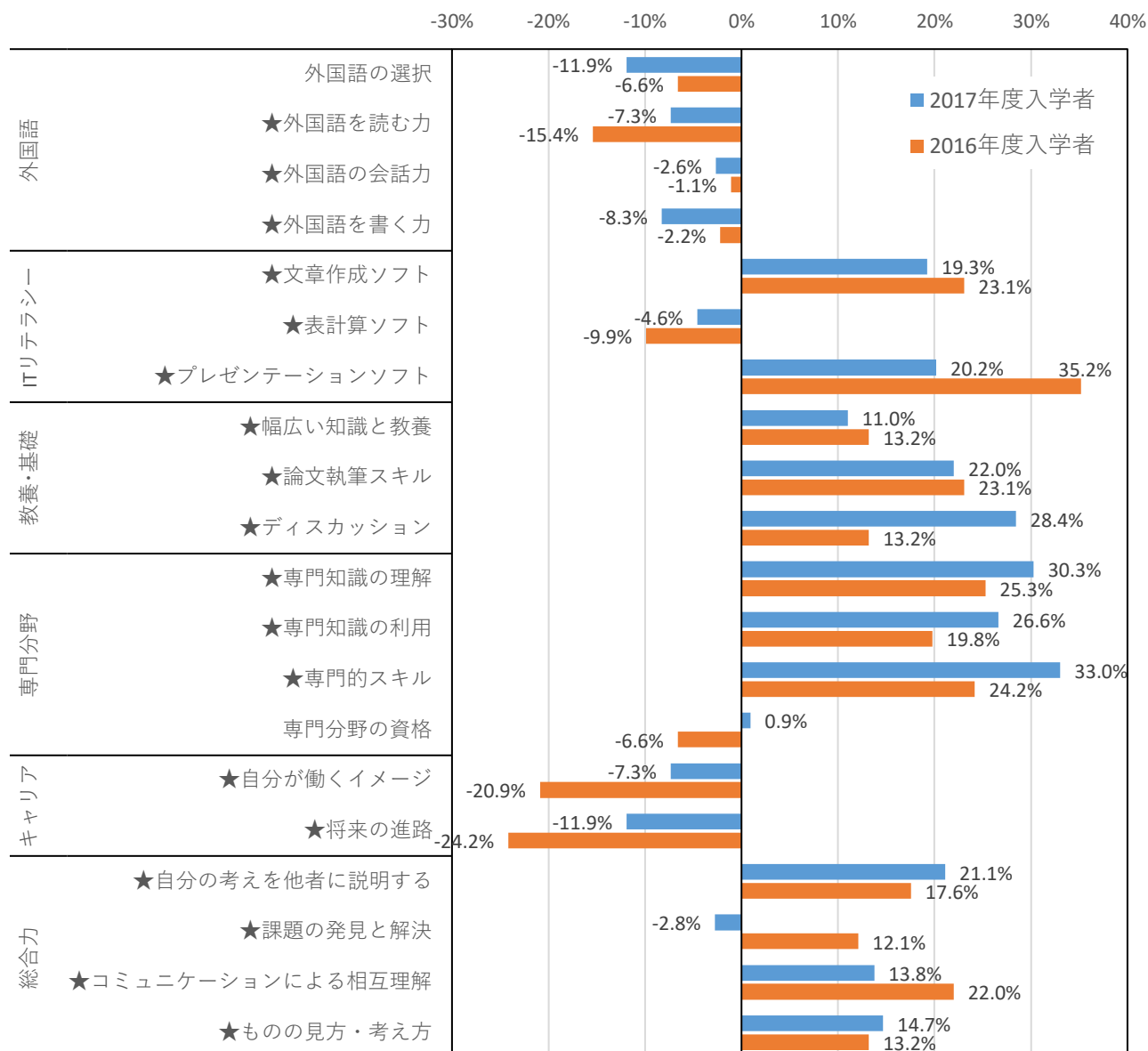


図 II-2-16 4年次の及第者の割合（学修行動）

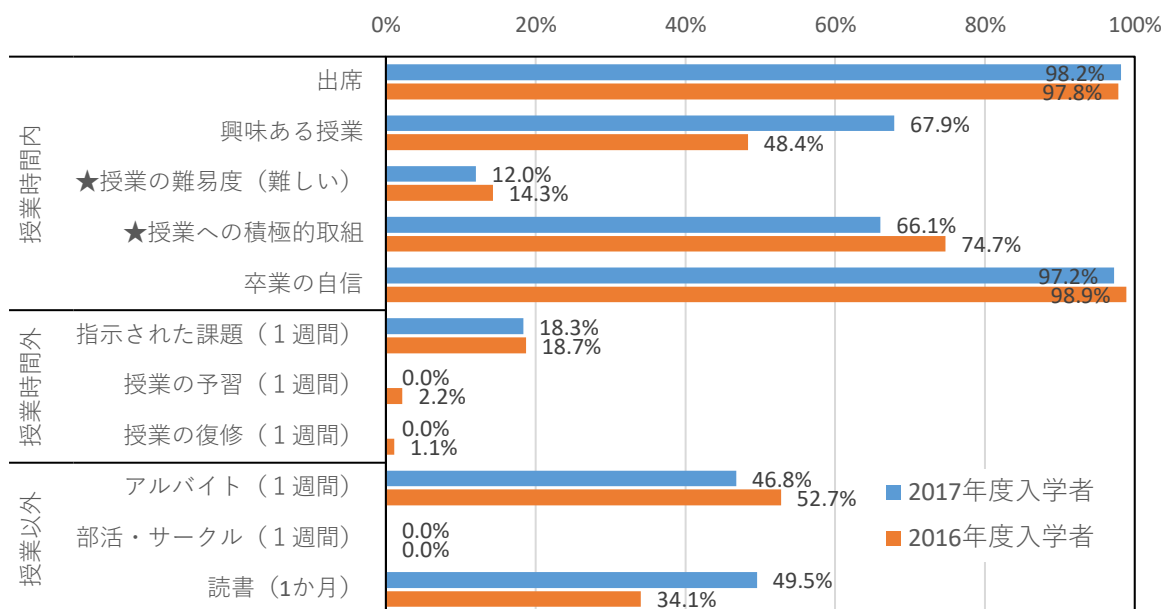
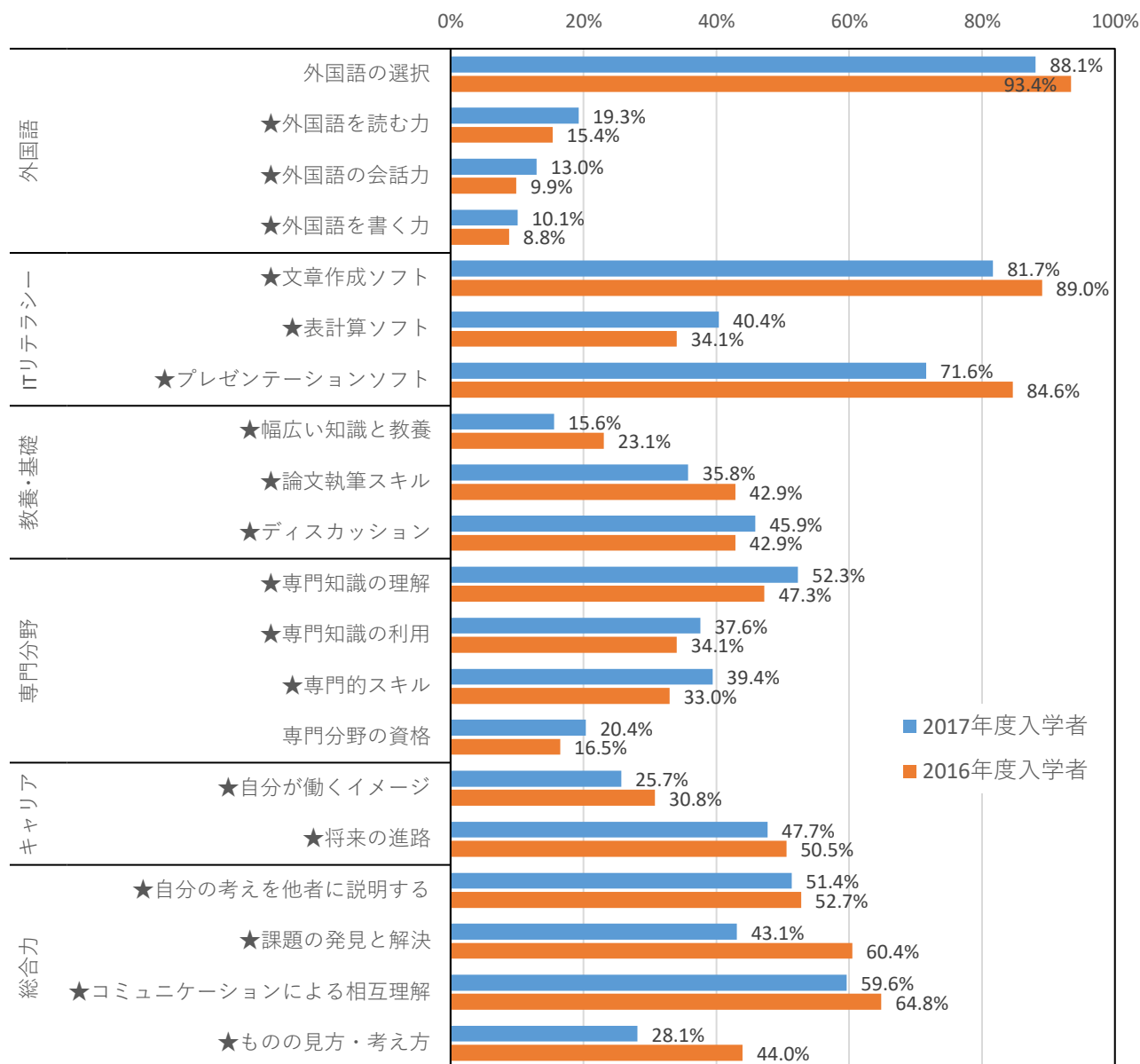


図 II-2-17 4年次の及第者の割合（学修成果）



3) - 4 経営学部

表Ⅱ-2-23 4年間での及第者の割合の増減（学修行動）

		2017年度入学者	2016年度入学者
授業時間内	出席	-5.4%	-2.9%
	興味ある授業	24.3%	-5.9%
	★授業の難易度（難しい）	-7.3%	-17.6%
	★授業への積極的取組	-8.1%	-8.8%
	卒業の自信	5.4%	17.6%
授業時間外	指示された課題（1週間）	5.4%	17.6%
	授業の予習（1週間）	0.0%	11.8%
	授業の復修（1週間）	-0.1%	8.8%
授業以外	アルバイト（1週間）	18.9%	17.6%
	部活・サークル（1週間）	-8.1%	-2.9%
	読書（1か月）	8.1%	14.7%

（注）「分析基準」は「Ⅱ-2-(1)-1)-2-B」参照。★印は3年次の値。

表Ⅱ-2-24 4年間での及第者の割合の増減（学修成果）

		2017年度入学者	2016年度入学者
外国語	外国語の選択	2.7%	2.9%
	★外国語を読む力	2.7%	2.9%
	★外国語の会話力	8.1%	0.0%
	★外国語を書く力	2.7%	0.0%
ITリテラシー	★文章作成ソフト	2.7%	11.8%
	★表計算ソフト	21.6%	8.8%
	★プレゼンテーションソフト	31.5%	8.8%
教養・基礎	★幅広い知識と教養	19.5%	11.8%
	★論文執筆スキル	2.7%	-2.9%
	★ディスカッション	18.5%	2.9%
専門分野	★専門知識の理解	-7.7%	5.9%
	★専門知識の利用	-2.3%	2.9%
	★専門的スキル	-2.4%	2.9%
	専門分野の資格	8.1%	-14.7%
キャリア	★自分が働くイメージ	-3.7%	-2.9%
	★将来の進路	7.6%	-5.9%
総合力	★自分の考えを他者に説明する	7.6%	2.9%
	★課題の発見と解決	-3.7%	17.6%
	★コミュニケーションによる相互理解	15.4%	-8.8%
	★ものの見方・考え方	4.7%	5.9%

（注）「分析基準」は「Ⅱ-2-(1)-1)-2-B」参照。★印は3年次の値。

表Ⅱ-2-25 4年間での及第者の割合の増減（学修行動）

		2017年度入学者	2016年度入学者
授業時間内	出席	91.9%	85.3%
	興味ある授業	51.4%	32.4%
	★授業の難易度（難しい）	30.6%	14.7%
	★授業への積極的取組	59.5%	50.0%
	卒業の自信	86.5%	91.2%
授業時間外	指示された課題（1週間）	5.4%	26.5%
	授業の予習（1週間）	0.0%	11.8%
	授業の復修（1週間）	2.7%	11.8%
授業以外	アルバイト（1週間）	54.1%	47.1%
	部活・サークル（1週間）	0.0%	2.9%
	読書（1か月）	43.2%	52.9%

（注）「分析基準」は「Ⅱ-2-(1)-1)-2-B」参照。★印は3年次の値。

表Ⅱ-2-26 4年間での及第者の割合の増減（学修成果）

		2017年度入学者	2016年度入学者
外国語	外国語の選択	70.3%	58.8%
	★外国語を読む力	21.6%	20.6%
	★外国語の会話力	10.8%	26.5%
	★外国語を書く力	10.8%	17.6%
ITリテラシー	★文章作成ソフト	78.4%	67.6%
	★表計算ソフト	67.6%	50.0%
	★プレゼンテーションソフト	66.7%	55.9%
教養・基礎	★幅広い知識と教養	22.2%	17.6%
	★論文執筆スキル	13.5%	8.8%
	★ディスカッション	32.4%	29.4%
専門分野	★専門知識の理解	16.7%	17.6%
	★専門知識の利用	16.7%	14.7%
	★専門的スキル	11.1%	11.8%
	専門分野の資格	40.5%	35.3%
キャリア	★自分が働くイメージ	32.4%	32.4%
	★将来の進路	27.0%	23.5%
総合力	★自分の考えを他者に説明する	27.0%	32.4%
	★課題の発見と解決	32.4%	44.1%
	★コミュニケーションによる相互理解	45.9%	38.2%
	★ものの見方・考え方	29.7%	32.4%

（注）「分析基準」は「Ⅱ-2-(1)-1)-2-B」参照。★印は3年次の値。

図 II-2-18 4年間ででの及第者の割合の増減（学修行動）

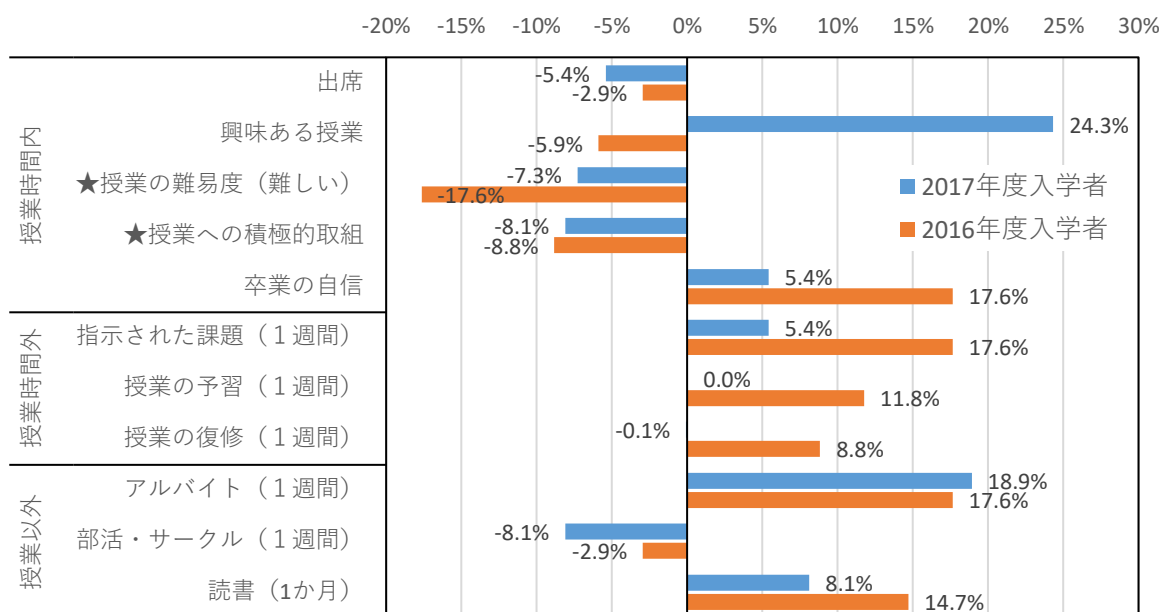


図 II-2-19 4年間ででの及第者の割合の増減（学修成果）

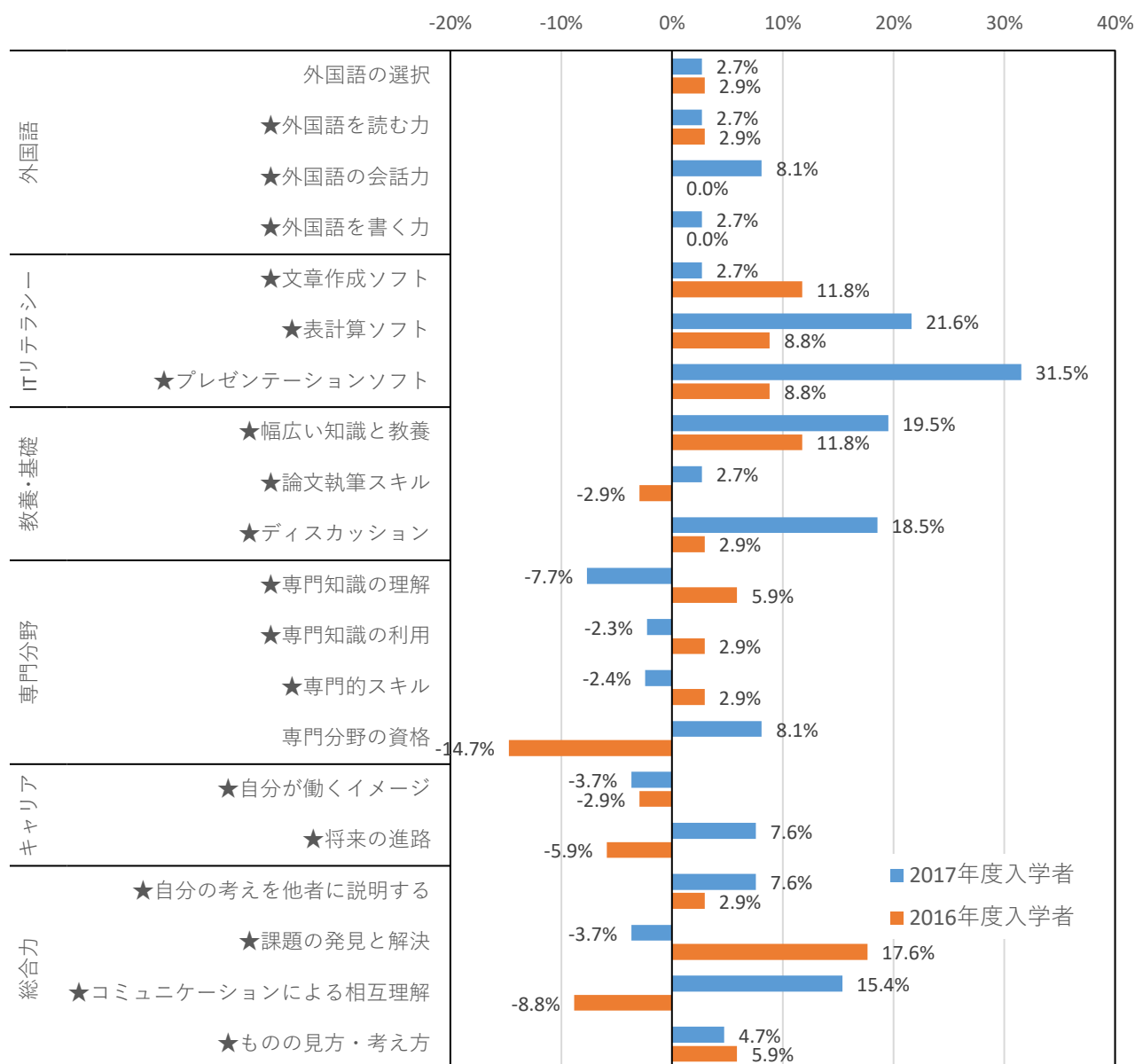


図 II -2-20 4年次の及第者の割合（学修行動）

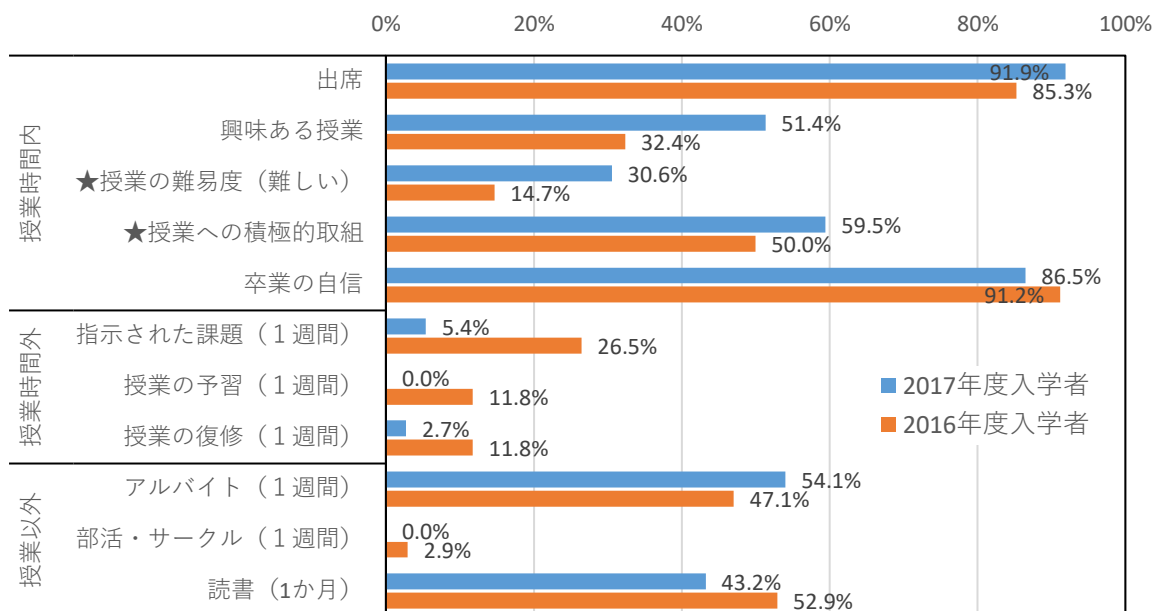
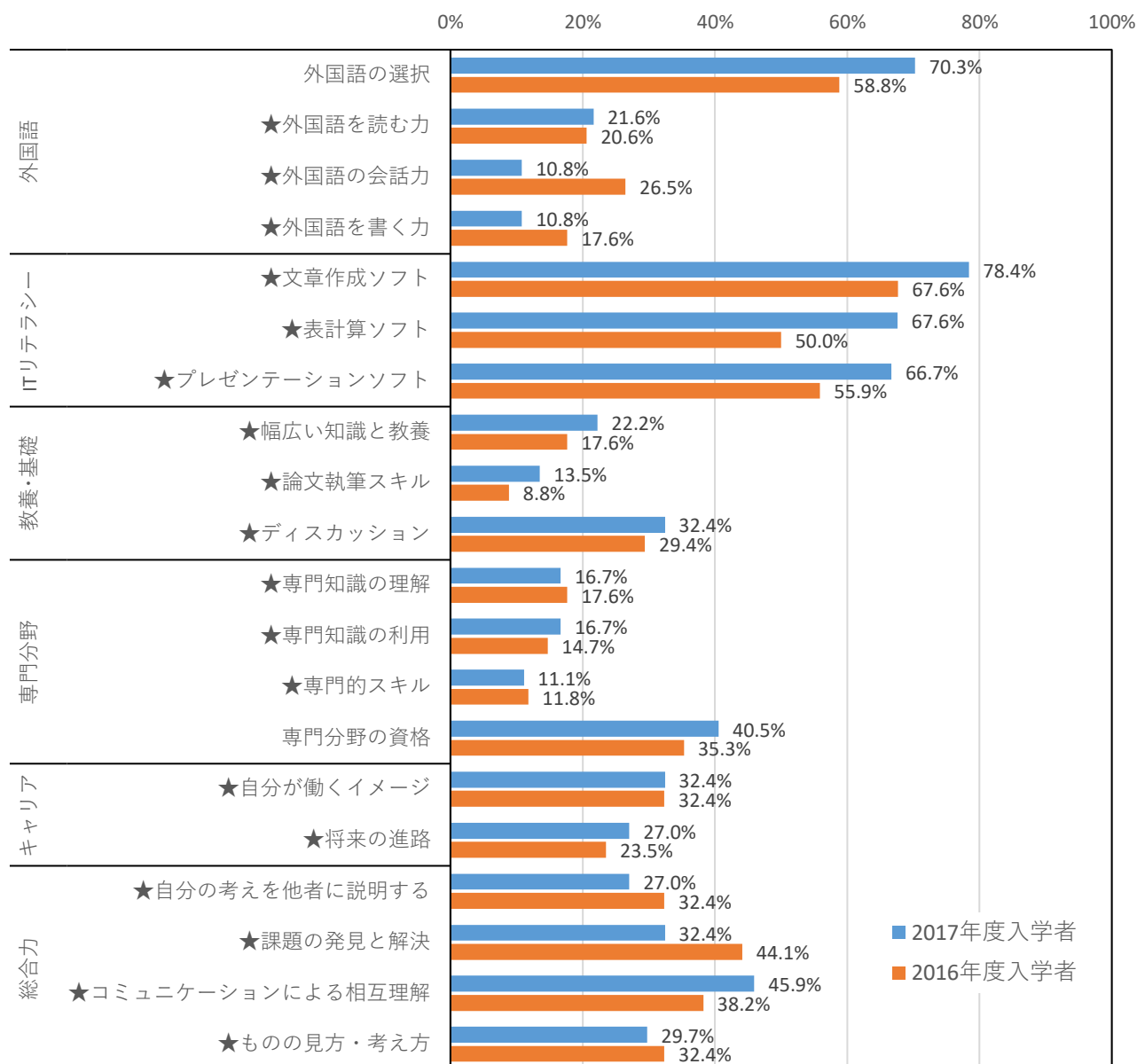


図 II -2-21 4年次の及第者の割合（学修成果）



3 資格取得の状況

日本伝統文化学科

資 格	件数
学芸員	
日本情報処理検定協会日本語ワープロ検定準2級	
日本情報処理検定協会日本語ワープロ検定3級	
日本情報処理検定協会文書デザイン検定試験1級	
日本情報処理検定協会文書デザイン検定2級	
日本情報処理検定協会プレゼンテーション作成検定2	
情報処理技能検定3級	2
池坊高等科皆伝	2

国際言語文化学科

中高英語教員免許	
TOEIC670点	
TOEIC625点	
TOEIC	
英検準2級	2
英語検定準2級	
英語検定3級	
韓国語能力試験（TOPIK）4級	
韓国語能力試験（TOPIK）3級	3
韓国語能力試験（TOPIK）2級	3
韓国語能力試験（TOPIK）初級	2
韓国語能力試験（TOPIK）	
ハングル能力検定3級	3
ハングル能力検定4級	8
中国語hsk3級	
日本情報処理検定協会文書デザイン検定1級	
漢字検定2級	

国際学科

英検準1級	
英検2級	
TOEIC600点以上	
TOEIC	3
GTEC	2
韓国語能力試験	

福祉心理学科

医療事務	
------	--

臨床心理学科

資 格	件数
社会調査士	3
心理学検定1級	2
心理学検定2級	3
ピアヘルパー	15
ピアサポート	
キャンディデイト	2
TOEICR&L score705	
TOEIC	
IELTS 5.0	
日本語能力試験 N1合格	

健康・スポーツ心理学科

バルシューレ	2
バルシューレC級	
ネイチャーゲームリーダー	2
秘書検定2級	3
障害者スポーツ指導員	
日本情報処理検定協会文書デザイン検定1級	2
情報処理表計算2級	

子ども学科

おもちゃインストラクター	2
保育技術検定（音楽・リズム表現技術）2級	
保育技術検定（言語表現技術）2級	
プロフェッショナルベビーシッター資格	
キャンプインストラクター	2
ヤマハ音楽能力検定 演奏、指導グレード5級	
ヤマハ音楽能力検定 演奏、指導グレード5級	
色彩検定1級1次合格	
TOEIC 5 1 0 点	
実用英語技能検定準2級	
商品プランナー資格取得	
漢字検定準2級	
書道3段	
ハングル語検定5級	

経営学科

日商簿記検定2級	6
日商簿記検定3級	12
全商簿記 2 級	
ビジネス文書技能検定3級	13
ビジネス文書検定	3
メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅱ種	1
メンタルヘルス・マネジメント検定第Ⅲ種	4
取得（名称不明）	

3. 自由記述

(1) 短期大学

「企画・IR 室」の Web サイト内の「教職員の方々へ」に掲載。

<https://www.tsu.ac.jp/guide/tabid/863/ctl/Login/Default.aspx?returnurl=%2fguide%2ftabid%2f863%2fDefault.aspx>

(2) 大学（学科別）

「企画・IR 室」の Web サイト内の「教職員の方々へ」に掲載。

<https://www.tsu.ac.jp/guide/tabid/863/ctl/Login/Default.aspx?returnurl=%2fguide%2ftabid%2f863%2fDefault.aspx>

- ①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間未満 ④3～4時間30分未満 ⑤4時間30分～6時間未満 ⑥6時間以上
- (8) 授業の予習を1週間合計でどのくらいやりますか。
- ①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間未満 ④3～4時間30分未満 ⑤4時間30分～6時間未満 ⑥6時間以上
- (9) 授業の課題やノートの整理、復習、ピアノ練習などを1週間合計でどのくらいやりますか。
- ①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間未満 ④3～4時間30分未満 ⑤4時間30分～6時間未満 ⑥6時間以上
- (10) 授業に関連する資料や本を探したり、調べたりすることを1週間合計でどのくらいやりますか。
- ①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間未満 ④3～4時間30分未満 ⑤4時間30分～6時間未満 ⑥6時間以上

3. 外出自粛の中での生活について

- (11) 新聞を読みますか。
- ①読まない ②たまに読む ③時々読む ④毎日読む
- (12) 定期的に読んでいる雑誌、週刊誌はありますか。
- ①読まない ②漫画雑誌を読んでいる ③週刊誌を読んでいる ④専門誌を読んでいる
- (13) 授業以外のインターネット（LINE やその他 SNS・オンラインゲームを含む）は1日にどのくらい使っていますか。
- ①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間未満 ④3～4時間30分未満 ⑤4時間30分～6時間未満 ⑥6時間以上
- (14) 本をどのくらい読みますか。
- ①読まない ②月に2冊以下 ③月に3～5冊 ④月に6冊以上

【学修成果調査】

1. 建学の精神について

- (1) 本学の建学の精神『「成徳」すなわち徳を成す人間の育成』を知っていますか。
- ①まったく知らない ②ほとんど知らない ③多少は知っている ④ある程度知っている
- ⑤ほぼ知っている ⑥よく知っている

2. 外国語能力について

- (2) 外国語の授業では、何を選択しましたか。
- ①英語 ②中国語 ③選択していない
- (3) 読む力はどの程度ありますか。
- ①まったくない ②ほとんどない ③多少はある ④ある程度ある ⑤ほぼある ⑥大いにある
- (4) 会話力（話す、聞く）は、どの程度ありますか。
- ①まったくない ②ほとんどない ③多少はある ④ある程度ある ⑤ほぼある ⑥大いにある
- (5) 書く力はどの程度ありますか。
- ①まったくない ②ほとんどない ③多少はある ④ある程度ある ⑤ほぼある ⑥大いにある

3. ICTリテラシー（＝情報機器やインターネットを使う能力）について

- (6) 文章作成ソフト（Word など）を使って文章を作成することは、どの程度できますか。
- ①まったくできない ②ほとんどできない ③多少はできる ④ある程度できる ⑤ほぼできる ⑥よくできる
- (7) 表計算ソフト（Excel など）を使って図表を作成することは、どの程度できますか。

- ①まったくできない ②ほとんどできない ③多少はできる ④ある程度できる ⑤ほぼできる ⑥よくできる
- (8) プレゼンテーションソフト (Power Point など) を使ってプレゼンテーション用の資料を作成することは、どの程度できますか。
- ①まったくできない ②ほとんどできない ③多少はできる ④ある程度できる ⑤ほぼできる ⑥よくできる

4. 教養・基礎的スキルについて

- (9) 専門分野の知識とは別に幅広い知識や教養が、どの程度ありますか。
- ①まったくない ②ほとんどない ③多少はある ④ある程度ある ⑤かなりある ⑥大いにある
- (10) レポートや論文作成に必要な情報収集のスキル (論文、文献、統計などの検索方法など) が、どの程度ありますか。
- ①まったくない ②ほとんどない ③多少はある ④ある程度ある ⑤かなりある ⑥大いにある
- (11) ディスカッションの中で他者の意見をきちんと聞きながら自分の意見を述べるのが、どの程度できますか。
- ①まったくできない ②ほとんどできない ③多少はできる ④ある程度できる ⑤ほぼできる ⑥よくできる

5. 幼児教育・保育に関する専門知識・専門的スキルについて

- (12) 専門知識を理解している。
- ①まったく理解していない ②ほとんど理解していない ③多少は理解している ④ある程度理解している
⑤ほぼ理解している ⑥よく理解している
- (13) 専門知識を実際の場面で使うことができる。
- ①まったく使えない ②ほとんど使えない ③多少は使える ④ある程度使える ⑤ほぼ使える ⑥よく使える
- (14) 専門的スキルが身についている。
- ①まったく身につけていない ②ほとんど身につけていない ③多少は身につけている
④ある程度身につけている ⑤ほぼ身につけている ⑥よく身につけている
- (15) 大学入学後に取得を目指している (取得した) 免許・資格等はいくつありますか。
- ① 0 ② 1 ③ 2 ④ 3 ⑤ 4 ⑥ 5以上
- 例：幼稚園教諭二種免許 保育士国家資格 社会福祉主事任用資格 救命技能認定
 幼児体育指導者2級資格 認定ベビーシッター資格 准学校心理士資格

6. 社会で活躍するための力 (キャリア教育、社会人基礎力) について

- (16) 「社会で働く」とはどのようなことか、どの程度イメージできていますか。
- ①まったくできていない ②ほとんどできていない ③多少はできている ④ある程度できている
⑤ほぼできている ⑥よくできている
- (17) 将来の進路 (職業、進学など) はどの程度決まっていますか。
- ①まったく決まっていない ②ほとんど決まっていない ③多少は決まっている ④ある程度決まっている
⑤ほぼ決まっている ⑥すでに決まっている
- (18) 就職活動を最後まで頑張る自信はどの程度ありますか。
- ①まったくない ②ほとんどない ③多少はある ④ある程度ある
⑤かなりある ⑥大いにある

7. 総合力についてー 短期大学での学びを通して、以下の力がどの程度身についていると思いますか。

(19) 自分の考えを文章や口頭で他者にきちんと説明することが、どの程度できるようになりましたか。

- ①まったくできていない ②ほとんどできていない ③多少はできている ④ある程度できている
⑤ほぼできている ⑥よくできている

(20) 社会人として仕事や活動を行うために必要な力はどの程度身につきましたか。

- ①まったく身につけていない ②ほとんど身につけていない ③多少は身につけている
④ある程度身につけている ⑤ほぼ身につけている ⑥よく身につけている

(21) 他者とコミュニケーションを図りながら相互理解を深めていくことは、どの程度できますか。

- ①まったくできない ②ほとんどできない ③多少はできる ④ある程度できる
⑤ほぼできる ⑥よくできる

(22) 東京成徳短期大学に入学してどの程度よかったと思いますか。

- ①まったく思っていない ②ほとんど思っていない ③多少は思っている ④ある程度思っている
⑤ほぼ思っている ⑥大いに思っている

・アンケートに答えてみて、自分の学修活動について気づいたこと、考えたことを自由に記述して下さい。

(2)大 学

今年度から大学では、「学修成果」の「5. 専門知識・専門的スキルについて」内の質問については、全学共通の質問項目のほか、必要に応じて学科独自の質問項目を設けることとした。独自項目を設けた学科は、国際言語文化学科、臨床心理学科、経営学科の3学科である。

そこで、アンケート票は、まず全学共通の質問項目を掲載し、次に学科独自の質問項目については、その部分を抽出して掲載することとする。

A. 全学共通の質問項目

学修調査

本調査は、学生の学修行動と学修成果に関する実態を把握し、今後の教育の質向上に資する基礎資料を得ることを目的に行うものです。調査によって得られたデータはこの調査目的のみに使用するものであり、個人のデータを公表することはありません。

- ・担任またはゼミ担当教員名〔 〕 ※担任とゼミ担当教員が別の場合は担任の氏名を記入
- ・学籍番号〔 〕
- ・氏名〔 〕
- ・学科 ①日本伝統文化学科 ②国際言語文化学科 ③国際学科 ④福祉心理学科 ⑤臨床心理学科
⑥健康・スポーツ心理学科 ⑦子ども学科 ⑧経営学科
- ・性別 ①男性 ②女性
- ・学年 ①1年 ②2年 ③3年 ④4年
- ・入試 ①AO ②推薦・指定校推薦 ③一般入試 ④センター入試
⑤グローバルチャレンジ入試（国際学科のみ実施） ⑥社会人・外国人入試 ⑦編入

【学修行動調査】

1. 1週間(平均的)における授業時間内(オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は課題などに取り組む時間内)での学修行動について

(1) 授業はどのくらい出席していますか（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は、課題などの提出回数などで回答してください）。

- ①0~20%未満 ②20~40%未満 ③40~60%未満 ④60~80%未満 ⑤80~100%

(2) 興味のある授業は何割くらいありますか。

- ①0~20%未滿 ②20~40%未滿 ③40~60%未滿 ④60~80%未滿 ⑤80~100%

(3) 授業全体の難易度はどの程度だと感じていますか。

- ①非常に易しい ②易しい ③どちらかといえば易しい ④どちらかといえば難しい ⑤難しい
⑥非常に難しい

(4) 授業（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は課題などへの取り組み）には、どの程度積極的に取り組んでいますか。

- ①まったく取り組んでいない ②取り組んでいない ③どちらかといえば取り組んでいない
④どちらかといえば取り組んでいる ⑤取り組んでいる ⑥十分に取り組んでいる

(5) 4年間で卒業できる自信はどのくらいありますか。

- ①0～20%未満 ②20～40%未満 ③40～60%未満 ④60～80%未満 ⑤80～100%

2. 1週間（平均的な）における授業時間外での学修行動について

(6) 先生から指示された授業での発表の準備や課題・レポート、宿題などを、どのくらいしていますか

- ①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間未満 ④3～4時間30分未満 ⑤4時間30分～6時間未満 ⑥6時間以上

(7) 授業の予習をどのくらいしていますか。

- ①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間未満 ④3～4時間30分未満 ⑤4時間30分～6時間未満 ⑥6時間以上

(8) 授業の復習をどのくらいしていますか。

- ①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間未満 ④3～4時間30分未満 ⑤4時間30分～6時間未満 ⑥6時間以上

3. 1週間（平均的な）における授業以外の学修活動や行動について

(9) アルバイトをどのくらいしていますか。

- ①なし ②5時間未満 ③5時間～10時間未満 ④10時間～15時間未満 ⑤15時間～20時間未満
⑥20時間～25時間未満 ⑦25時間以上

(10)部活・サークル活動をどのくらいしていますか。

- ①なし ②1日～2日 ③3日～4日 ④5日～6日 ⑤7日

(11) ネットやテレビ、新聞、雑誌などのニュースや記事を見て、社会の動きを知る努力をどのくらいしていますか。

- ①やっていない ②90分未満 ③90分～3時間未満 ④3～4時間30分未満 ⑤4時間30分～6時間未満 ⑥6時間以上

(12) 本をどのくらい読んでいますか。

- ①読まない ②月に2冊以下 ③月に3～5冊 ④月に6冊以上

【学修成果調査】

1. 教育理念について

(1)本学の建学の精神「徳を成す人間の育成」を知っていますか。

- ①まったく知らない ②知らない ③どちらかといえば知らない ④どちらかといえば知っている
⑤知っている ⑥よく知っている

2. 外国語能力について

(2)外国語の授業を選択していますか・いましたか。

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④英語と中国語 ⑤英語と韓国語 ⑥中国語と韓国語
⑦英語と中国語と韓国語 ⑧選択していない

(3)読む力はどの程度ありますか。

- ①まったくない ②ない ③どちらかといえばない ④どちらかといえばある ⑤ある ⑥大いにある

(4)会話力（話す、聞く）はどの程度ありますか。

- ①まったくない ②ない ③どちらかといえばない ④どちらかといえばある ⑤ある ⑥大いにある

(5)書く力はどの程度ありますか。

- ①まったくない ②ない ③どちらかといえばない ④どちらかといえばある ⑤ある ⑥大いにある

3. ICT リテラシー（＝情報機器やインターネットを使う能力）について

(6)文章作成ソフト（Word など）を使って文章を作成することがどの程度できますか。

- ①まったくできない ②できない ③どちらかといえばできない ④どちらかといえばできる ⑤できる
⑥よくできる

(7)表計算ソフト（Excel など）を使って図表を作成することがどの程度できますか。

- ①まったくできない ②できない ③どちらかといえばできない ④どちらかといえばできる ⑤できる
⑥よくできる

(8)プレゼンテーションソフト（Power Point など）を使ってプレゼンテーション用の資料を作成することがどの程度できますか。

- ①まったくできない ②できない ③どちらかといえばできない ④どちらかといえばできる ⑤できる
⑥よくできる

4. 教養・基礎的スキルについて

(9)専門分野の知識とは別に幅広い知識や教養が、どの程度ありますか。

- ①まったくない ②ない ③どちらかといえばない ④どちらかといえばある ⑤ある ⑥大いにある

(10)レポートや論文作成に必要なスキル（文献検索、書式・作法、論理構成、文章作成など）が、どの程度ありますか。

- ①まったくない ②ない ③どちらかといえばない ④どちらかといえばある ⑤ある ⑥大いにある

(11)ディスカッションの中で他者の意見をきちんと聞きながら自分の意見を述べる事がどの程度できますか。

- ①まったくできない ②できない ③どちらかといえばできない ④どちらかといえばできる ⑤できる
⑥よくできる

5. 専門知識・専門的スキルについて

(12)専門知識をどの程度、理解していますか。

- ①まったく理解していない ②理解していない ③どちらかといえば理解していない
④どちらかといえば理解している ⑤理解している ⑥よく理解している

(13)専門知識を実際の場面で使うことがどの程度できますか。

- ①まったく使えない ②使えない ③どちらかといえば使えない ④どちらかといえば使える
⑤使える ⑥よく使える

(14)専門的スキルがどの程度、身についていますか。

- ①まったく身につけていない ②身につけていない ③どちらかといえば身につけていない
④どちらかといえば身につけている ⑤身につけている ⑥よく身につけている

(15)大学入学後に取得した専門分野に関連する資格がありますか、あるいは検定試験で一定の点数を取ったことがありますか。

- ①ない ②ある ③（今はないが）目指している

※「②ある」を選んだ方は、取得した資格や合格した検定の内容を教えてください。

例：日商簿記検定 2 級合格、韓国語能力試験 I（初級）合格など

B. 学科独自の質問項目

【国際言語文化学科】

5-2. 専門知識・専門的スキルについて (学科独自項目)

・国際言語文化学科の専門科目は、「語学科目」「英語教養科目」「地域文化・国際教養科目」などから構成されています。
各分野で履修し学んだ科目の内容について、どの程度理解していますか。

(16) 「語学科目」で学んだ内容はどの程度身についていますか。

- ①まったく身についていない ②身についていない ③どちらかといえば身についていない
④どちらかといえば身についている ⑤身についている ⑥よく身についている

(17) 「英語教養科目」で学んだ内容をどの程度理解していますか。

- ①まったく理解していない ②理解していない ③どちらかといえば理解していない
④どちらかといえば理解している ⑤理解している ⑥よく理解している

(18) 「地域文化・国際教養科目」で学んだ内容をどの程度理解していますか。

- ①まったく身についていない ②身についていない ③どちらかといえば身についていない
④どちらかといえば身についている ⑤身についている ⑥よく身についている

(19) 海外留学や短期語学研修など外国で学んだ内容はどの程度役に立ちましたか。

- ①まったく役に立たなかった ②役に立たなかった ③どちらかという役に立たなかった
④どちらかという役に立った ⑤役に立った ⑥大いに役に立った

【臨床心理学科】

5-2. 専門知識・専門的スキルについて (学科独自項目)

(16) 「心理療法・カウンセリングの展開」に関する学び、をどの程度理解していますか。

- ①まったく理解していない ②理解していない ③どちらかといえば理解していない
④どちらかといえば理解している ⑤理解している ⑥よく理解している

(17) 「学校・子どもの臨床心理学」に関する学びを、どの程度理解していますか。

- ①まったく理解していない ②理解していない ③どちらかといえば理解していない
④どちらかといえば理解している ⑤理解している ⑥よく理解している

(18) 「社会・産業の臨床心理学」に関する学びを、どの程度理解していますか。

- ①まったく理解していない ②理解していない ③どちらかといえば理解していない
④どちらかといえば理解している ⑤理解している ⑥よく理解している

(19) 「心理学における実験や調査の方法」に関する学びを、どの程度理解していますか。

- ①まったく理解していない ②理解していない ③どちらかといえば理解していない
④どちらかといえば理解している ⑤理解している ⑥よく理解している

【経営学科】

5-2. 専門知識・専門的スキルについて (学科独自項目)

・経営学部専門科目は、「経営学分野」「会計学分野」「マーケティング分野」「ビジネス科目（ファッション・エンターテインメント・トラベル・ホスピタリティ）」などから構成されています。各分野の学びをどのくらい理解していますか。

(16)「経営学分野」の学びを、どの程度理解していますか。

- ①まったく理解していない ②理解していない ③どちらかといえば理解していない
④どちらかといえば理解している ⑤理解している ⑥よく理解している

(17)「会計学分野」の学びを、どの程度理解していますか。

- ①まったく理解していない ②理解していない ③どちらかといえば理解していない
④どちらかといえば理解している ⑤理解している ⑥よく理解している

(18)「マーケティング分野」の学びを、どの程度理解していますか。

- ①まったく理解していない ②理解していない ③どちらかといえば理解していない
④どちらかといえば理解している ⑤理解している ⑥よく理解している

(19)「ビジネス分野（ファンクション分野、エンターテインメント分野、観光分野）」の学びのうち、履修している分野の学びを、どの程度理解していますか。

- ①まったく理解していない ②理解していない ③どちらかといえば理解していない
④どちらかといえば理解している ⑤理解している ⑥よく理解している ⑦履修していない

2 回答用紙

本調査はMicrosoft 社の Forms により行った。回答用紙の書式は Forms の書式による。

3 回収状況

2019年度 学修調査（行動・成果調査）回答用紙 回収状況

2019年度	1年生 (2019年度入学者)			2年生 (2018年度入学者)			3年生 (2017年度入学者・編入学生)			4年生 (2016年度入学者・留年生)			合計		
	提出者数	対象者数	回収率	提出者数	対象者数	回収率	提出者数	対象者数	回収率	提出者数	対象者数	回収率	提出者数	対象者数	回収率
短大 幼児教育科	180	186	96.8%	119	186	64.0%							299	372	80.4%
日本伝統文化							28	40	70.0%	11	18	61.1%	39	58	67.2%
国際言語文化							31	50	62.0%	21	30	70.0%	52	80	65.0%
国際	71	72	98.6%	50	54								121	126	96.0%
福祉心理										12	21	57.1%	12	21	57.1%
臨床心理	82	126	65.1%	34	119	28.6%	47	112	42.0%	56	80	70.0%	219	437	50.1%
健康・スポーツ心理	40	72	55.6%	30	51	58.8%	30	54	55.6%	34	57	59.6%	134	234	57.3%
子ども	87	146	59.6%	136	153	88.9%	133	143	93.0%	132	151	87.4%	488	593	82.3%
経営	127	160	79.4%	88	155	56.8%	86	133	64.7%	60	125	48.0%	361	573	63.0%
大学 計		576	0.0%		532	0.0%		532	0.0%		482	0.0%	1426	2122	67.2%

※留学中、休学中などの学生は調査対象。

2019年度 学修調査（行動・成果調査）回答用紙 回収状況

2019年度	1年生 (2019年度入学者)			2年生 (2018年度入学者)			3年生 (2017年度入学者・編入学生)			4年生 (2016年度入学者・留年生)			合計		
	提出者数	対象者数	回収率	提出者数	対象者数	回収率	提出者数	対象者数	回収率	提出者数	対象者数	回収率	提出者数	対象者数	回収率
短大 幼児教育科	174	187	93.0%	141	188	75.0%							315	375	84.0%
日本伝統文化				35	41	85.4%	17	19	89.5%	19	26	73.1%	71	86	82.6%
国際言語文化				49	51	96.1%	25	27	92.6%	19	21	90.5%	93	99	93.9%
国際	49	56	87.5%										49	56	87.5%
福祉心理							20	22	90.9%	18	20	90.0%	38	42	90.5%
臨床心理	113	124	91.1%	90	117	76.9%	65	77	84.4%	53	73	72.6%	321	391	82.1%
健康・スポーツ心理	48	53	90.6%	56	60	93.3%	51	55	92.7%	56	63	88.9%	211	231	91.3%
子ども	150	156	96.2%	130	144	90.3%	141	147	95.9%	127	142	89.4%	548	589	93.0%
経営	133	161	82.6%	107	141	75.9%	105	120	87.5%	57	94	60.6%	402	516	77.9%
大学 計	493	550	89.6%	467	554	84.3%	424	467	90.8%	349	439	79.5%	1733	2010	86.2%

※留学中、休学中などの学生は調査対象。